

令和6年度
江戸川区民世論調査

< 第37回 >

江戸川区

目次

I	調査の概要	1
II	結果のあらまし	15
III	結果と分析	23
1.	居住年数・永住意向について	25
(1)	居住年数	25
(2)	永住意向	28
2.	江戸川区の現況について	33
(1)	各項目の満足度	33
3.	区の推奨度について	92
(1)	定住・来訪の推奨度	92
4.	SDGsについて	94
(1)	日ごろから取り組んでいるSDGsの行動	94
5.	共生社会について	96
(1)	共生社会についての認知度	96
6.	人権について	98
(1)	関心のある人権課題	98
7.	公園について	100
(1)	公園への要望	100
8.	葛西海浜公園について	102
(1)	葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度	102
9.	脱炭素化について	104
(1)	関心がある取り組み	104
(2)	区に取り組んでほしい取り組み	106
10.	図書館について	108
(1)	図書館や図書館サテライトの利用頻度	108
(2)	図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由	110
11.	スポーツについて	112
(1)	1年間の運動やスポーツの実施頻度	112
(2)	1年間に実施した運動やスポーツ	114
(3)	1年間に観戦した運動やスポーツ	116
12.	健康状態について	118
(1)	現在の健康状態	118
13.	プレコンセプションケアについて	120
(1)	プレコンセプションケアの認知度	120
(2)	区にプレコンセプションケアについて取り組んでほしいこと	122
14.	AEDについて	124
(1)	AEDの認知度	124
(2)	AEDの使用の有無	126

(3) A E Dを使用できるか	128
(4) A E Dを使用する際の不安や心配.....	130
15. 消費者センターについて	132
(1) 知っている消費者センターが行っている事業.....	132
16. 道路インフラ施設について.....	134
(1) 道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理について・各項目	134
17. 災害対策について	143
(1) 大規模水害時の避難するタイミング	143
(2) 広域避難しない理由・各項目	146
(3) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について	161
(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由.....	163
(5) 地震への備え・各項目	165
18. 意見募集（パブリック・コメント）について	176
(1) パブリック・コメントの認知度	176
19. 江戸川区職員の接遇について	178
(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度	178
20. 区政への要望について	180
(1) 今後推進してほしい施策	180
21. 自由記述.....	183
(1) 江戸川区の良さ	183
(2) 江戸川区に改善してほしいこと	187
(3) 自由記述抜粋.....	191
IV 調査票	201

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目 的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対 象

満 18 歳以上の区民 4,000 人。対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出。

3. 期 間

令和 6 年 4 月 17 日（水）～ 5 月 8 日（水）＜22 日間＞

4. 内 容

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (12) 健康状態について |
| (2) 江戸川区の現況について | (13) プレコンセプションケアについて |
| (3) 区の推奨度について | (14) A E Dについて |
| (4) S D G sについて | (15) 消費者センターについて |
| (5) 共生社会について | (16) 道路インフラ施設について |
| (6) 人権について | (17) 災害対策について |
| (7) 公園について | (18) 意見募集（パブリック・コメント）について |
| (8) 葛西海浜公園について | (19) 江戸川区職員の接遇について |
| (9) 脱炭素化について | (20) 区政への要望について |
| (10) 図書館について | (21) 自由記述 |
| (11) スポーツについて | |

5. 調査方法

調査票を対象者へ郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収と W E B 回収の併用。

【回収結果】

- ・ 標本数 4,000 件
- ・ 有効回収数 1,667 件 有効回収率 41.7%
- （内、郵送は 997 件、W E B 回収は 670 件）

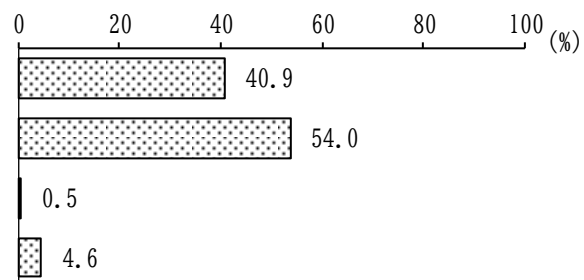
（人口は、令和 6 年 4 月 1 日現在）

18 歳以上の人口(人)	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
591,774	4,000	1,667	41.7

6. 回答者の属性

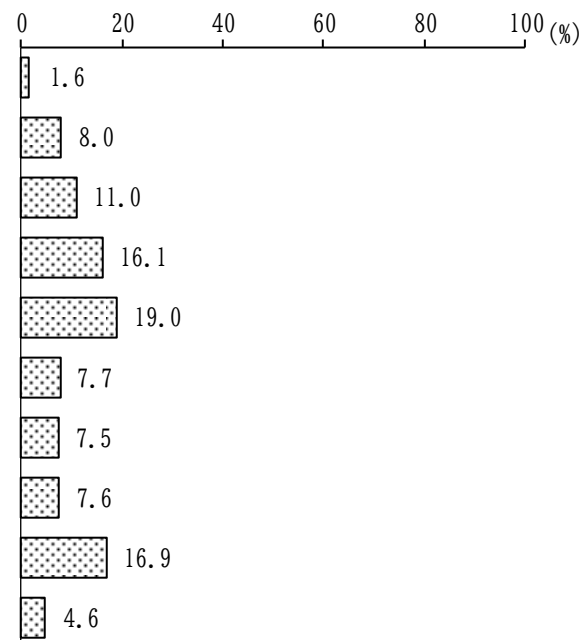
(1) F1 性別

	基数	構成比
男性	682	40.9
女性	900	54.0
その他	8	0.5
無回答	77	4.6
全体	1,667	100.0



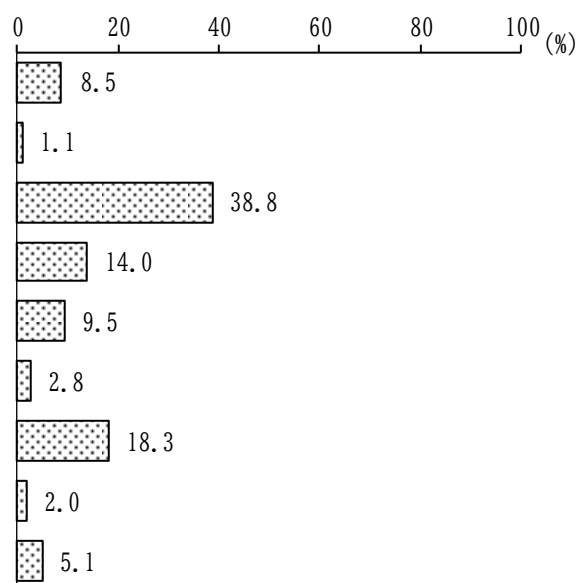
(2) F2 年齢

	基数	構成比
18・19歳	26	1.6
20～29歳	133	8.0
30～39歳	184	11.0
40～49歳	268	16.1
50～59歳	317	19.0
60～64歳	128	7.7
65～69歳	125	7.5
70～74歳	127	7.6
75歳以上	282	16.9
無回答	77	4.6
全体	1,667	100.0



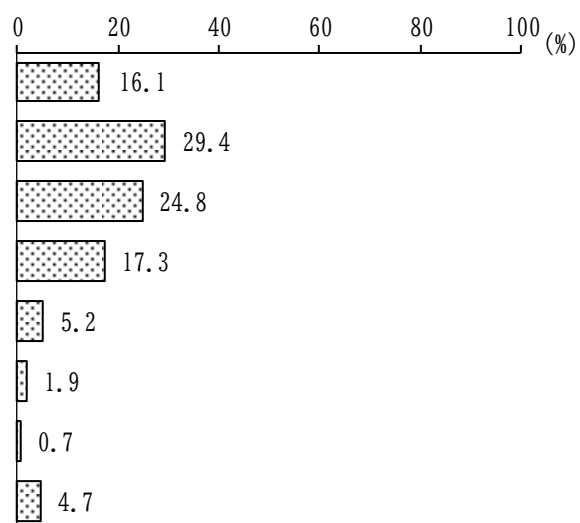
(3) F3 職業

	基数	構成比
自営業者	141	8.5
家族従業（家事手伝い）	18	1.1
勤め（フルタイム）	646	38.8
勤め（パートタイム）	233	14.0
家事専業	158	9.5
学生	47	2.8
無職	305	18.3
その他	34	2.0
無回答	85	5.1
全体	1,667	100.0



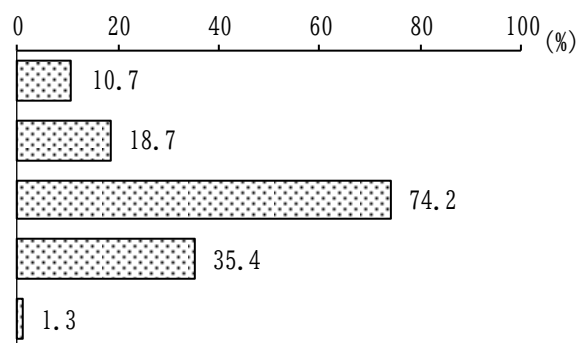
(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1人	268	16.1
2人	490	29.4
3人	413	24.8
4人	288	17.3
5人	87	5.2
6人	32	1.9
7人以上	11	0.7
無回答	78	4.7
全体	1,667	100.0



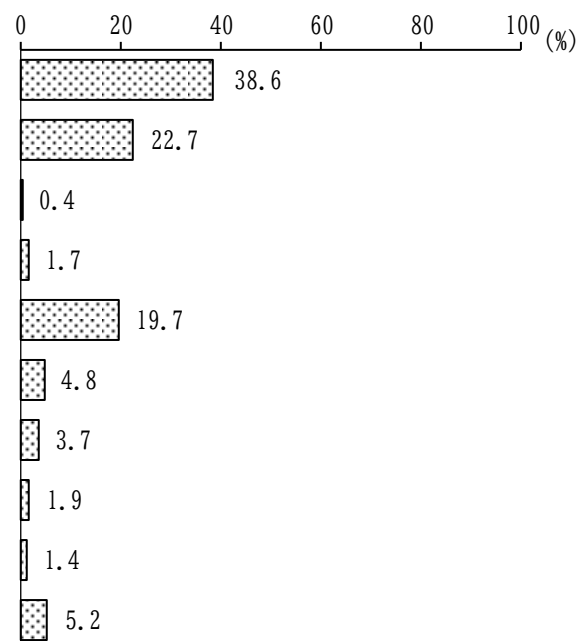
(5) F4-1 同居者

	基数	構成比
小学校入学前のお子さん	142	10.7
小・中学生	247	18.7
16～64歳の方	980	74.2
65歳以上の方	468	35.4
無回答	17	1.3
全体	1,321	100.0



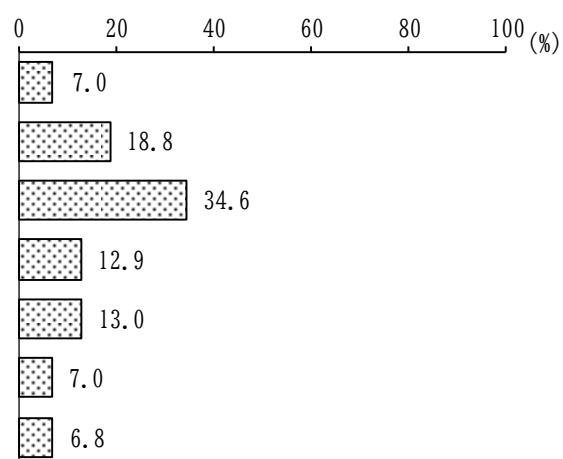
(6) F5 居住形態

	基数	構成比
持ち家(一戸建)	643	38.6
持ち家(共同住宅)	378	22.7
持ち家(長屋建・その他)	6	0.4
民営の賃貸住宅(一戸建)	28	1.7
民営の賃貸住宅(共同住宅)	329	19.7
公営の賃貸住宅	80	4.8
都市再生機構・公社などの賃貸住宅	61	3.7
給与住宅(社宅・公務員住宅など)	32	1.9
借間	24	1.4
無回答	86	5.2
全体	1,667	100.0



(7) F 6 居住地区

	基数	構成比
小松川地区	116	7.0
中央地区	314	18.8
葛西地区	577	34.6
小岩地区	215	12.9
東部地区	216	13.0
鹿骨地区	116	7.0
無回答	113	6.8
全体	1,667	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

○図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。

○回答の比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。

○1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

○分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。

○nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。

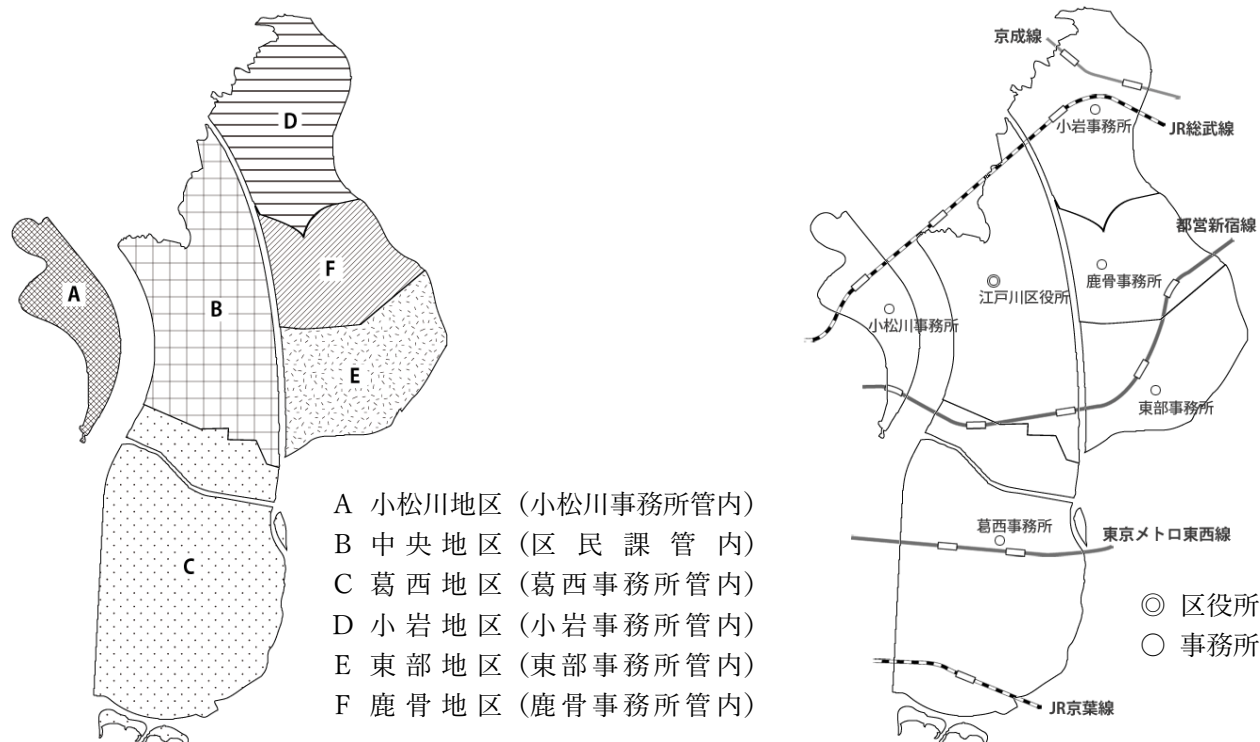
○地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

【管轄別区域表】

管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1～4丁目、平井1～7丁目
区民課 (中央地区)	中央1～4丁目、松島1～4丁目、松江1～7丁目、東小松川1～4丁目、西小松川町、大杉1～5丁目、西一之江1～4丁目、春江町4丁目、上一色1～3丁目、本一色1～3丁目、一之江1～8丁目、西瑞江4丁目1～2・10～27、江戸川4丁目15～25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～9丁目、西葛西1～8丁目、中葛西1～8丁目、南葛西1～7丁目、北葛1～5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1～6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1～6丁目、西小岩1～5丁目、南小岩1～8丁目、北小岩1～8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1～3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5～9、江戸川1～3丁目・4丁目1～14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3～6丁目、南篠崎町1～5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1～4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1～6丁目、上篠崎1～4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

【地区別区分図】



○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{P(1-P)/n}$$

P = 回答比率 (%)

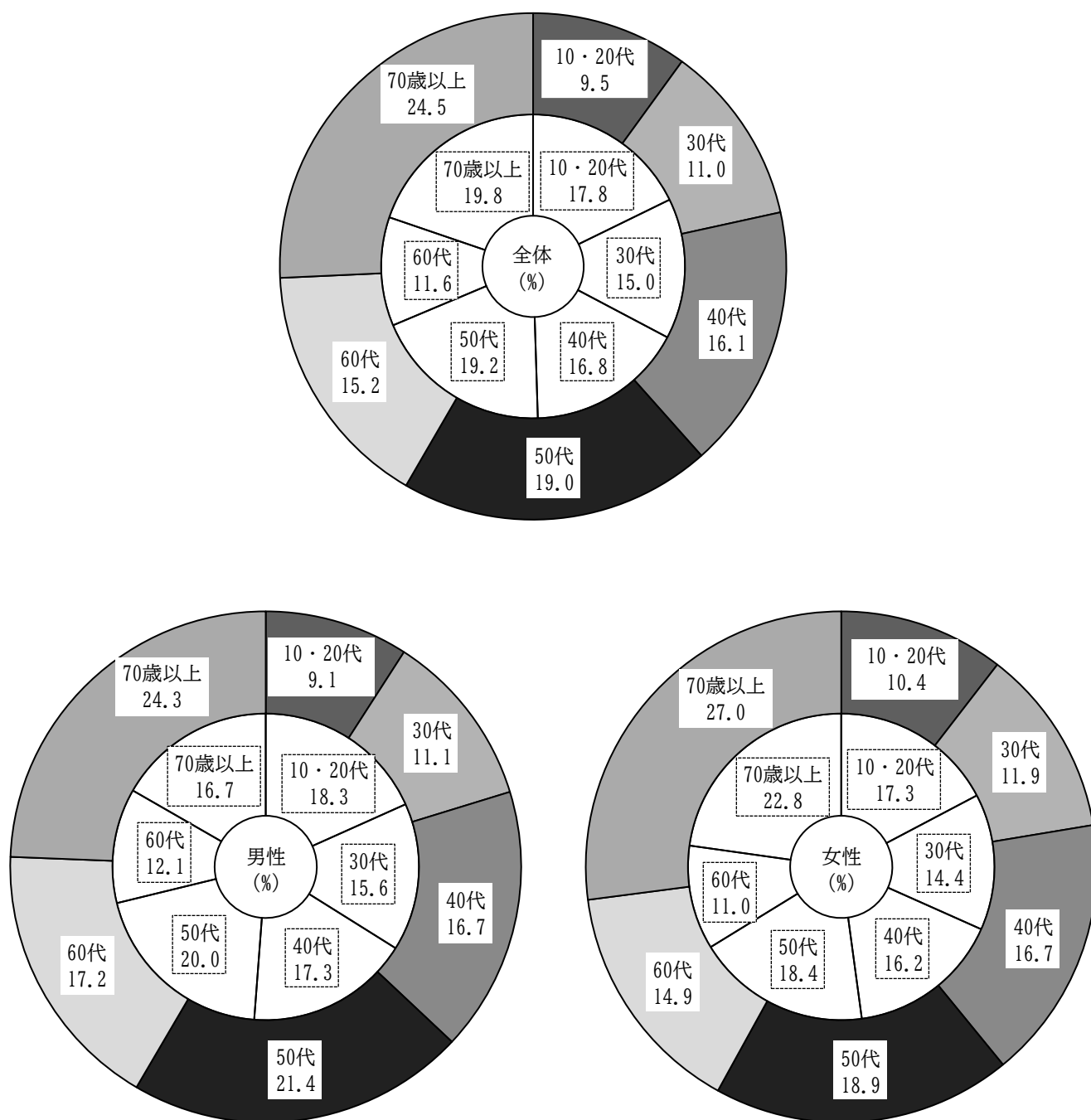
n = 回答者数

回答比率(P) 回答者数 (n)	10% または 90%程度	20% または 80%程度	30% または 70%程度	40% または 60%程度	50%程度
1,667	±1.47	±1.96	±2.24	±2.40	±2.45
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

(注／この表の見方)

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,667であり、その設問中の選択肢の回答比率が60.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.40%以内 (57.60~62.40%) である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団 18 歳以上の人口（N=591,774）の構成比、外円は調査回答者（n=1,667）の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回 数 (時 期)		第1回 (\$51.1)	第2回 (\$52.1)	第3回 (\$53.1)	第4回 (\$54.1)	第5回 (\$55.1)	第6回 (\$56.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%
主 な 調 査 内 容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回 数 (時 期)		第7回 (\$57.1)	第8回 (\$58.1)	第9回 (\$59.1)	第10回 (\$60.1)	第11回 (\$61.1)	第12回 (\$62.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%
主 な 調 査 内 容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア 活動の参加意 向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回 数 (時 期)		第 13 回 (S63.2)	第 14 回 (H 元.1)	第 15 回 (H2.1)	第 16 回 (H3.1)	第 17 回 (H4.1)	第 18 回 (H5.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の 健康状態	区民の いきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア 活動の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの 評価	地元商店街の 印象	広報紙 閲読状況	

回 数 (時 期)		第 19 回 (H6.1)	第 20 回 (H7.1)	第 21 回 (H8.1)	第 22 回 (H8.10)	第 23 回 (H10.10)	第 24 回 (H12.7)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望 (※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	－	－	－	－	高齢者	高齢者
		－	－	－	－	環境・公害	子育て
		－	－	－	－	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	－	－
	区政への関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	－	－
	その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像
区民まつり 満足度		健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回 数 (時 期)		第 25 回 (H14.4)	第 26 回 (H16.6)	第 27 回 (H18.6)	第 28 回 (H20.5)	第 29 回 (H22.5)	第 30 回 (H24.5)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3 つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	－	－	－	－	－	－
	区政への関 心度	－	－	－	－	64.5%	63.4%
	その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
区民のかかり つけ医の状況		資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第 29 回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回 数 (時 期)		第 31 回 (H26.5)	第 32 回 (H29.5)	第 33 回 (R2.11)	第 34 回 (R3.11)	第 35 回 (R4.10)	第 36 回 (R5.10)	第 37 回 (R6.4)
標 本 数		2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
回 収 数 (回収率)		1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	1,767 44.2%	1,746 43.7%	1,667 41.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%	86.9%	85.2%	84.9%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%	3.2%	3.4%	3.4%
	施設への 要望 (上位3つ)	－	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－	－
	施策への 要望(※) (上位3 つ)	震災	震災	水害	水害	水害	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災	震災	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への 信頼度	－	－	－	－	－	－	－
	区政への関 心度	－	－	－	－	－	－	－
その他の 調査項目	区の現況への満足度	区の現況への満足度	区の現況への満足度	区の現況への満足度	区の現況への満足度	区の現況への満足度	区の現況への満足度	
	駐輪場・レンタサイクルについて	スポーツの実践について	災害対策について	SDGsについて	災害に強い安全安心なまちづくり	ひきこもり支援について	災害対策について	

Ⅱ 結果のあらまし

Ⅱ 結果のあらまし

1. 居住年数・永住意向について (25～32 ページ)

【問1 (25 ページ)】

江戸川区の居住者は、『長期の居住者』(「21 年以上 31 年未満」 + 「31 年以上」) (64.4%)、『中期の居住者』(「6 年以上 11 年未満」 + 「11 年以上 21 年未満」) (22.4%)、『短期の居住者』(「1 年未満」 + 「1 年以上 6 年未満」) (12.5%) の順に高くなっている。選択肢の中では「31 年以上」が 48.7% で最も高くなっている。

【問2 (28 ページ)】

「ずっと住み続けたい」が 46.9%、「当分の間は住み続けたい」が 38.0% で、『永住意向』(「ずっと住み続けたい」 + 「当分の間は住み続けたい」) は 84.9% となっている。一方、『転出意向』(「区外に転出したい」) は 3.4% となっている。

2. 江戸川区の現況について (33～91 ページ)

【問3 (33 ページ)】

江戸川区の 19 項目の満足度について尋ねたところ、「満足」は【① 買い物の便】(36.2%) が 4 割近くと最も高く、次いで【④ 公園・水辺の整備】(33.5%) となっている。一方、「不満」は【⑪ 災害への備え】(8.5%) が最も高くなっているが、いずれの項目でも 1 割未満となっている。

3. 区の推奨度について (92～93 ページ)

【問4 (92 ページ)】

区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいか尋ねたところ、「わからない」(34.7%) が 3 割台半ばと最も高く、次いで「どちらも勧めたい」(24.2%)、「来訪を勧めたい」(18.2%)、「定住を勧めたい」(14.4%)、「どちらも勧めたくない」(7.3%) となっている。

4. SDGs について (94～95 ページ)

【問5 (94 ページ)】

日ごろから取り組んでいる SDGs の行動について尋ねたところ、「食品ロスを防ぐ」(69.0%) が 7 割弱で最も高く、次いで「電気も水も大切に使う」(66.3%)、「健康的な生活を送る」(62.4%)、「リサイクルをする」(58.1%) と続いている。

5. 共生社会について (96～97 ページ)

【問6 (96 ページ)】

江戸川区が共生社会を目指していることの認知度を尋ねたところ、「知らない」(78.6%) が 8 割近く、「知っている」(19.1%) は 2 割弱となっている。

6. 人権について (98～99 ページ)

【問 7 (98 ページ)】

関心のある人権課題について尋ねたところ、「高齢者」(49.5%)が5割弱と最も高く、次いで「子ども」(45.2%)、「障害者」(43.6%)、「インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害」(42.0%)と続いている。一方、「ハンセン病患者・元患者やその家族」(7.1%)、「アイヌの人々」(8.5%)は1割未満と低い。

7. 公園について (100～101 ページ)

【問 8 (100 ページ)】

今後の公園に必要だと思う施設について尋ねたところ、「日除け・ベンチなど休憩できる施設」(51.5%)が5割強と最も高く、次いで「防災施設(かまどベンチ・マンホールトイレ・防災井戸など)」(43.6%)となっている。一方、「水遊びできる施設(じゃぶじゃぶ池など)」(7.7%)は1割未満と低い。

8. 葛西海浜公園について (102～103 ページ)

【問 9 (102 ページ)】

葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度は、「知らない」(63.7%)が6割強、「知っている」(35.7%)は3割台半ばとなっている。

9. 脱炭素化について (104～107 ページ)

【問 10 (104 ページ)】

導入・検討した取り組みや関心がある脱炭素化の取り組みについて尋ねたところ、「LED 照明や省エネ家電への買い替え」(65.2%)が6割台半ばと最も高くなっている。次いで「太陽光発電・蓄電池の設置」(33.8%)となっている。

【問 11 (106 ページ)】

脱炭素化を進めるために江戸川区にしてほしい取り組みについて尋ねたところ、「設備導入の補助制度の充実」(44.8%)が4割台半ばと最も高く、次いで「公共施設への再エネ導入」(43.1%)、「学校での環境教育の充実」(41.2%)と続いている。

10. 図書館について (108～111 ページ)

【問 12 (108 ページ)】

図書館や図書館サテライトの利用頻度について尋ねたところ、「利用したことがない」(50.3%)が約5割で最も高くなっている。次いで「過去に利用したが、現在は利用していない」(25.0%)、「年に数回程度」(10.6%)、「1か月に数回程度」(8.3%)となっている。

【問 12-1 (110 ページ)】

図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由を尋ねたところ、「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」(31.0%)が3割強で最も高く、次いで「本や雑誌は買って読んでいる」(27.4%)、「どこにあるかわからない」(26.8%)と続いている。

11. スポーツについて (112～117 ページ)**【問 13 (112 ページ)】**

1 年間の運動やスポーツの実施頻度について尋ねたところ、「運動やスポーツを実施していない」(34.5%) が 3 割台半ばで最も高く、次いで「週に 3 日以上 (年 151 日以上)」(17.1%)、「週に 1 日 (年 51～100 日)」(14.0%) となっている。

【問 13-1 (114 ページ)】

1 年間に実施した運動やスポーツについて尋ねたところ、「ウォーキング (散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む)」(79.9%) が 8 割弱で最も高くなっている。次いで「体操」(18.7%)、「自転車 (BMX 含む)、サイクリング」(18.7%)、「トレーニング」(15.8%)、「ランニング (ジョギング)」(13.6%)、「ゴルフ」(11.2%)、「エアロビクス、ヨガ、バレエ、ピラティス」(10.0%) が 1 割台で続いている。

【問 14 (116 ページ)】

1 年間に観戦した運動やスポーツについて尋ねたところ、「観戦しなかった」(64.5%) が 6 割台半ばで最も高くなっている。一方、「野球」(17.6%) が 2 割近く、「サッカー (ブラインドサッカーを含む)、フットサル、マラソン、駅伝」が 8.0% などとなっている。

12. 健康状態について (118～119 ページ)**【問 15 (118 ページ)】**

ご自身の健康状態について尋ねたところ、「まあ良い」(39.5%) が 4 割弱で最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.0%)、「良い」(17.8%)、「あまり良くない」(15.1%)、「良くない」(6.1%) となっている。

13. プレコンセプションケアについて (120～123 ページ)**【問 16 (120 ページ)】**

プレコンセプションケアの認知度は、「まったく知らない」(83.6%) が 8 割強で最も高くなっている。次いで「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(12.1%)、「名前も内容も知っている」(2.5%) となっている。

【問 17 (122 ページ)】

プレコンセプションケアについて江戸川区にしてほしい取り組みを尋ねたところ、「学校での児童・生徒に対する普及啓発」(37.4%) が 4 割近くで最も高く、次いで「若い世代に対する健康づくり」(32.9%)、「広報誌・SNS 等での情報発信」(32.2%) と続いている。一方、「特にない」(27.6%) は 3 割近くとなっている。

14. AEDについて (124～131 ページ)

【問 18 (124 ページ)】

AEDの認知度は、「名前は聞いたことがあるが使い方は知らない」(50.9%)が約5割で最も高く、次いで「名前も使い方も知っている」(47.4%)、「まったく知らない」(1.3%)となっている。

【問 18－1 (126 ページ)】

AEDの使用の有無は、「使用したことはない」(96.2%)が10割近く、「使用したことがある」は3.7%となっている。

【問 19 (128 ページ)】

周囲の人が目の前で倒れた場合、その人にAEDを使用することができるか尋ねたところ、「できないと思う」(40.4%)が約4割で最も高く、次いで「わからない」(30.1%)、「できると思う」(28.7%)となっている。

【問 20 (130 ページ)】

AEDを使用する際の不安や心配について尋ねたところ、「AEDを使用したときの責任」(62.6%)が6割強で最も高く、次いで「AEDの使用方法」(50.1%)となっている。

15. 消費者センターについて (132～133 ページ)

【問 21 (132 ページ)】

知っている消費者センターが行っている事業について尋ねたところ、「電話・窓口での消費者相談」(73.5%)が7割強で最も高くなっている。次いで「消費者センターホームページ」(30.3%)となっている。一方、「消費者センターを知らない」(19.4%)は2割弱となっている。

16. 道路インフラ施設について (134～142 ページ)

【問 22 (134 ページ)】

道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理などについて、「思う」は【② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい】(38.2%)が4割近くで最も高く、次いで【⑤ 区内の道路や駅前広場は清掃されていてきれい】(21.4%)となっている。一方、「思わない」は【⑧ 駅前の手洗所をよく利用している】(45.7%)が4割台半ばと最も高く、次いで【④ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用したい】(32.0%)となっている。

17. 災害対策について (143～175 ページ)

【問 23 (143 ページ)】

大規模水害時の避難するタイミングについて尋ねたところ、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」(41.2%)が4割強で最も高く、「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」(16.9%)と「区外への避難はしない」(14.1%)との合計は7割強となっている。

【問 23-1 (146 ページ)】

問 23 で「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」または「区外への避難はしない」と回答した方に、広域避難しない(できない)理由を尋ねたところ、「思う」は【③ 広域避難する先の当てがいない】(65.7%)が6割台半ばで最も高く、次いで【② 家や家財から長く離れることが心配】(39.0%)、【① 仕事や学校がある】(30.0%)となっている。一方、「思わない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(58.3%)が6割近くで最も高く、次いで【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(42.2%)となっている。

【問 24 (161 ページ)】

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度の認知度は、「知らなかったが、利用したい」(78.6%)が8割近くで最も高くなっている。次いで、「知らなかったし、利用しない」(14.2%)、「知っていたし、利用したい」(3.7%)、「知っていたが、利用しない」(2.2%)となっている。『利用したい』合計は8割強と高くなっている一方、『知らなかった』合計は9割強と高く、認知度は低いことが読み取れる。

【問 24-1 (163 ページ)】

問 24 で「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を「知っていたが、利用しない」または「知らなかったし、利用しない」と回答した方に、制度を利用しない理由について尋ねたところ、「自宅を離れたくない」(27.1%)が3割近くと最も高く、次いで「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(20.5%)、「広域避難を検討していない」(19.8%)となっている。

【問 25 (165 ページ)】

地震への日ごろの備えについて、「はい」は【① 消火器の使い方を知っている】(71.5%)が7割強で最も高く、次いで【③ 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している】(61.1%)、【④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】(52.8%)、【② 近所の消火器がある場所を知っている】(45.7%)となっている。

18. 意見募集 (パブリック・コメント) について (176～177 ページ)

【問 26 (176 ページ)】

パブリック・コメントの認知度は、「まったく知らない」(63.5%)が6割強で最も高くなっている。次いで「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(22.0%)、「名前も内容も知っている」(11.0%)となっている。

19. 江戸川区職員の接遇について (178～179 ページ)

【問 27 (178 ページ)】

江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「ふつう」(38.5%)が4割近くで最も高く、次いで「やや満足」(15.5%)、「満足」(11.8%)、「やや不満」(5.6%)、「不満」(2.5%)となっている。

20. 区政への要望について（180～182 ページ）

【問 28（180 ページ）】

江戸川区政への要望を尋ねたところ、「水害対策」（45.9％）が4割台半ばで最も高く、次いで「震災対策」（40.3％）、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」（30.5％）と続いている。

21. 自由記述（183～199 ページ）

【問 29 良さ（183 ページ）】

江戸川区の良さについて、自由回答形式で求め 865 人から回答を得た。

江戸川区の良さでは、「公園・都市緑化」（34.6％）が3割台半ばと最も高く、次いで「子育て支援」（22.5％）、「住宅対策」（14.3％）となっている。

【問 29 改善してほしいこと（187 ページ）】

江戸川区に改善してほしいことについて、自由回答形式で求め 898 人から回答を得た。

江戸川区に改善してほしいことでは、「交通網整理」（11.8％）が1割強で最も高く、次いで「都市基盤整備（道路など）」（10.0％）、「自転車に関すること」（8.6％）、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」（8.4％）と続いている。

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

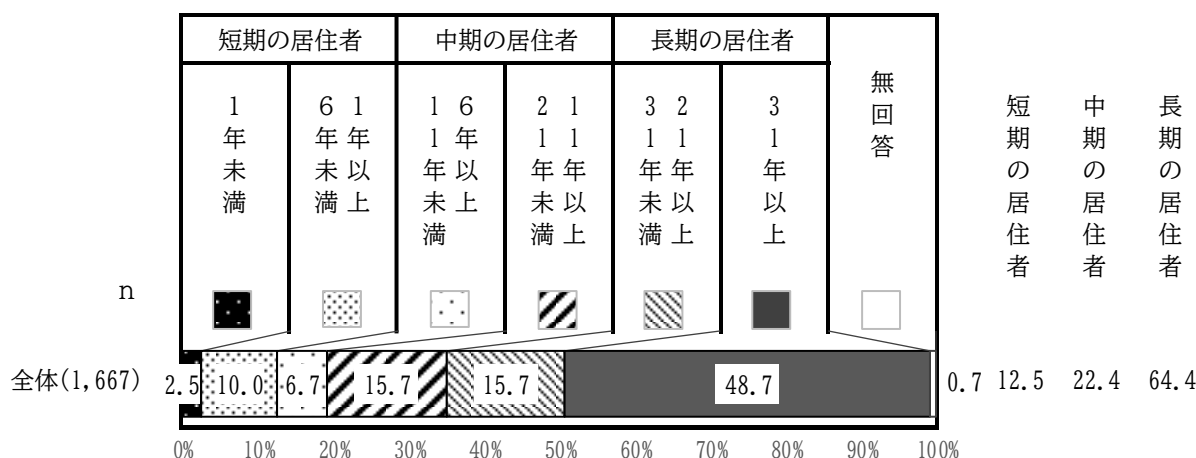
1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇『長期の居住者』が 64.4%を占める。

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<図表1-1>居住年数



江戸川区の居住者は、『長期の居住者』（「21 年以上 31 年未満」＋「31 年以上」）（64.4%）、『中期の居住者』（「6 年以上 11 年未満」＋「11 年以上 21 年未満」）（22.4%）、『短期の居住者』（「1 年未満」＋「1 年以上 6 年未満」）（12.5%）の順に高くなっている。選択肢の中では「31 年以上」が 48.7%で最も高くなっている。（図表 1-1）

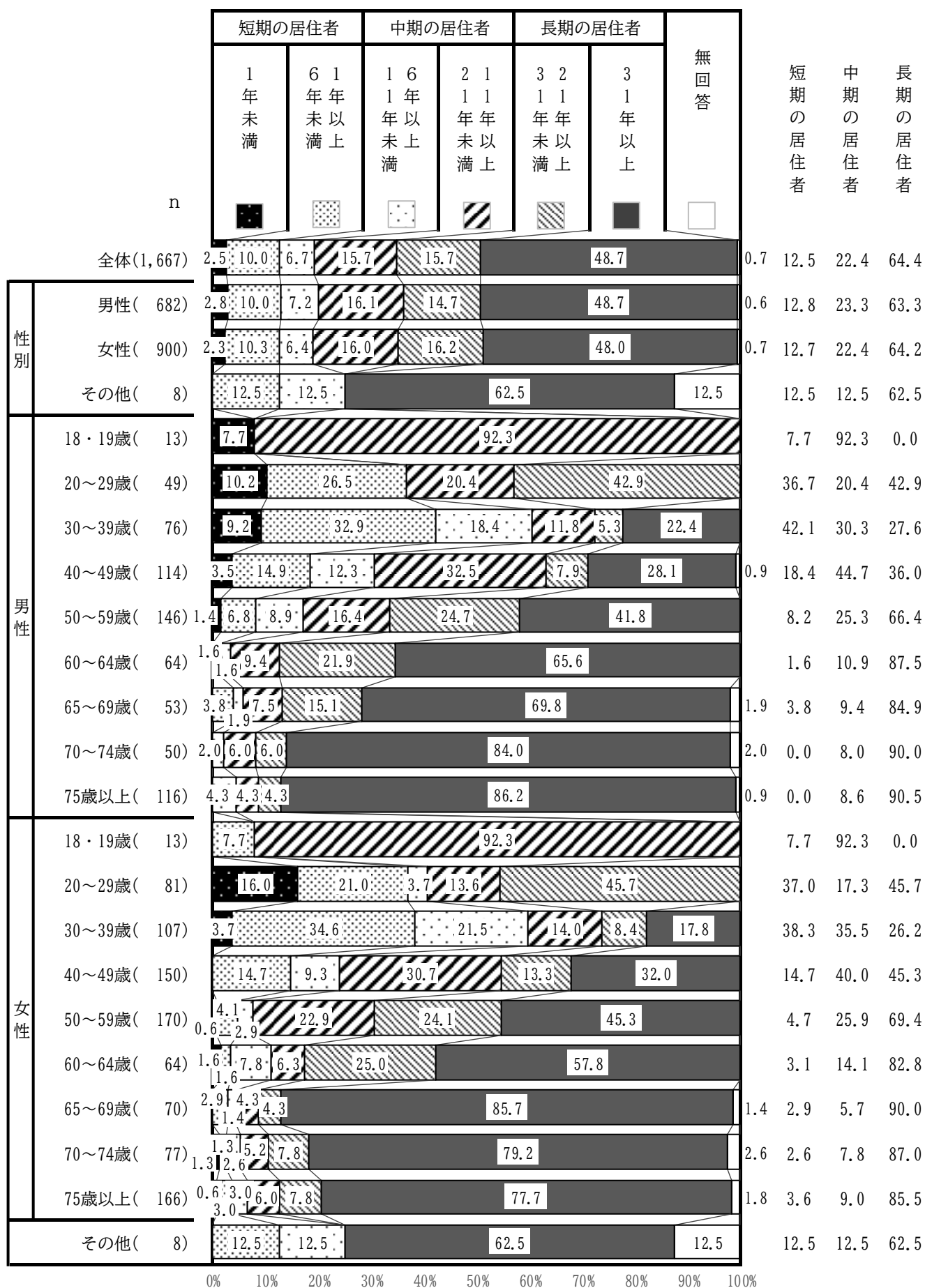
【性・年齢別】

男性において、『短期の居住者』は 20～29 歳（36.7%）、30～39 歳（42.1%）が 3 割以上と高くなっている。『中期の居住者』は 40～49 歳（44.7%）が 4 割台半ばと高くなっている。『長期の居住者』は 60 歳代以降が 8 割以上と高くなっている。

女性において、『短期の居住者』は男性同様に 20～29 歳（37.0%）、30～39 歳（38.3%）が 4 割近くと高くなっている。『中期の居住者』は 30～39 歳（35.5%）、40～49 歳（40.0%）が 3 割以上と高くなっている。『長期の居住者』は 60 歳代以降が 8 割以上と高くなっている。「31 年以上」は 65～69 歳（85.7%）が 8 割台半ばと最も高くなっている。（図表 1-2）

Ⅲ 結果と分析 1. 居住年数・永住意向について

<図表1-2> 居住年数／性・年齢別

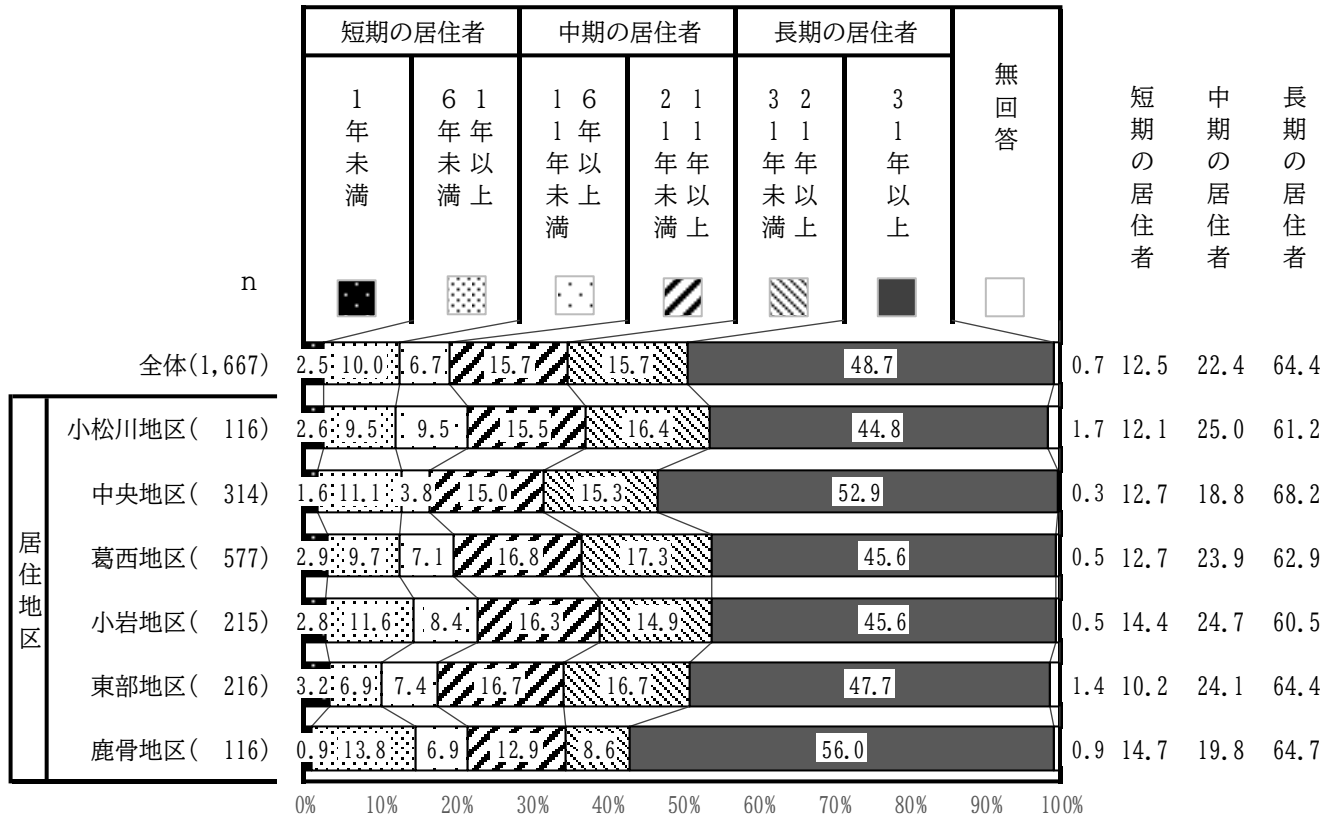


【居住地区別】

『長期の居住者』は全ての地区で6割を超え、中央地区（68.2%）が7割近くと最も高くなっている。

（図表1－3）

<図表1－3> 居住年数／居住地区別

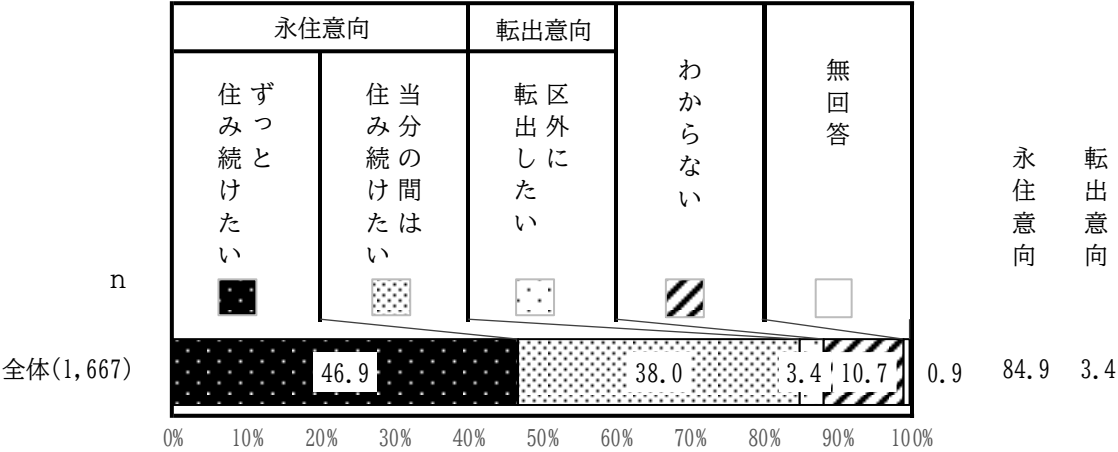


(2) 永住意向

◇『永住意向』は 84.9%を占める。

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-4> 永住意向

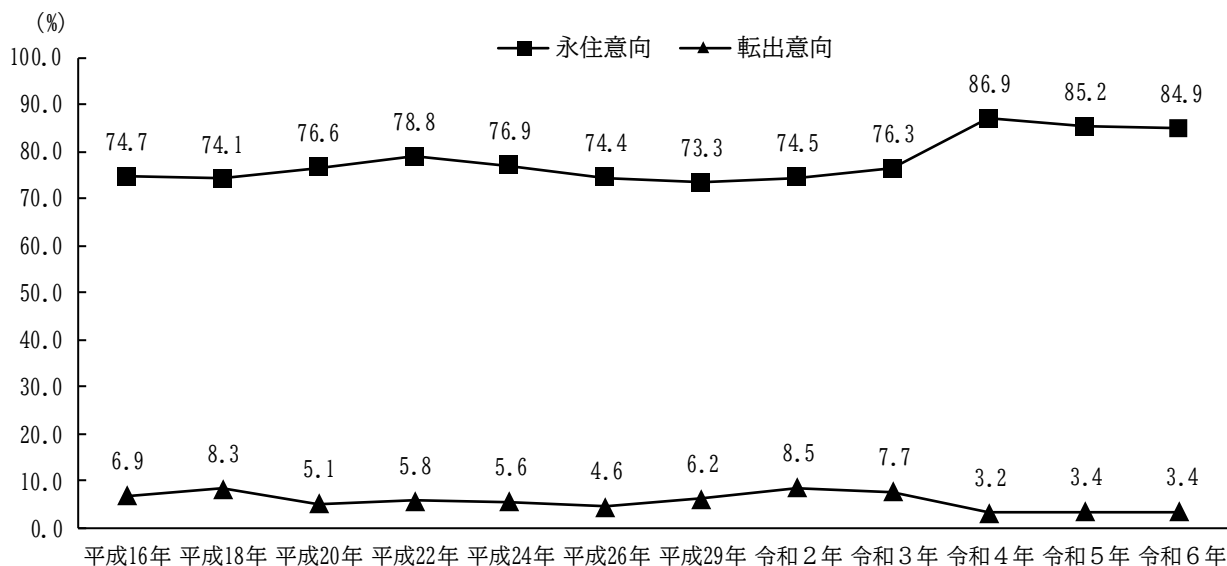


「ずっと住み続けたい」が 46.9%、「当分の間は住み続けたい」が 38.0%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」）は 84.9%となっている。一方、『転出意向』（「区外に移したい」）は 3.4%となっている。（図表 1－4）

【時系列比較】

『永住意向』は、前回の令和5年度より0.3ポイント減少しているが、8割台半ばと高い。一方、『転出意向』は前回の令和5年度と変わらず3.4%となっている。（図表1－5）

<図表1－5> 永住意向／時系列比較



※令和3年までは『永住意向』（「住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」）、『転出意向』（「できれば区外へ移りたい」＋「区外へ移るつもり」）としていたため、令和4年以降とは選択肢が異なっている。

【性・年齢別】

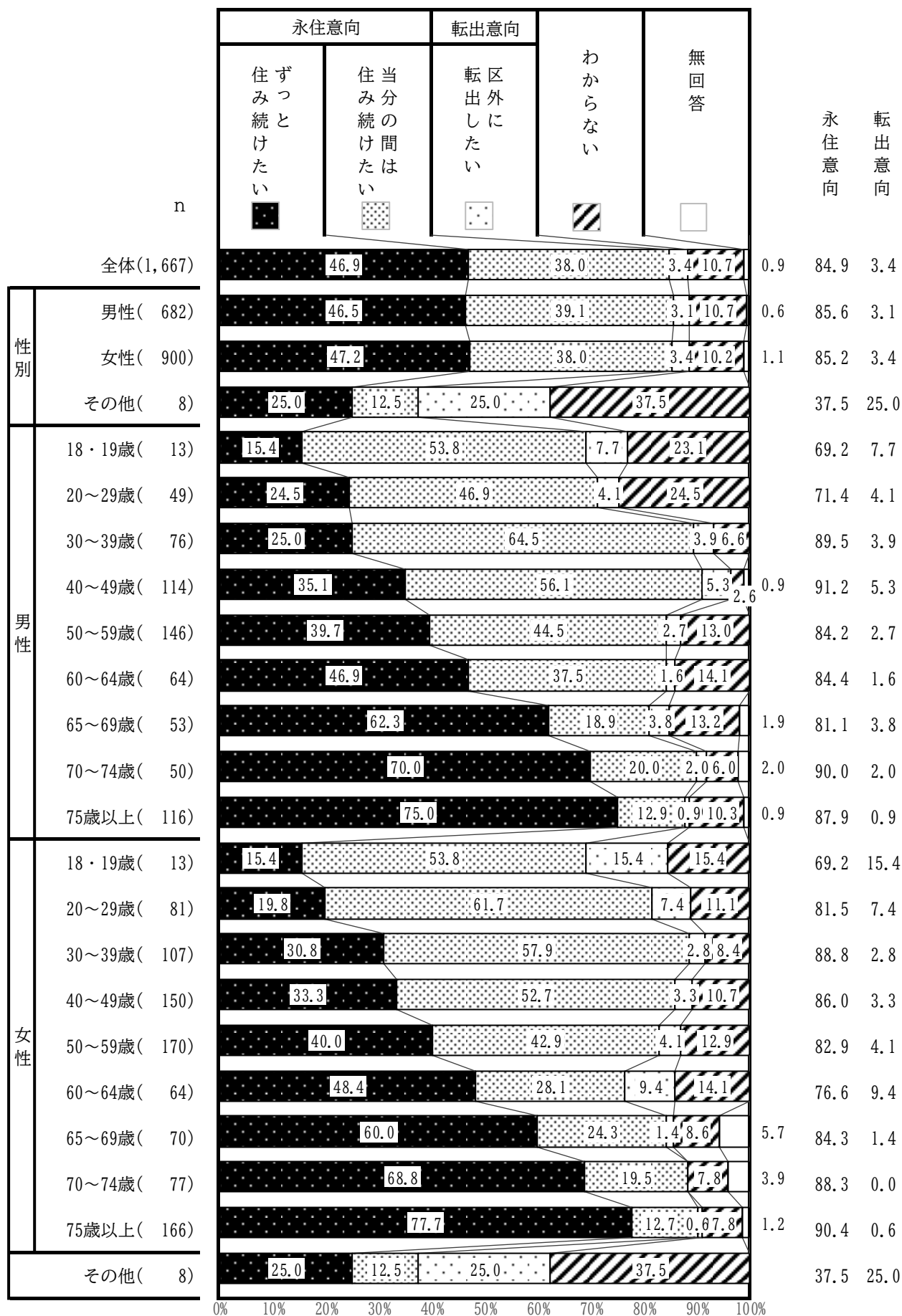
『永住意向』は男性、女性ともに8割台半ばとなっている。

男性において、『永住意向』は40～49歳（91.2%）が9割強と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は年代が上がるごとに高くなる傾向がみられる。

女性において、『永住意向』は75歳以上（90.4%）が約9割と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は男性同様に年代が上がるごとに高くなる傾向がみられる。（図表1－6）

Ⅲ 結果と分析 1. 居住年数・永住意向について

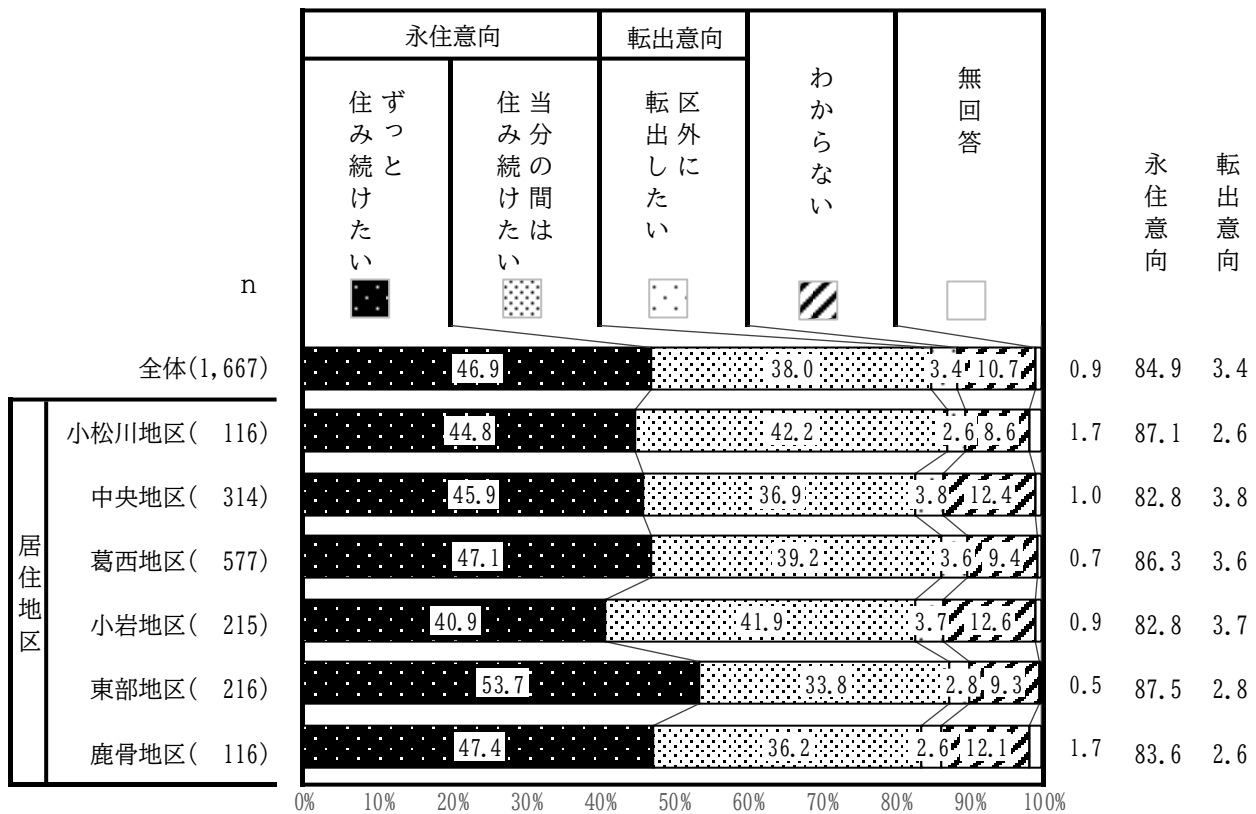
<図表1－6> 永住意向／性・年齢別



【居住地区別】

『永住意向』は全ての地区が8割を超えている。「ずっと住み続けたい」は東部地区（53.7%）が5割強と高くなっている。（図表1－7）

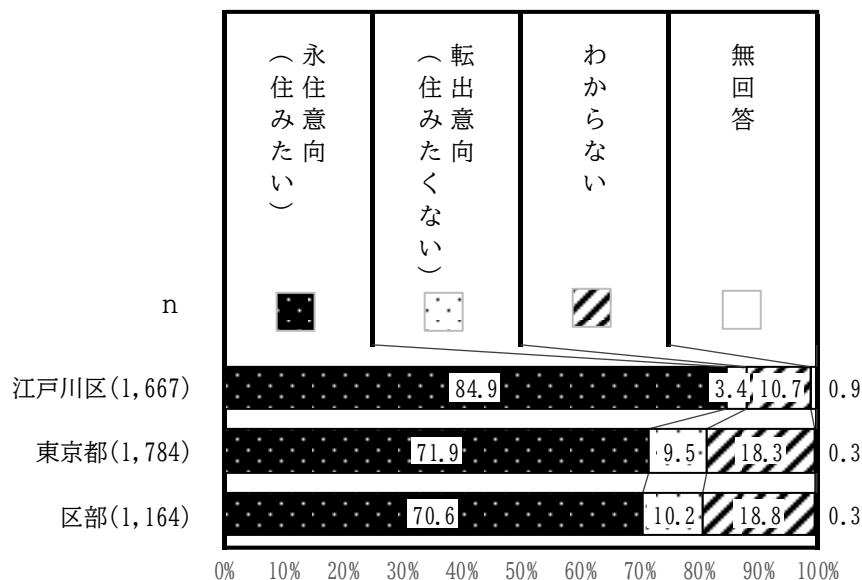
<図表1－7> 永住意向／居住地区別



【東京都・区部との比較】

江戸川区の『永住意向』（「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」）が 84.9%に対して、東京都では 71.9%、区部では 70.6%と江戸川区が高くなっている。一方、江戸川区の『転出意向』（「区外に転出したい」）が 3.4%に対して、東京都は 9.5%、区部は 10.2%と高くなっている。（図表 1－8）

<図表 1－8> 永住意向／東京都・区部との比較



（注 1）東京都と区部は東京定住意向の調査結果

（注 2）表頭の（）内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（令和 5 年 6 月調査）

（注 3）江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、『永住意向』は、江戸川区の「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、『転出意向』は、江戸川区の「区外に転出したい」の数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。

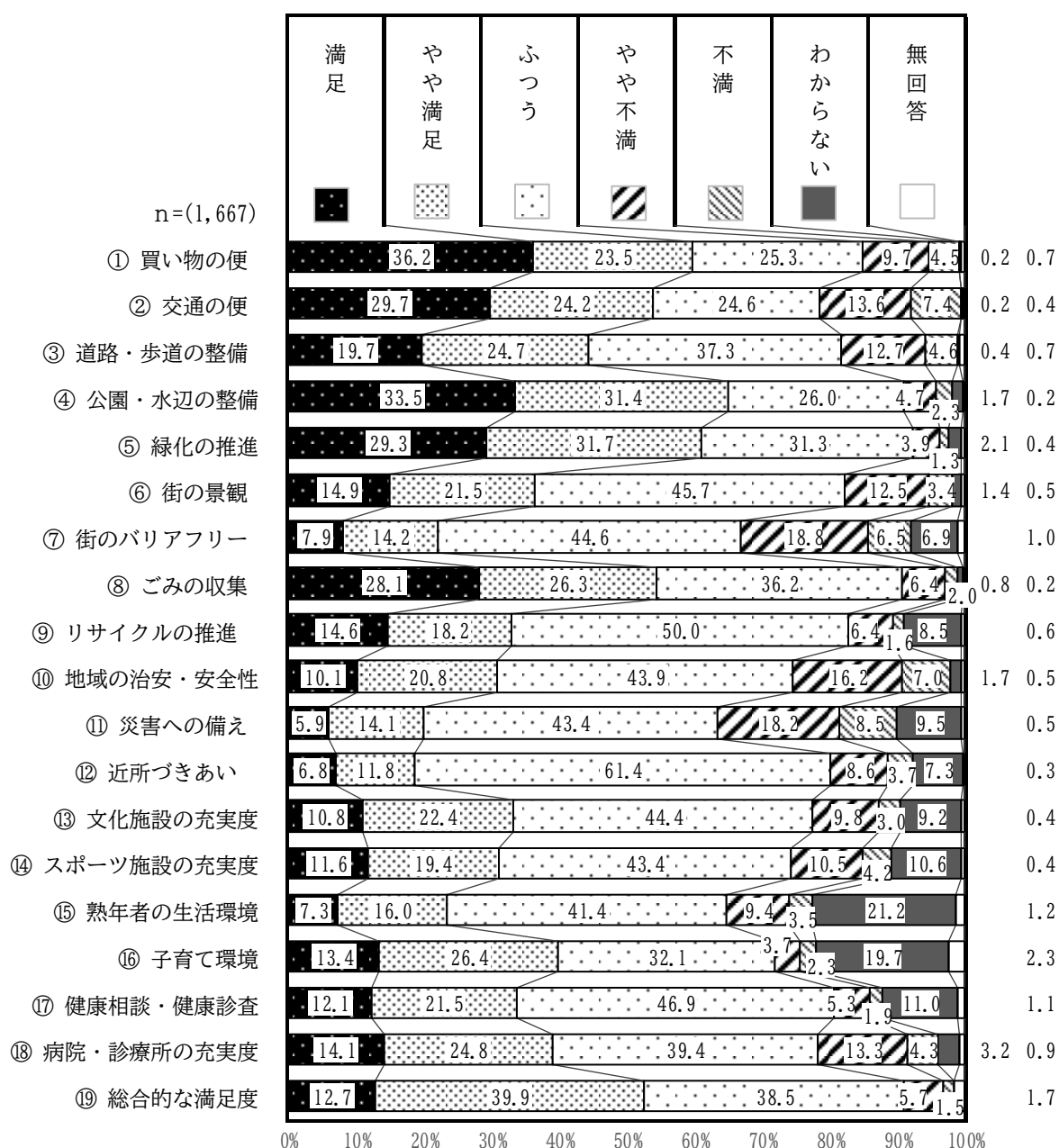
2. 江戸川区の現況について

(1) 各項目の満足度

◇【① 買い物の便】、【④ 公園・水辺の整備】の「満足」が3割を超えている。

問3 ①～⑲の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。
(それぞれ○は1つずつ)

<図表2-1>各項目の満足度

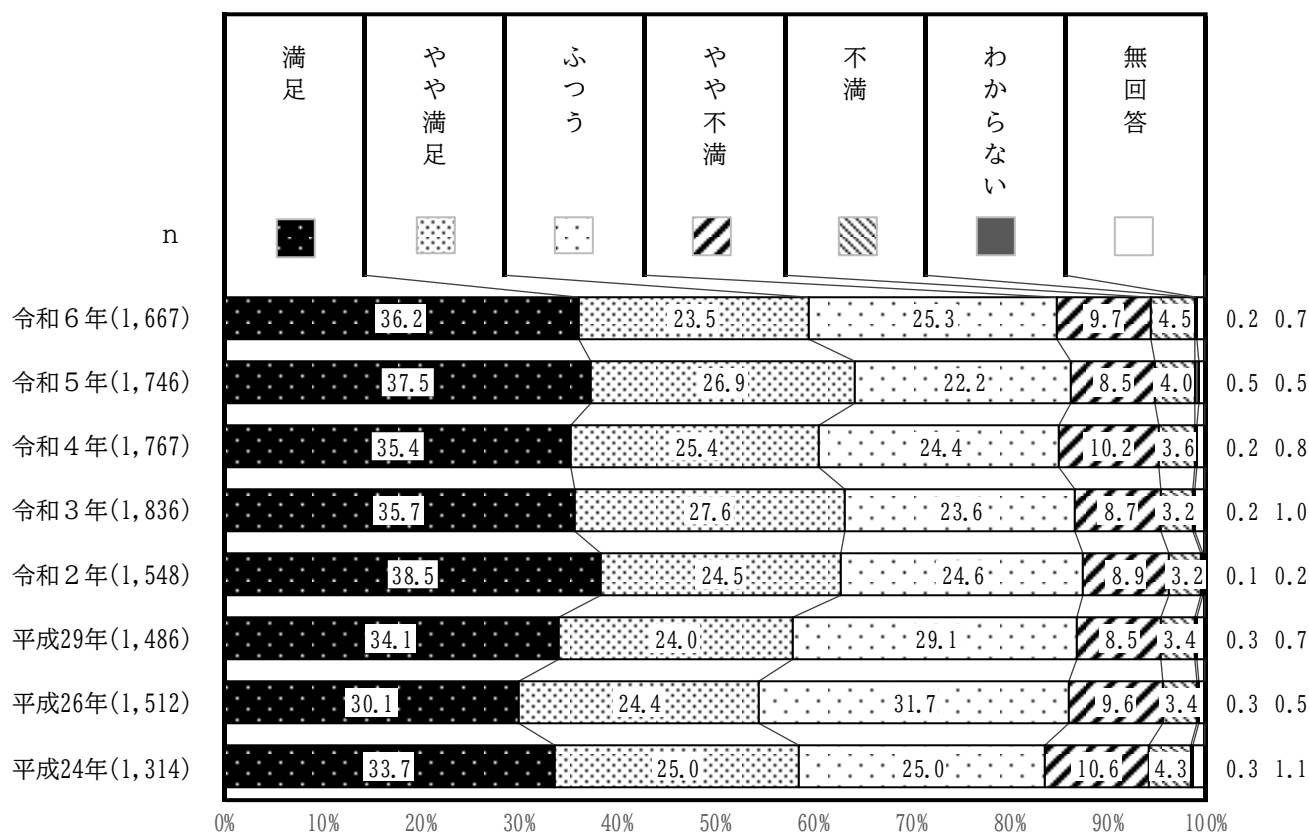


「満足」は【① 買い物の便】(36.2%)が4割近くと最も高く、次いで【④ 公園・水辺の整備】(33.5%)、【②交通の便】(29.7%)、【⑤緑化の推進】(29.3%)と続いている。一方、「不満」は【⑪ 災害への備え】(8.5%)が最も高くなっているが、いずれの項目でも1割未満となっている。(図表2-1)

【① 買い物の便／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」が1.3ポイント、「やや満足」が3.4ポイント減少している。
一方、「不満」は0.5ポイント、「やや不満」は1.2ポイント増加している。（図表2-2）

<図表2-2>① 買い物の便／時系列比較

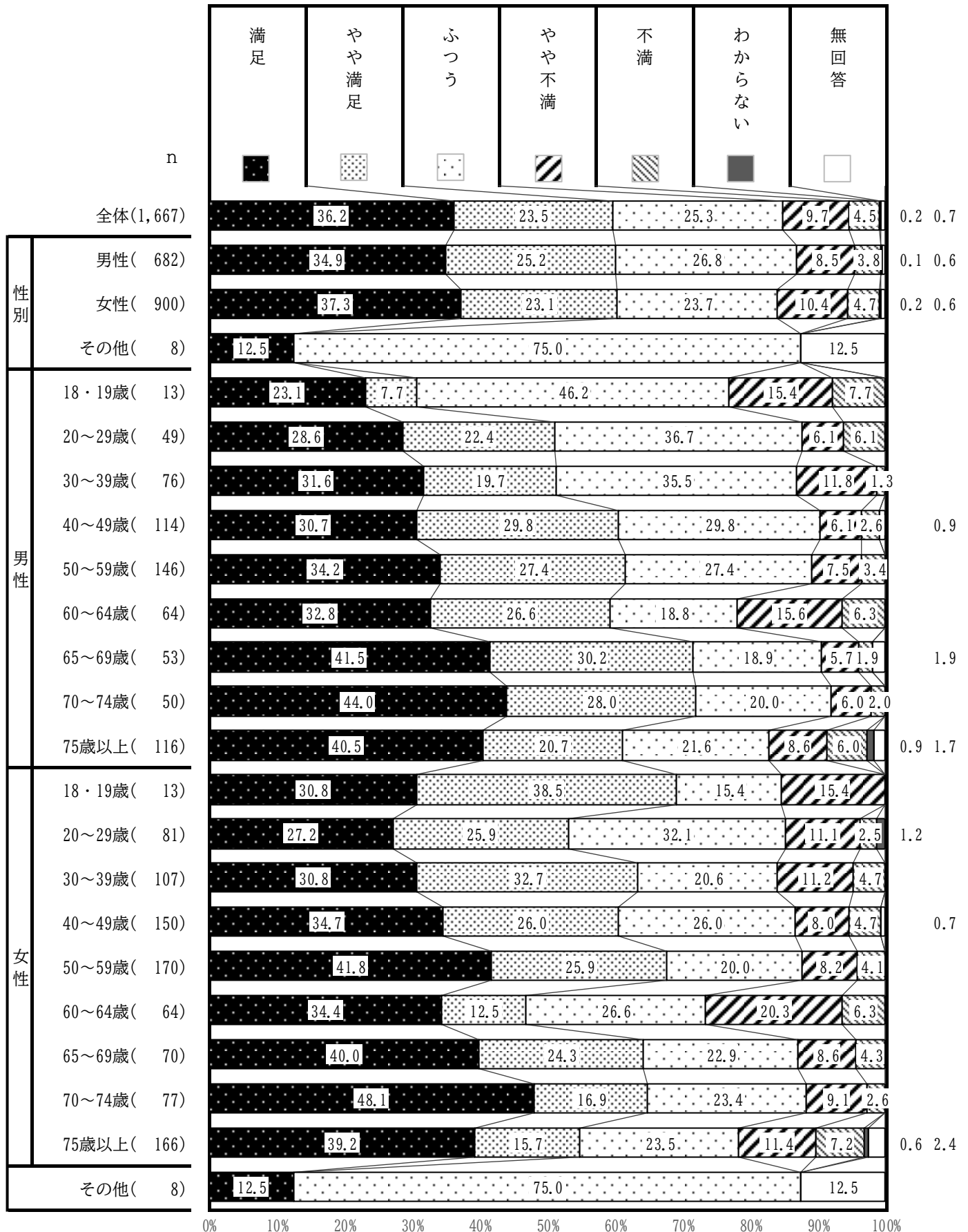


【① 買い物の便／性・年齢別】

男性において、「満足」は70～74歳（44.0%）が4割台半ばと最も高く、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳、70～74歳が7割強と高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（48.1%）が5割近くと高くなっている。「やや不満」は60～64歳（20.3%）が約2割と高くなっている。（図表2-3）

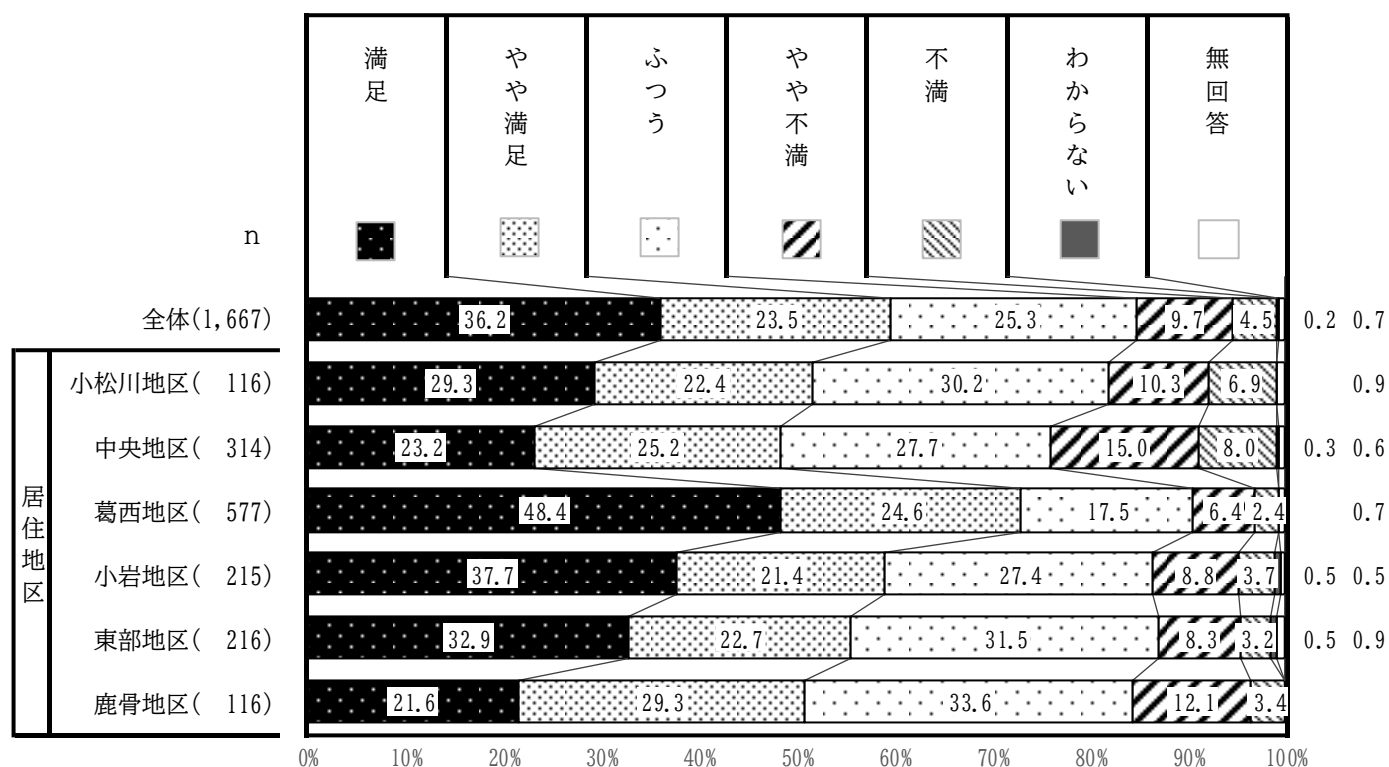
<図表2-3>① 買い物の便／性・年齢別



【① 買い物の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区（48.4%）が5割近くと高く、中央地区（23.2%）、鹿骨地区（21.6%）が2割強と低くなっている。（図表2－4）

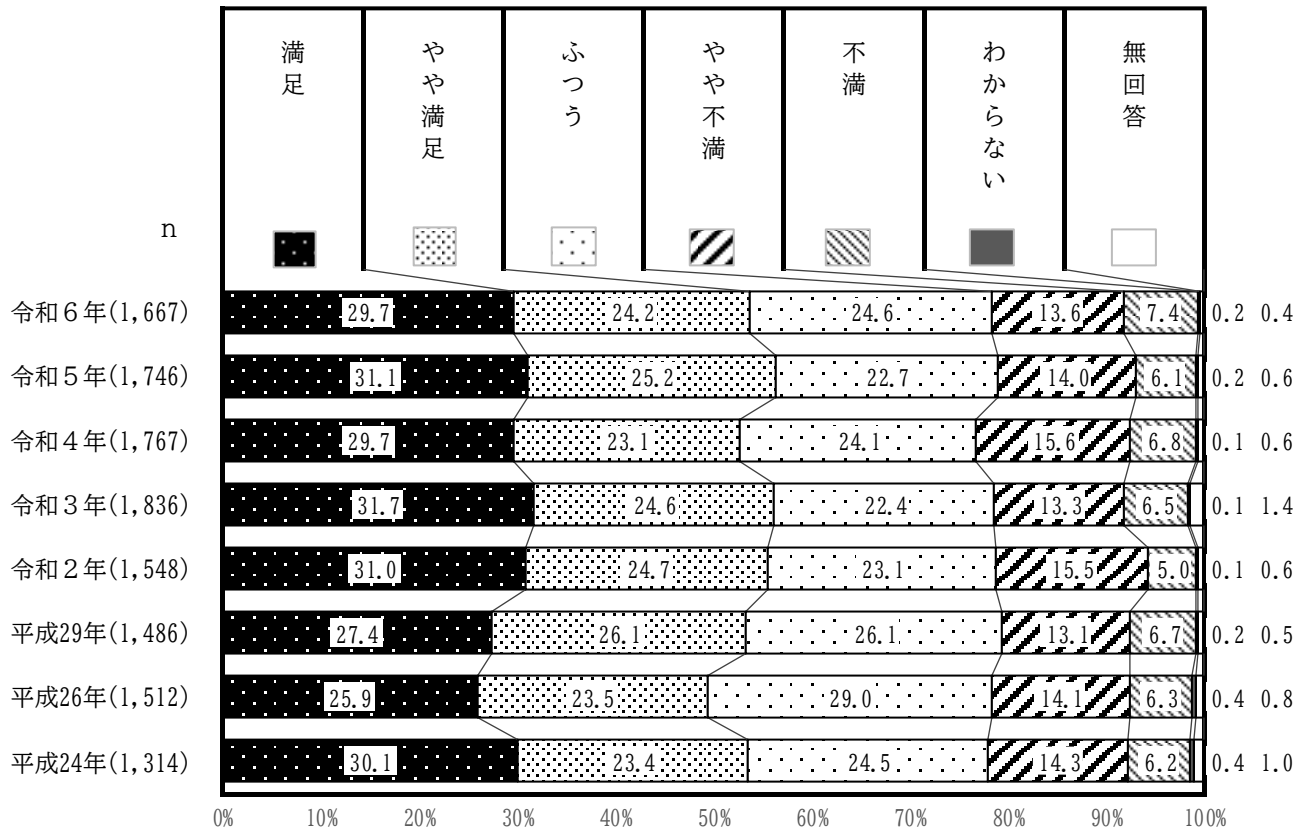
<図表2－4>① 買い物の便／居住地区別



【② 交通の便／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」が1.4ポイント、「やや満足」が1.0ポイント減少している。
一方、「不満」は1.3ポイント増加、「やや不満」は0.4ポイント減少している。（図表2-5）

<図表2-5>② 交通の便／時系列比較



【② 交通の便／性・年齢別】

「やや満足」は男性（26.5%）が女性（23.3%）に比べて3.2ポイント高くなっている。

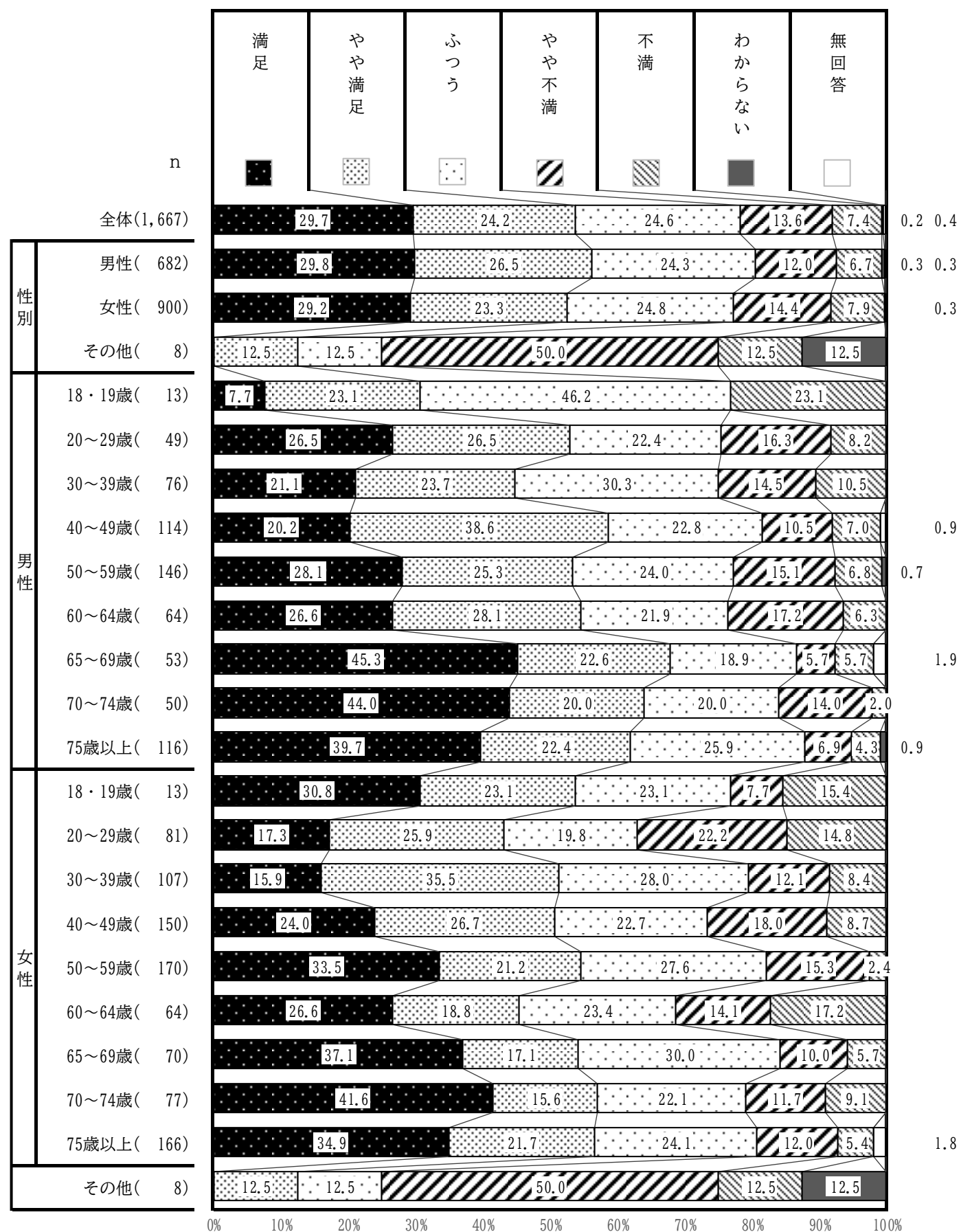
男性において、「満足」は65歳以降で高く、65～69歳（45.3%）が4割台半ばと最も高くなっている。

「やや満足」は40～49歳（38.6%）が4割近くと高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（41.6%）が4割強と高く、20～29歳（17.3%）、30～39歳（15.9%）が1割台と低くなっている。「やや満足」は30～39歳（35.5%）が3割台半ばと高くなっている。

（図表2-6）

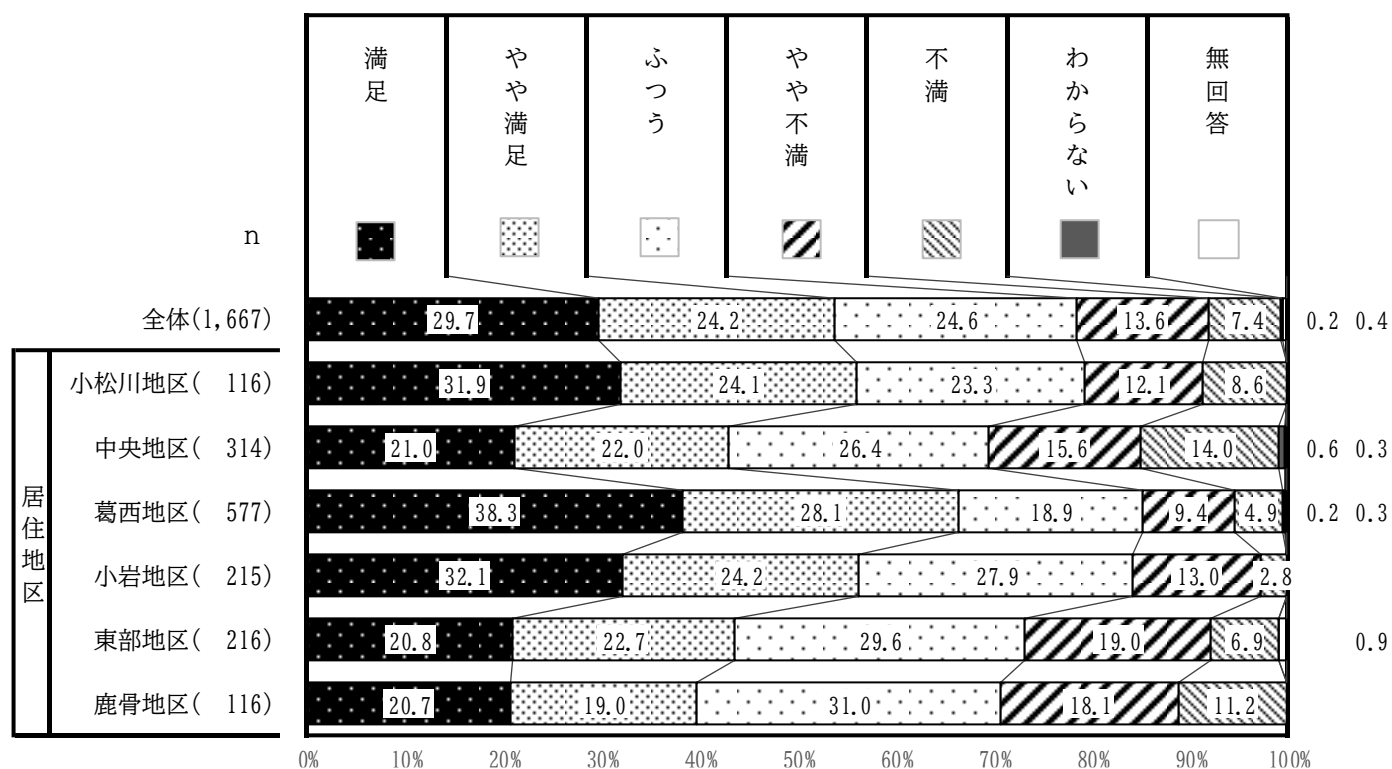
<図表2-6>② 交通の便／性・年齢別



【② 交通の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区（38.3%）が4割近くと高く、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割近くと高くなっている。（図表2－7）

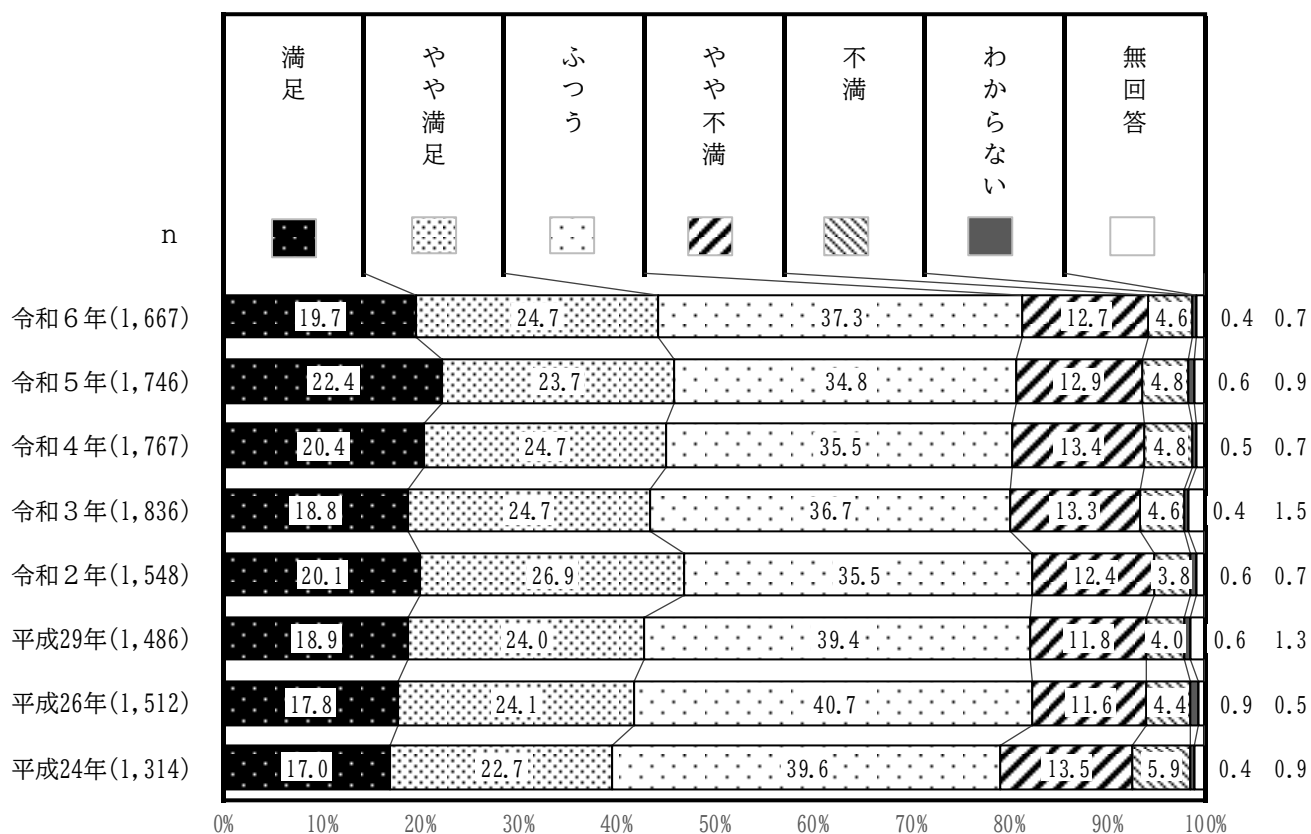
<図表2－7>② 交通の便／居住地区別



【③ 道路・歩道の整備／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は2.7ポイント減少、「やや満足」は1.0ポイント増加している。
一方、「不満」は0.2ポイント、「やや不満」は0.2ポイント減少している。（図表2－8）

<図表2－8>③ 道路・歩道の整備／時系列比較



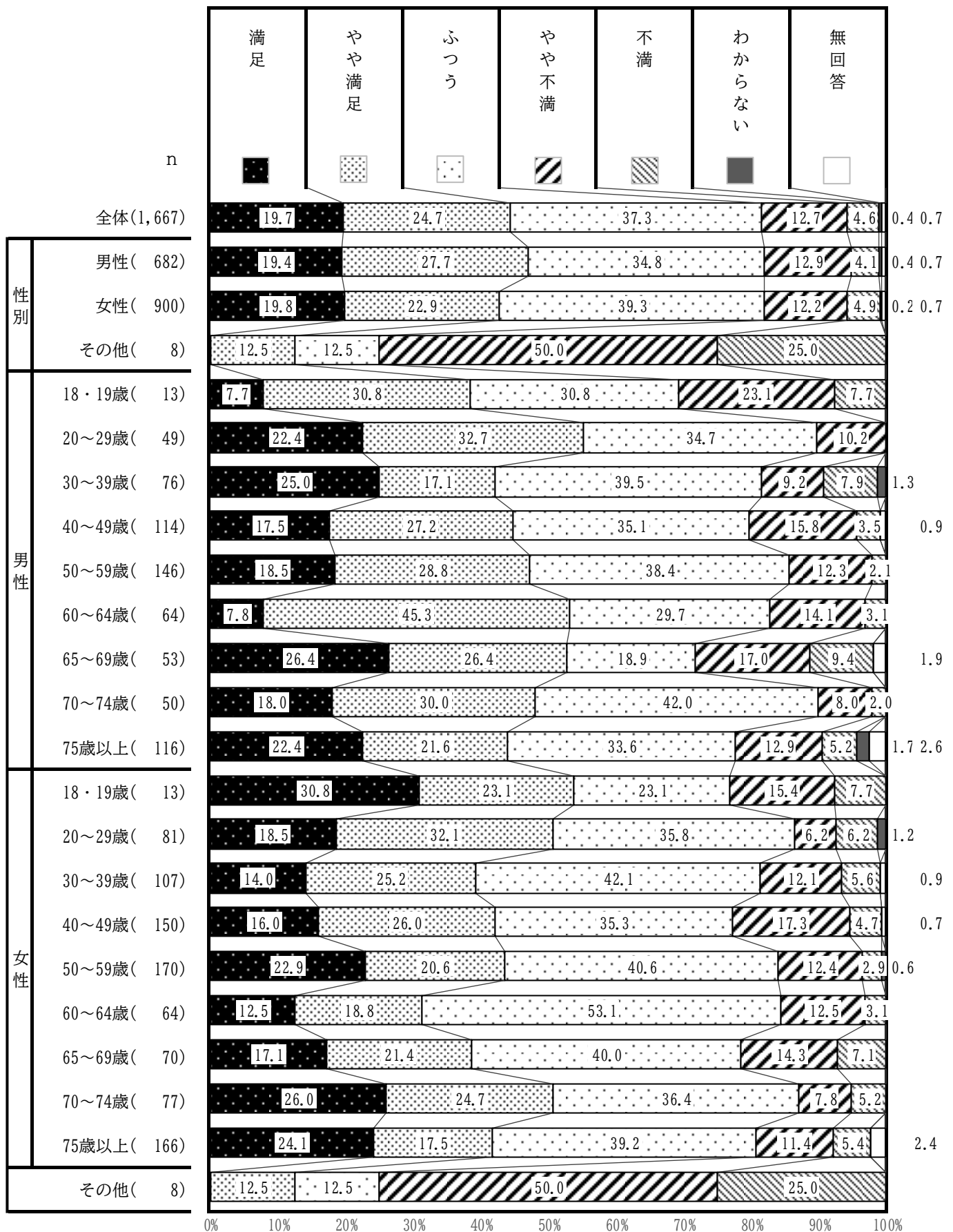
【③ 道路・歩道の整備／性・年齢別】

「やや満足」は男性（27.7%）が女性（22.9%）に比べて4.8ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は60～64歳（45.3%）が4割台半ばと高く、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が5割台半ばと高くなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は60～64歳が3割強と低くなっている。（図表2－9）

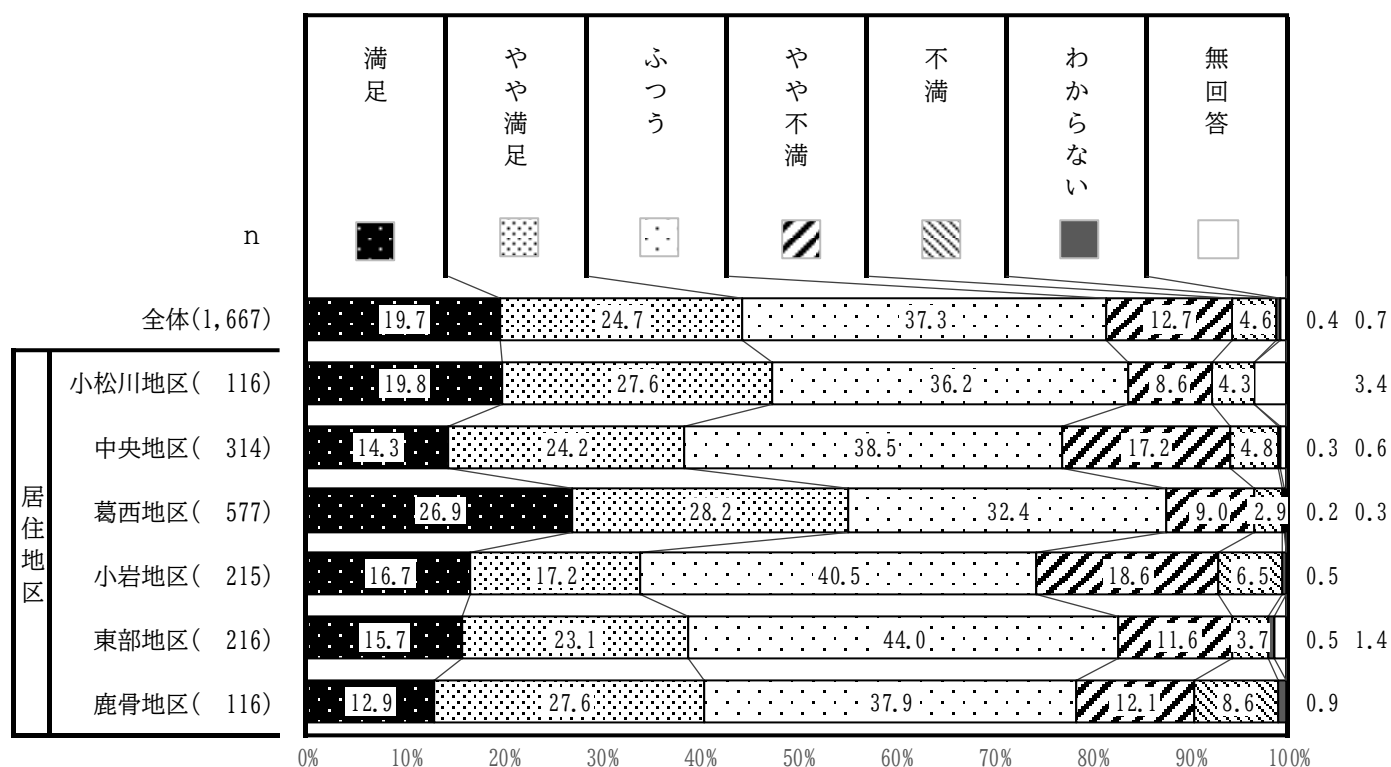
<図表2-9>③ 道路・歩道の整備／性・年齢別



【③ 道路・歩道の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区（26.9％）が3割近くと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割台半ばと高く、小岩地区が3割強と低くなっている。（図表2－10）

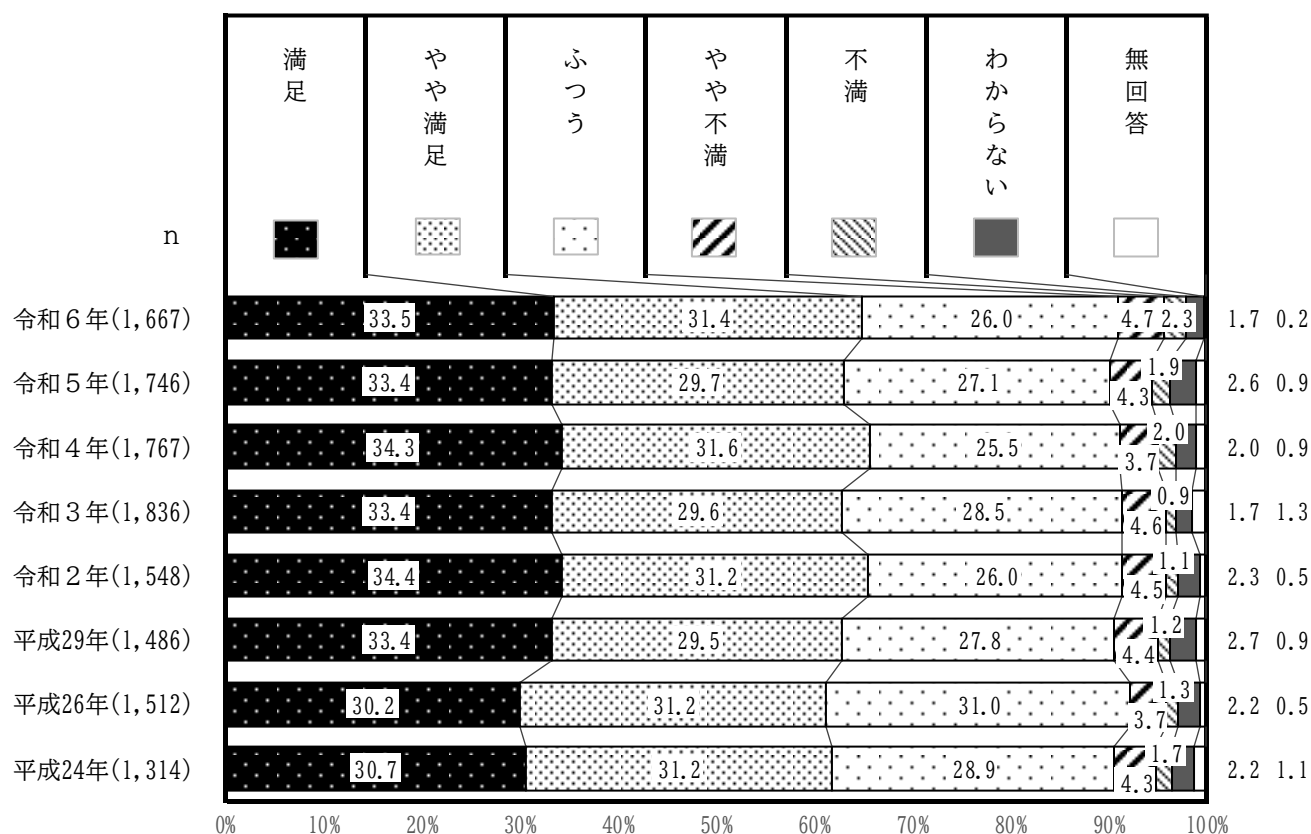
<図表2－10>③ 道路・歩道の整備／居住地区別



【④ 公園・水辺の整備／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.1ポイント、「やや満足」は1.7ポイント増加している。
一方、「不満」は0.4ポイント、「やや不満」は0.4ポイント増加している。(図表2-11)

<図表2-11>④ 公園・水辺の整備／時系列比較



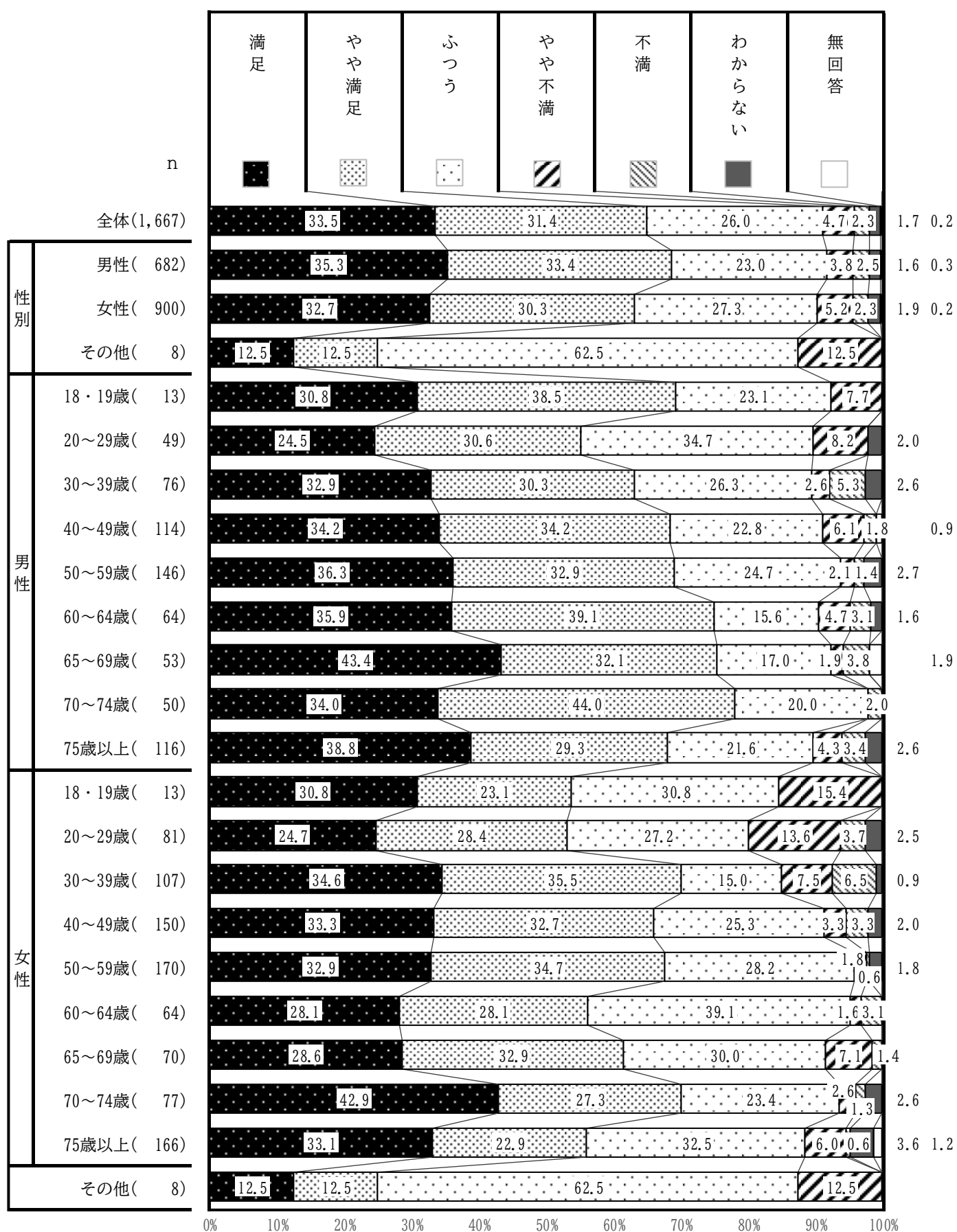
【④ 公園・水辺の整備／性・年齢別】

「やや満足」は男性（33.4%）が女性（30.3%）に比べて3.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は65～69歳（43.4%）が4割強と高く、「満足」と「やや満足」の合計は60歳代、70～74歳が7割台と高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（42.9%）が4割強と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が5割強と低くなっている。(図表2-12)

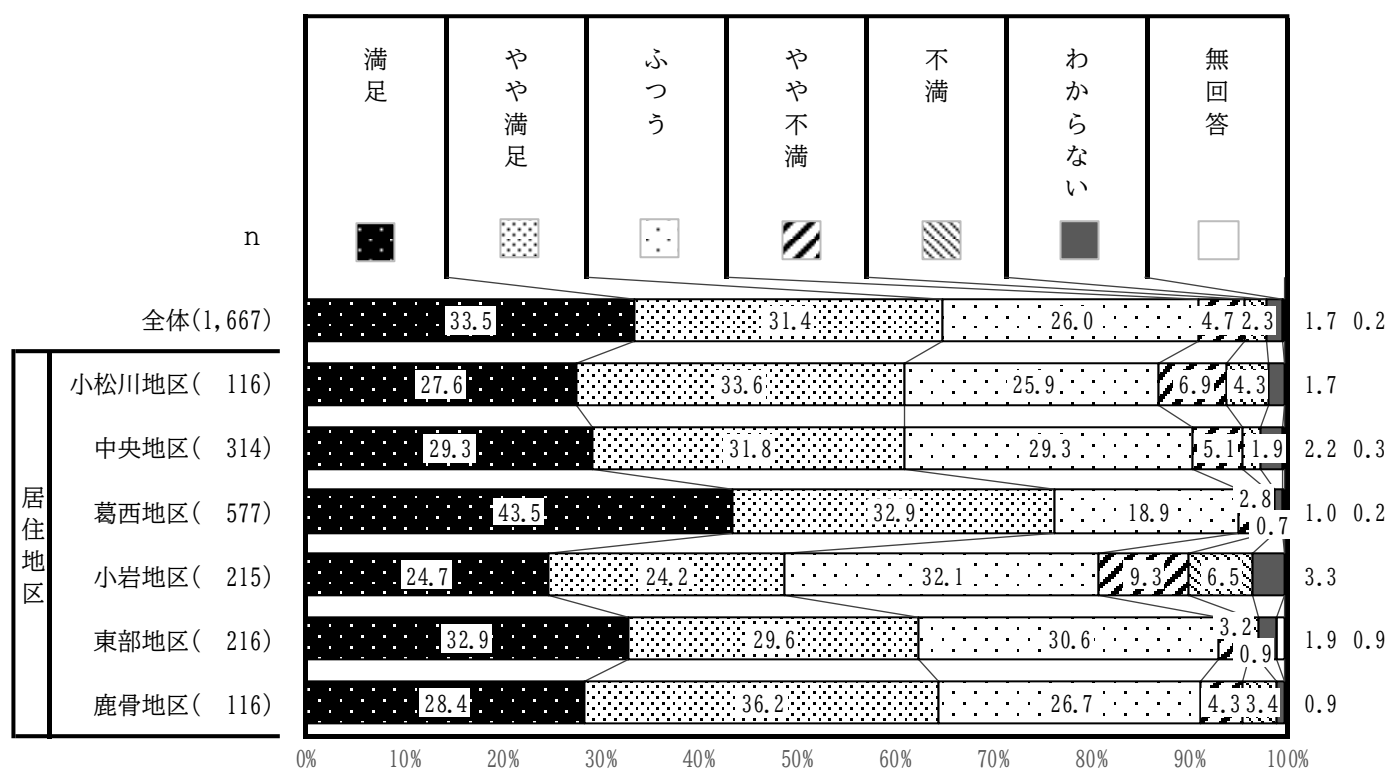
<図表2-12>④ 公園・水辺の整備／性・年齢別



【④ 公園・水辺の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区（43.5%）が4割強と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割台半ばと高く、小岩地区が5割近くと低くなっている。（図表2－13）

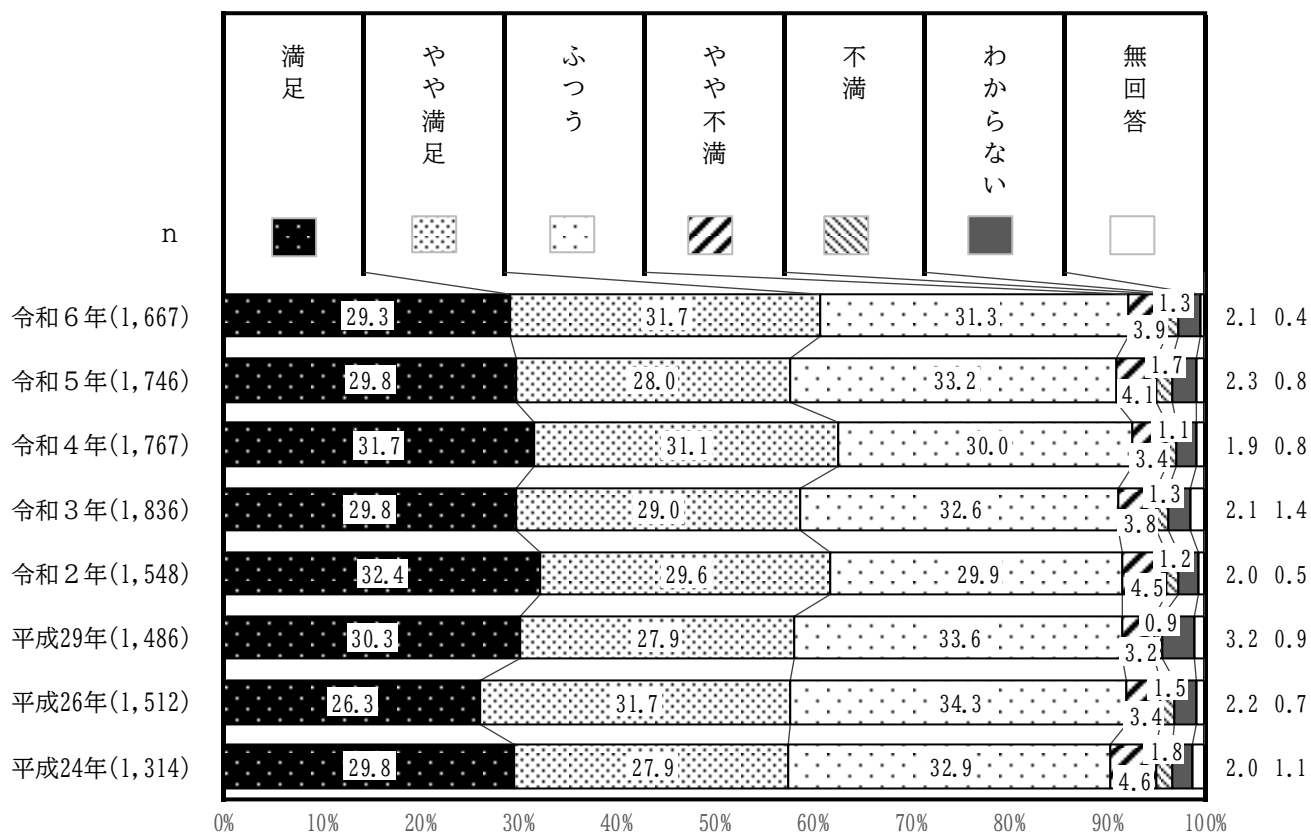
<図表2－13>④ 公園・水辺の整備／居住地区別



【⑤ 緑化の推進／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.5ポイント減少、「やや満足」は3.7ポイント増加している。
一方、「不満」は0.4ポイント、「やや不満」は0.2ポイント減少している。(図表2-14)

<図表2-14>⑤ 緑化の推進／時系列比較

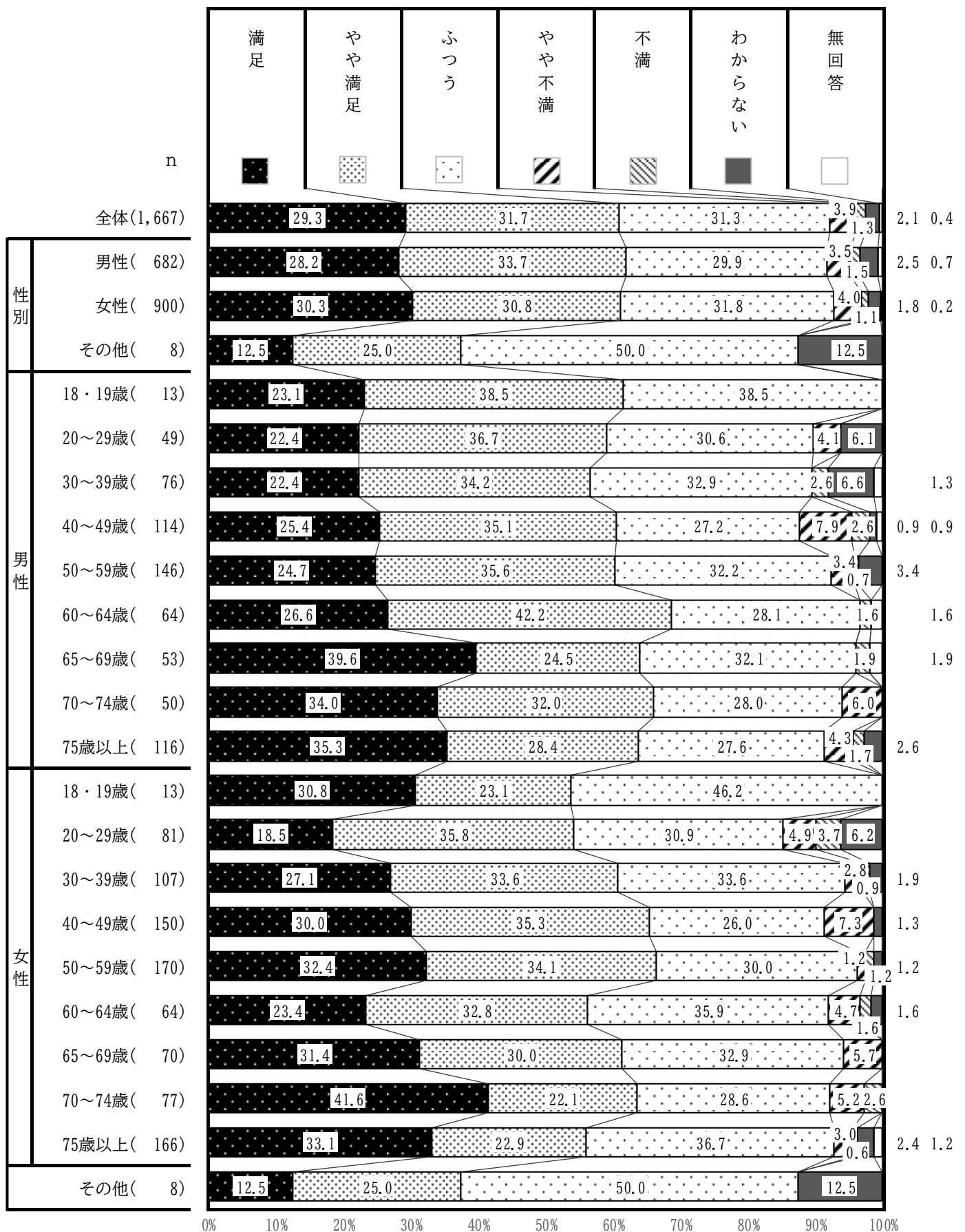


【⑤ 緑化の推進／性・年齢別】

男性において、「満足」は65～69歳（39.6%）が4割弱と高く、「やや満足」は60～65歳（42.2%）が4割強と高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（41.6%）が4割強と高く、20～29歳（18.5%）が2割近くと低くなっている。(図表2-15)

<図表2-15>⑤ 緑化の推進／性・年齢別

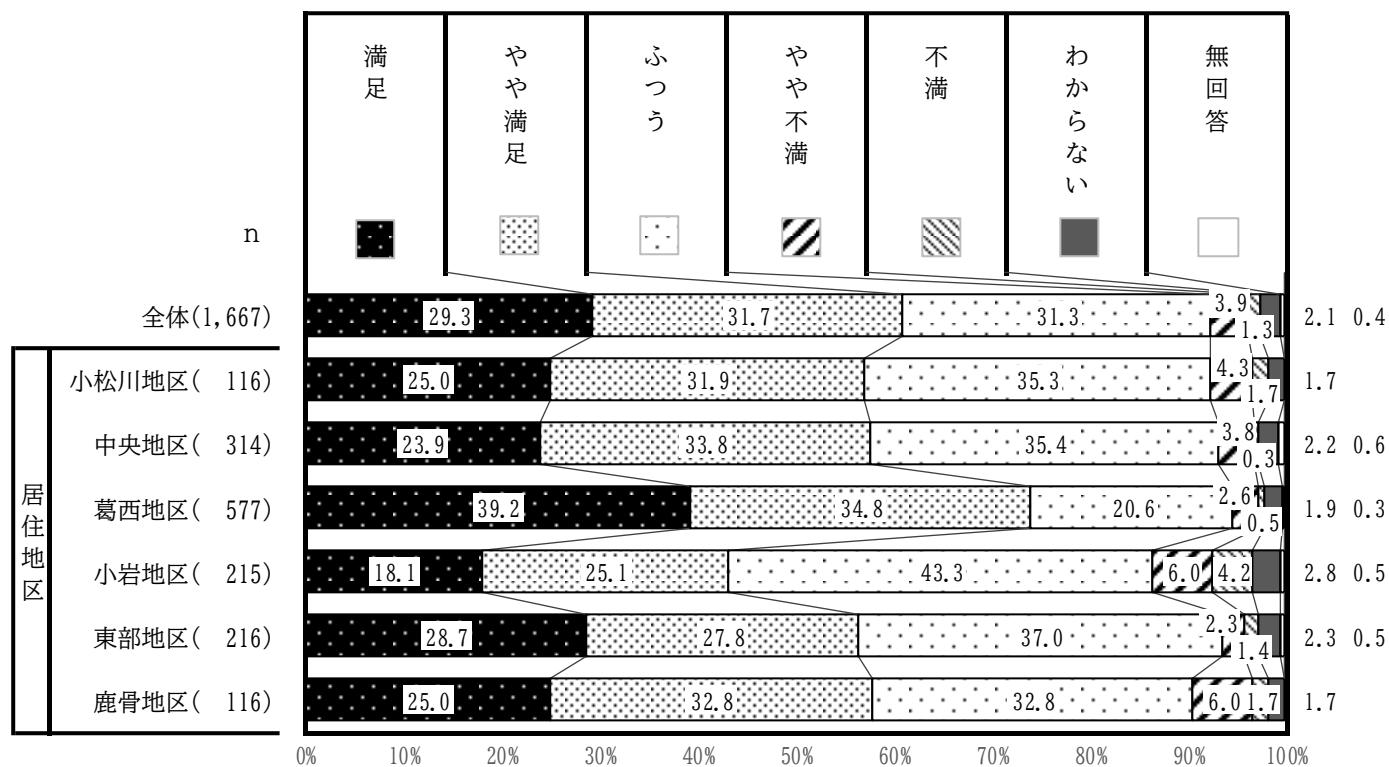


【⑤ 緑化の推進／居住地区別】

「満足」は葛西地区（39.2％）が4割弱と高く、小岩地区（18.1％）が2割近くと低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割台半ばと高く、小岩地区が4割強と低くなっている。

（図表2－16）

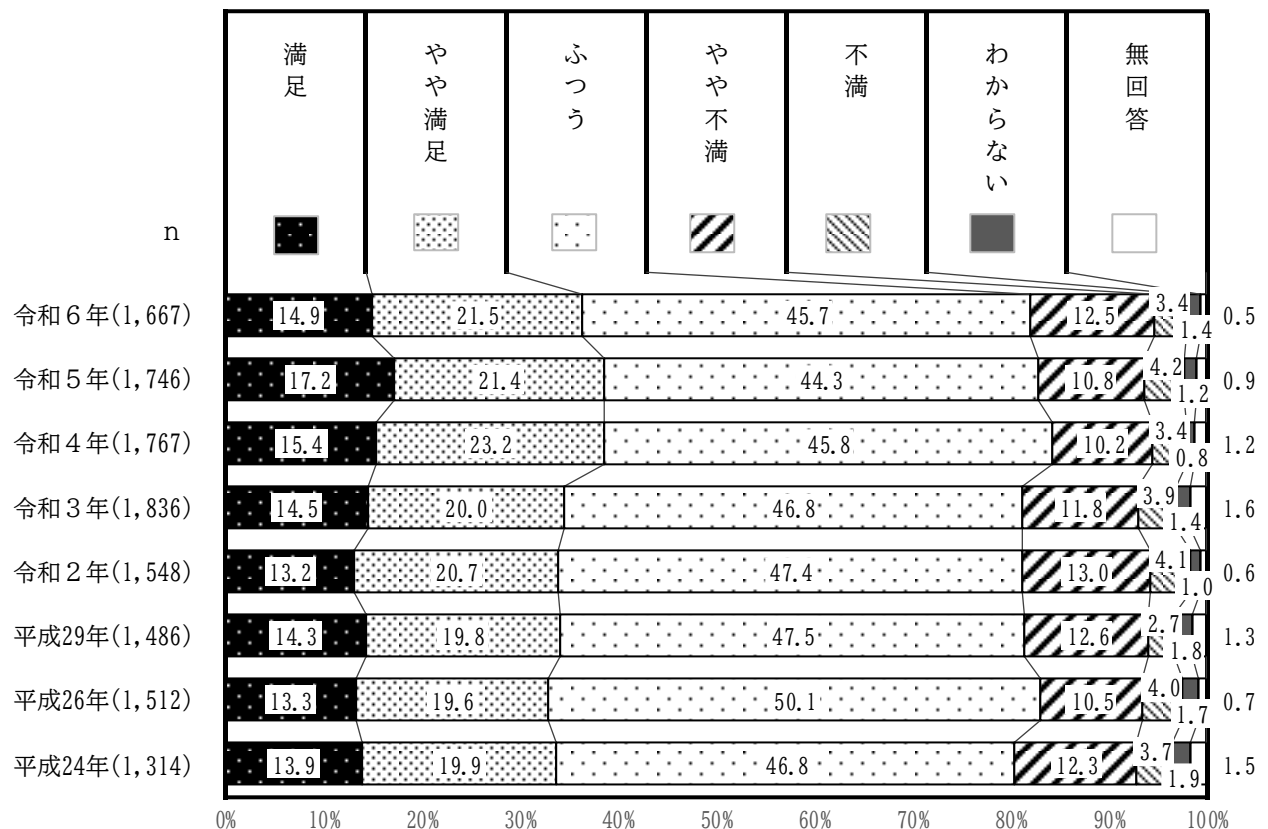
<図表2－16>⑤ 緑化の推進／居住地区別



【⑥ 街の景観／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は2.3ポイント減少、「やや満足」は0.1ポイント増加している。
一方、「不満」は0.8ポイント減少、「やや不満」は1.7ポイント増加している。(図表2-17)

<図表2-17>⑥ 街の景観／時系列比較



【⑥ 街の景観／性・年齢別】

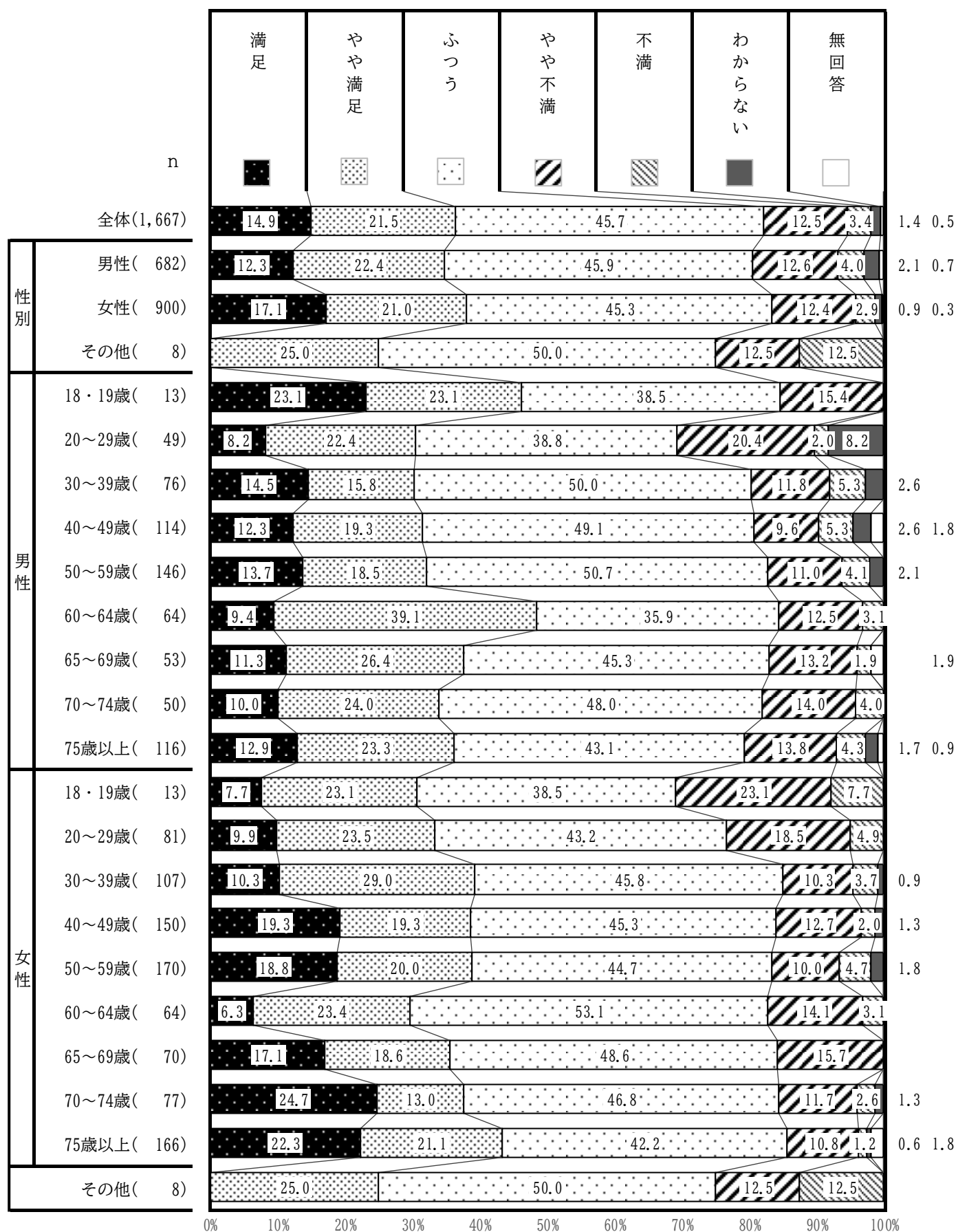
「満足」は女性（17.1％）が男性（12.3％）に比べて4.8ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は60～64歳（39.1％）が4割弱と高く、「満足」と「やや満足」の合計は5割近くと高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（24.7％）、75歳以上（22.3％）が2割を超え高く、60～64歳が6.3％と低い。(図表2-18)

Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

<図表2-18>⑥ 街の景観／性・年齢別

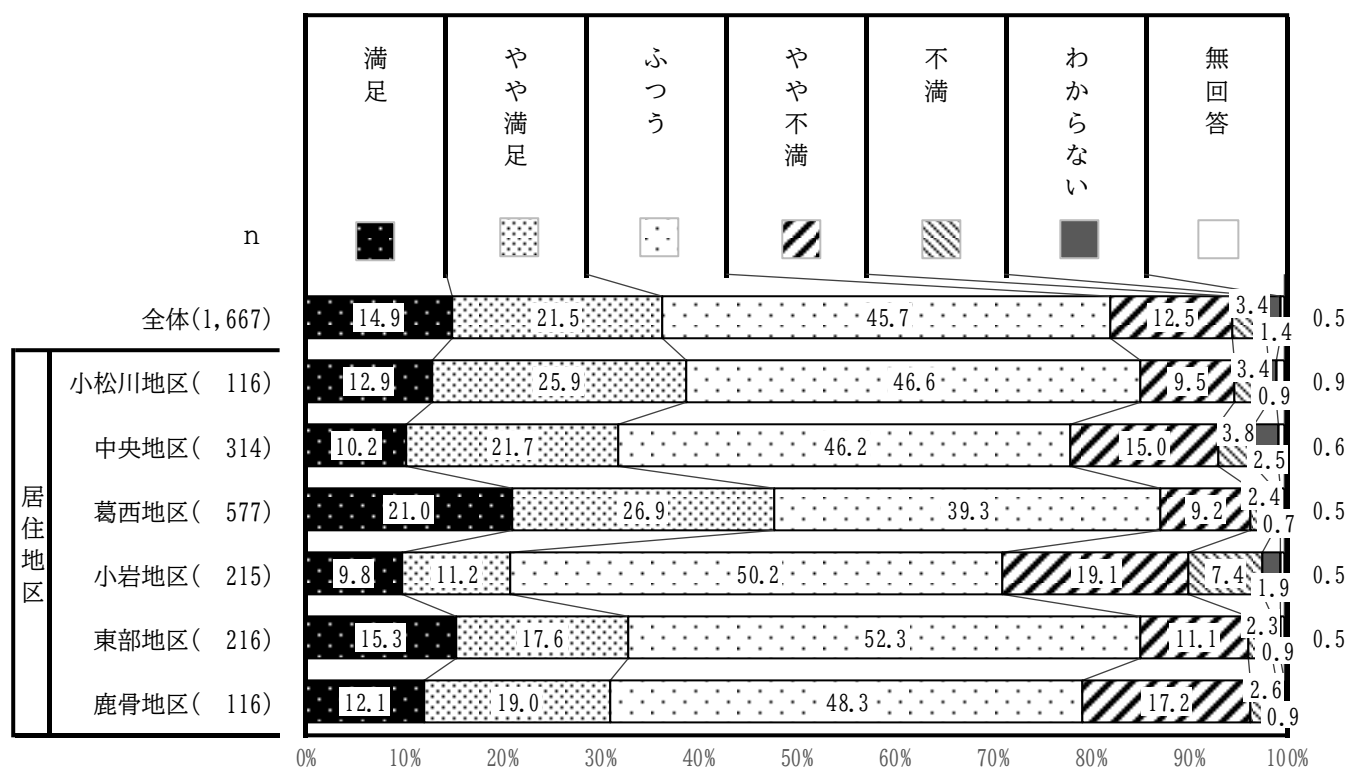


【⑥ 街の景観／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割近くと高くなっている。

「不満」と「やや不満」の合計は小岩地区が3割近くと高くなっている。(図表2-19)

<図表2-19>⑥ 街の景観／居住地区別

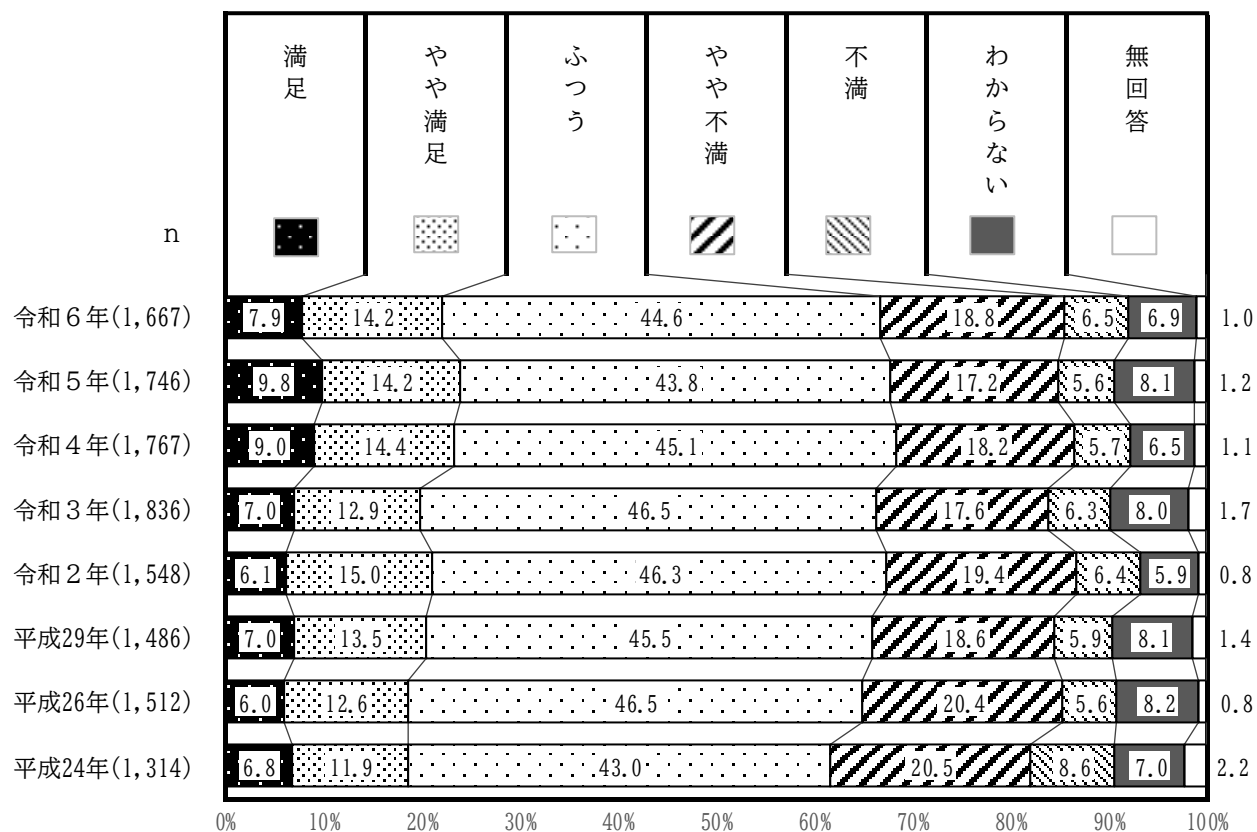


【⑦ 街のバリアフリー／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は1.9ポイント減少している。

一方、「不満」は0.9ポイント、「やや不満」は1.6ポイント増加している。(図表2-20)

<図表2-20>⑦ 街のバリアフリー／時系列比較



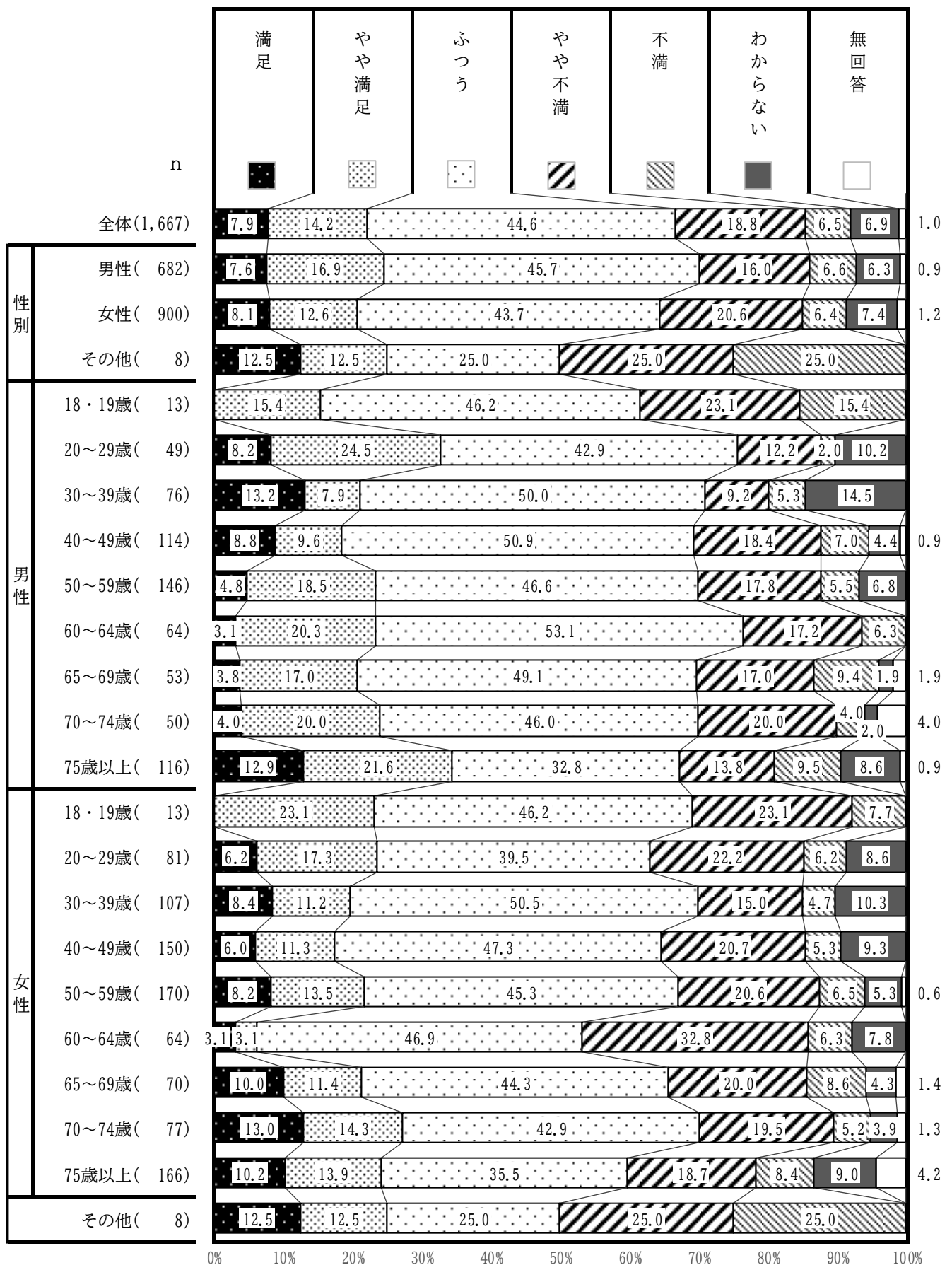
【⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別】

「やや満足」は男性(16.9%)が女性(12.6%)に比べて4.3ポイント高く、「やや不満」は女性(20.6%)が男性(16.0%)に比べて4.6ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は20～29歳(24.5%)が2割台半ばと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、75歳以上が3割を超えて高くなっている。

女性において、「やや不満」は60～64歳(32.8%)が3割強と高く、「不満」と「やや不満」の合計は60～64歳が4割弱と高くなっている。(図表2-21)

<図表2-21>⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別

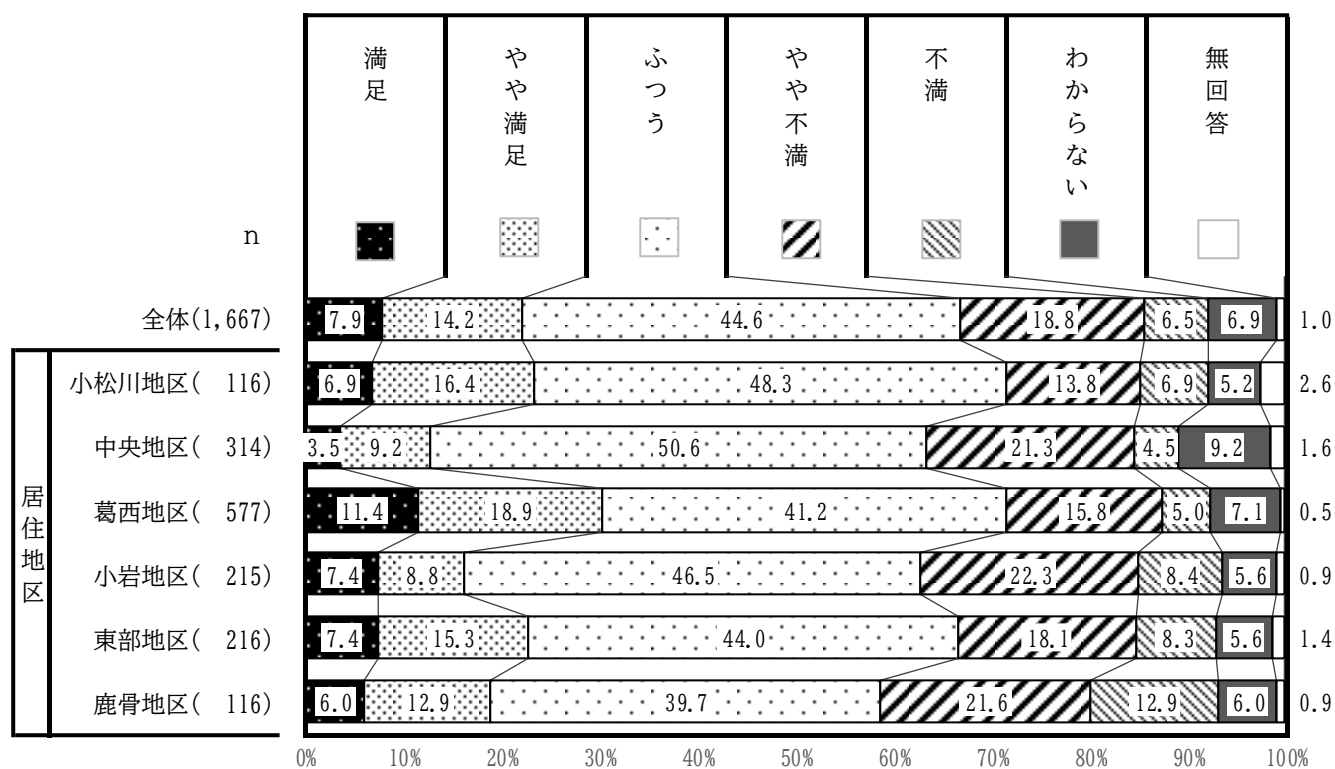


【⑦ 街のバリアフリー／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が約3割と高くなっている。

「不満」は鹿骨地区（12.9%）が1割を超え、「不満」と「やや不満」の合計は小岩地区、鹿骨地区が3割台と高くなっている。（図表2－22）

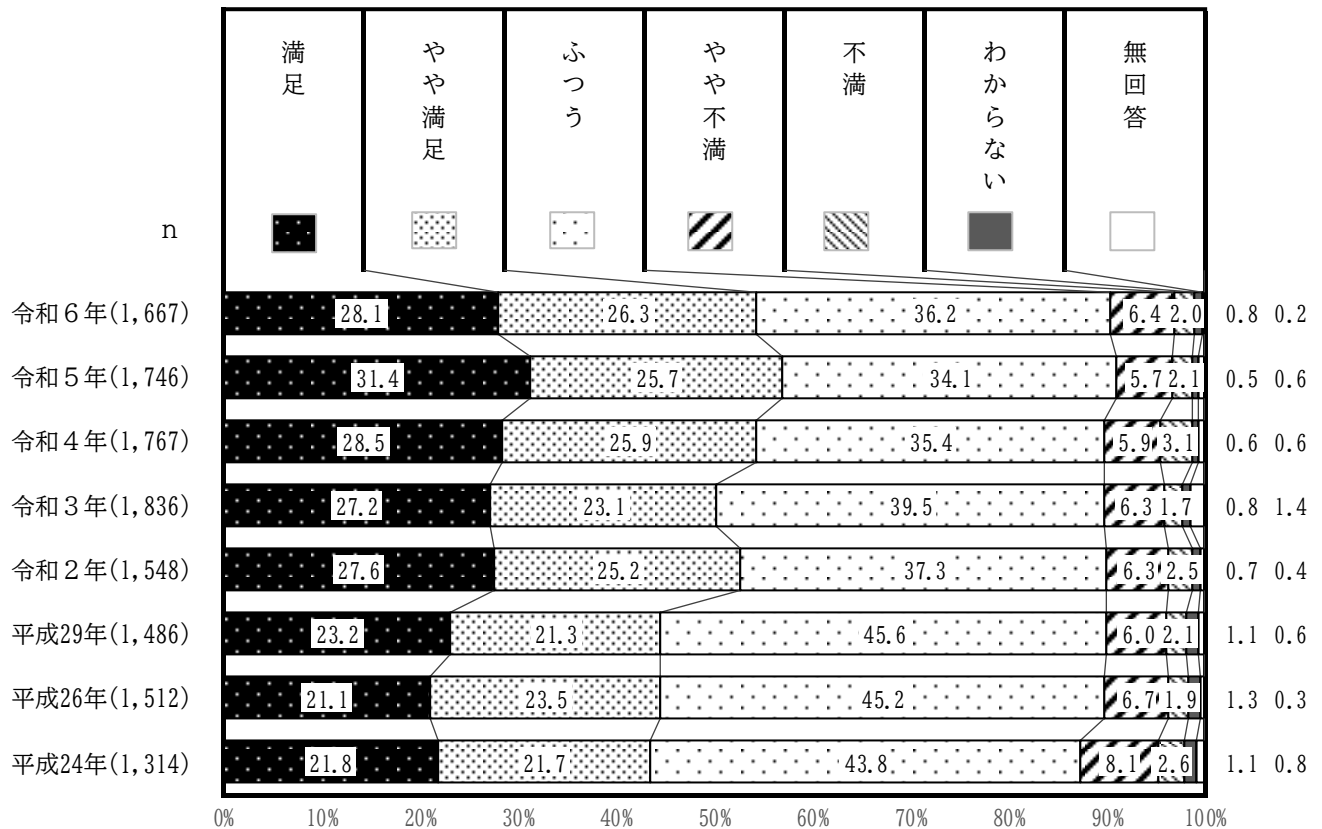
<図表2－22>⑦ 街のバリアフリー／居住地区別



【⑧ ごみの収集／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は3.3ポイント減少、「やや満足」は0.6ポイント増加している。
一方、「不満」は0.1ポイント減少、「やや不満」は0.7ポイント増加している。(図表2-23)

<図表2-23>⑧ ごみの収集／時系列比較



【⑧ ごみの収集／性・年齢別】

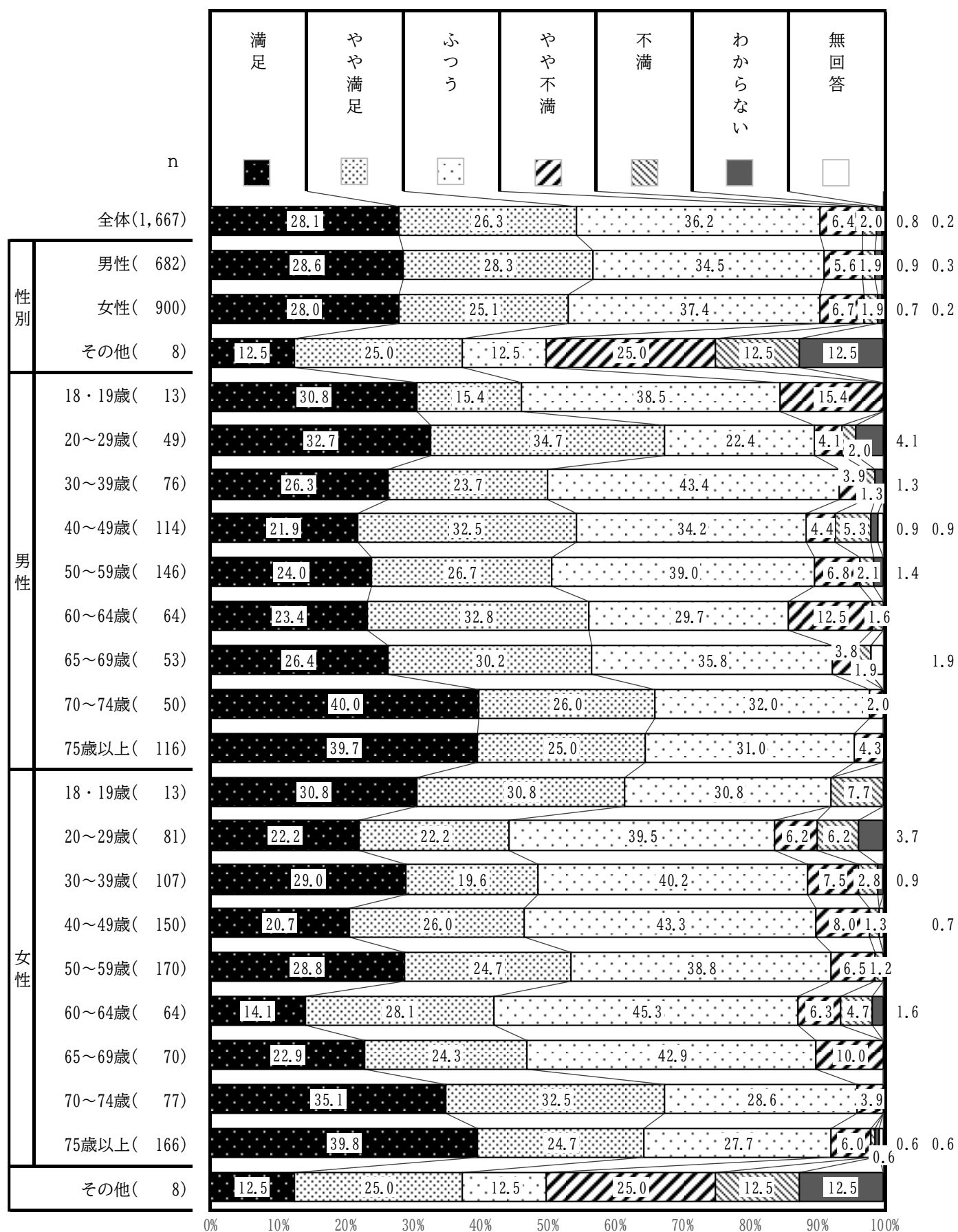
「やや満足」は男性（28.3%）が女性（25.1%）に比べて3.2ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は70歳代以降で高く、70～74歳（40.0%）が4割と最も高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、70歳代以降が6割を超えて高くなっている。

女性において、「満足」は男性同様に70歳代以降で高く、75歳以上（39.8%）が4割弱と最も高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は70歳代以降が6割を超えて高くなっている。(図表2-24)

Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

<図表2-24>⑧ ごみの収集／性・年齢別

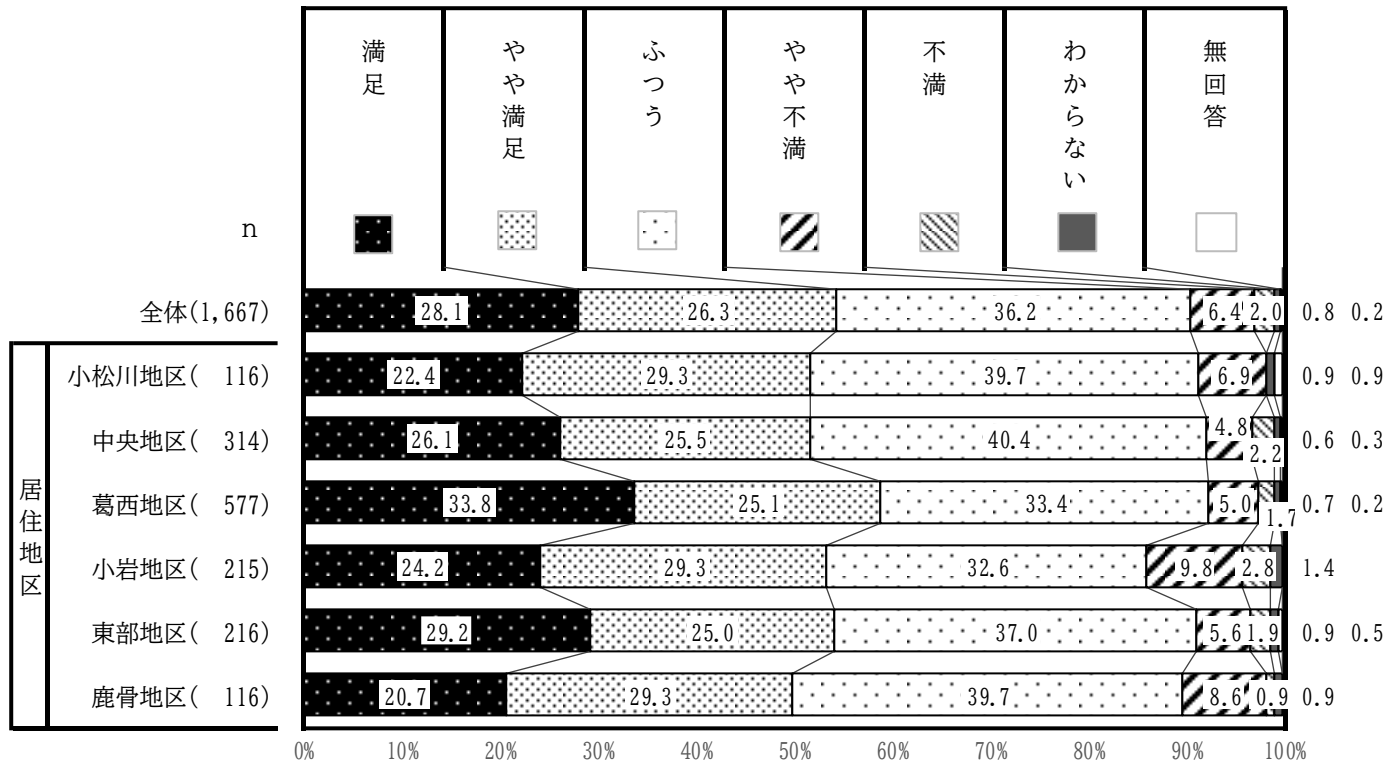


【⑧ ごみの収集／居住地区別】

「満足」は葛西地区（33.8％）が3割強と高くなっている。

「不満」と「やや不満」の合計は小岩地区で1割を超えている。（図表2－25）

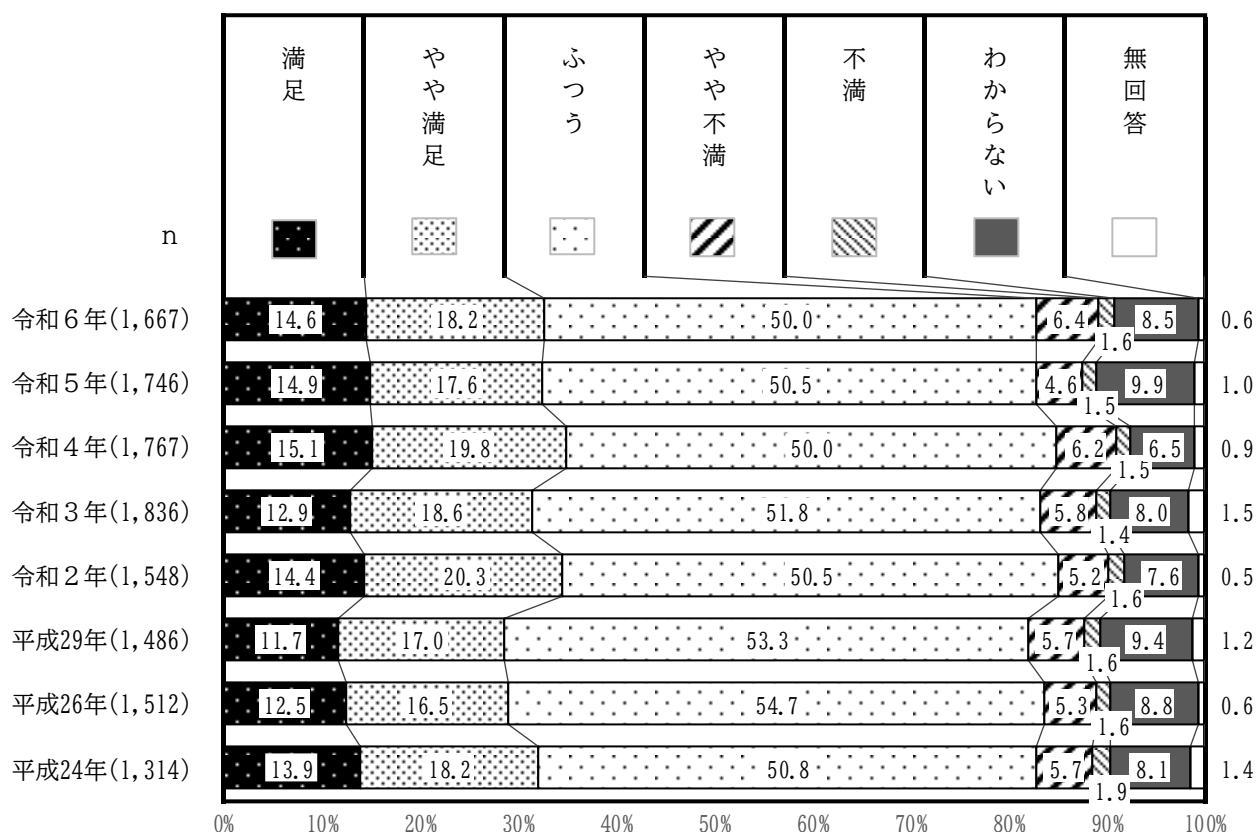
<図表2－25>⑧ ごみの収集／居住地区別



【⑨ リサイクルの推進／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.3ポイント減少、「やや満足」は0.6ポイント増加している。
一方、「不満」は0.1ポイント、「やや不満」は1.8ポイント増加している。(図表2-26)

<図表2-26>⑨ リサイクルの推進／時系列比較



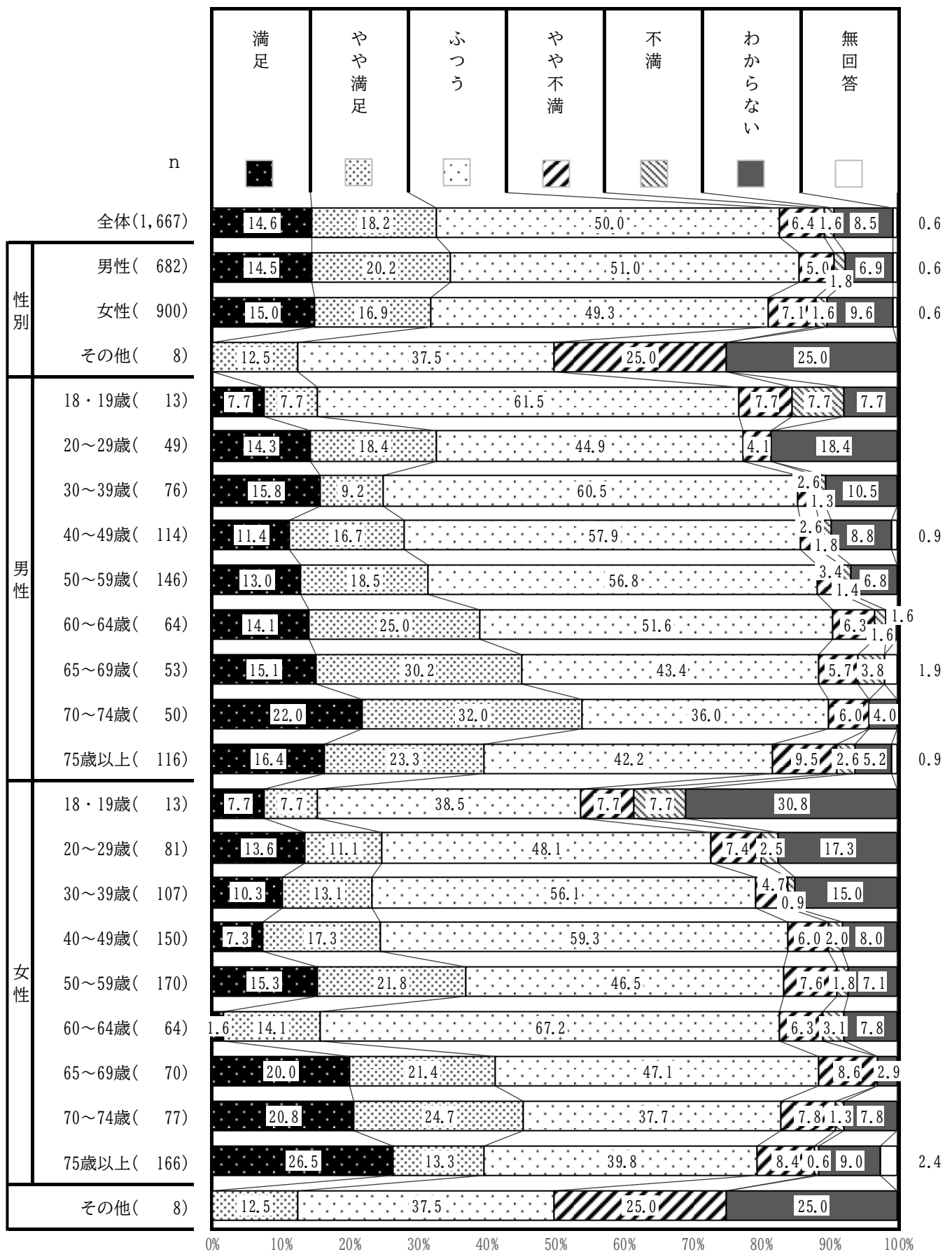
【⑨ リサイクルの推進／性・年齢別】

「やや満足」は男性（20.2%）が女性（16.9%）に比べて3.3ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は65～69歳（30.2%）、70～74歳（32.0%）が3割台と高くなっている。
「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳、70～74歳が4割以上と高くなっている。

女性において、「満足」は60～64歳が1.6%と低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳が4割台半ばと高くなっている。(図表2-27)

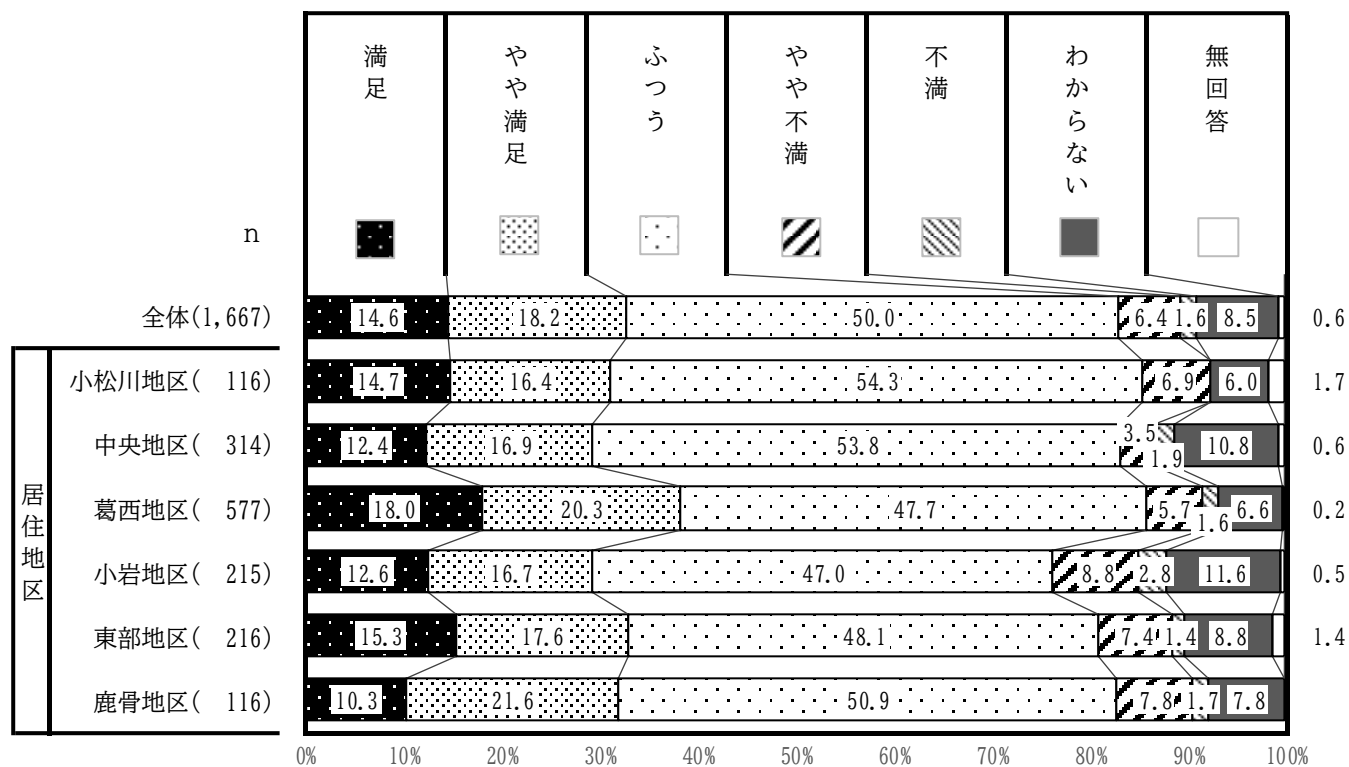
<図表2-27>⑨ リサイクルの推進／性・年齢別



【⑨ リサイクルの推進／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が4割近くと高くなっている。(図表2-28)

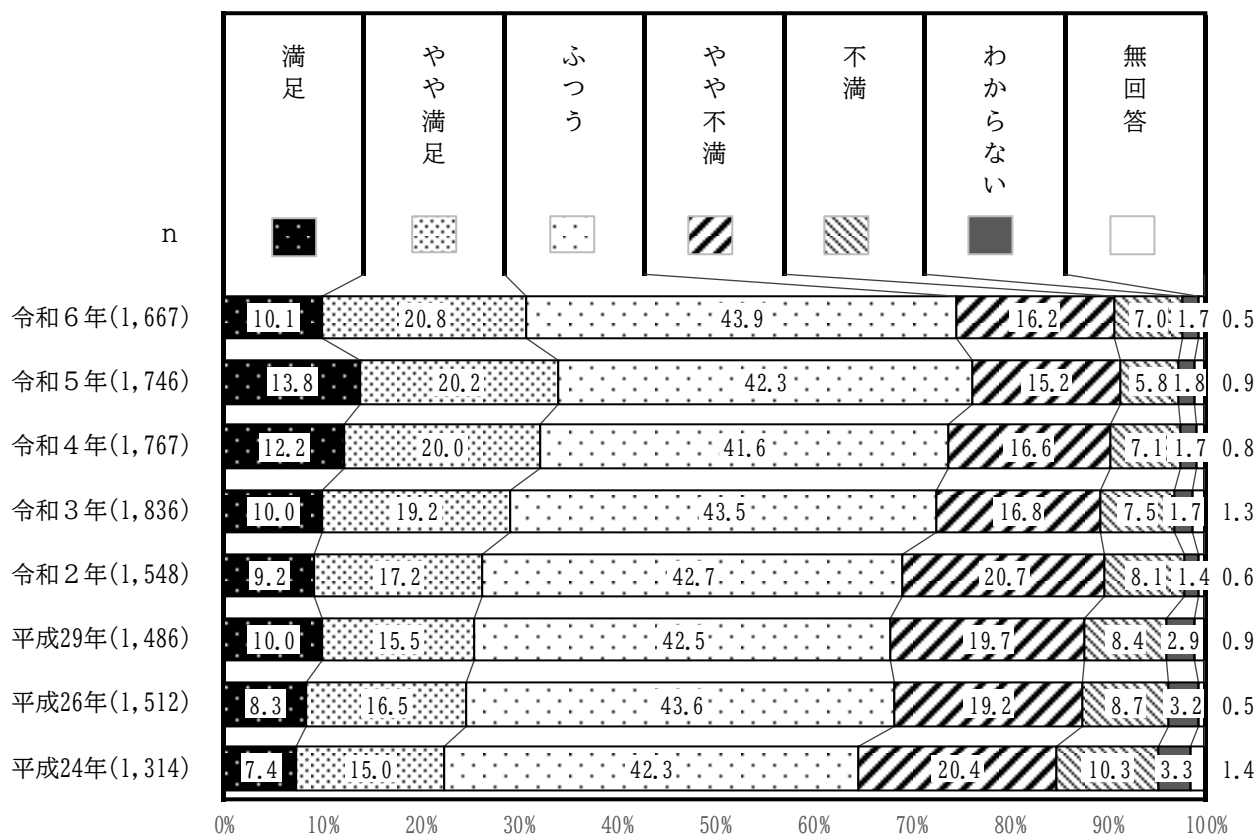
<図表2-28>⑨ リサイクルの推進／居住地区別



【⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は3.7ポイント減少、「やや満足」は0.6ポイント増加している。
一方、「不満」は1.2ポイント、「やや不満」は1.0ポイント増加している。(図表2-29)

<図表2-29>⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較



【⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別】

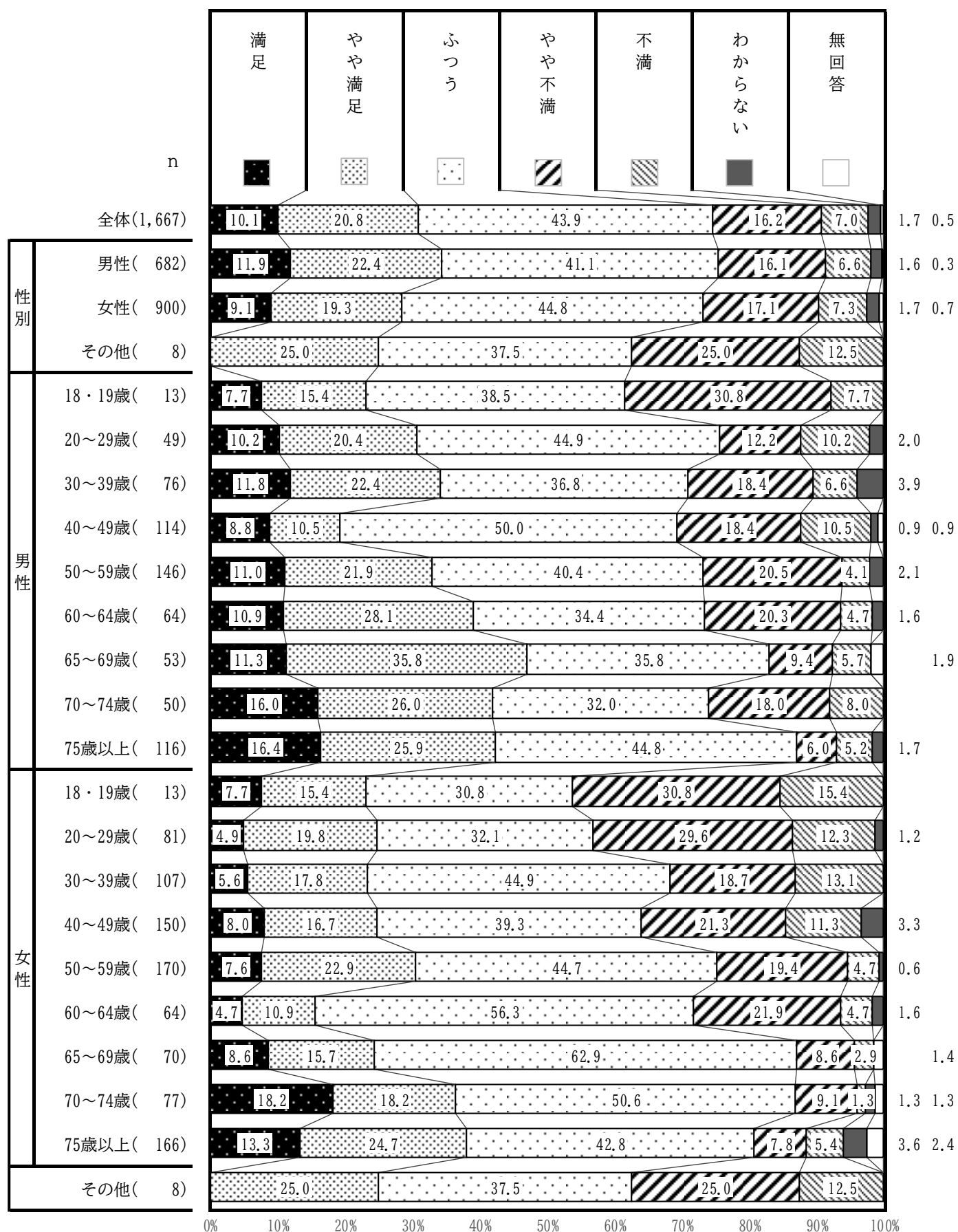
「やや満足」は男性（22.4%）が女性（19.3%）に比べて3.1ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は65～69歳（35.8%）が3割台半ばと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は65歳以降が4割台と高く、40～49歳が2割弱と低くなっている。

女性において、「満足」は60～64歳が4.7%と低く、「やや満足」との合計は1割台半ばと低くなっている。「やや不満」は20～29歳（29.6%）が3割弱と高く、「不満」と「やや不満」の合計は20～29歳で4割強と高くなっている。(図表2-30)

Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

<図表2-30>⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別

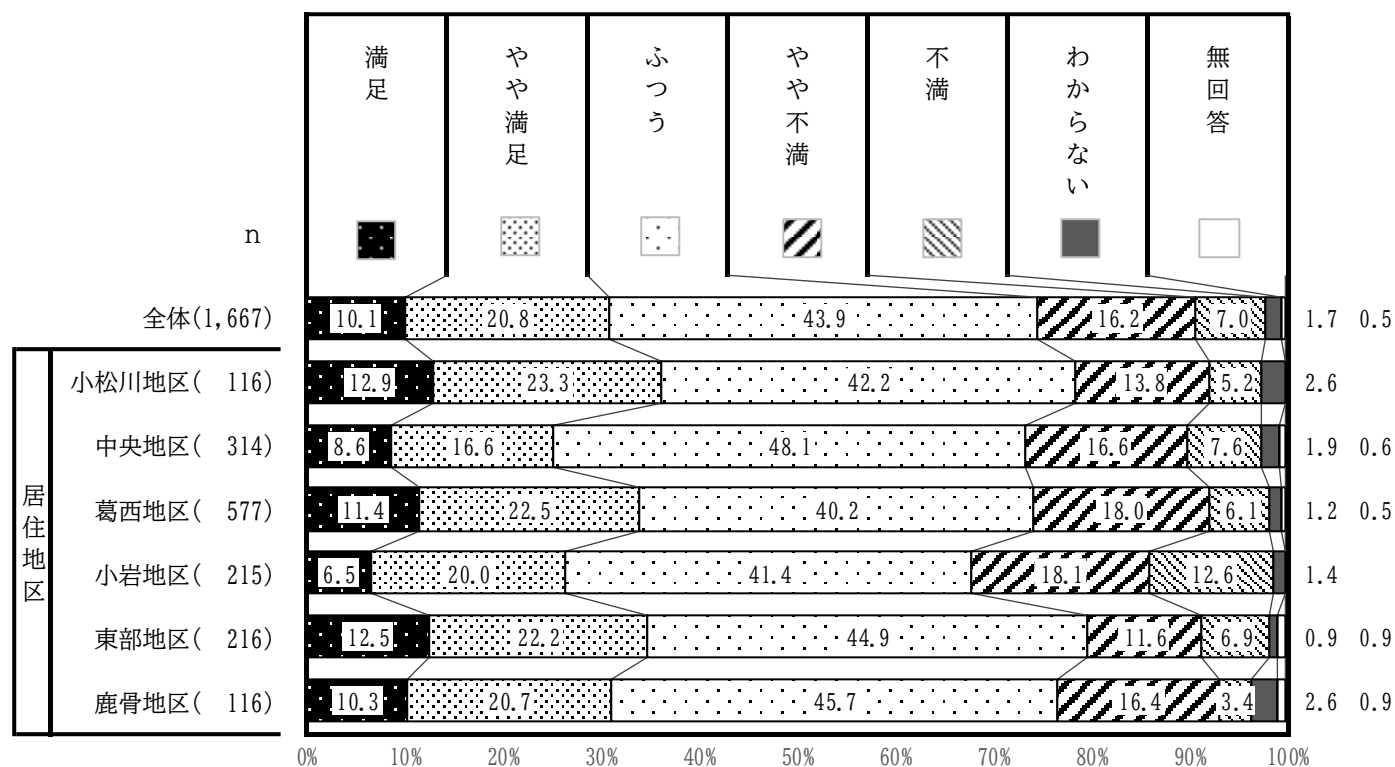


【⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別】

「不満」は小岩地区（12.6％）が1割強と高く、「やや不満」との合計は約3割と高くなっている。

（図表2－31）

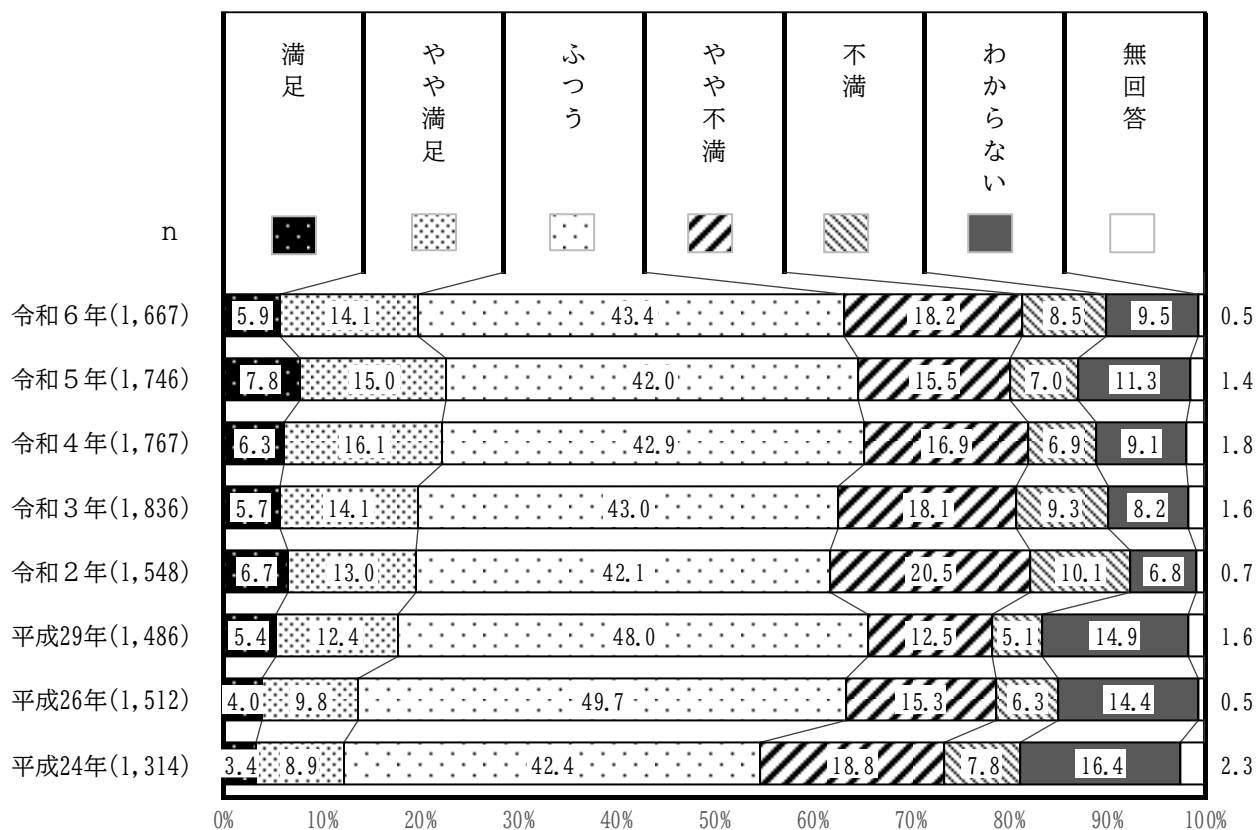
<図表2－31>⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別



【⑪ 災害への備え／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は1.9ポイント、「やや満足」は0.9ポイント減少している。
一方、「不満」は1.5ポイント、「やや不満」は2.7ポイント増加している。(図表2-32)

<図表2-32>⑪ 災害への備え／時系列比較



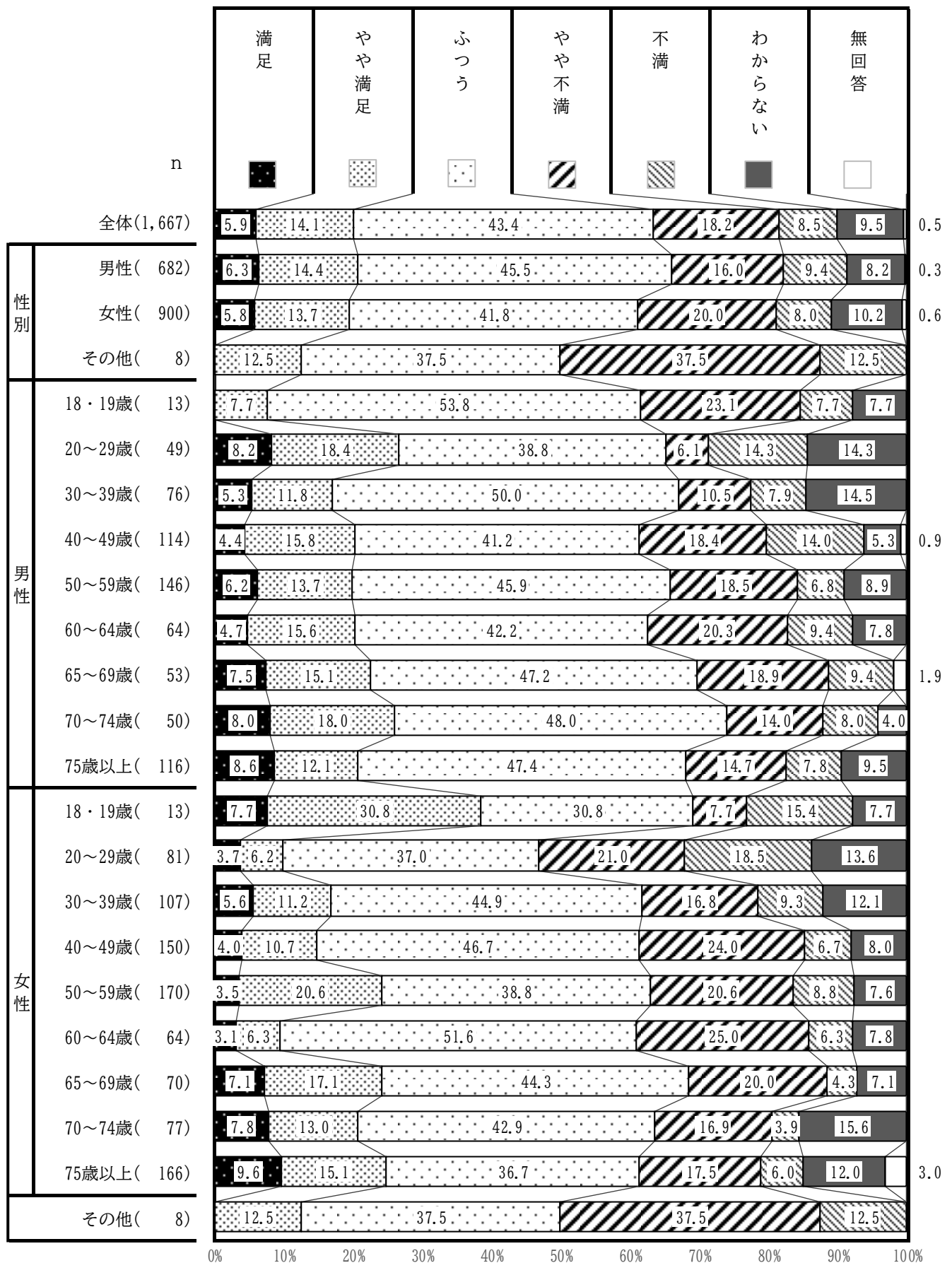
【⑪ 災害への備え・安全性／性・年齢別】

「やや不満」は女性（20.0%）が男性（16.0%）に比べて4.0ポイント高くなっている。

男性において、「不満」は20～29歳（14.3%）、40～49歳（14.0%）が1割を超え、「やや不満」と「不満」の合計は40～49歳が3割強と高くなっている。

女性において、「不満」は20～29歳（18.5%）が2割近くと高く、「不満」と「やや不満」の合計は20～29歳が4割弱と高くなっている。(図表2-33)

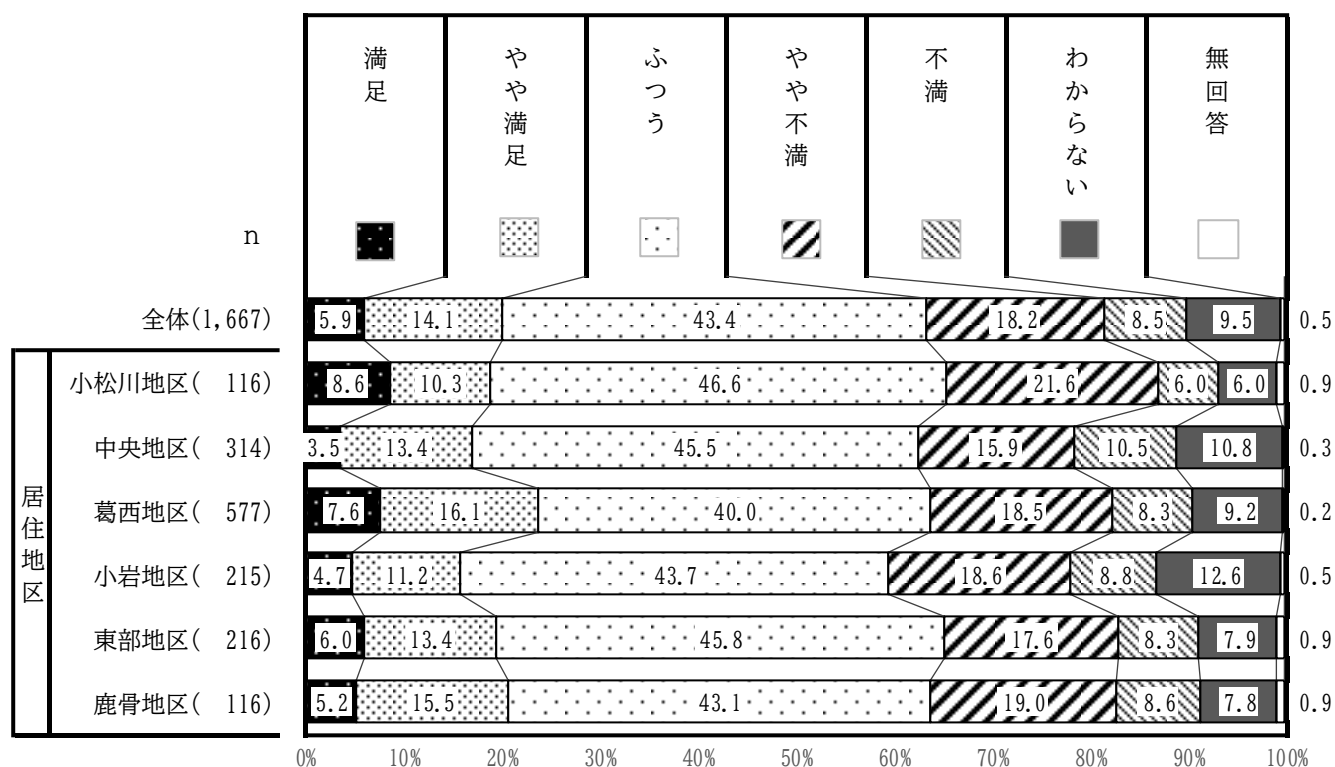
<図表2-33>⑪ 災害への備え／性・年齢別



【⑪ 災害への備え／居住地区別】

「満足」は小松川地区が8.6%と最も高く、次いで葛西地区が7.6%となっているが、すべての地区が1割未満となっている。(図表2-34)

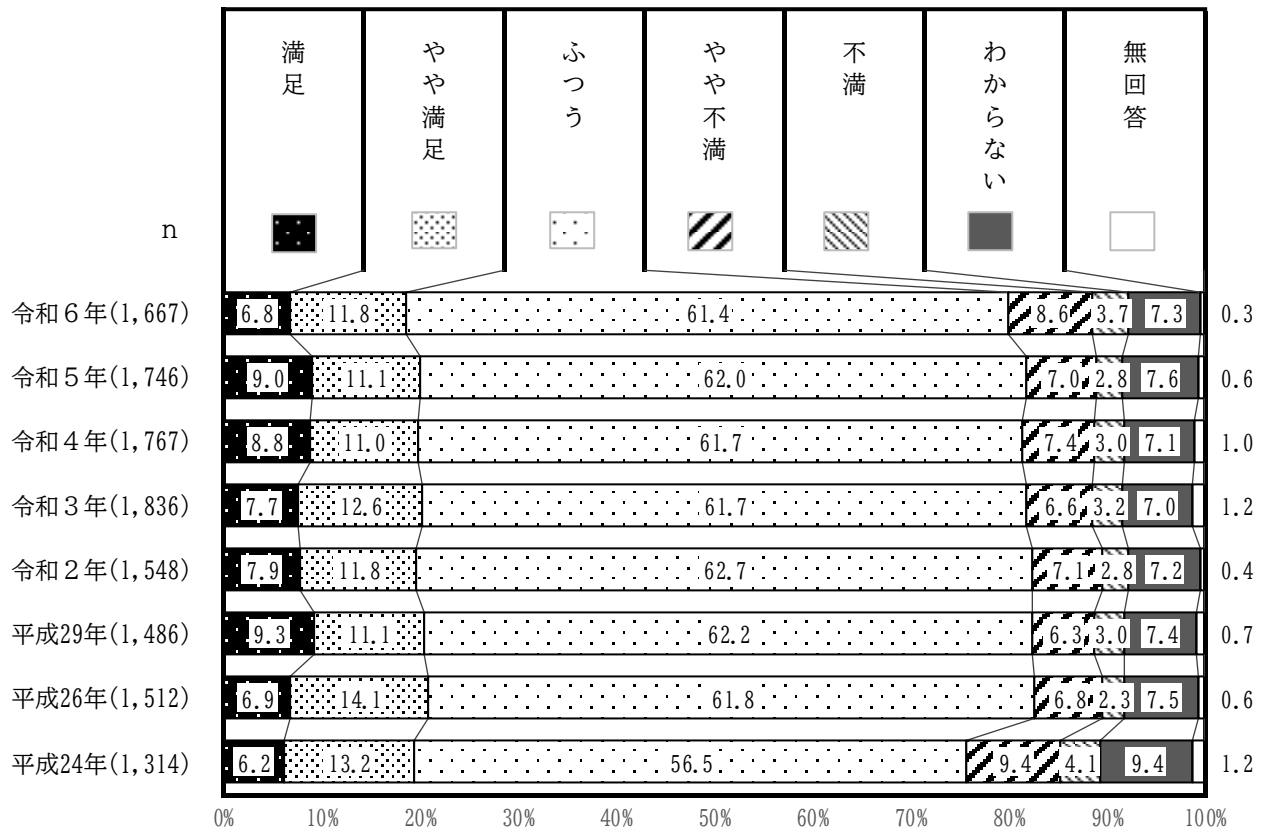
<図表2-34>⑪ 災害への備え／居住地区別



【⑫ 近所づきあい／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は2.2ポイント減少、「やや満足」は0.7ポイント増加している。
一方、「不満」は0.9ポイント、「やや不満」は1.6ポイント増加している。(図表2-35)

<図表2-35>⑫ 近所づきあい／時系列比較



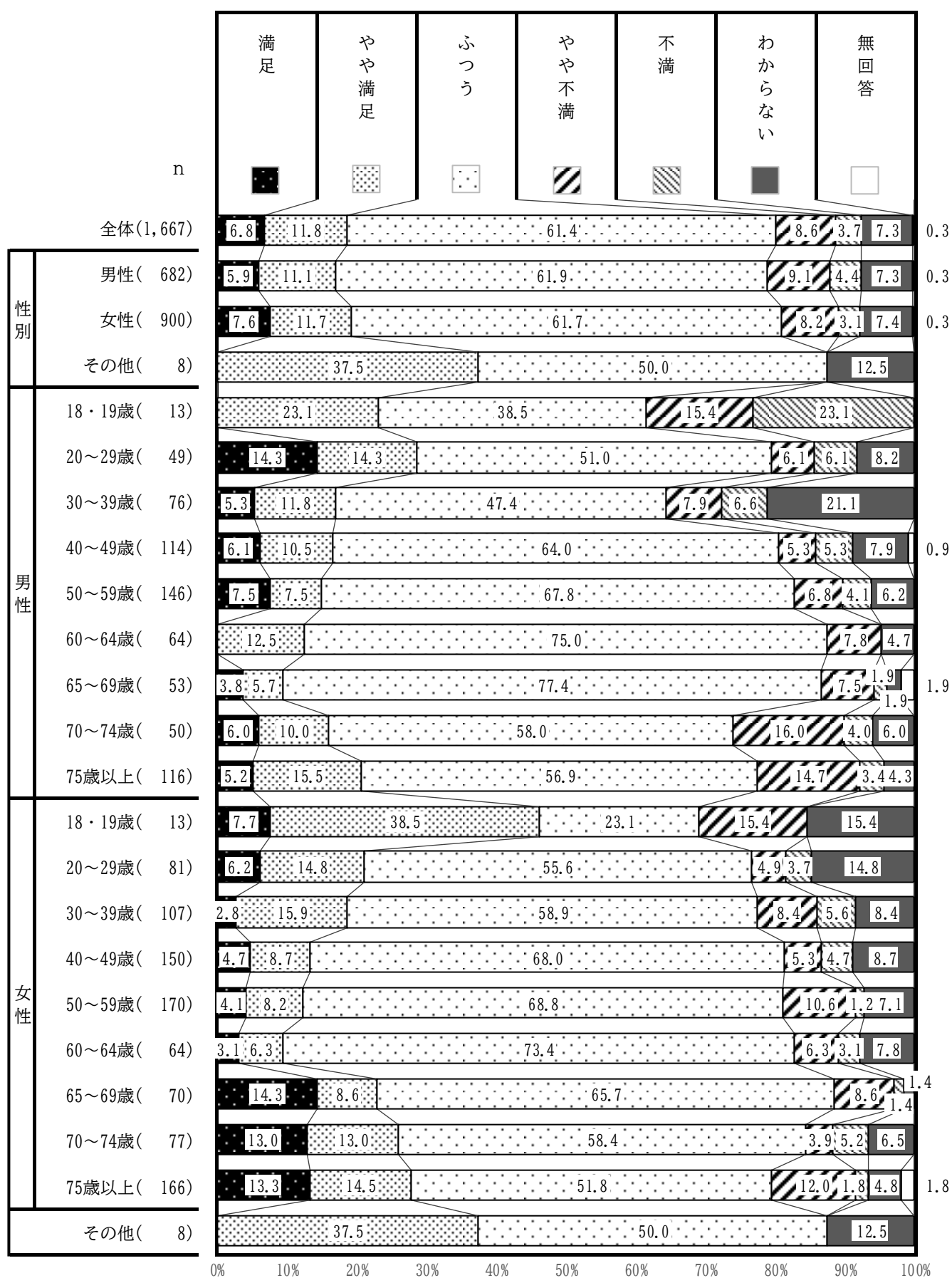
【⑫ 近所づきあい／性・年齢別】

男性において、「満足」は20～29歳（14.3%）が1割台半ばと最も高く、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が3割近くと高くなっている。「わからない」は30～39歳（21.1%）が2割強と高くなっている。

女性において、「満足」は65～69歳（14.3%）、70～74歳（13.0%）、75歳以上（13.3%）が1割を超えており、「満足」と「やや満足」の合計は70歳代以降が3割近くと高くなっている。(図表2-36)

Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

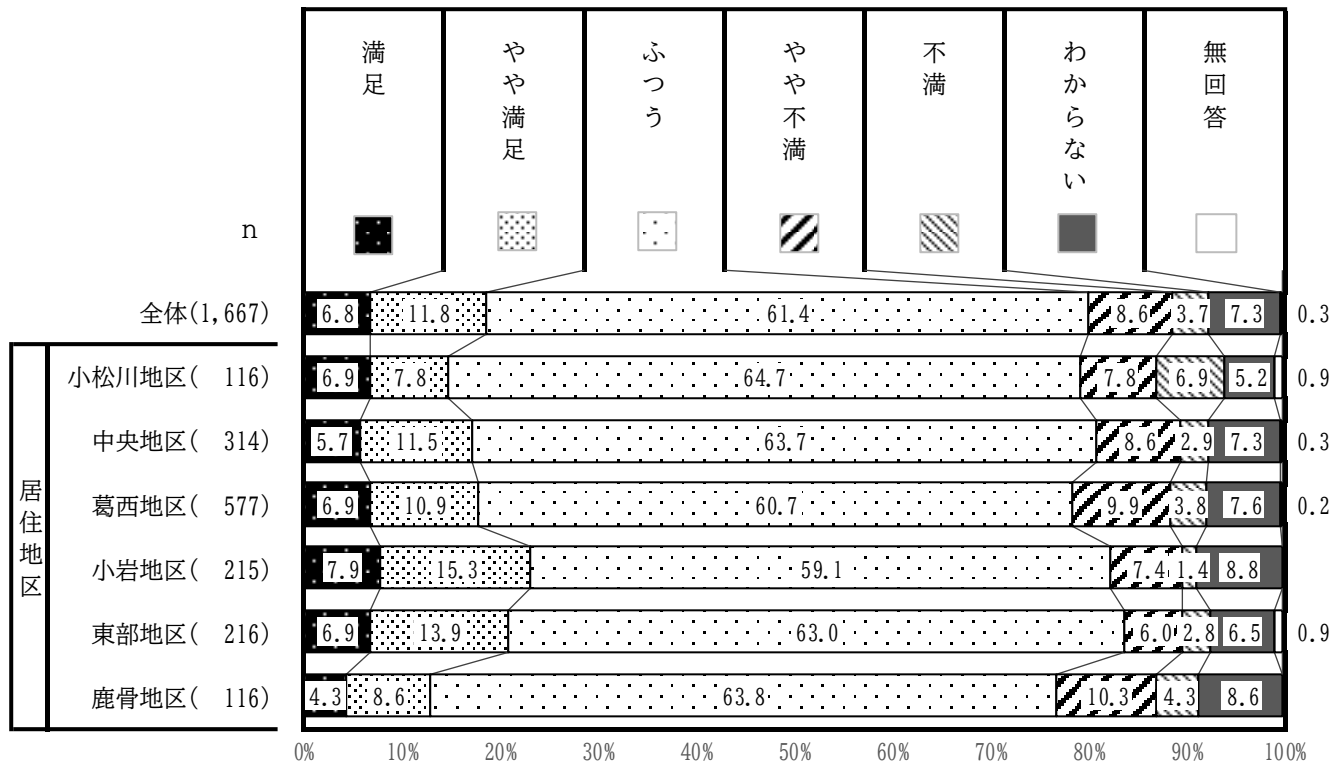
<図表2-36>⑫ 近所づきあい／性・年齢別



【⑫ 近所づきあい／居住地区別】

居住地区において、大きな差はみられない。(図表2-37)

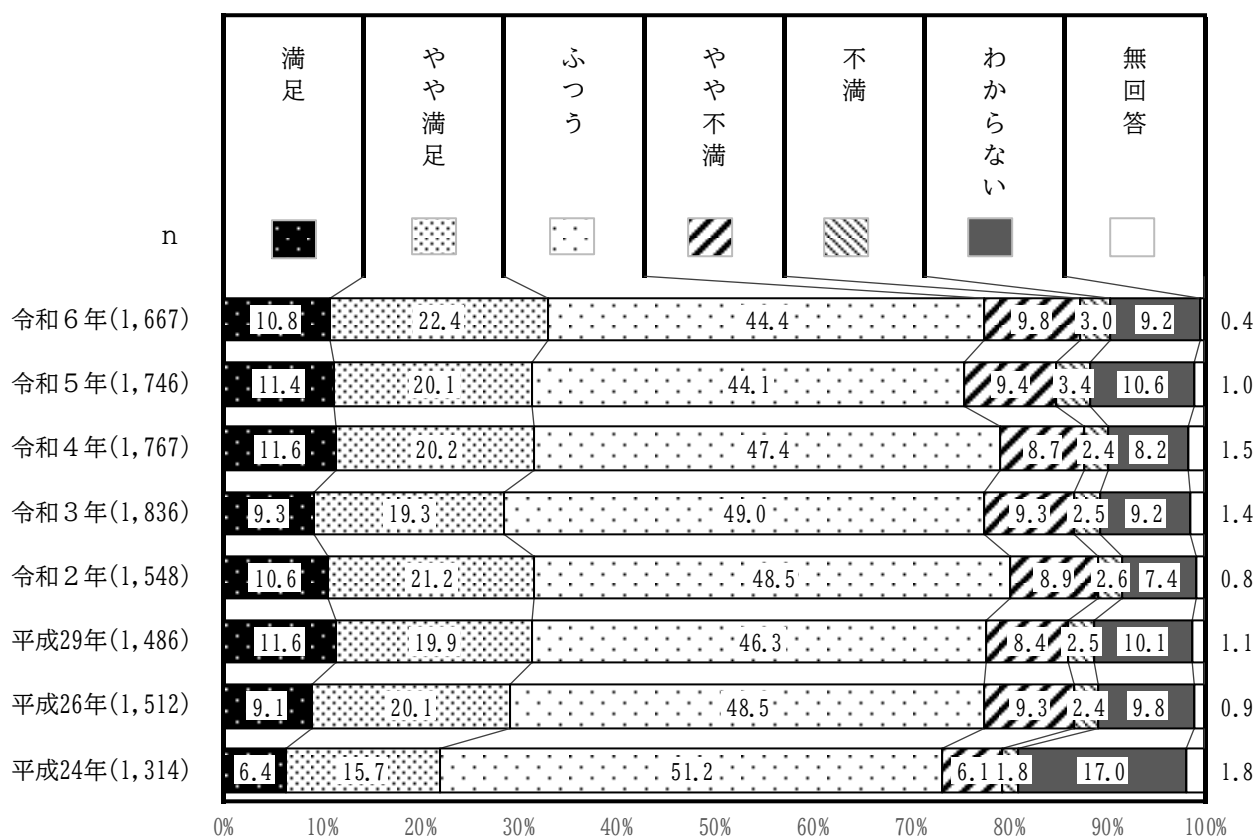
<図表2-37>⑫ 近所づきあい／居住地区別



【⑬ 文化施設の充実度／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.6ポイント減少、「やや満足」は2.3ポイント増加している。
一方、「不満」は0.4ポイント減少、「やや不満」は0.4ポイント増加している。（図表2-38）

<図表2-38>⑬ 文化施設の充実度／時系列比較



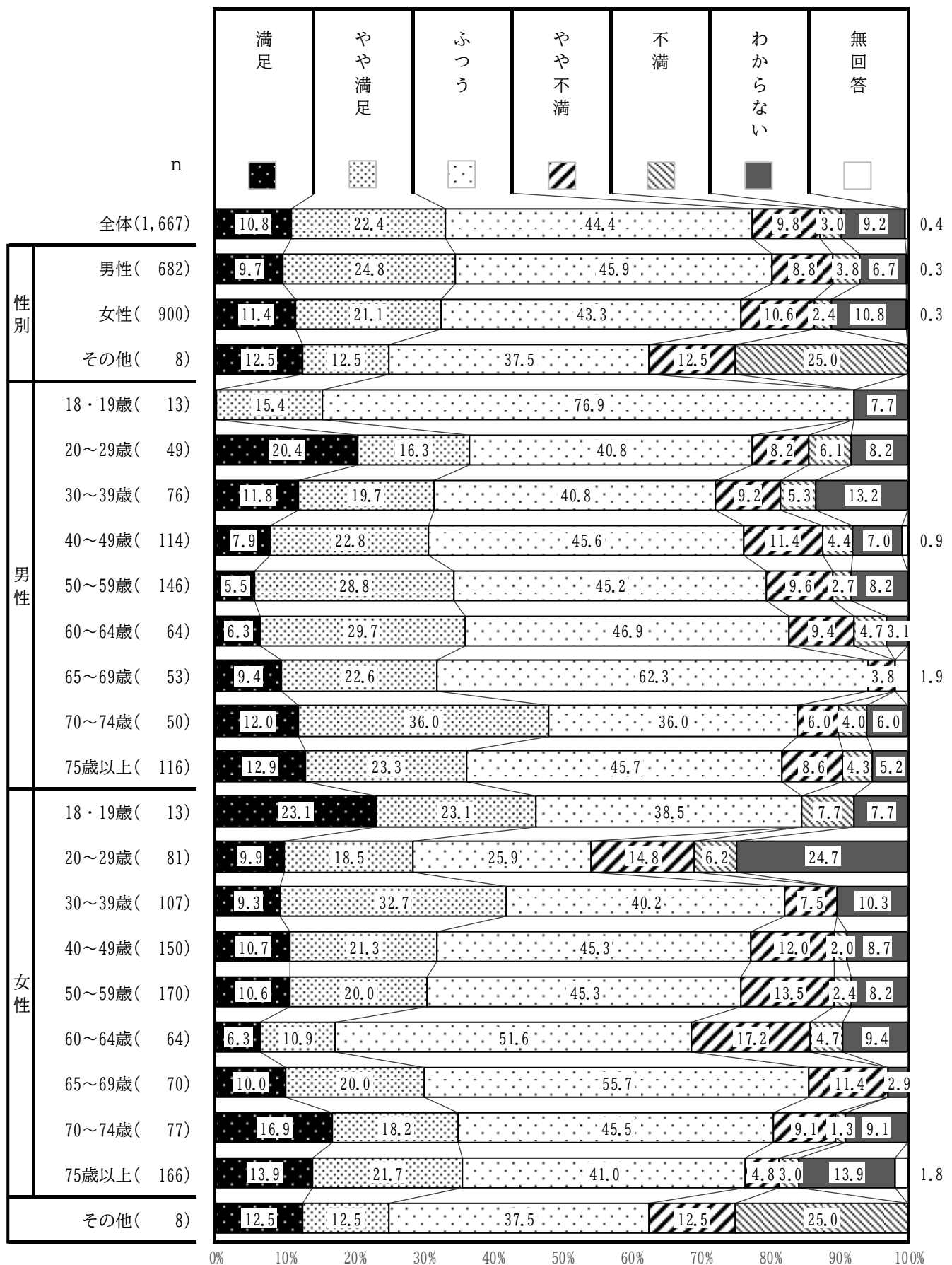
【⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別】

「やや満足」は男性（24.8%）が女性（21.1%）と比べて3.7ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳（20.4%）が約2割と高く、50～59歳が5.5%と低くなっている。
「やや満足」は70～74歳（36.0%）が4割近くと高く、「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳が5割近くと高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（32.7%）が3割強と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は60～64歳が1割台と低くなっている。「わからない」は20～29歳（24.7%）が2割台半ばと高くなっている。（図表2-39）

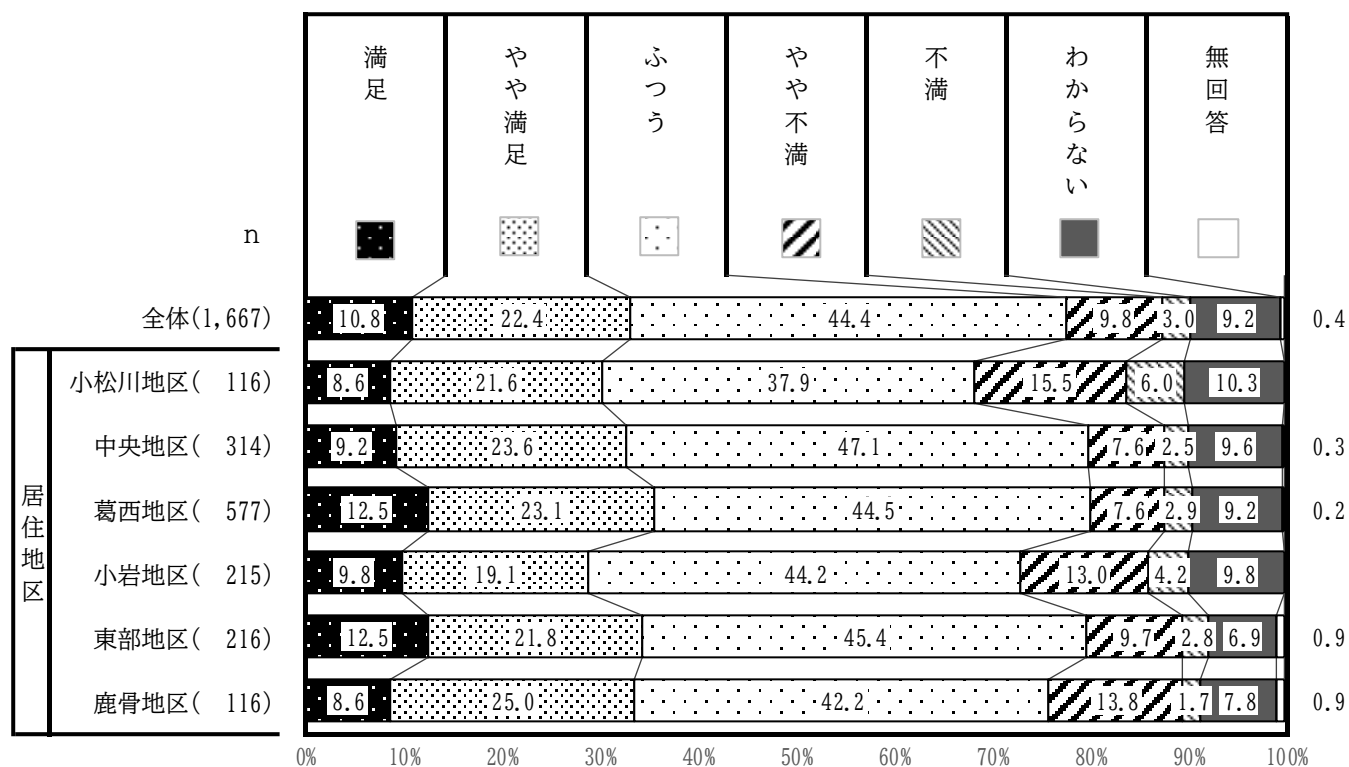
<図表2-39>⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別



【⑬ 文化施設の充実度／居住地区別】

「やや不満」は小松川地区（15.5%）が1割台半ばと高く、「不満」と「やや不満」の合計は小松川地区が2割を超えている。（図表2－40）

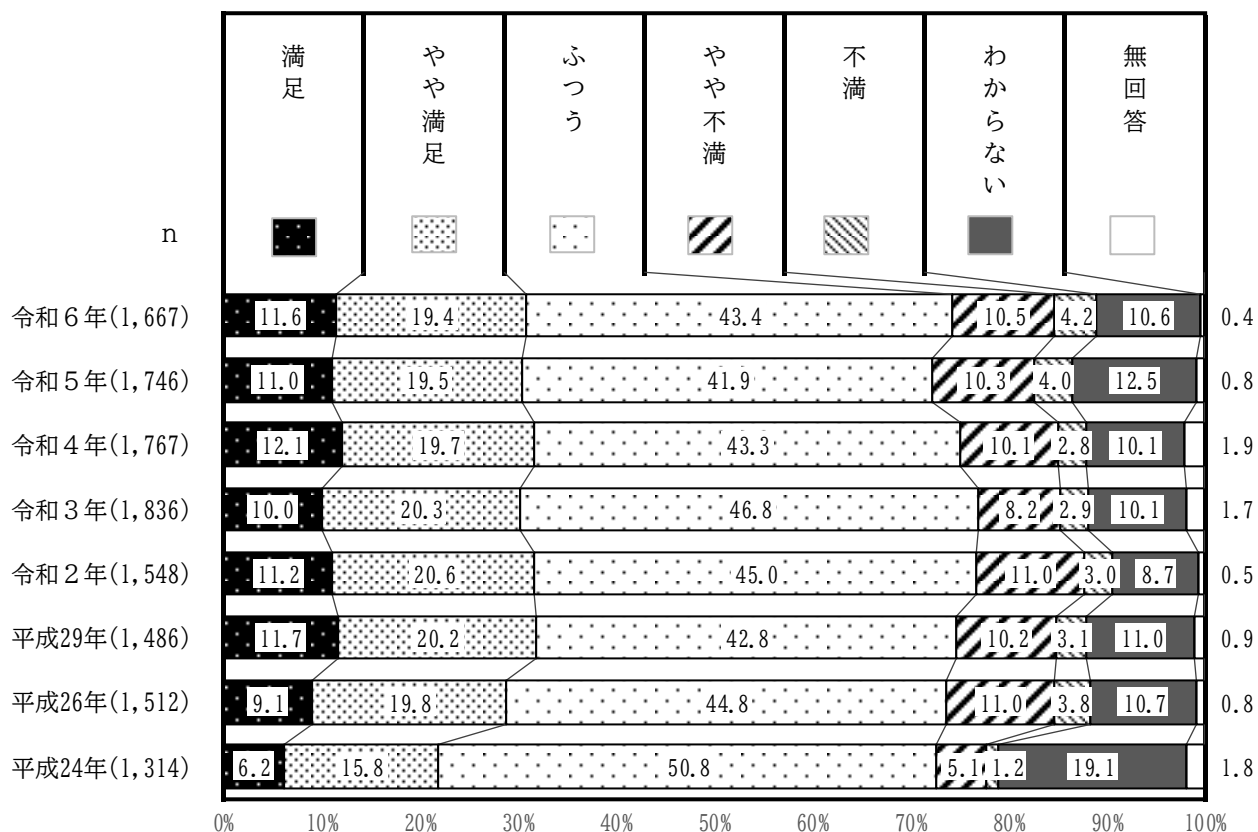
<図表2－40>⑬ 文化施設の充実度／居住地区別



【⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.6ポイント増加、「やや満足」は0.1ポイント減少している。
一方、「不満」は0.2ポイント、「やや不満」は0.2ポイント増加している。（図表2-41）

<図表2-41>⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較



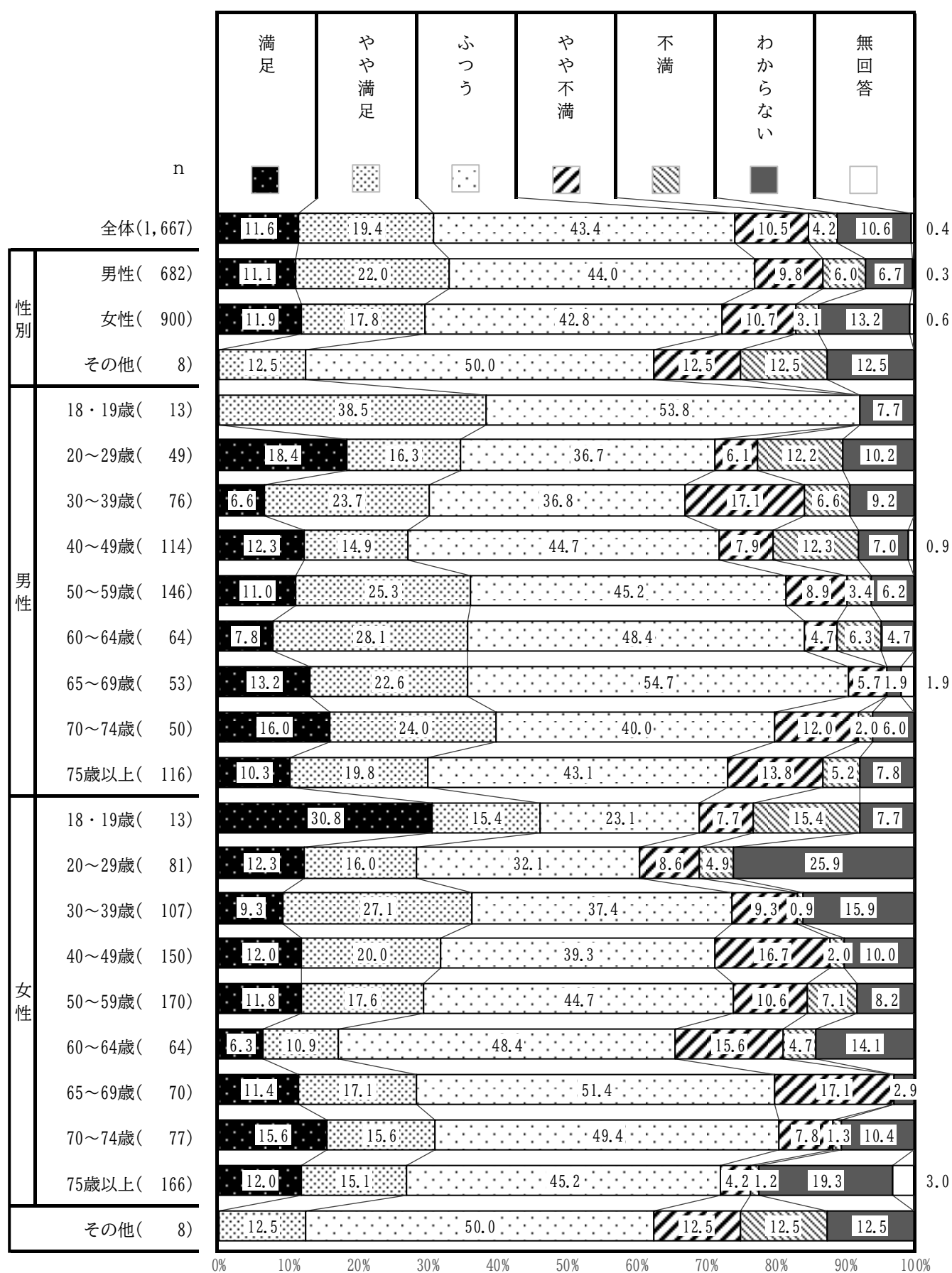
【⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

「やや満足」は男性（22.0%）が女性（17.8%）に比べて4.2ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は60～64歳（28.1%）が3割近くと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳が4割と高くなっている。「不満」は40～49歳（12.3%）、20～29歳（12.2%）が1割強と高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（27.1%）が3割近くと高く、60～64歳（10.9%）が約1割と低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は60～64歳が2割近くと低くなっている。（図表2-42）

<図表2-42>⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別

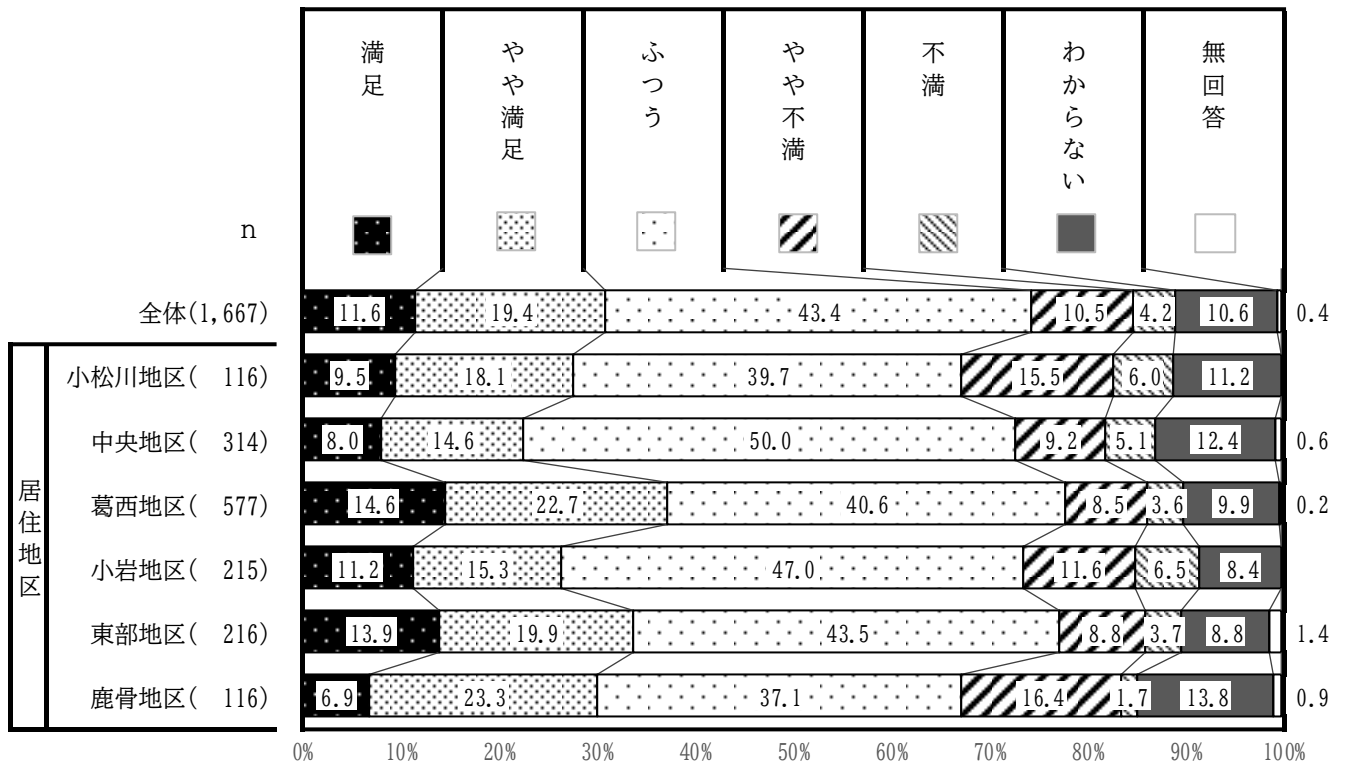


【⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が4割近くと高くなっている。

「やや不満」は小松川地区（15.5%）、鹿骨地区（16.4%）が高く、「不満」と「やや不満」の合計は小松川地区が2割強と高くなっている。（図表2－43）

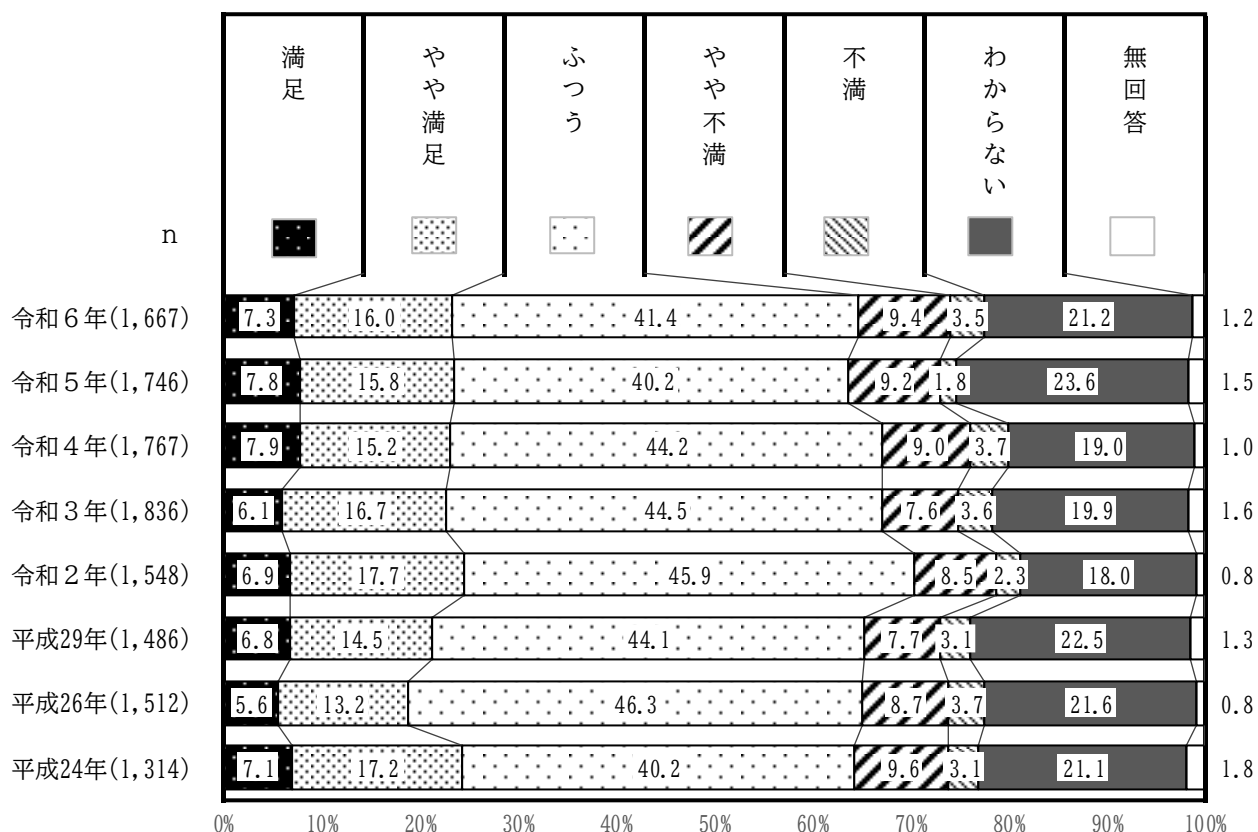
<図表2－43>⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別



【⑮ 熟年者の生活環境／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.5ポイント減少、「やや満足」は0.2ポイント増加している。
一方、「不満」は1.7ポイント、「やや不満」は0.2ポイント増加している。(図表2-44)

<図表2-44>⑮ 熟年者の生活環境／時系列比較



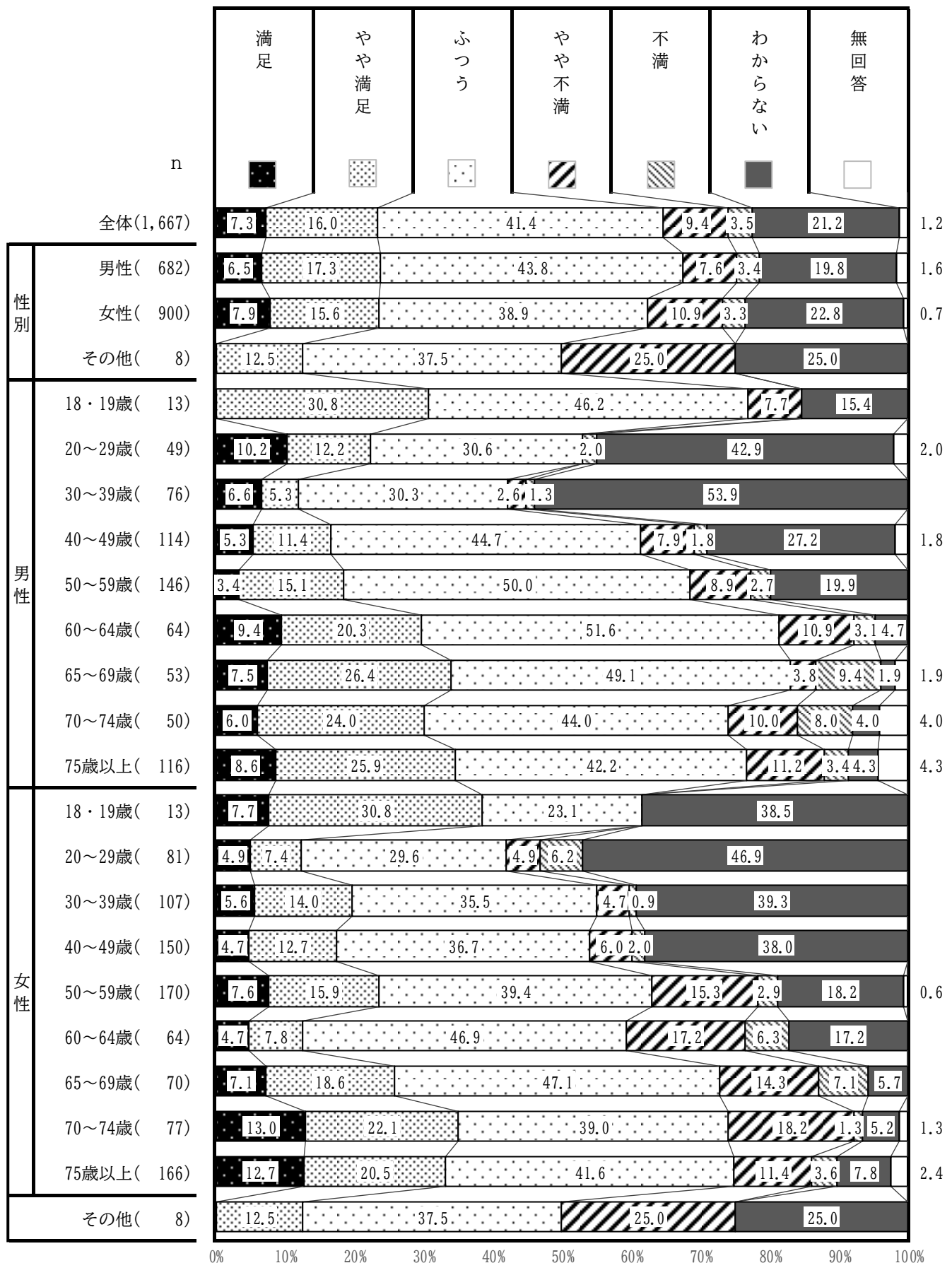
【⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別】

「やや不満」は女性（10.9％）が男性（7.6％）に比べて3.3ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は65～69歳（26.4％）が3割近く、70～74歳（24.0％）、75歳以上（25.9％）が2割台半ばと高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（13.0％）、75歳以上（12.7％）が1割強と高くなっている。「やや不満」は50～59歳（15.3％）が1割台半ば、60～64歳（17.2％）、70～74歳（18.2％）2割近くとなっており、「不満」と「やや不満」の合計は60～64歳が2割強と高くなっている。(図表2-45)

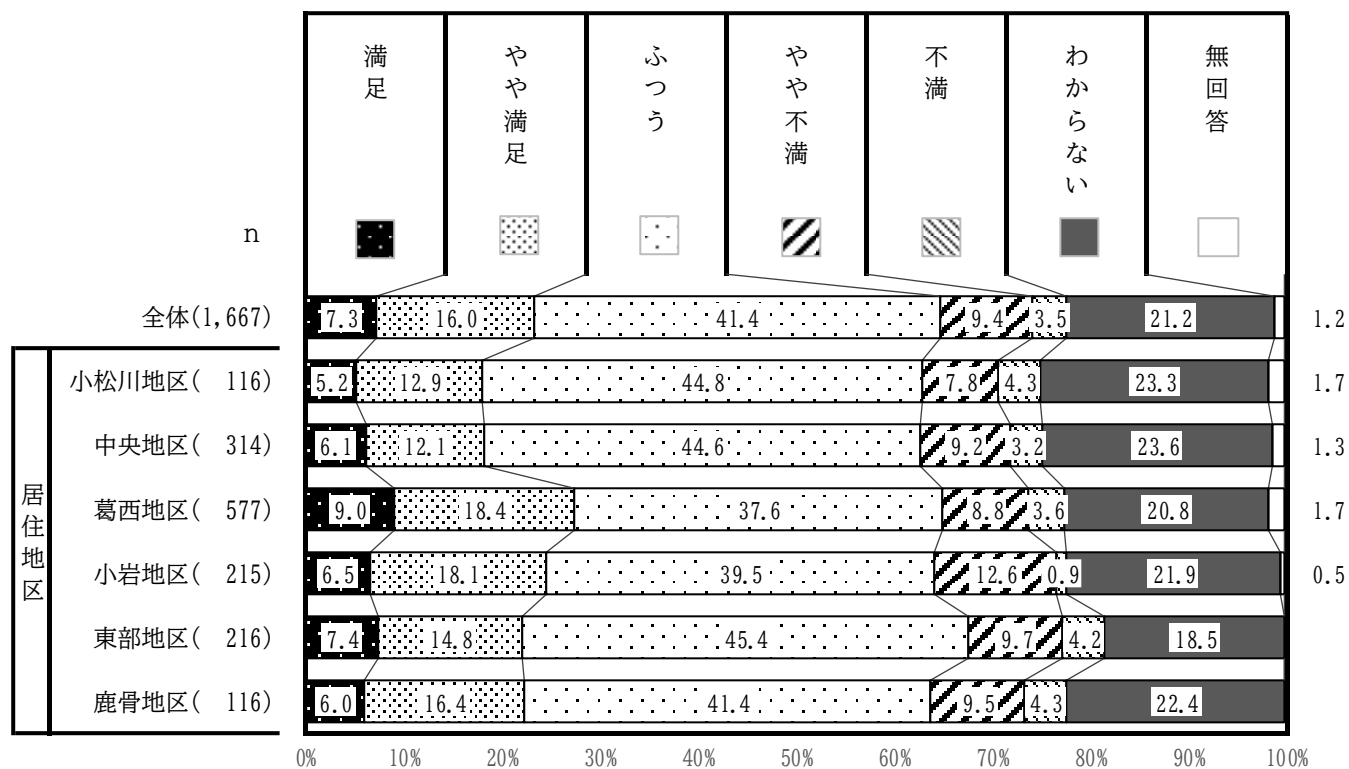
<図表2-45>⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別



【⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は小松川地区、中央地区が1割台と低くなっている。(図表2-46)

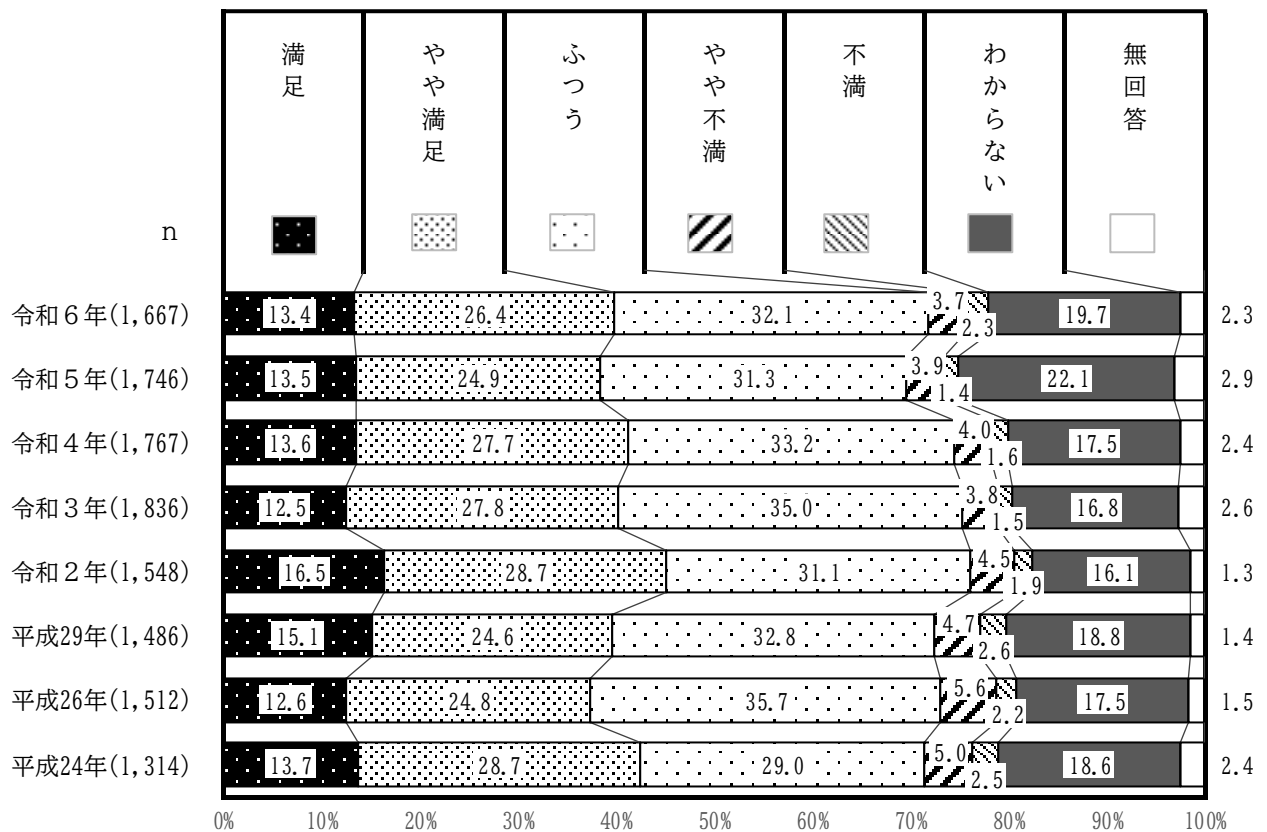
<図表2-46>⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別



【⑩ 子育て環境／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は0.1ポイント減少、「やや満足」は1.5ポイント増加している。
一方、「不満」は0.9ポイント増加、「やや不満」は0.2ポイント減少している。(図表2-47)

<図表2-47>⑩ 子育て環境／時系列比較

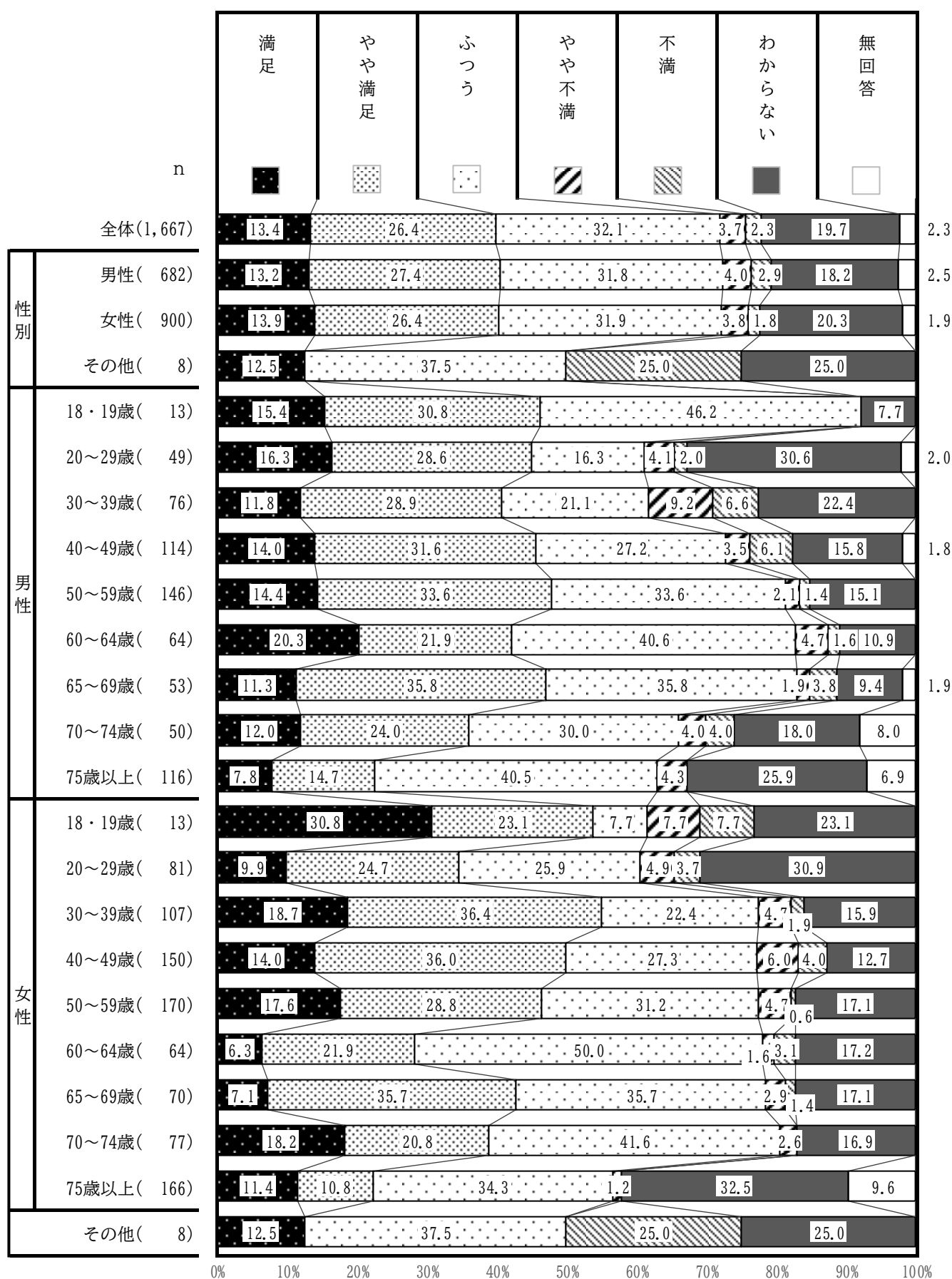


【⑩ 子育て環境／性・年齢別】

男性において、「満足」は60～64歳(20.3%)が約2割と高く、「やや満足」は40～49歳(31.6%)、50～59歳(33.6%)、65～69歳(35.8%)が3割台と高くなっている。「やや不満」は30～39歳(9.2%)が1割弱と高くなっている。

女性において、「満足」は60～64歳(6.3%)、65～69歳(7.1%)が1割未満と低い。「やや満足」は30～39歳(36.4%)、40～49歳(36.0%)が4割近くと高く、「満足」と「やや満足」の合計は30～39歳、40～49歳が5割台と高くなっている。(図表2-48)

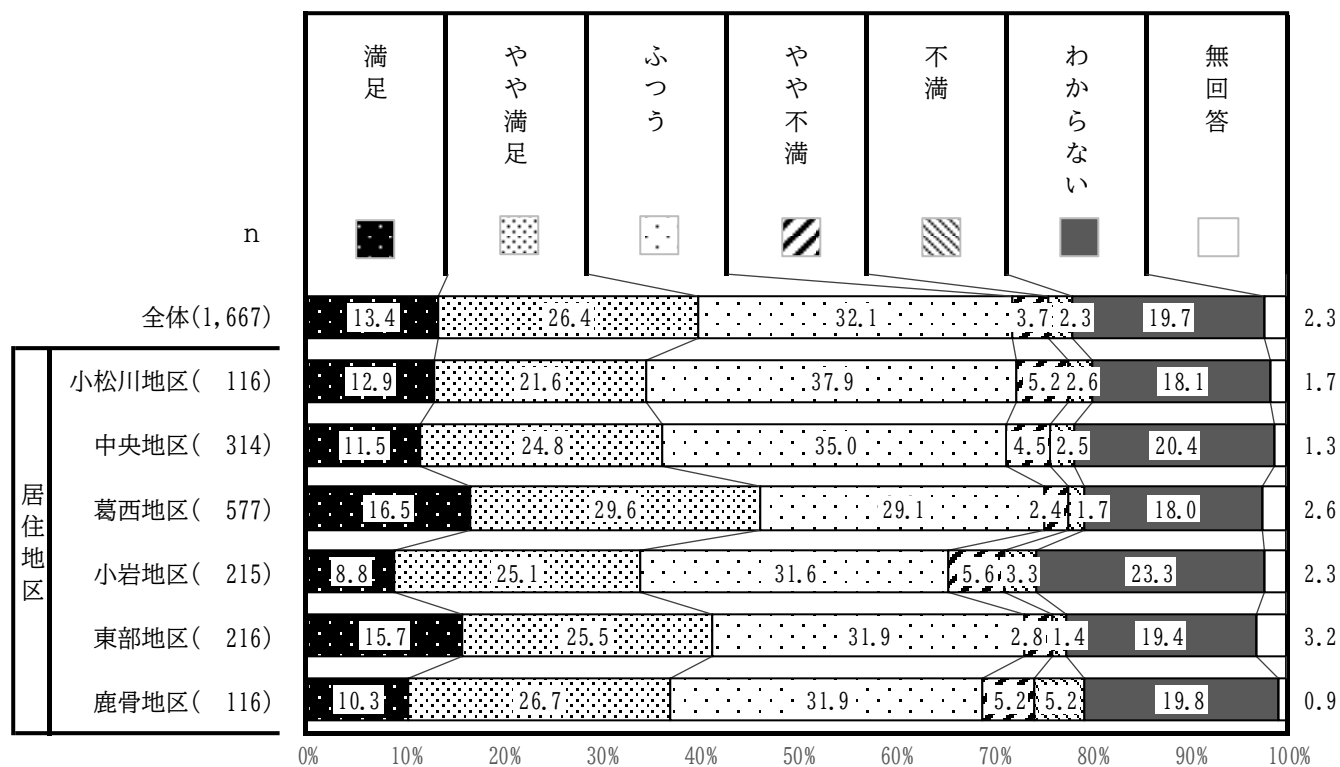
<図表2-48>⑯ 子育て環境／性・年齢別



【⑩ 子育て環境／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が4割台半ばと高くなっている。(図表2-49)

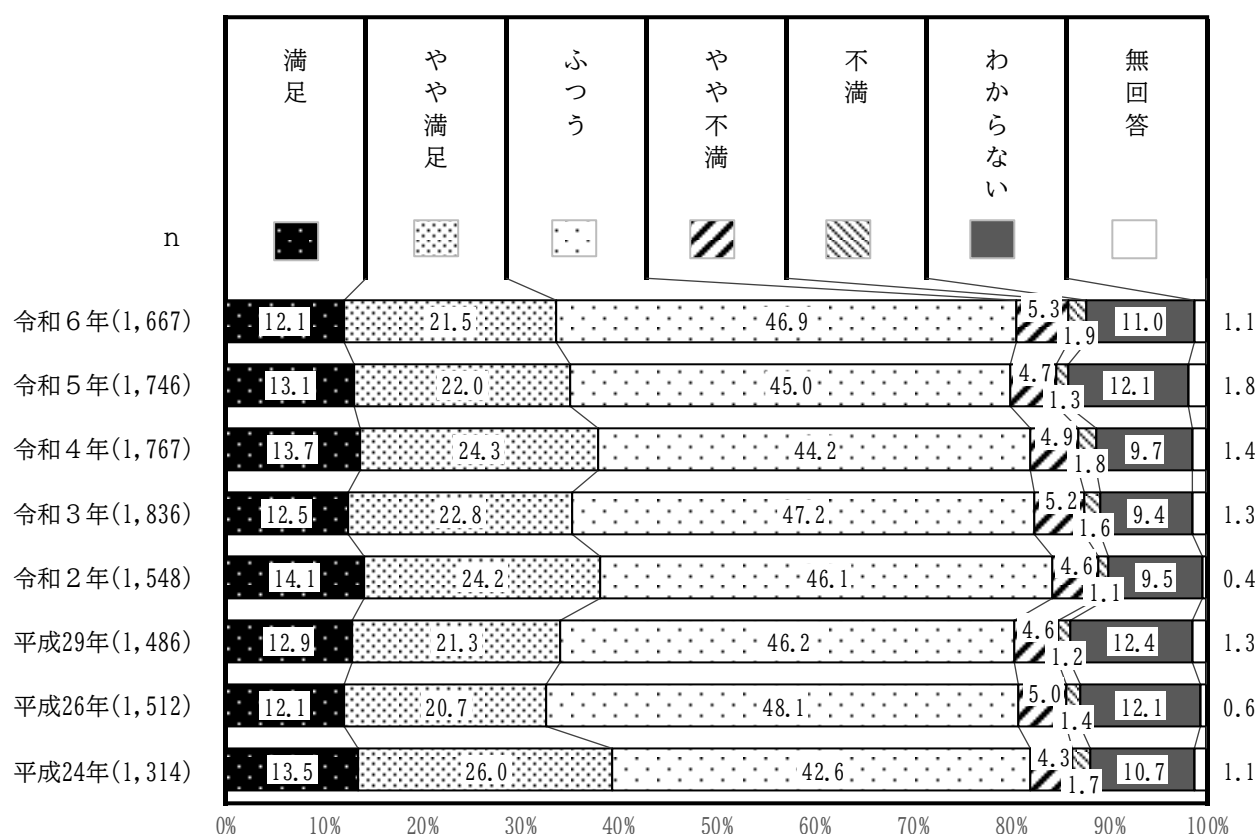
<図表2-49>⑩ 子育て環境／居住地区別



【⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は1.0ポイント、「やや満足」は0.5ポイント減少している。
一方、「不満」は0.6ポイント、「やや不満」は0.6ポイント増加している。（図表2－50）

<図表2－50>⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較

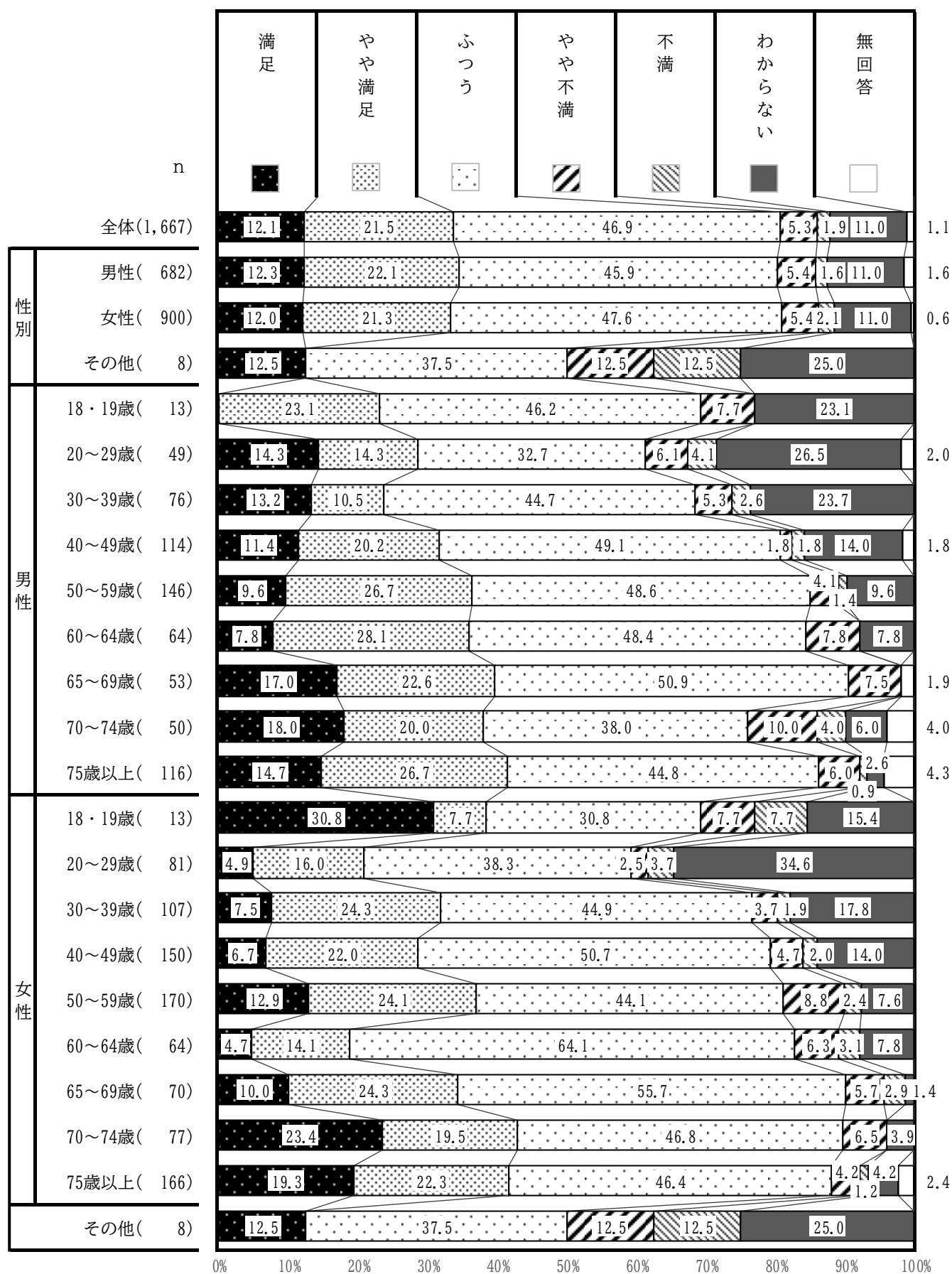


【⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別】

男性において、「満足」は70～74歳（18.0%）が2割近くと高くなっている。「やや満足」は50～59歳（26.7%）、60～64歳（28.1%）、75歳以上（26.7%）が3割近くと高く、30～39歳（10.5%）が約1割と低くなっている。「わからない」は20～29歳（26.5%）、30～39歳（23.7%）が2割台と高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（23.4%）が2割強、75歳以上（19.3%）が2割弱と高くなっている。「わからない」は20～29歳（34.6%）が3割台半ばと高くなっている。（図表2－51）

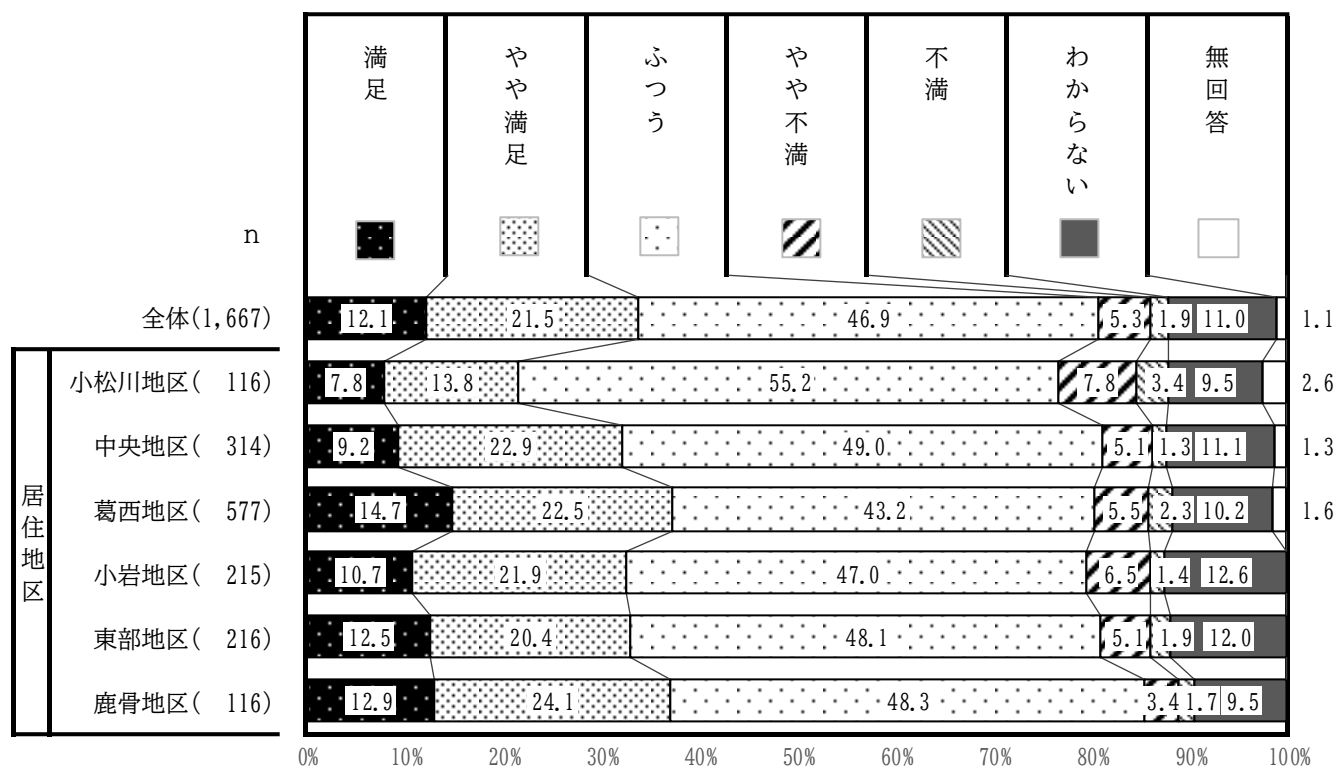
<図表2-51>⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別



【⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別】

「やや満足」は小松川地区（13.8％）が1割強と低く、「満足」と「やや満足」の合計は小松川地区が2割強と低くなっている。（図表2－52）

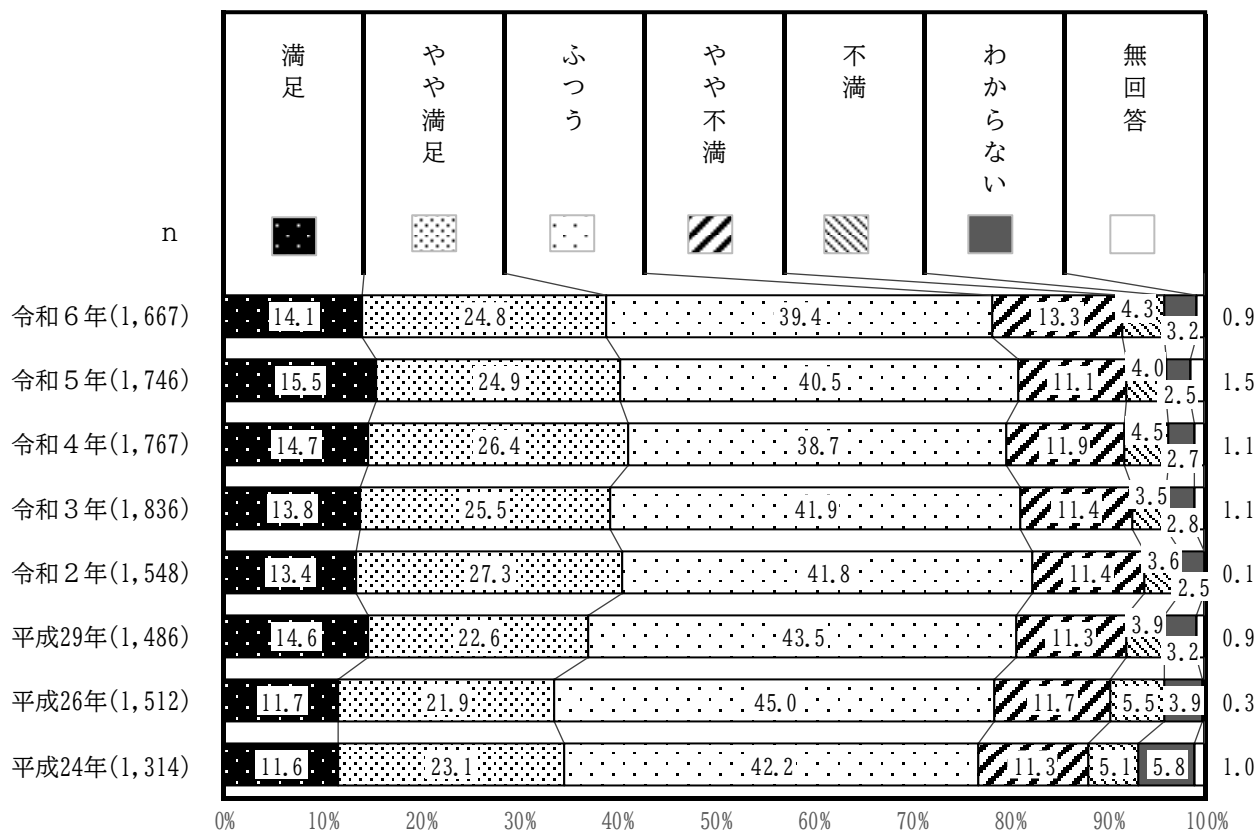
<図表2－52>⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別



【⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は1.4ポイント、「やや満足」は0.1ポイント減少している。
一方、「不満」は0.3ポイント、「やや不満」は2.2ポイント増加している。(図表2-53)

<図表2-53>⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較



【⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別】

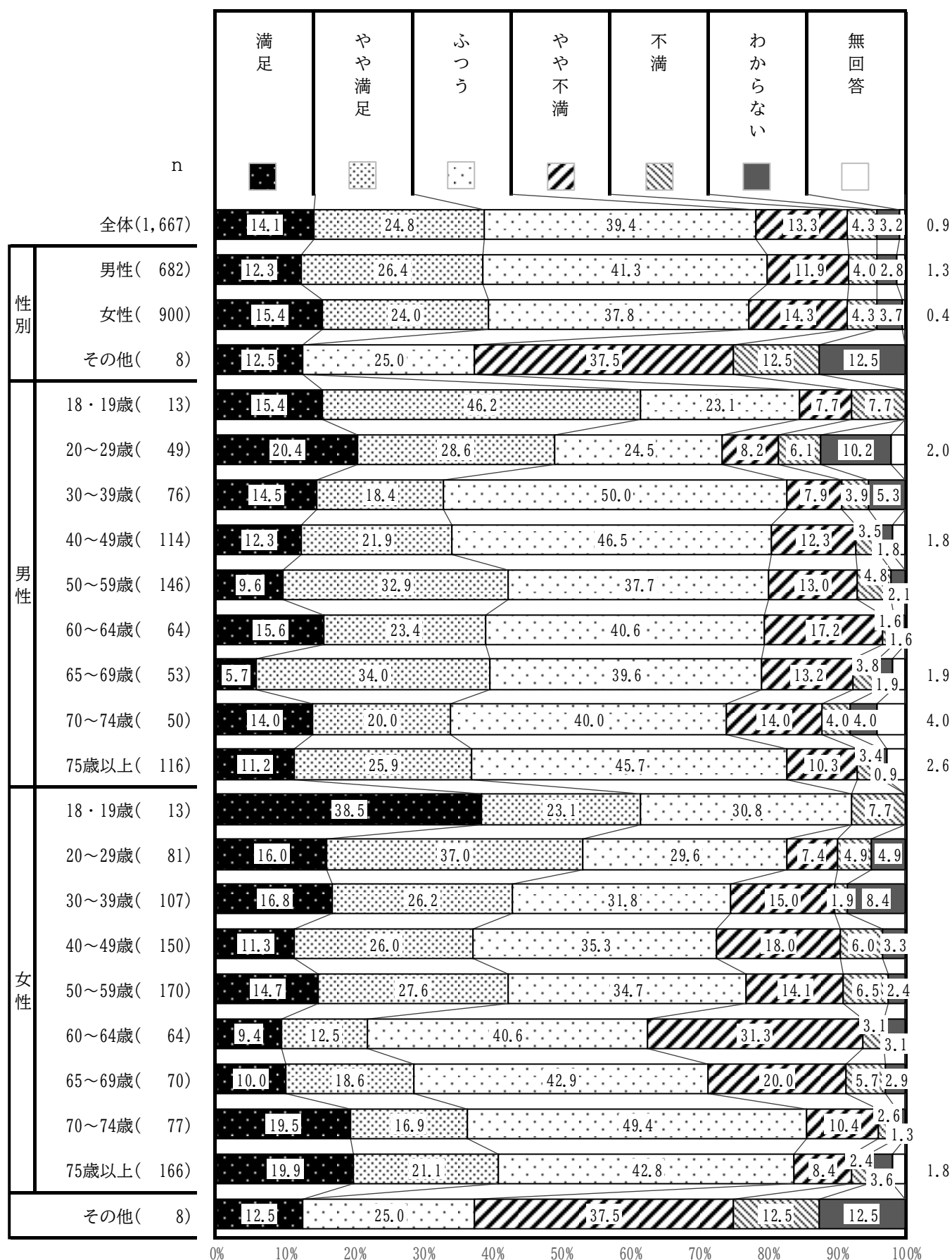
「満足」は女性（15.4%）が男性（12.3%）に比べて3.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳（20.4%）が約2割と高く、「やや満足」は50～59歳（32.9%）、65～69歳（34.0%）が3割台と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が5割弱と高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（19.5%）、75歳以上（19.9%）が2割弱と高く、「やや満足」は20～29歳（37.0%）が4割近くと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が5割強と高くなっている。「やや不満」は60～64歳（31.3%）が3割強と高くなっている。(図表2-54)

Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

＜図表2-54＞⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別

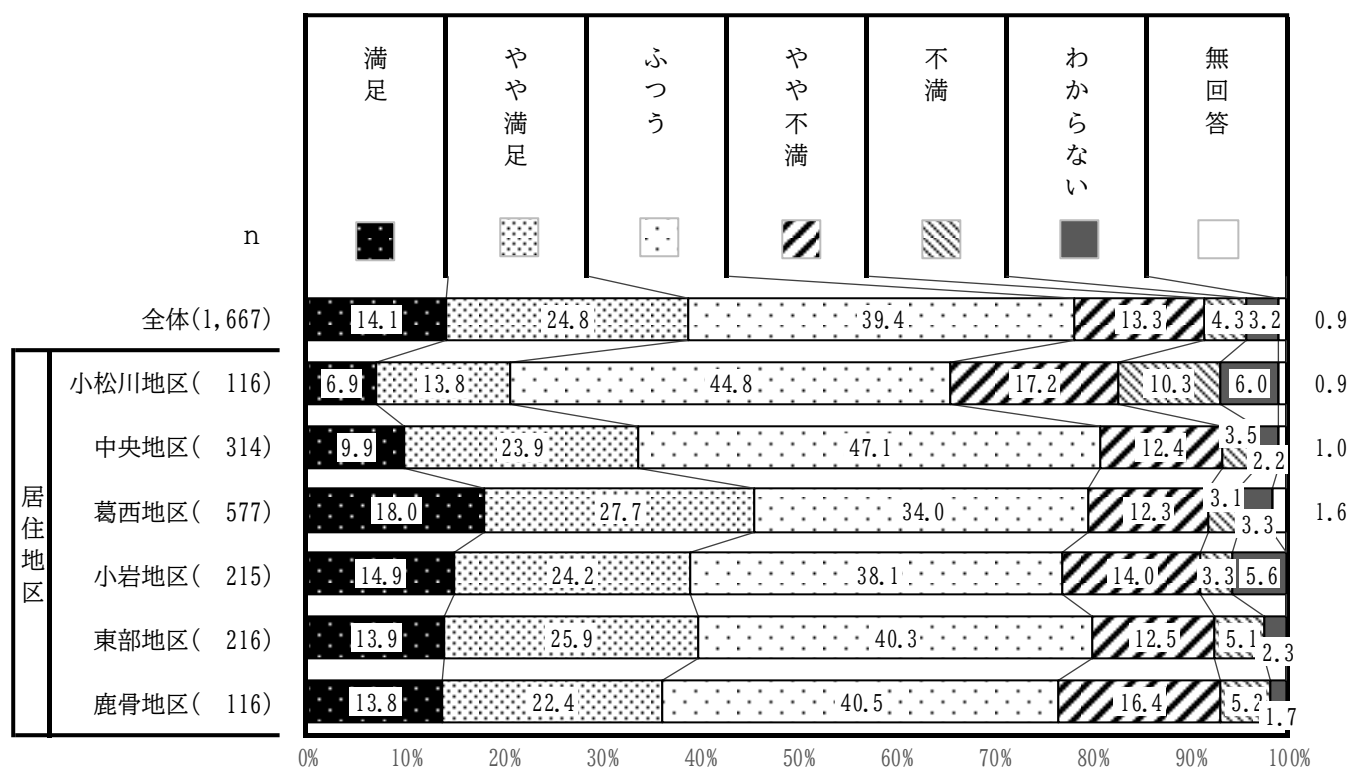


【⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別】

「やや満足」は小松川地区（13.8%）が1割強と低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が4割台半ばと高く、小松川地区が約2割と低くなっている。

「不満」は小松川地区（10.3%）が約1割と高くなっている。（図表2－55）

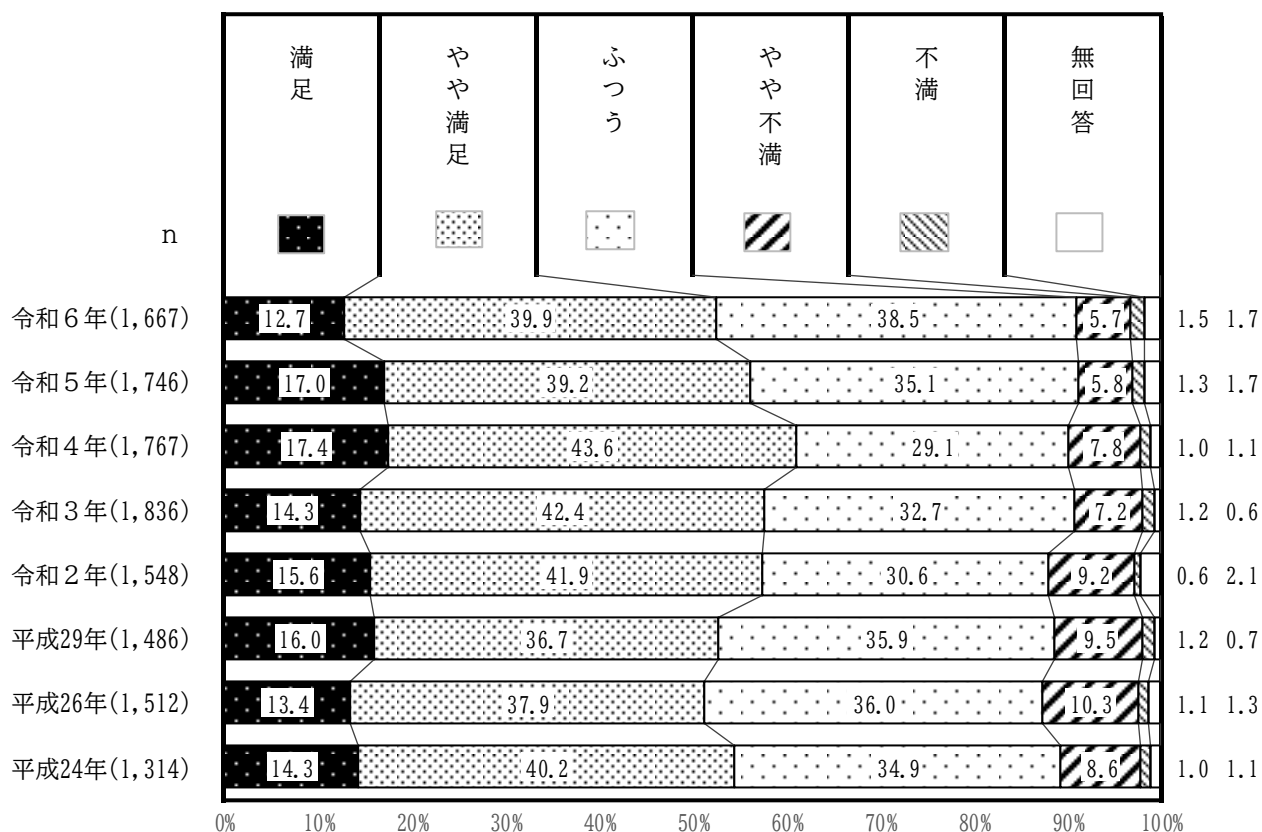
<図表2－55>⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別



【⑨ 総合的な満足度／時系列比較】

令和5年と比較すると、「満足」は4.3ポイント減少、「やや満足」は0.7ポイント増加している。
一方、「不満」は0.2ポイント増加、「やや不満」は0.1ポイント減少している。（図表2-56）

<図表2-56>⑨ 総合的な満足度／時系列比較



【⑩ 総合的な満足度／性・年齢別】

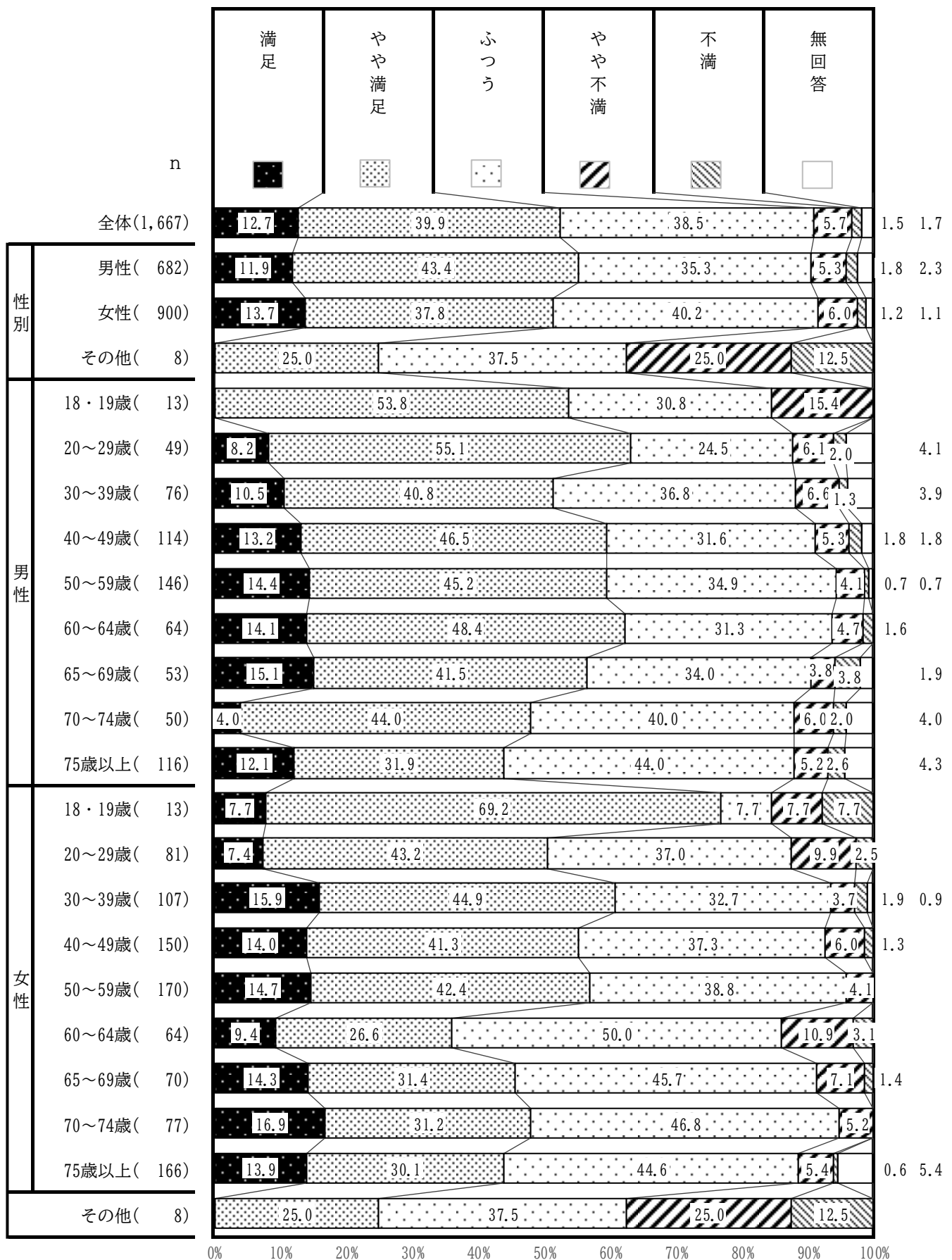
「やや満足」は男性（43.4%）が女性（37.8%）と比べて5.6ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は20～29歳（55.1%）が5割台半ばと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、60～64歳が6割強、40歳代、50歳代が6割弱と高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（44.9%）が4割台半ばと高く、60～64歳（26.6%）が3割近くと低くなっている。「やや不満」は60～64歳（10.9%）が約1割と高くなっている。

（図表2-57）

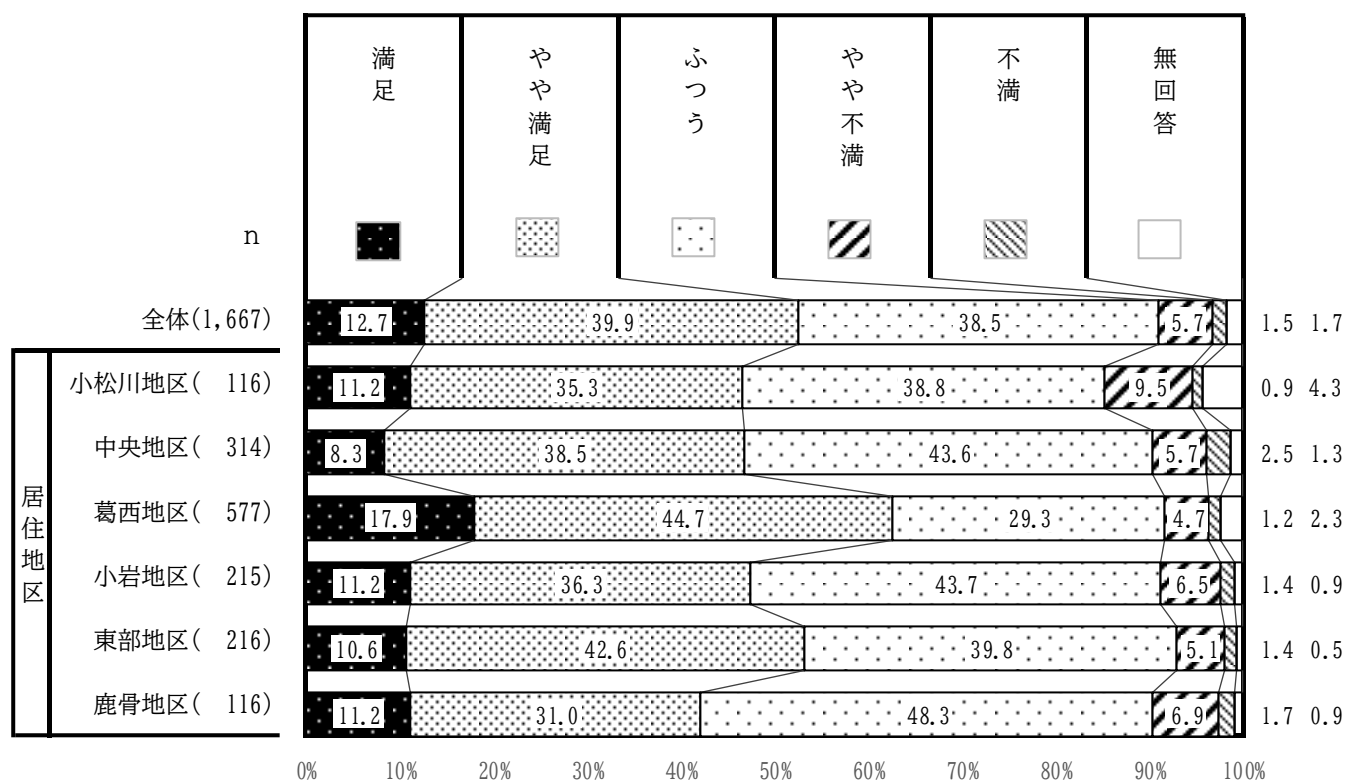
<図表2-57>⑱ 総合的な満足度／性・年齢別



【⑨ 総合的な満足度／居住地区別】

「満足」は葛西地区（17.9%）が2割近くと高く、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が6割強と高くなっている。（図表2－58）

<図表2－58> ⑨ 総合的な満足度／居住地区別



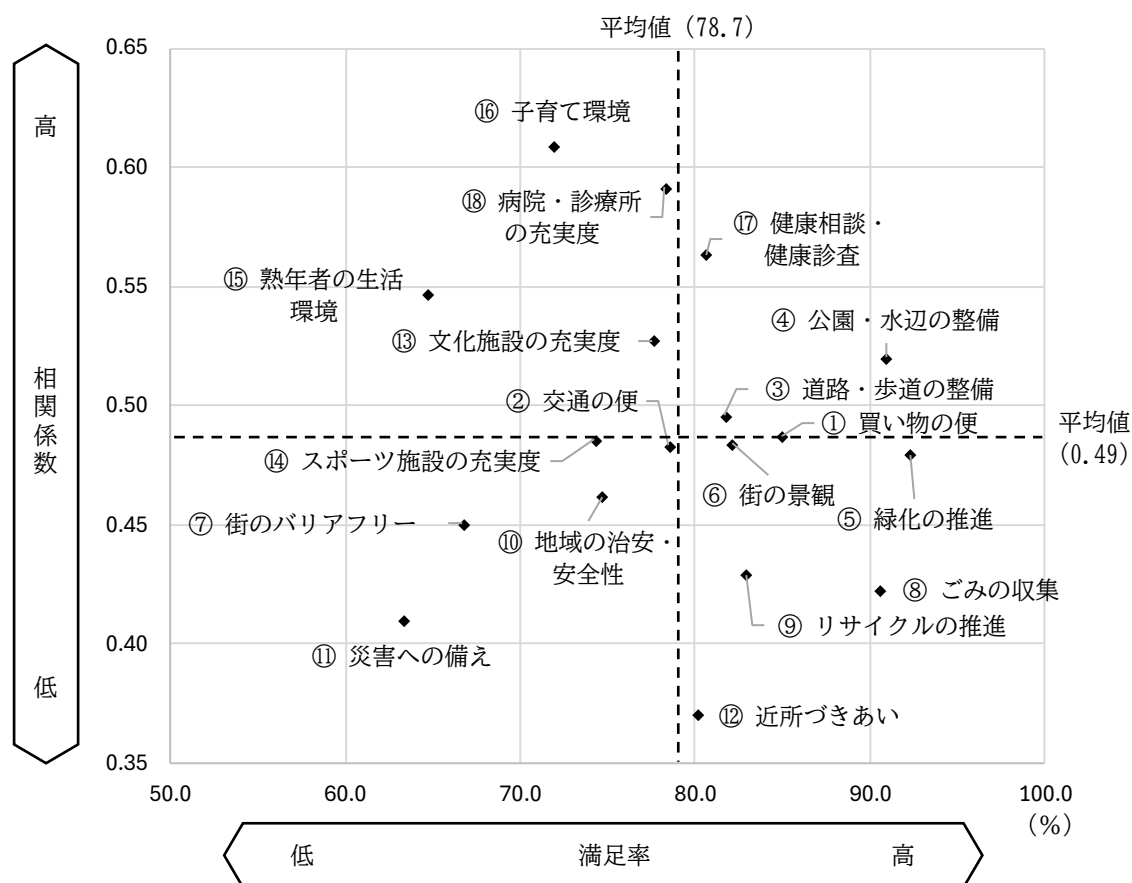
【相関分析】

「各項目の満足度」と「区の現況への満足度」から相関係数を算出し、それぞれの相関係数（①～⑮には「わからない」という選択肢があるが算出時には除外して計算している）と満足率（「満足」と「やや満足」と「ふつう」の合計の割合）から散布図を作成した。相関係数は0.2～0.4だと弱い相関関係が、0.4～0.7だと相関関係が、0.7～1.0だと強い相関関係があるとされている。

「総合的な満足度」と強い相関がある項目は見られないが、「⑰健康相談・健康診査」（0.56）、「④公園・水辺の整備」（0.52）、「③道路・歩道の整備」（0.50）は相関係数が平均値（0.49）より高く、満足率も平均値（78.7%）を上回っている。

一方、「⑮子育て環境」（0.61）、「⑱病院・診療所の充実度」（0.59）、「⑮熟年者の生活環境」（0.55）、「⑬文化施設の充実度」（0.53）は相関係数が平均値（0.49）より高いが、満足率は平均値（78.7%）を下回っている。これら4項目について改善していくことは総合的な満足度を向上させるために重要であるといえる。（図表2-59）

<図表2-59> 「各項目の満足度」と「総合的な満足度」との相関分析



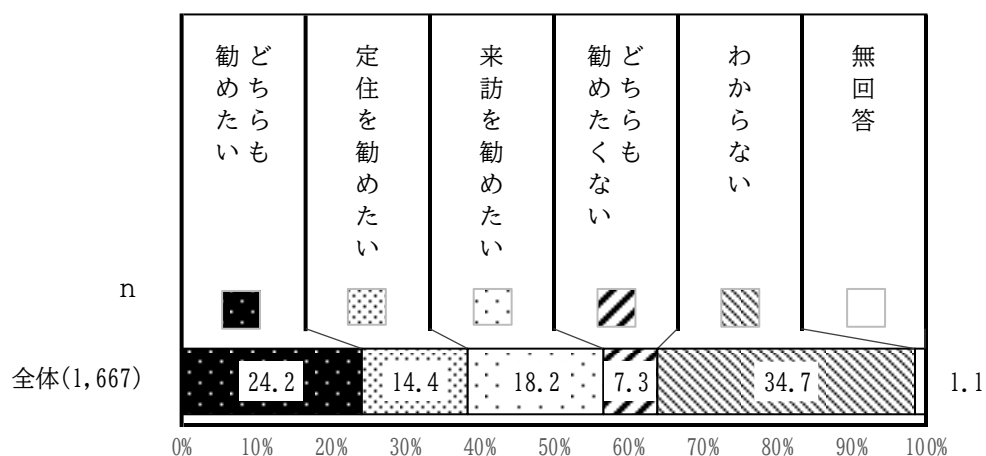
3. 区の推奨度について

(1) 定住・来訪の推奨度

◇「どちらも勧めたい」は2割台半ば。

問4 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。(○は1つ)

<図表3-1>定住・来訪の推奨度



「わからない」(34.7%)が3割台半ばと最も高く、次いで「どちらも勧めたい」(24.2%)、「来訪を勧めたい」(18.2%)、「定住を勧めたい」(14.4%)、「どちらも勧めたくない」(7.3%)となっている。

(図表3-1)

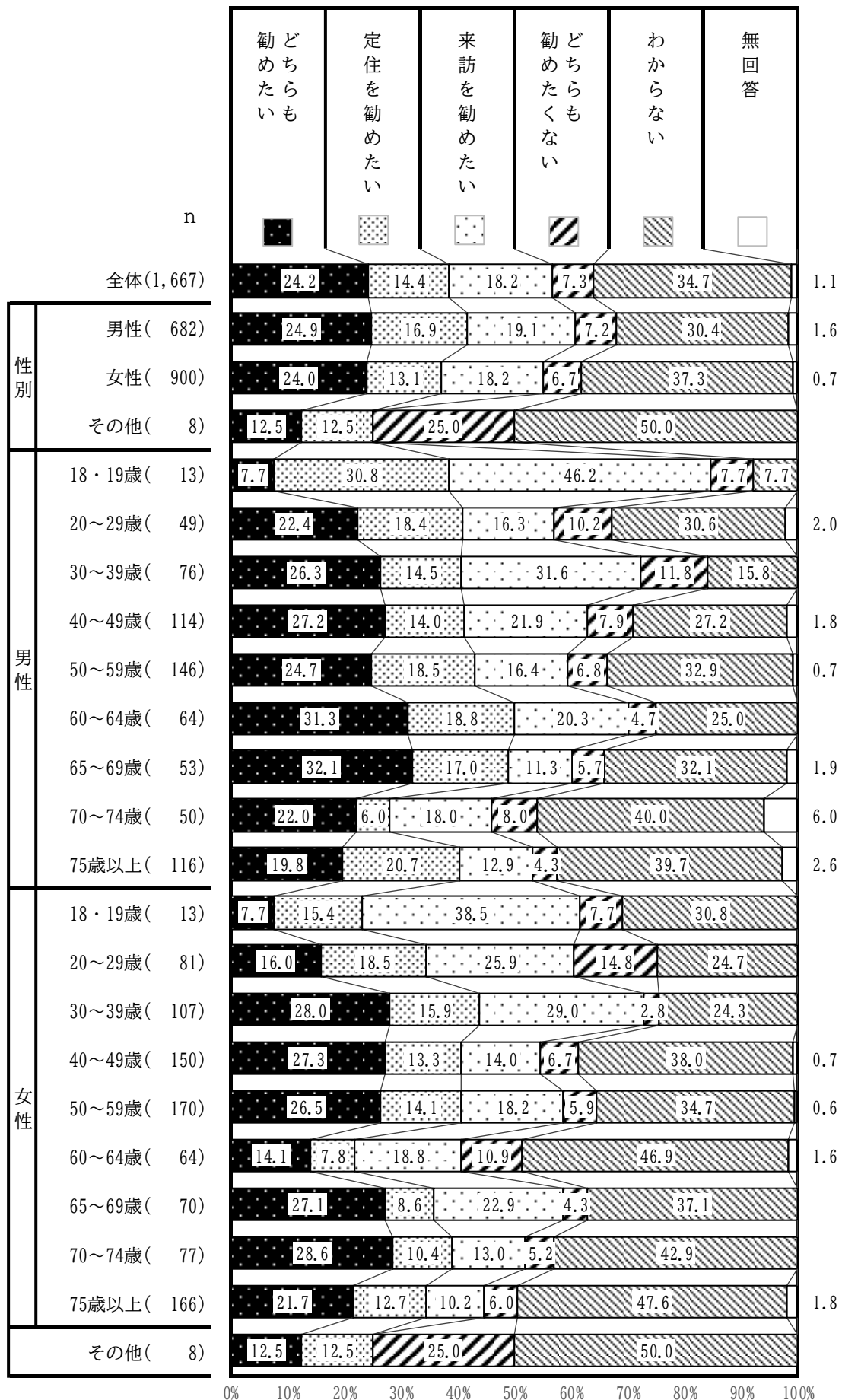
【性・年齢別】

「定住を勧めたい」は男性(16.9%)が女性(13.1%)に比べて3.8ポイント高く、「わからない」は女性(37.3%)が男性(30.4%)に比べて6.9ポイント高くなっている。

男性において、「どちらも勧めたい」は60～64歳(31.3%)、65～69歳(32.1%)が3割を超えて高くなっている。「来訪を勧めたい」は30～39歳(31.6%)が3割強と高くなっている。

女性において、「来訪を勧めたい」は30～39歳(29.0%)が3割弱と高くなっている。「どちらも勧めたくない」は20～29歳(14.8%)が1割台半ばと高くなっている。(図表3-2)

<図表3-2> 定住・来訪の推奨度／性・年齢別



4. SDGs について

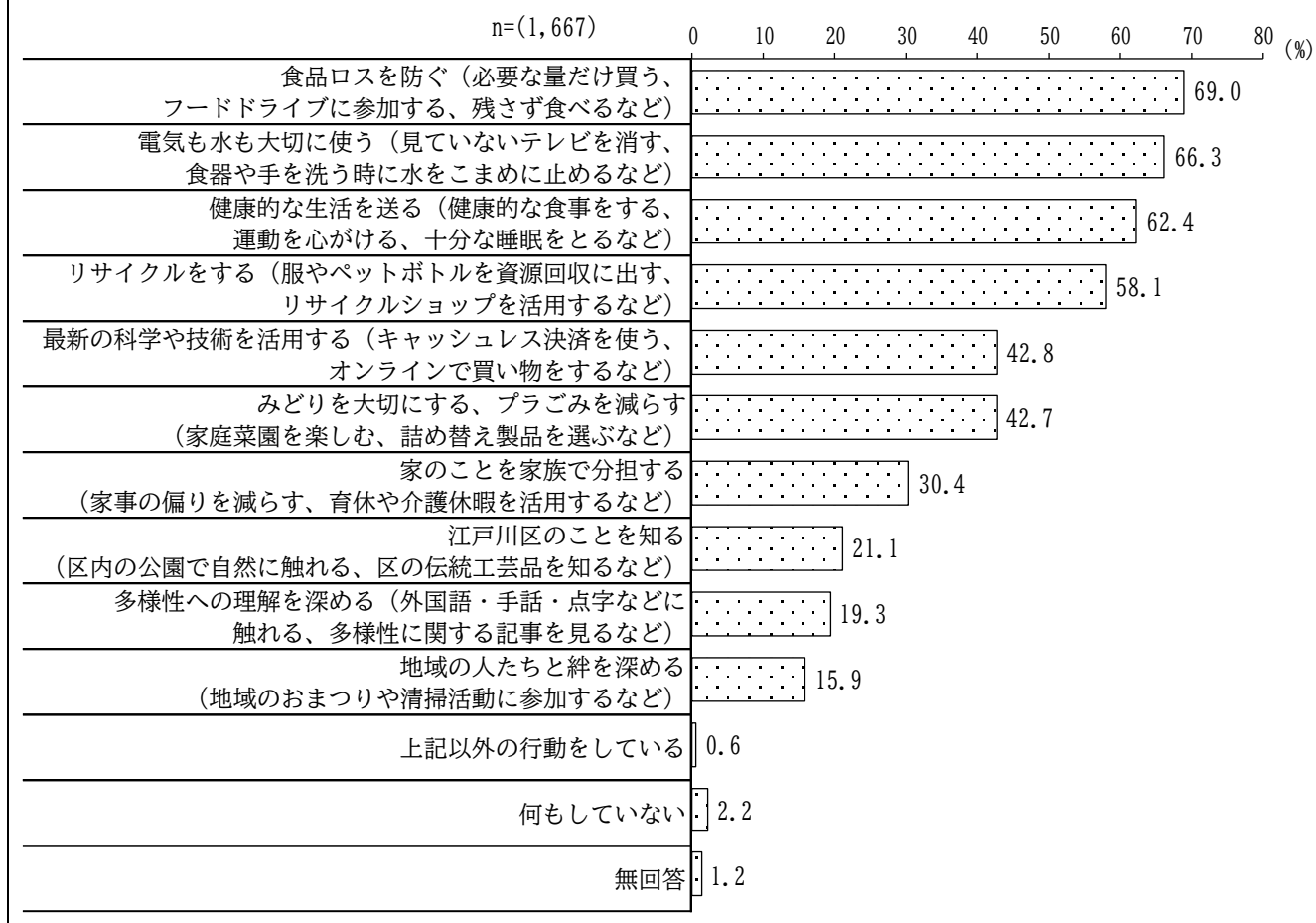
(1) 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動

◇「食品ロスを防ぐ」が7割弱で最も高い。

問5 ご自身の生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。

(○はいくつでも)

<図表4-1>日ごろから取り組んでいるSDGsの行動



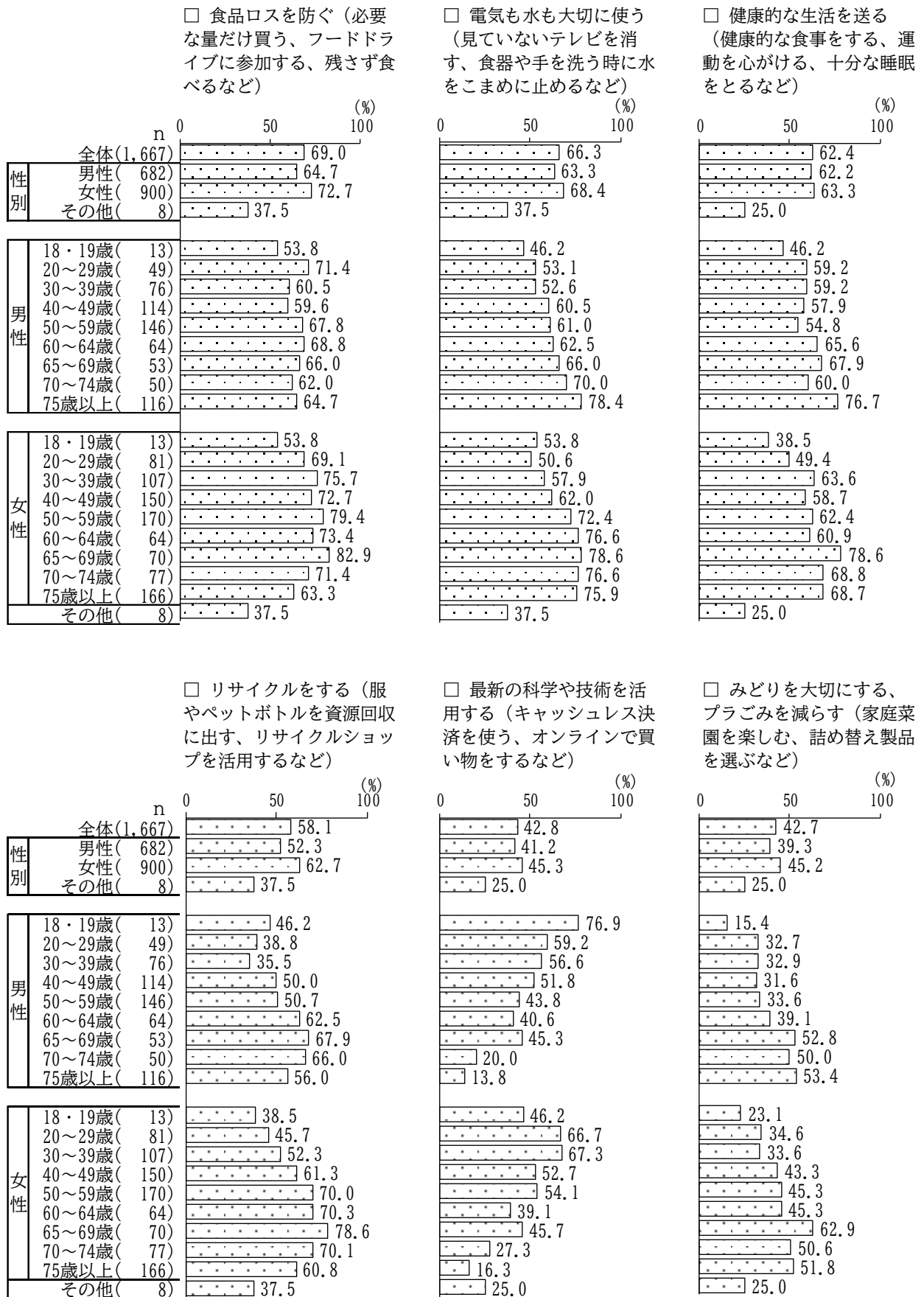
「食品ロスを防ぐ」(69.0%) が7割弱と最も高く、次いで「電気も水も大切に使う」(66.3%)、「健康的な生活を送る」(62.4%)、「リサイクルをする」(58.1%)と続いている。(図表4-1)

【性・年齢別】

上位6項目ではすべての項目で女性が男性に比べて高く、「リサイクルをする」は10.4ポイント、「食品ロスを防ぐ」は8.0ポイント高くなっている。

「電気も水も大切に使う」は男性75歳以上、女性50歳代以降が7割を超えて高くなっている。「健康的な生活を送る」は男性75歳以上、女性65～69歳が7割台と高くなっている。「リサイクルをする」は女性50歳代～70歳代前半が7割台と高くなっている。「最新の科学や技術を活用する」は男性20歳代～40歳代、女性20歳代～50歳代が5割以上と高く、男性70歳代以降、女性75歳以上が2割以下と低くなっている。(図表4-2)

<図表4-2>日ごろから取り組んでいるSDGsの行動（上位6項目）／性・年齢別



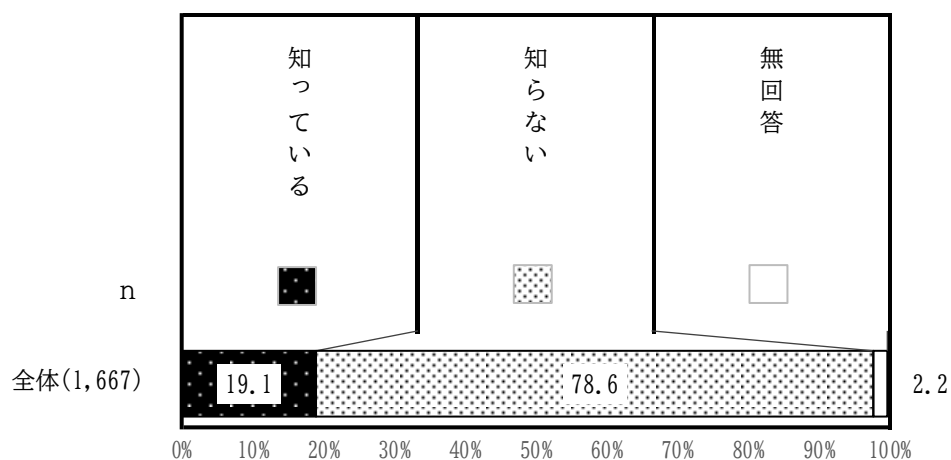
5. 共生社会について

(1) 共生社会についての認知度

◇「知っている」は19.1%。

問6 あなたは、江戸川区が全ての人とともに生きる共生社会を目指していることを知っていますか。(○は1つ)

<図表5-1> 共生社会についての認知度



江戸川区が、令和3年7月1日に制定した「ともに生きるまちを目指す条例」をもとに人の多様性を認め合い、支え合う、共生社会を目指していることの認知度は、「知らない」(78.6%)が8割近く、「知っている」(19.1%)は2割弱となっている。(図表5-1)

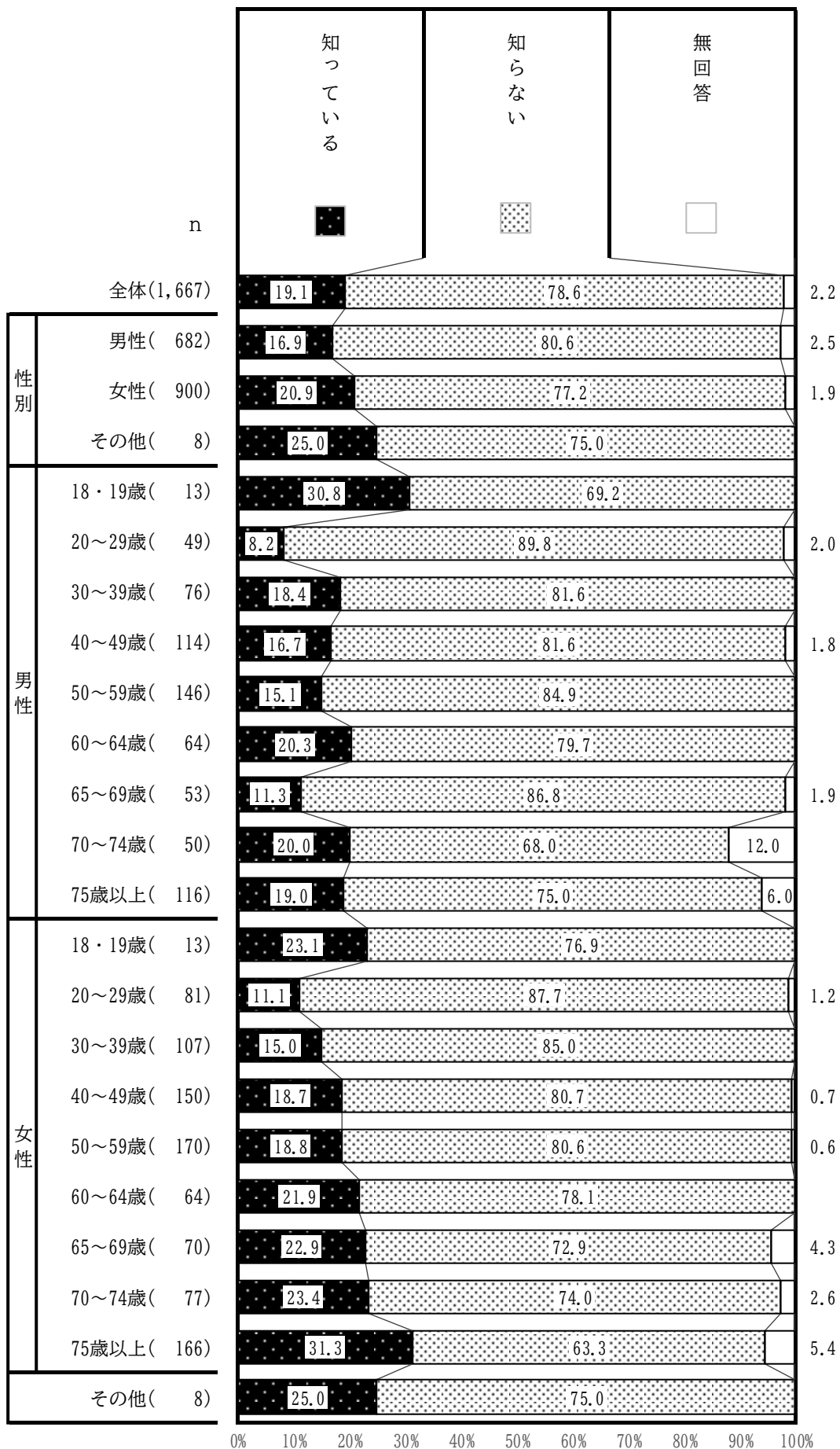
【性・年齢別】

「知っている」は女性(20.9%)が男性(16.9%)に比べて4.0ポイント高くなっている。

男性において、「知っている」は20~29歳(8.2%)が1割未満と低くなっている。

女性において、「知っている」は年代が上がるにつれて高くなっており、75歳以上(31.3%)が3割強と最も高くなっている。(図表5-2)

<図表5-2> 共生社会についての認知度／性・年齢別



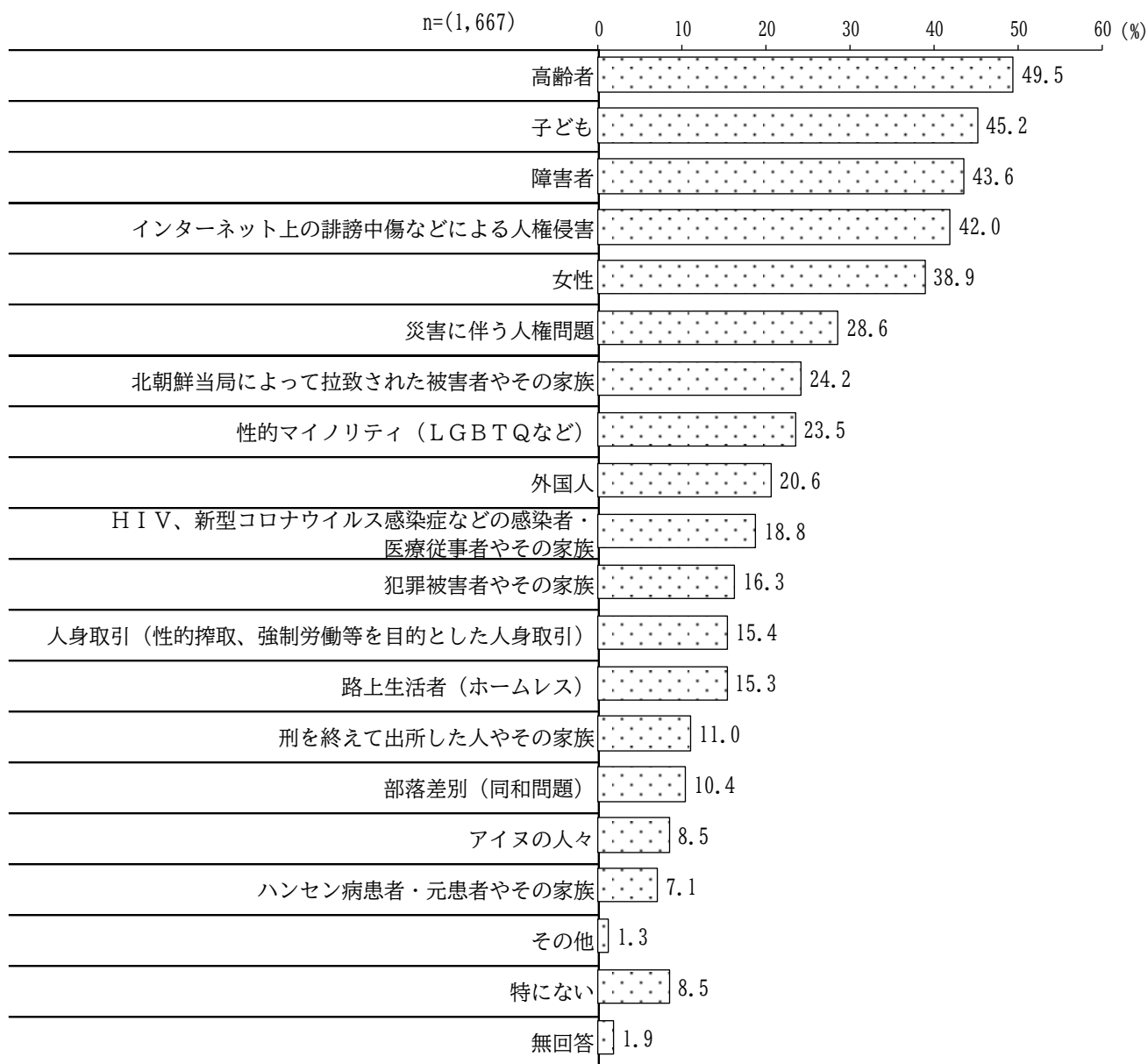
6. 人権について

(1) 関心のある人権課題

◇「高齢者」の人権課題についての関心が5割弱で最も高い。

問7 日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表6-1> 関心のある人権課題



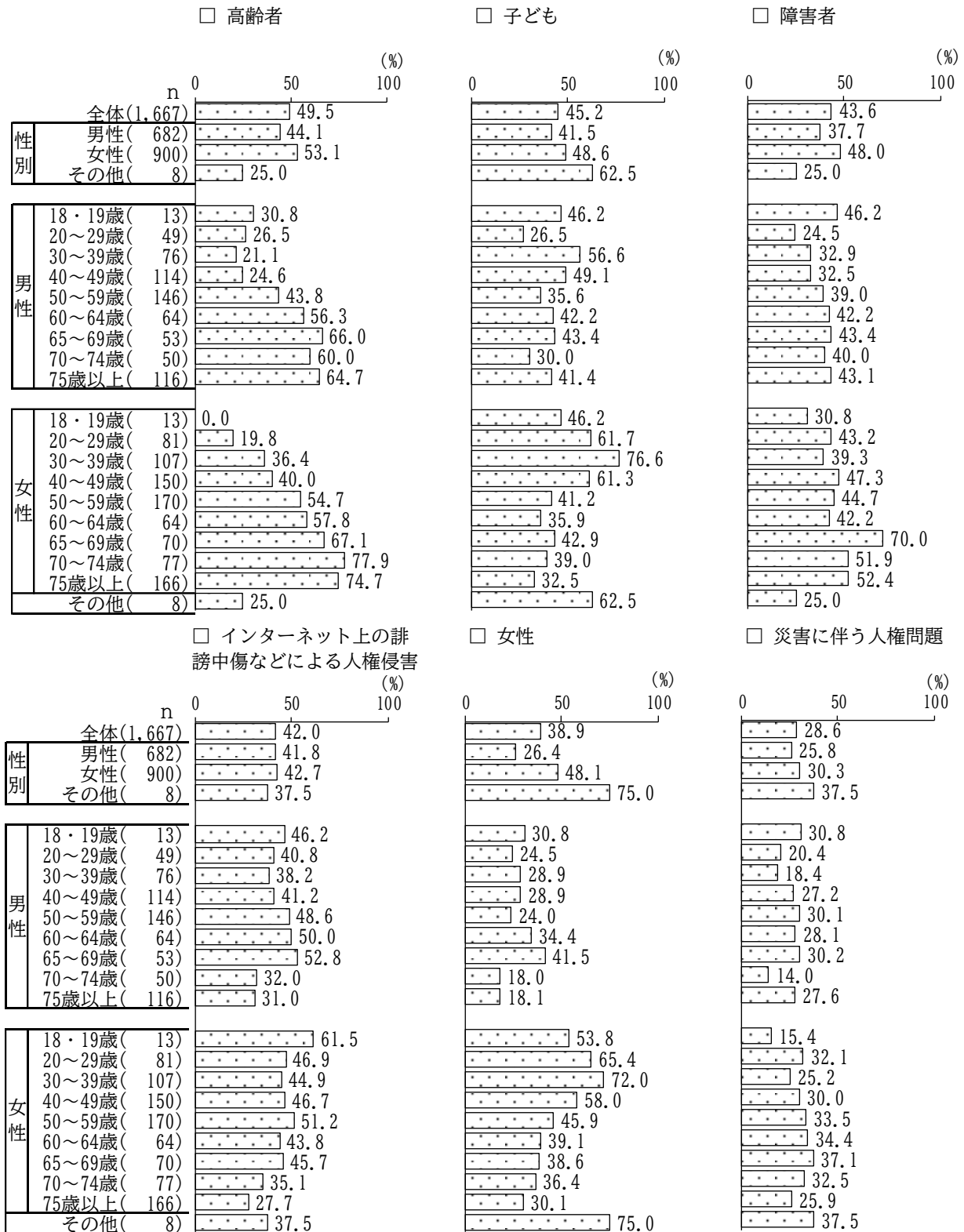
「高齢者」(49.5%) が5割弱と最も高く、次いで「子ども」(45.2%)、「障害者」(43.6%)、「インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害」(42.0%)と続いている。一方、「ハンセン病患者・元患者やその家族」(7.1%)、「アイヌの人々」(8.5%) は1割未満と低い。(図表6-1)

【性・年齢別】

上位6項目ではすべての項目で女性が男性に比べて高く、「障害者」は女性（48.0％）が男性（37.7％）に比べて10.3ポイント、「女性」は女性（48.1％）が男性（26.4％）に比べて21.7ポイント高くなっている。

「高齢者」は男性、女性ともに65歳以降が6割以上と高くなっている。「子ども」は女性20歳代～40歳代が6割以上と高く、30～39歳（76.6％）が8割近くと最も高くなっている。（図表6－2）

<図表6－2> 関心のある人権課題（上位6項目）／性・年齢別



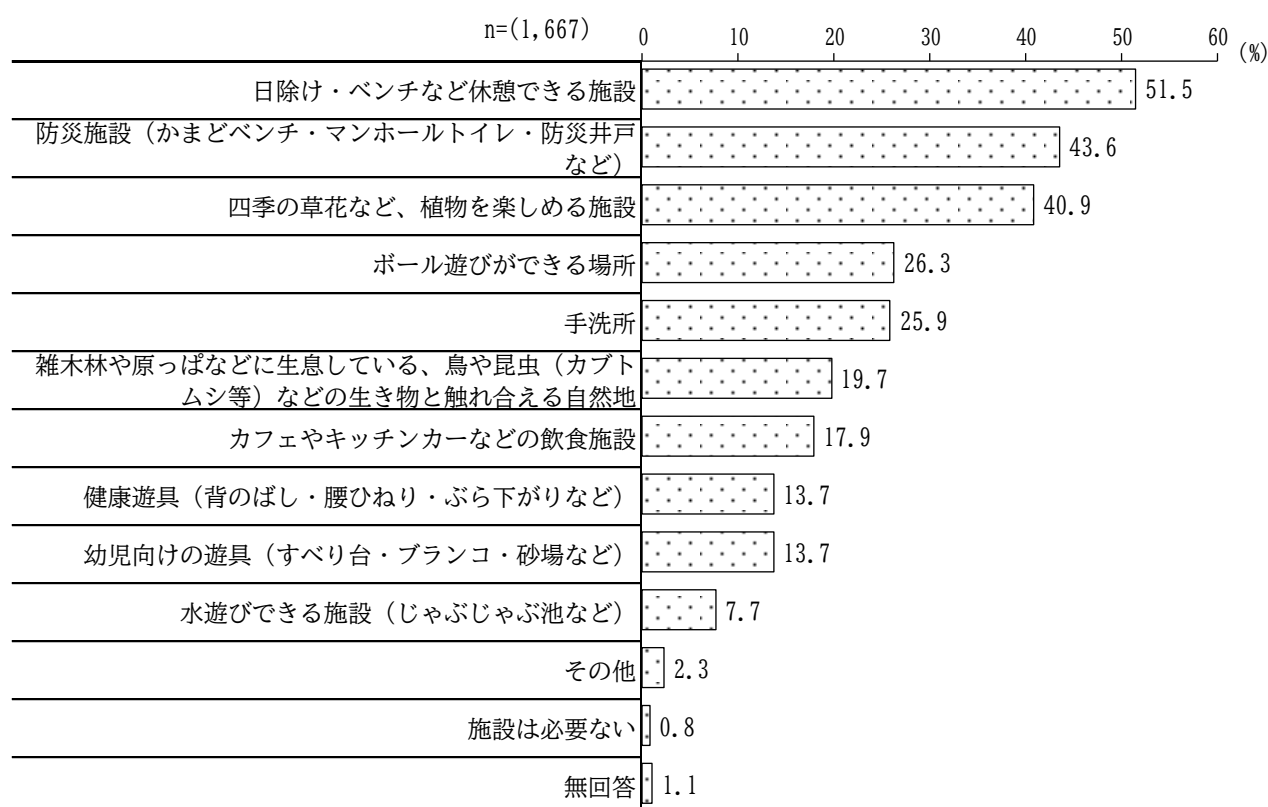
7. 公園について

(1) 公園への要望

◇「日除け・ベンチなど休憩できる施設」が5割強で最も高い。

問8 あなたが、今後の公園に特に必要だと思う施設は何ですか。(○は3つまで)

<図表7-1>公園への要望



「日除け・ベンチなど休憩できる施設」(51.5%)が5割強と最も高く、次いで「防災施設(かまどベンチ・マンホールトイレ・防災井戸など)」(43.6%)、「四季の草花など、植物を楽しむ施設」(40.9%)と続いている。一方、「水遊びできる施設(じゃぶじゃぶ池など)」(7.7%)は1割未満と低い。

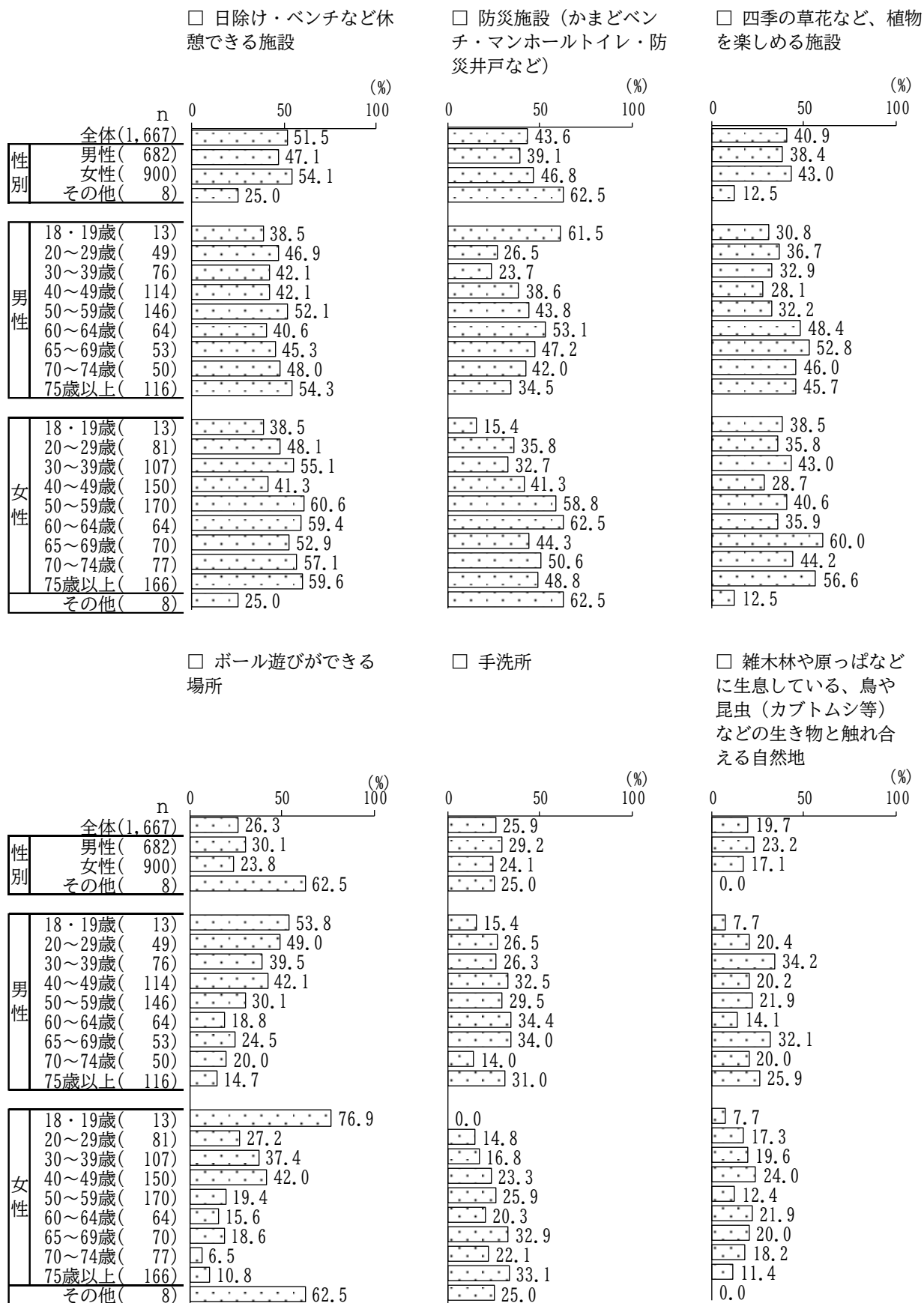
(図表7-1)

【性・年齢別】

「日除け・ベンチなど休憩できる施設」は女性(54.1%)が男性(47.1%)に比べて7.0ポイント、「防災施設」は女性(46.8%)が男性(39.1%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

「防災施設」は女性50～59歳(58.8%)が6割近く、60～64歳(62.5%)が6割強と高く、男性20～29歳(26.5%)、30～39歳(23.7%)が2割台と低くなっている。「ボール遊びができる場所」は男性20歳代～40歳代、女性30歳代、40歳代が3割台半ばを超えて高く、男性20～29歳(49.0%)が5割弱と最も高い。(図表7-2)

<図表7-2>公園への要望（上位6項目）／性・年齢別



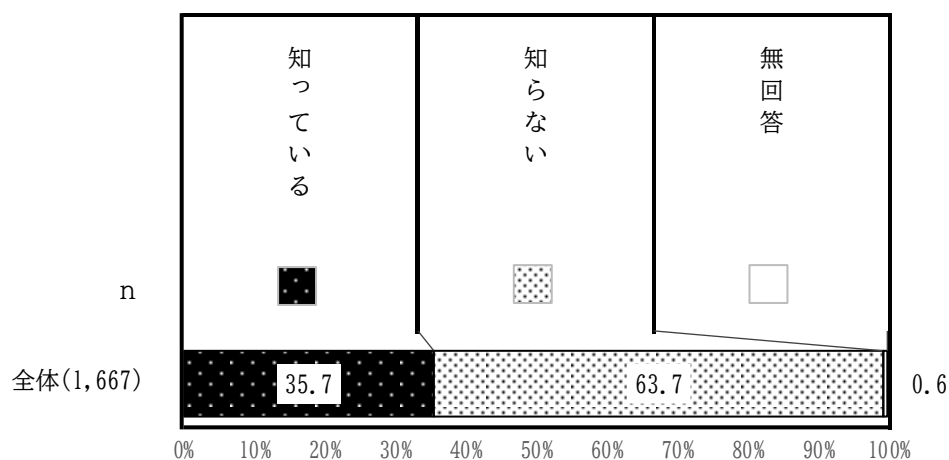
8. 葛西海浜公園について

(1) 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度

◇葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを「知っている」は3割台半ば。

問9 あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。
(○は1つ)

<図表8-1> 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度



葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度は、「知らない」(63.7%)が6割強、「知っている」(35.7%)は3割台半ばとなっている。(図表8-1)

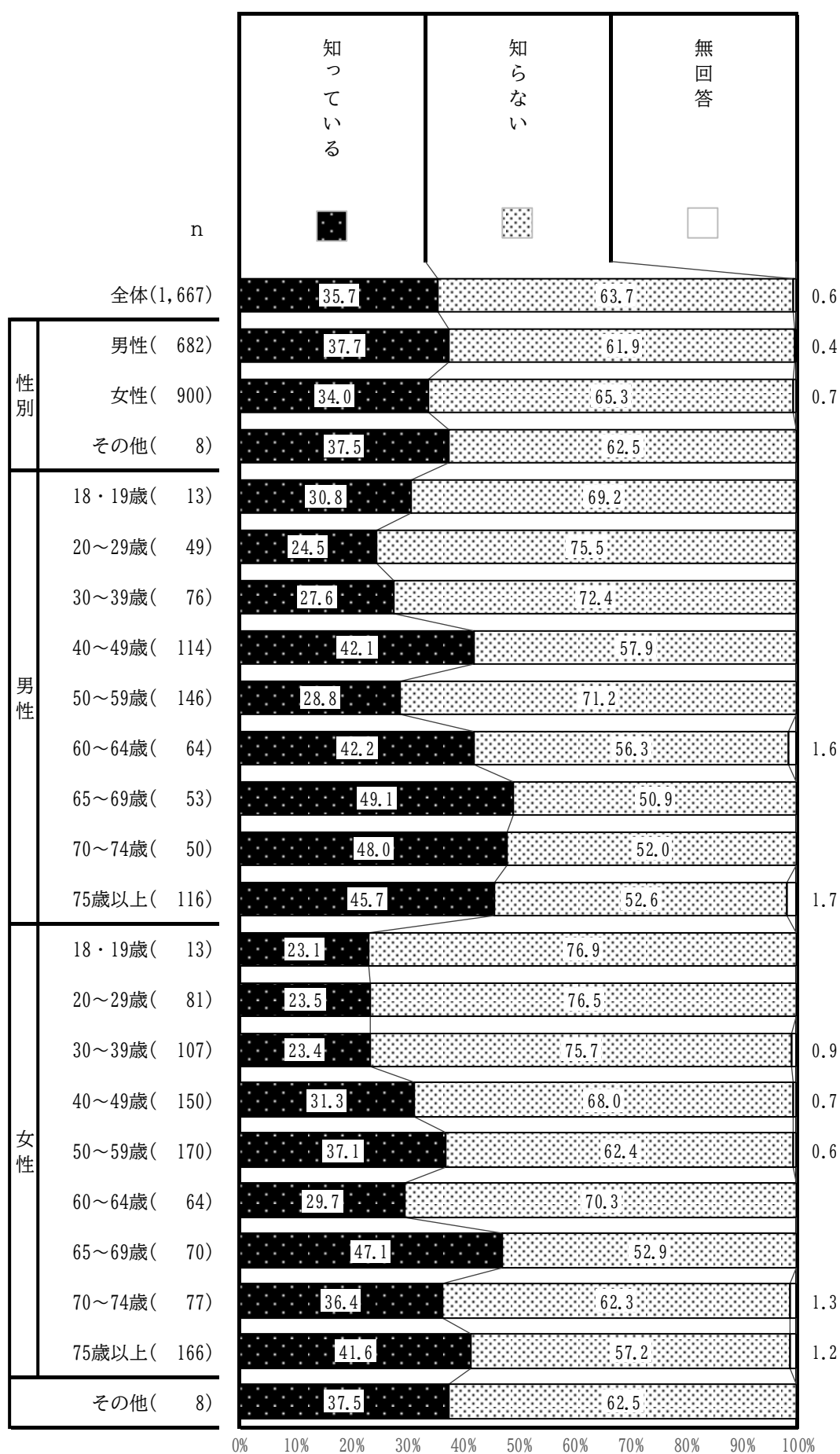
【性・年齢別】

「知っている」は男性(37.7%)が女性(34.0%)に比べて3.7ポイント高くなっている。

男性において、「知っている」は65歳以降が4割台半ば以上と高くなっている。「知らない」は20~29歳(75.5%)が7割台半ばと高くなっている。

女性において、「知っている」は65~69歳(47.1%)が5割近くと高くなっている。「知らない」は20~29歳(76.5%)、30~39歳(75.7%)が7割台半ば以上と高くなっている。(図表8-2)

<図表8-2> 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度／性・年齢別



9. 脱炭素化について

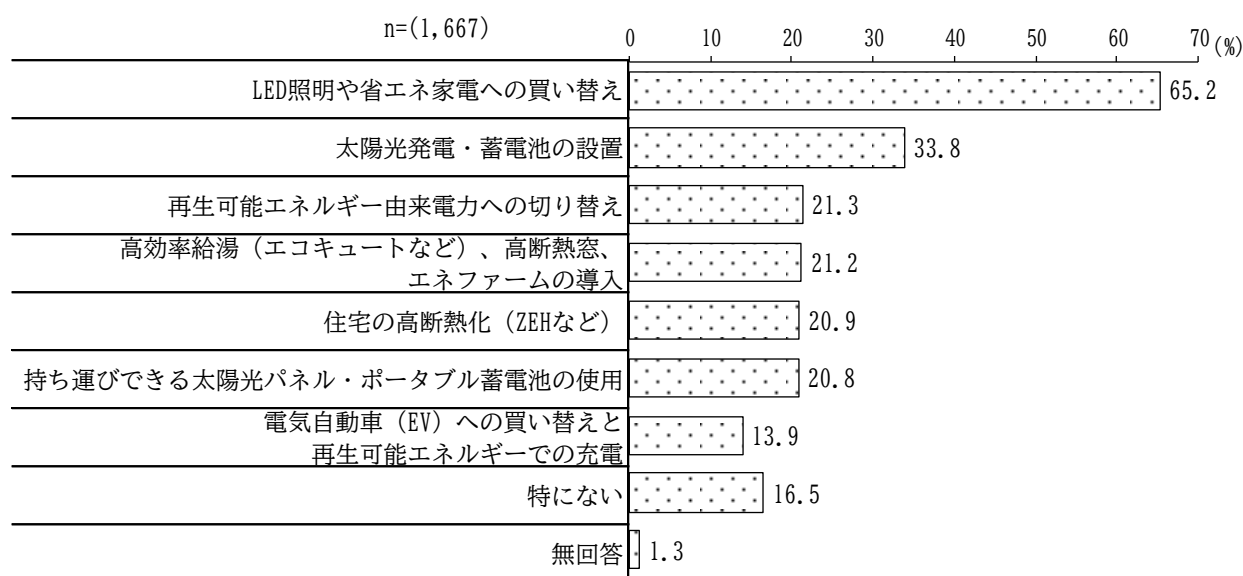
(1) 関心がある取り組み

◇「LED 照明や省エネ家電への買い替え」が 6 割台半ばで最も高い。

問 10 あなたが、導入・検討した取り組みや関心がある取り組みをお答えください。

(○はいくつでも)

<図表 9-1> 関心がある取り組み



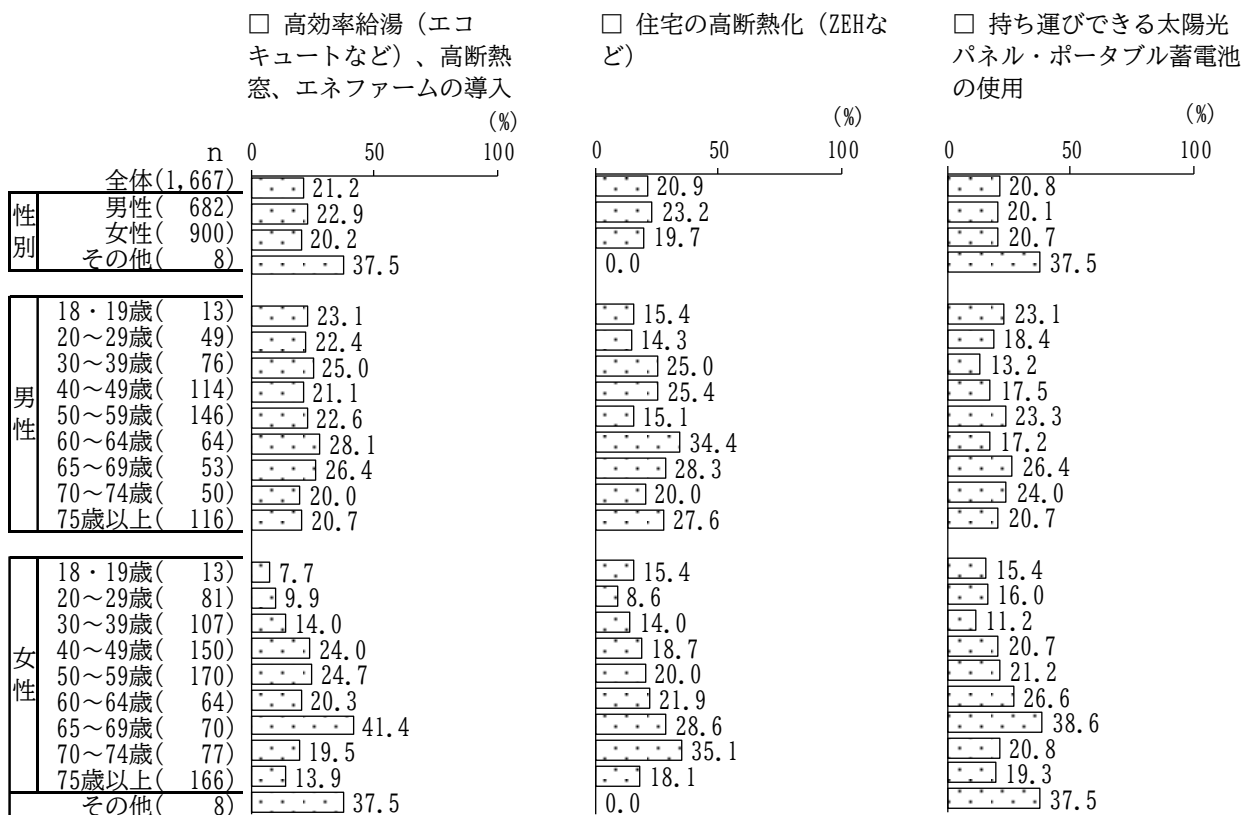
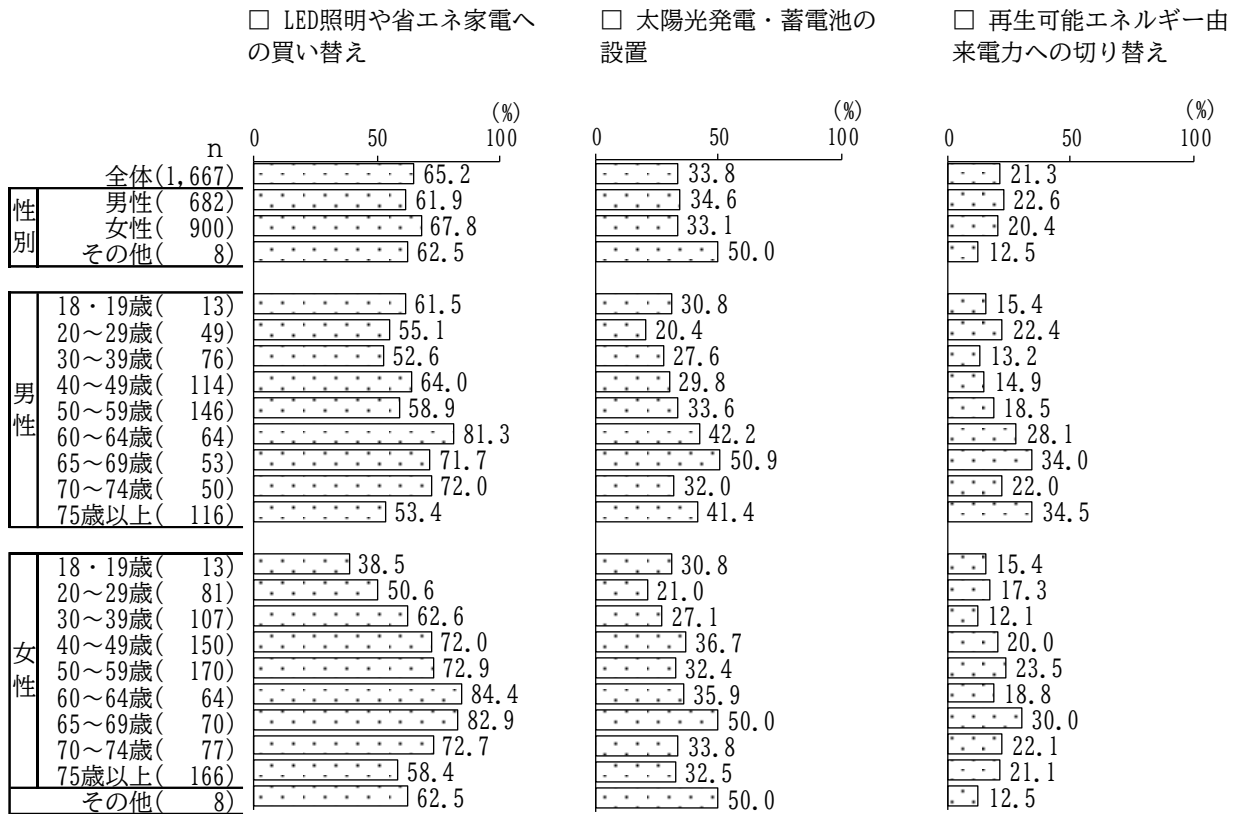
「LED 照明や省エネ家電への買い替え」(65.2%) が 6 割台半ばと最も高くなっている。次いで「太陽光発電・蓄電池の設置」(33.8%) となっている。(図表 9-1)

【性・年齢別】

「LED 照明や省エネ家電への買い替え」は女性 (67.8%) が男性 (61.9%) に比べて 5.9 ポイント高くなっている。

「LED 照明や省エネ家電への買い替え」は男性 60～64 歳 (81.3%)、女性 60～64 歳 (84.4%)、65～69 歳 (82.9%) が 8 割台と高くなっている。「太陽光発電・蓄電池の設置」は男性、女性ともに 65～69 歳が 5 割台と高くなっている。「高効率給湯 (エコキュートなど)、高断熱窓、エネファームの導入」は女性 65～69 歳 (41.4%) が 4 割強と高くなっている。「持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用」は女性 65～69 歳 (38.6%) が 4 割近くと高くなっている。(図表 9-2)

<図表9-2> 関心がある取り組み（上位6項目）／性・年齢別

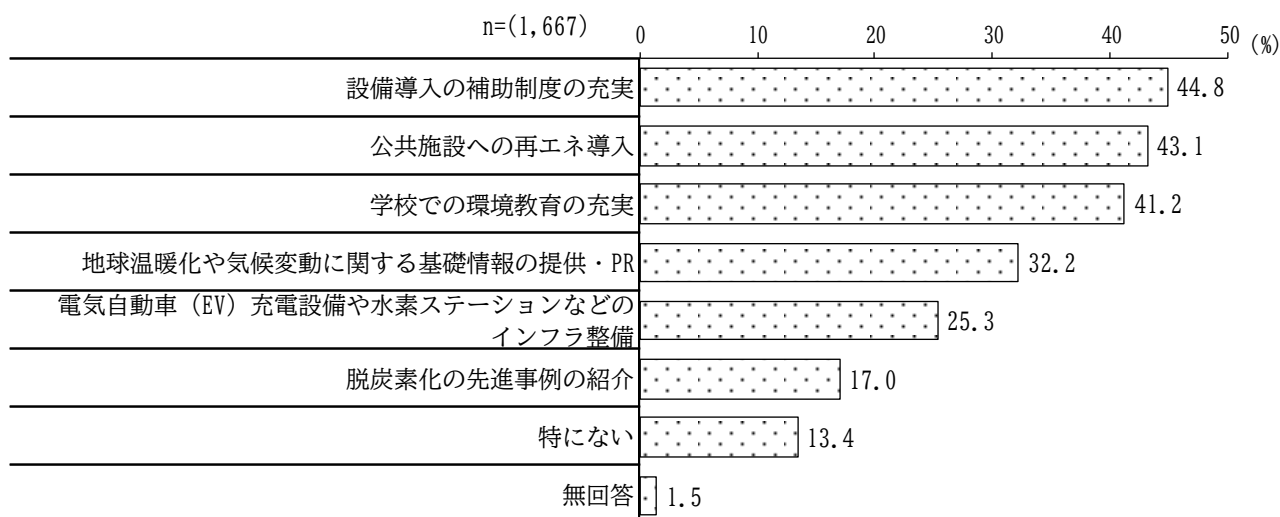


(2) 区に取り組んでほしい取り組み

◇「設備導入の補助制度の充実」が4割台半ばで最も高い。

問 11 脱炭素化を進めていくために、あなたは、江戸川区にどのような取り組みをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

<図表9-3> 区に取り組んでほしい取り組み



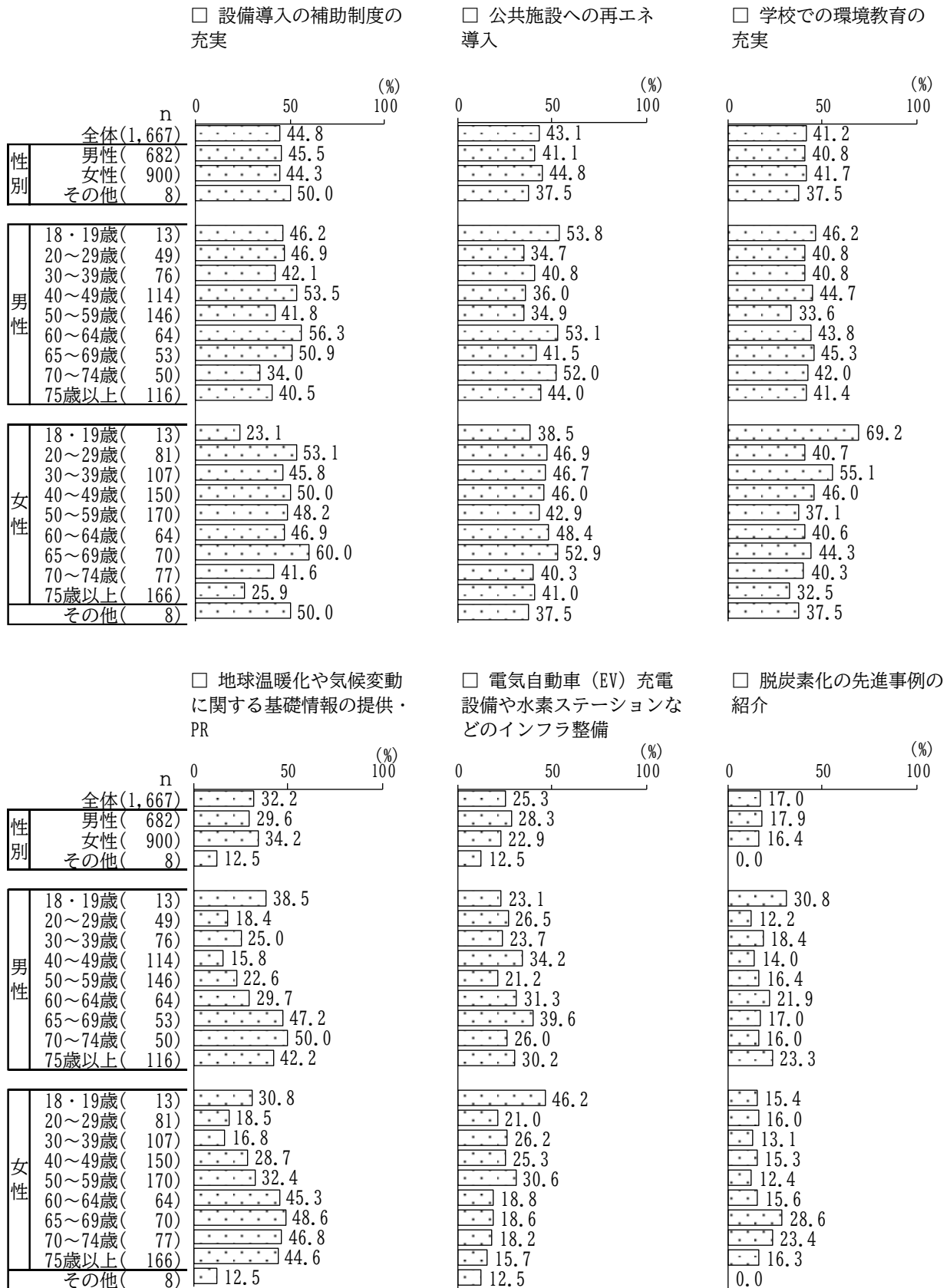
「設備導入の補助制度の充実」(44.8%) が4割台半ばと最も高く、次いで「公共施設への再エネ導入」(43.1%)、「学校での環境教育の充実」(41.2%)と続いている。(図表9-3)

【性・年齢別】

「地球温暖化や気候変動に関する基礎情報の提供・PR」は女性(34.2%)が男性(29.6%)に比べて4.6ポイント高く、「電気自動車(EV)充電設備や水素ステーションなどのインフラ整備」は男性(28.3%)が女性(22.9%)に比べて5.4ポイント高くなっている。

「設備導入の補助制度の充実」は男性60～64歳(56.3%)、女性65～69歳(60.0%)が5割台半ばを超えて高くなっている。「学校での環境教育の充実」は女性30～39歳(55.1%)が5割台半ばと高くなっている。「地球温暖化や気候変動に関する基礎情報の提供・PR」は男性65歳以降、女性60歳代以降の高齢層で高く、男性70～74歳(50.0%)が5割と最も高くなっている。(図表9-4)

<図表9-4> 区に取り組んでほしい取り組み（上位6項目）／性・年齢別



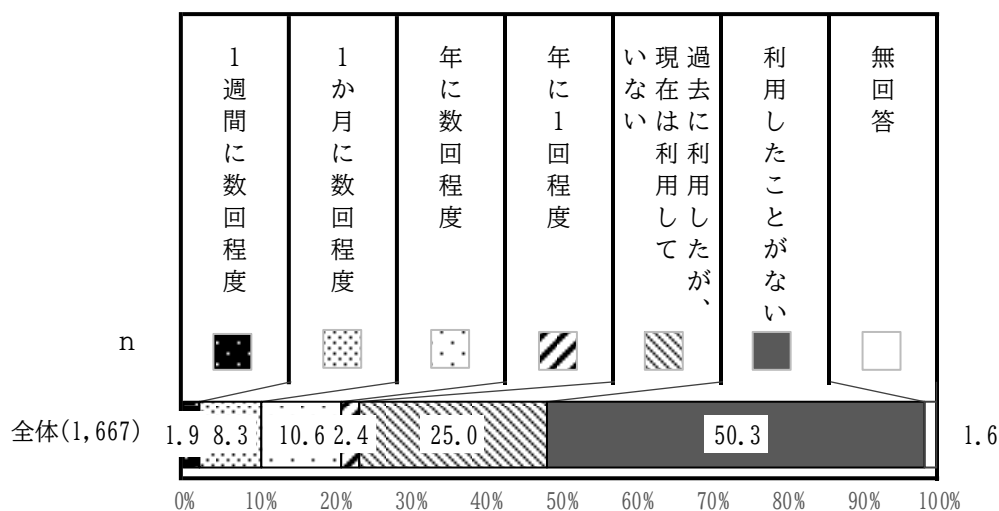
10. 図書館について

(1) 図書館や図書館サテライトの利用頻度

◇「利用したことがない」が約5割で半数を占める。

問 12 あなたは、図書館や図書館サテライトをどのくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)

<図表 10-1> 図書館や図書館サテライトの利用頻度



「利用したことがない」(50.3%)が約5割と最も高くなっている。次いで「過去に利用したが、現在は利用していない」(25.0%)、「年に数回程度」(10.6%)、「1か月に数回程度」(8.3%)、「年に1回程度」(2.4%)、「1週間に数回程度」(1.9%)となっている。(図表 10-1)

【性・年齢別】

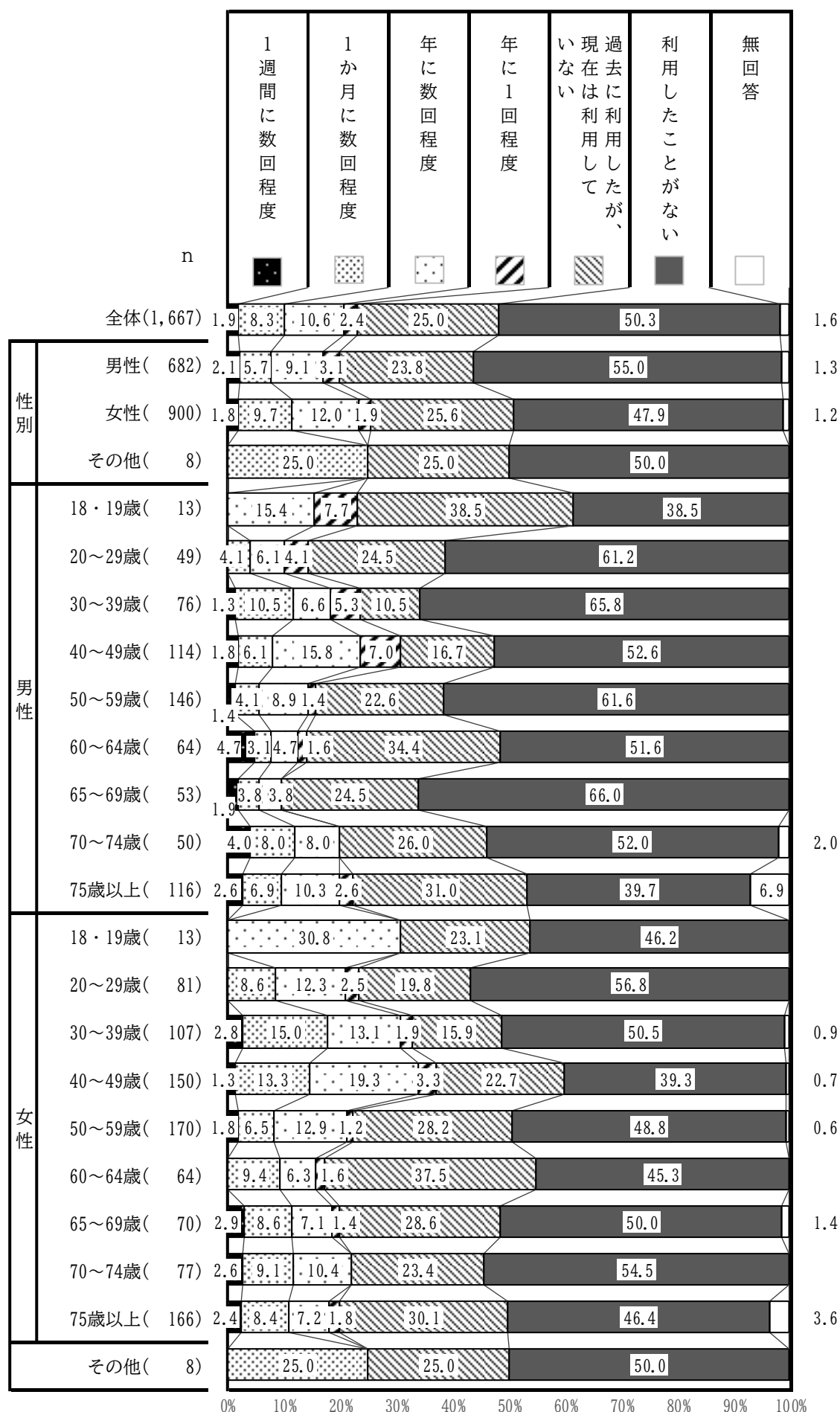
「1か月に数回程度」は女性(9.7%)が男性(5.7%)に比べて4.0ポイント高く、「利用したことがない」は男性(55.0%)が女性(47.9%)に比べて7.1ポイント高くなっている。

男性において、「利用したことがない」は20歳代、30歳代、50歳代、65～69歳が6割台となっており、65～69歳(66.0%)が7割近くと最も高くなっている。「過去に利用したが、現在は利用していない」は60～64歳(34.4%)、75歳以上(31.0%)が3割台と高く、「利用したことがない」と「過去に利用したが、現在は利用していない」の合計は60歳代が8割以上と高くなっている。

女性において、「利用したことがない」は20～29歳(56.8%)が6割近くと高くなっている。「過去に利用したが、現在は利用していない」は60～64歳(37.5%)が4割近くと高くなっている。

(図表 10-2)

<図表 10-2> 図書館や図書館サテライトの利用頻度／性・年齢別



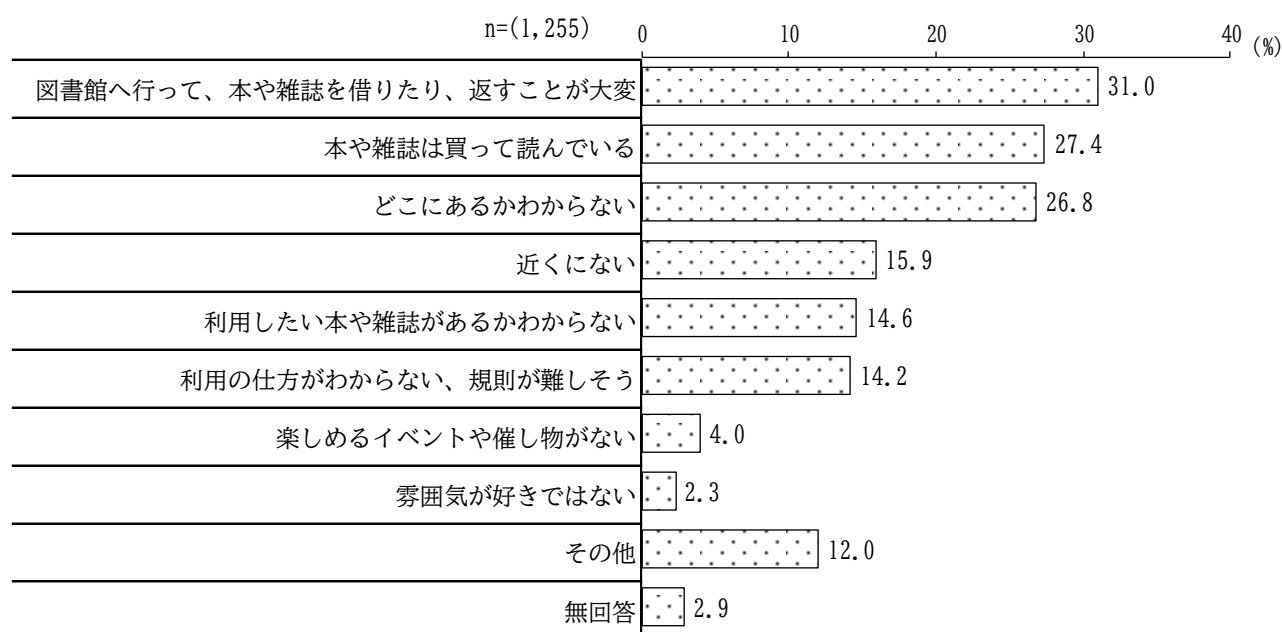
(2) 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由

◇「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」が3割強で最も高い。

問 12-1 問 12 で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。

図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 10-3> 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由



「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」(31.0%) が3割強と最も高く、次いで「本や雑誌は買って読んでいる」(27.4%)、「どこにあるかわからない」(26.8%)と続いている。

(図表 10-3)

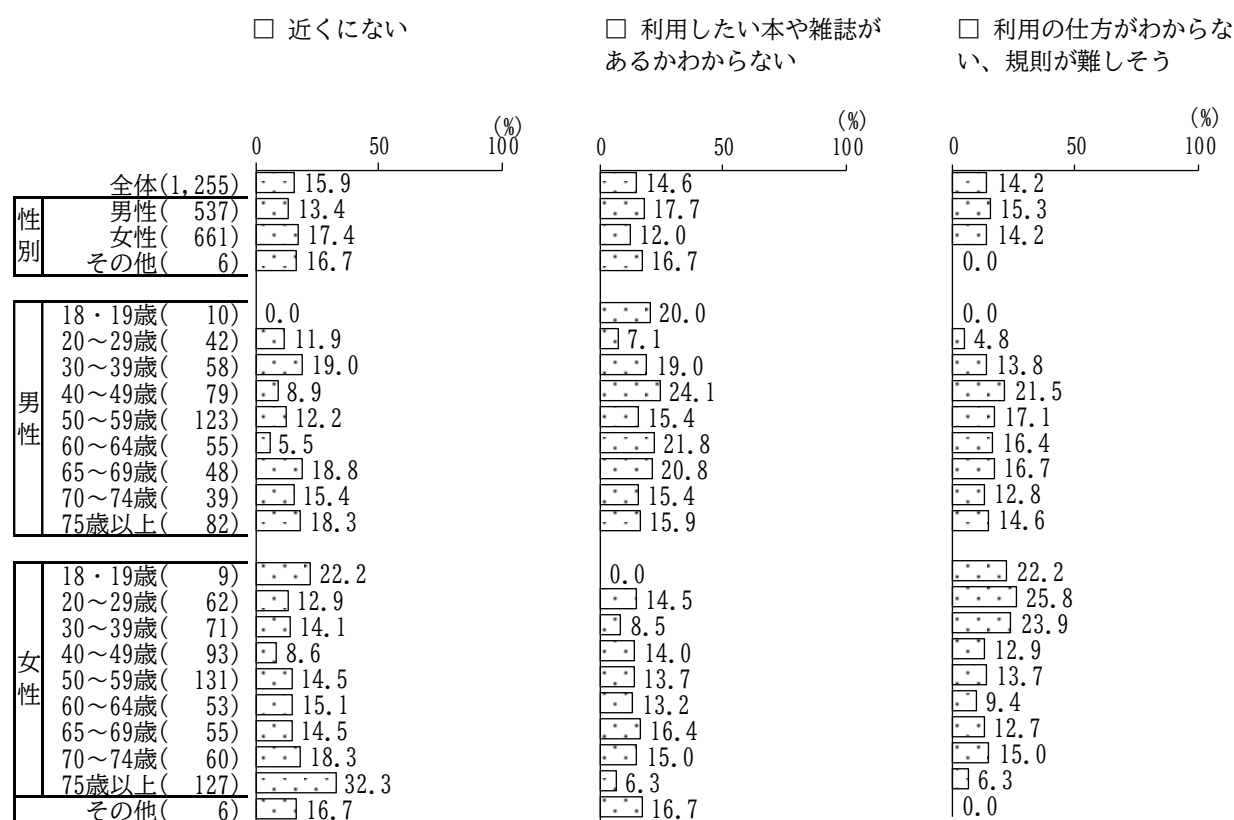
【性・年齢別】

「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」は女性(33.3%)が男性(27.9%)に比べて5.4ポイント高く、「利用したい本や雑誌があるかわからない」は男性(17.7%)が女性(12.0%)に比べて5.7ポイント高くなっている。

「本や雑誌は買って読んでいる」は男性70～74歳(46.2%)が5割近く、女性65～69歳(38.2%)が4割近くと高くなっている。「どこにあるかわからない」は男性30歳代～40歳代、女性20歳代～30歳代が4割近く以上と高くなっている。「近くにない」は女性75歳以上(32.3%)が3割強と高くなっている。

「利用の仕方がわからない、規則が難しそう」は女性20～29歳(25.8%)が2割台半ばと高くなっている。(図表 10-4)

<図表 10-4> 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由（上位6項目）／性・年齢別



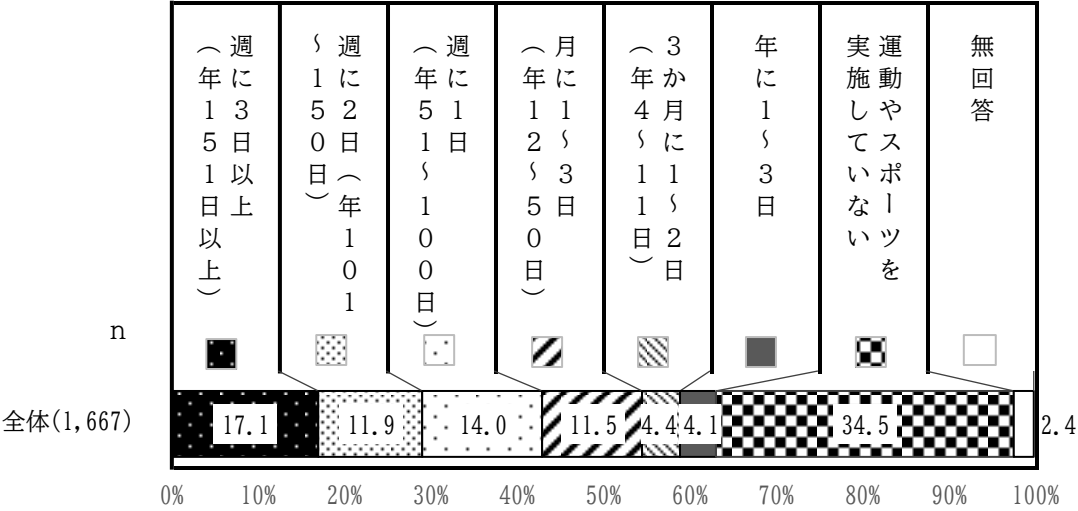
11. スポーツについて

(1) 1年間の運動やスポーツの実施頻度

◇「運動やスポーツを実施していない」が3割台半ばで最も高い。

問 13 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

<図表 11-1> 1年間の運動やスポーツの実施頻度



「運動やスポーツを実施していない」(34.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで「週に3日以上(年151日以上)」(17.1%)、「週に1日(年51~100日)」(14.0%)、「週に2日(年101~150日)」(11.9%)、「月に1~3日(年12~50日)」(11.5%)と続いている。(図表 11-1)

【性・年齢別】

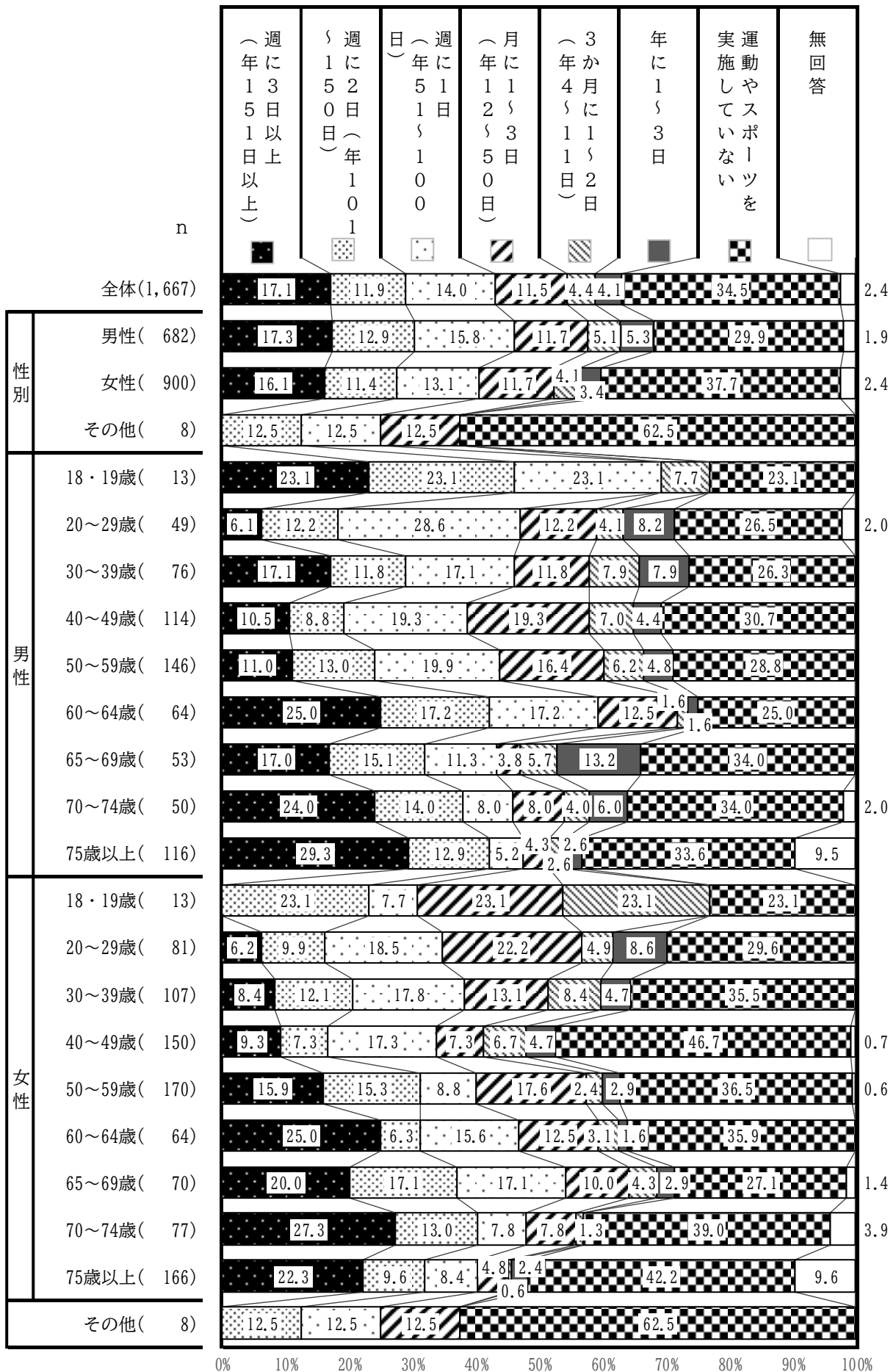
「運動やスポーツを実施していない」は女性(37.7%)が男性(29.9%)に比べて7.8ポイント高くなっている。

男性において、「週に3日以上(年151日以上)」は75歳以上(29.3%)が3割弱と高くなっている。「週に1日(年51~100日)」は20~29歳(28.6%)が3割近くと高くなっている。

女性において、「週に3日以上(年151日以上)」は70~74歳(27.3%)が3割近くと高くなっている。「運動やスポーツを実施していない」は40~49歳(46.7%)が5割近くと高くなっている。

(図表 11-2)

<図表 11-2> 1年間の運動やスポーツの実施頻度／性・年齢別



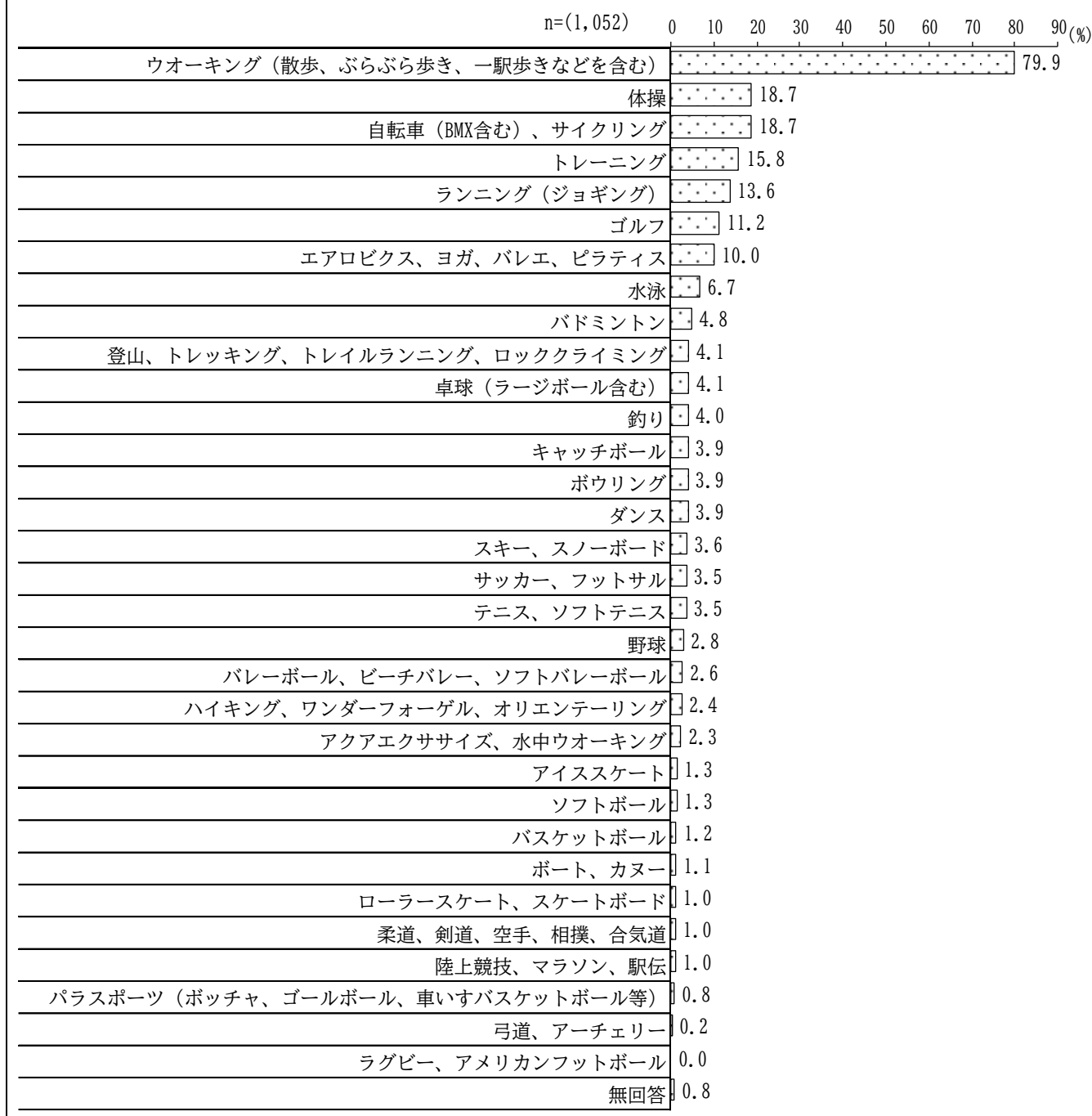
(2) 1年間に実施した運動やスポーツ

◇「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」が8割弱で最も高い。

問13-1 問13で「1」から「6」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、この1年間に実施した運動やスポーツは何ですか。（○はいくつでも）

<図表11-3> 1年間に実施した運動やスポーツ



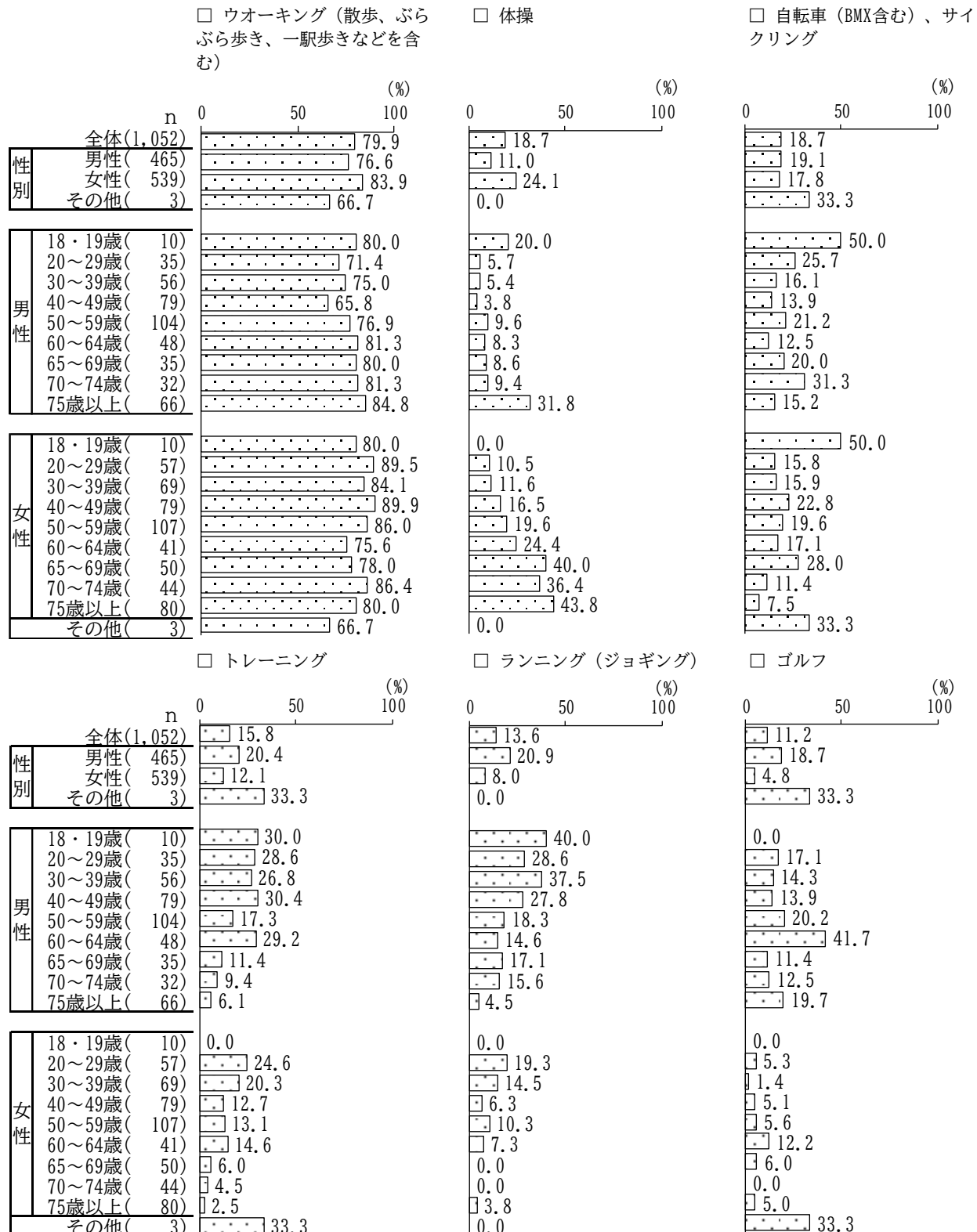
「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」（79.9%）が8割弱と最も高くなっている。次いで「体操」（18.7%）、「自転車（BMX 含む）、サイクリング」（18.7%）、「トレーニング」（15.8%）、「ランニング（ジョギング）」（13.6%）、「ゴルフ」（11.2%）、「エアロビクス、ヨガ、バレエ、ピラティス」（10.0%）が1割台で続いている。（図表11-3）

【性・年齢別】

「体操」は女性（24.1%）が男性（11.0%）に比べて 13.1 ポイント高く、「ランニング（ジョギング）」は男性（20.9%）が女性（8.0%）に比べて 12.9 ポイント、「ゴルフ」は男性（18.7%）が女性（4.8%）に比べて 13.9 ポイント高くなっている。

「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」は男性 60 歳代以降、女性 20 歳代～50 歳代、70 歳代以降が 8 割台と高く、「体操」は男性 75 歳以上、女性 65 歳以降が 3 割以上と高くなっている。「ランニング（ジョギング）」は男性 20 歳代～40 歳代が 2 割以上と高くなっている。（図表 11-4）

<図表 11-4> 1 年間に実施した運動やスポーツ（上位 6 項目）／性・年齢別



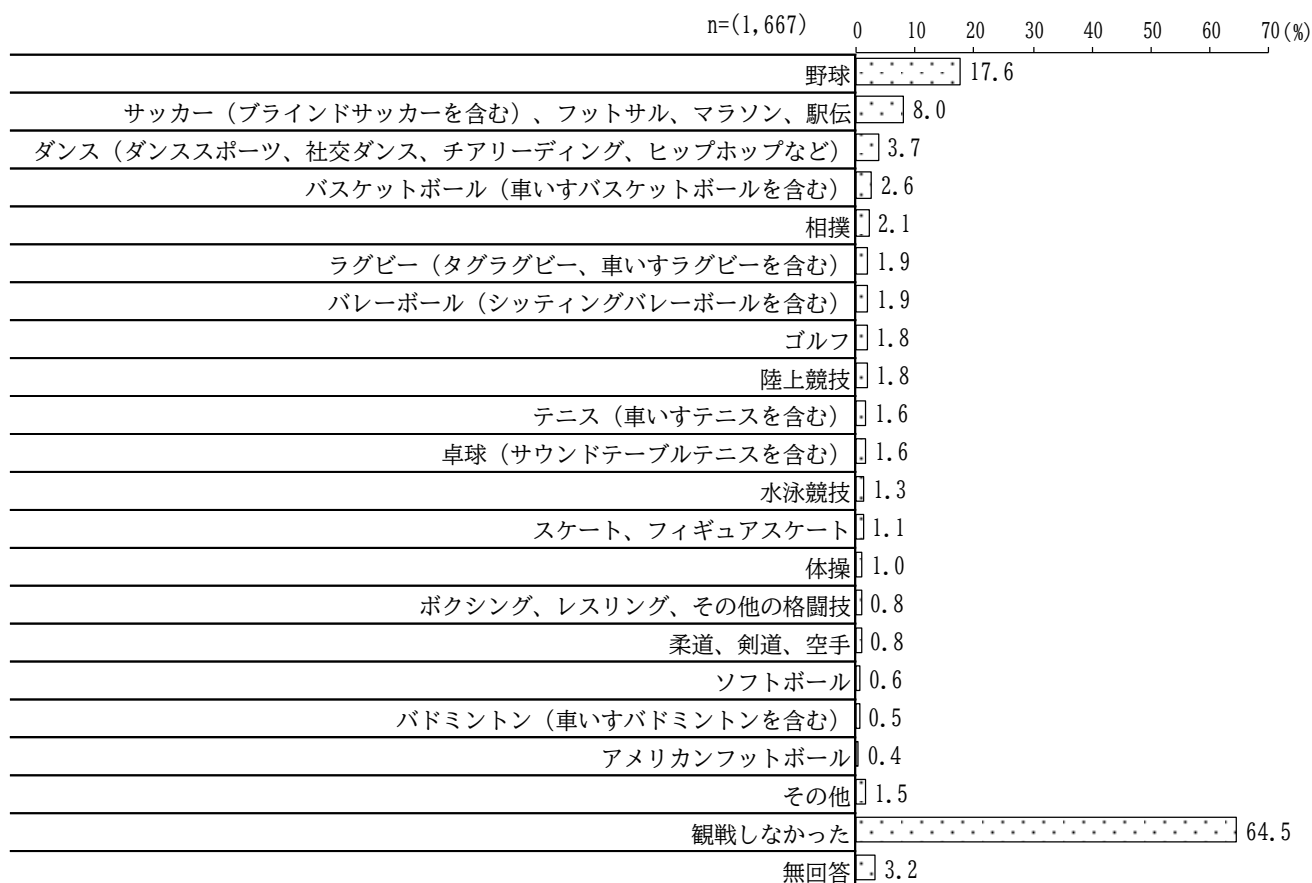
(3) 1年間に観戦した運動やスポーツ

◇「観戦しなかった」が6割台半ばで最も高い。

問 14 あなたは、この1年間にスタジアム、体育館、沿道などで実際にスポーツを観戦したことがありますか。(○はいいくつでも)

※観戦するスポーツの対象は、プロスポーツのほか、アマチュアスポーツや子どもの部活動などの試合を含みます。

<図表 11-5> 1年間に観戦した運動やスポーツ



「観戦しなかった」(64.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。一方、「野球」(17.6%)が2割近く、「サッカー(ブラインドサッカーを含む)、フットサル、マラソン、駅伝」が8.0%などとなっている。

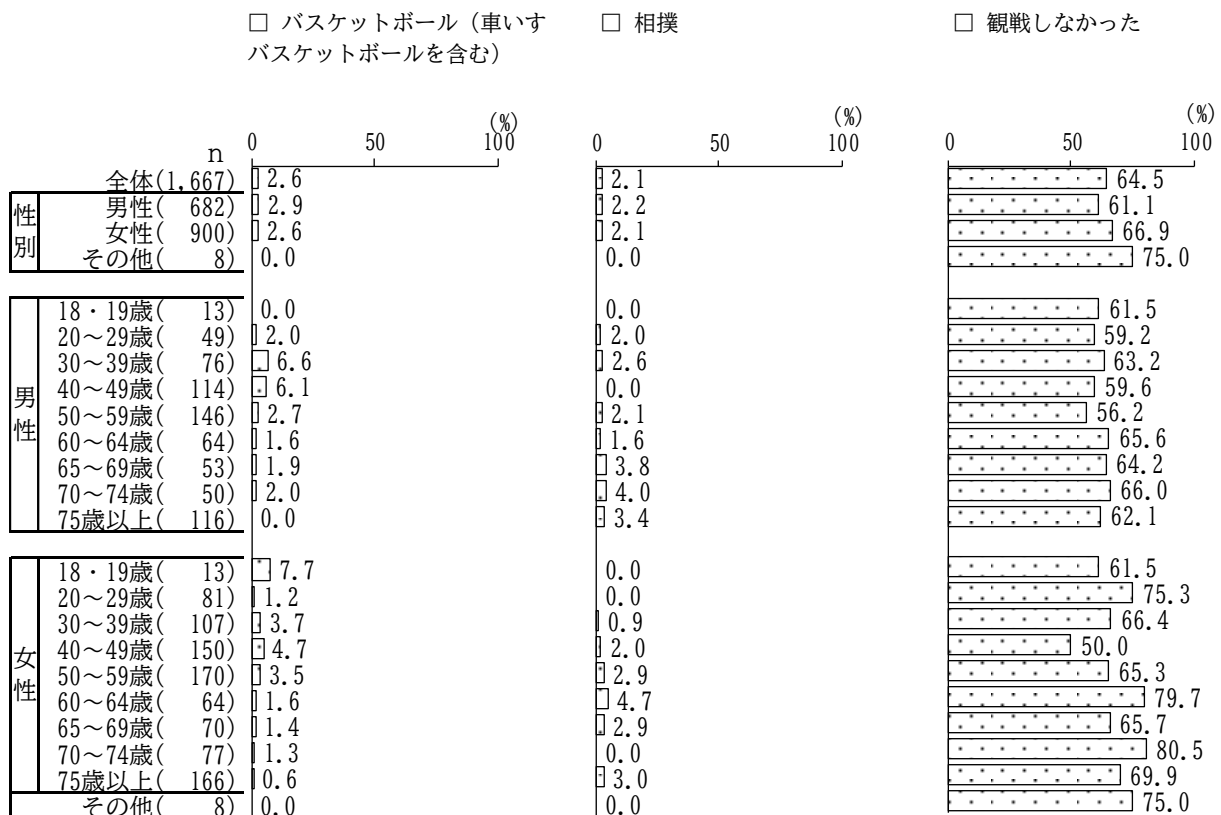
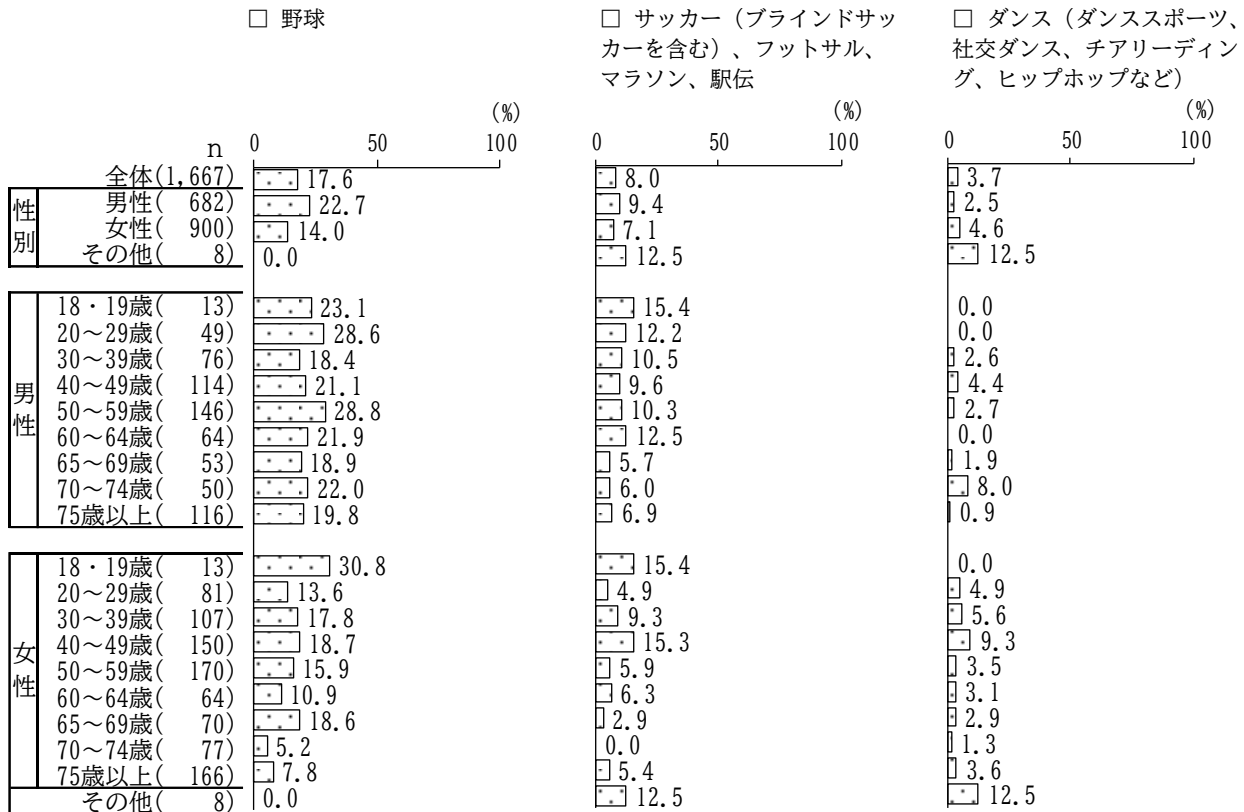
(図表 11-5)

【性・年齢別】

「野球」は男性(22.7%)が女性(14.0%)に比べて8.7ポイント、「観戦しなかった」は女性(66.9%)が男性(61.1%)に比べて5.8ポイント高くなっている。

「野球」は20～29歳(28.6%)、男性50～59歳(28.8%)が3割近くと高くなっている。「観戦しなかった」は女性20～29歳(75.3%)、60～64歳(79.7%)、70～74歳(80.5%)が7割以上と高くなっている。(図表 11-6)

<図表 11-6> 1 年間に観戦した運動やスポーツ（上位 5 項目+「観戦しなかった」）／性・年齢別



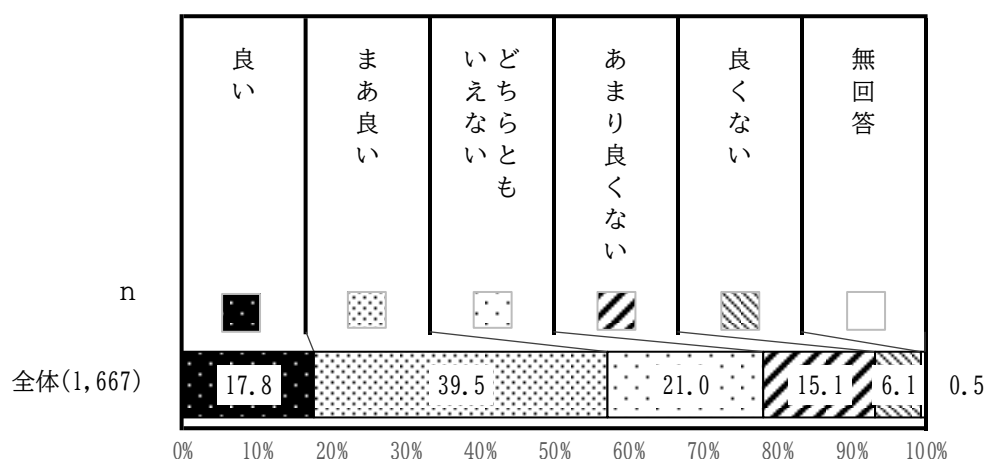
12. 健康状態について

(1) 現在の健康状態

◇「まあ良い」が4割弱で最も高い。

問 15 あなたは、ご自身の健康状態を良いと感じますか。(○は1つ)

<図表 12-1>現在の健康状態



「まあ良い」(39.5%)が4割弱と最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.0%)、「良い」(17.8%)、「あまり良くない」(15.1%)、「良くない」(6.1%)となっている。(図表 12-1)

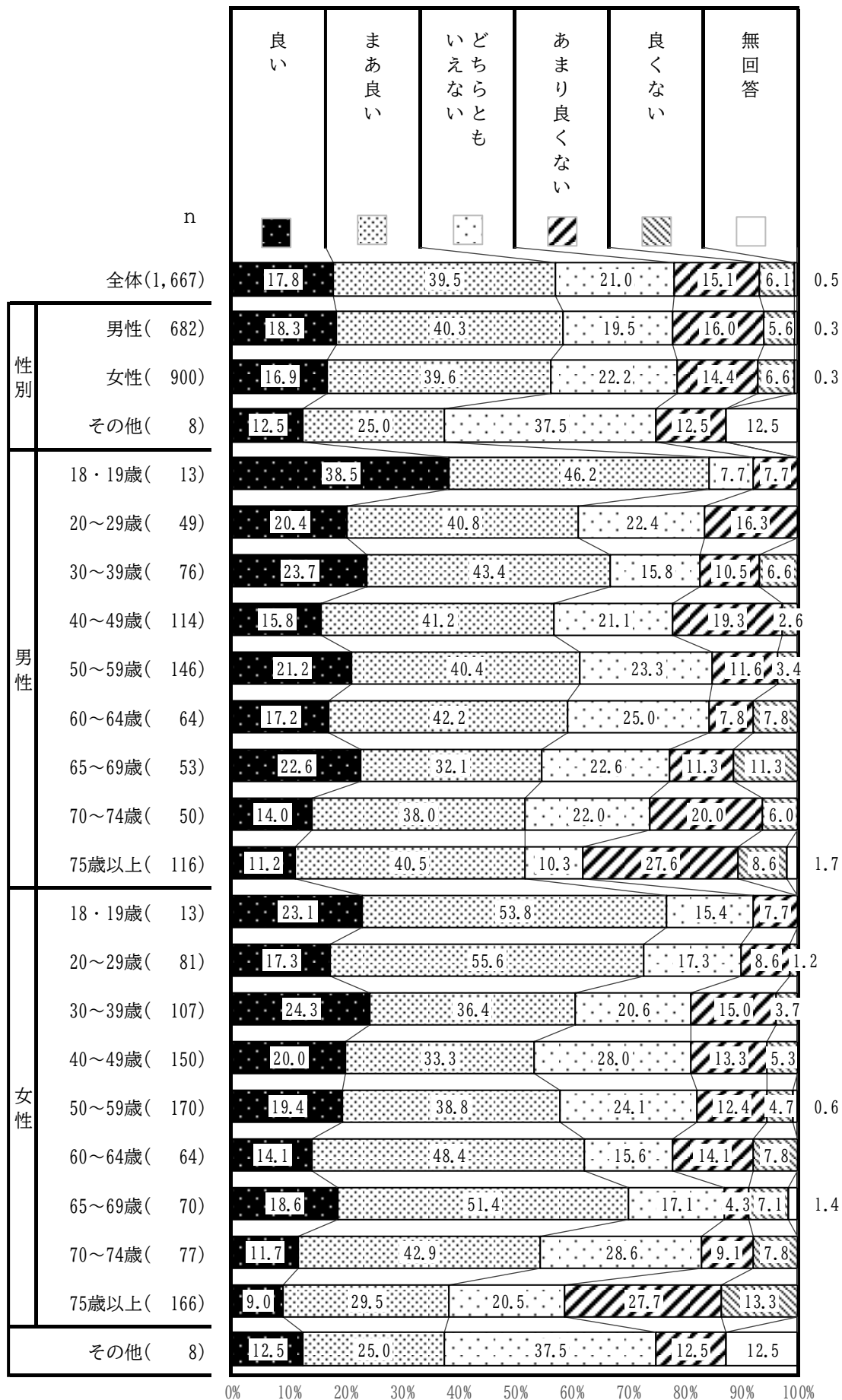
【性・年齢別】

男性において、「まあ良い」はすべての年代で最も高く、「あまり良くない」は75歳以上(27.6%)が3割近くと高くなっている。

女性において、「まあ良い」はすべての年代で最も高く、20～29歳(55.6%)、65～69歳(51.4%)が5割台と高くなっている。「あまり良くない」は75歳以上(27.7%)が3割近くと高くなっている。

(図表 12-2)

<図表 12-2>現在の健康状態／性・年齢別



13. プレコンセプションケアについて

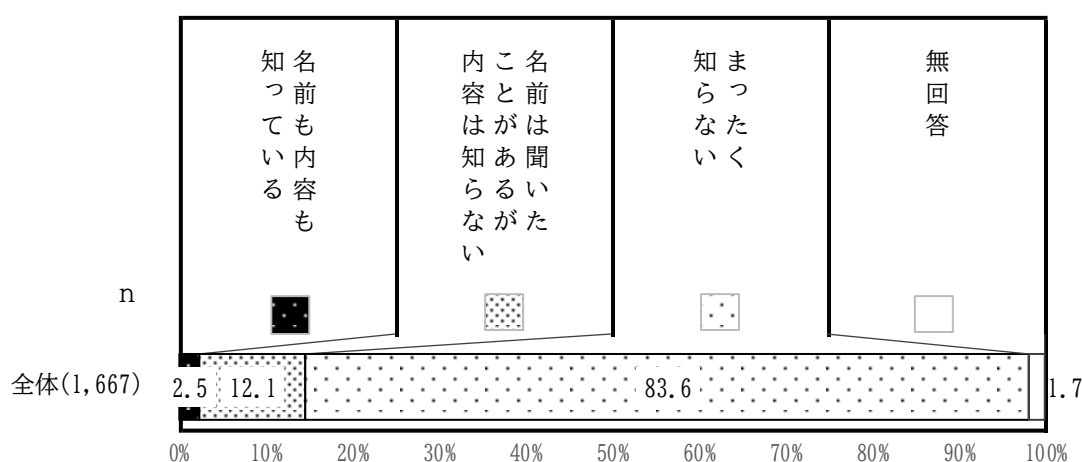
(1) プレコンセプションケアの認知度

◇「まったく知らない」が8割強で最も高い。

問 16 若い男女が将来の妊娠を考えて、自身の生活や健康に向き合うことをプレコンセプションケアといいます。あなたは、プレコンセプションケアを知っていますか。(○は1つ)

※WHO では「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」と定義しています。

<図表 13-1> プレコンセプションケアの認知度



「まったく知らない」(83.6%)が8割強と最も高くなっている。次いで「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(12.1%)、「名前も内容も知っている」(2.5%)となっている。(図表 13-1)

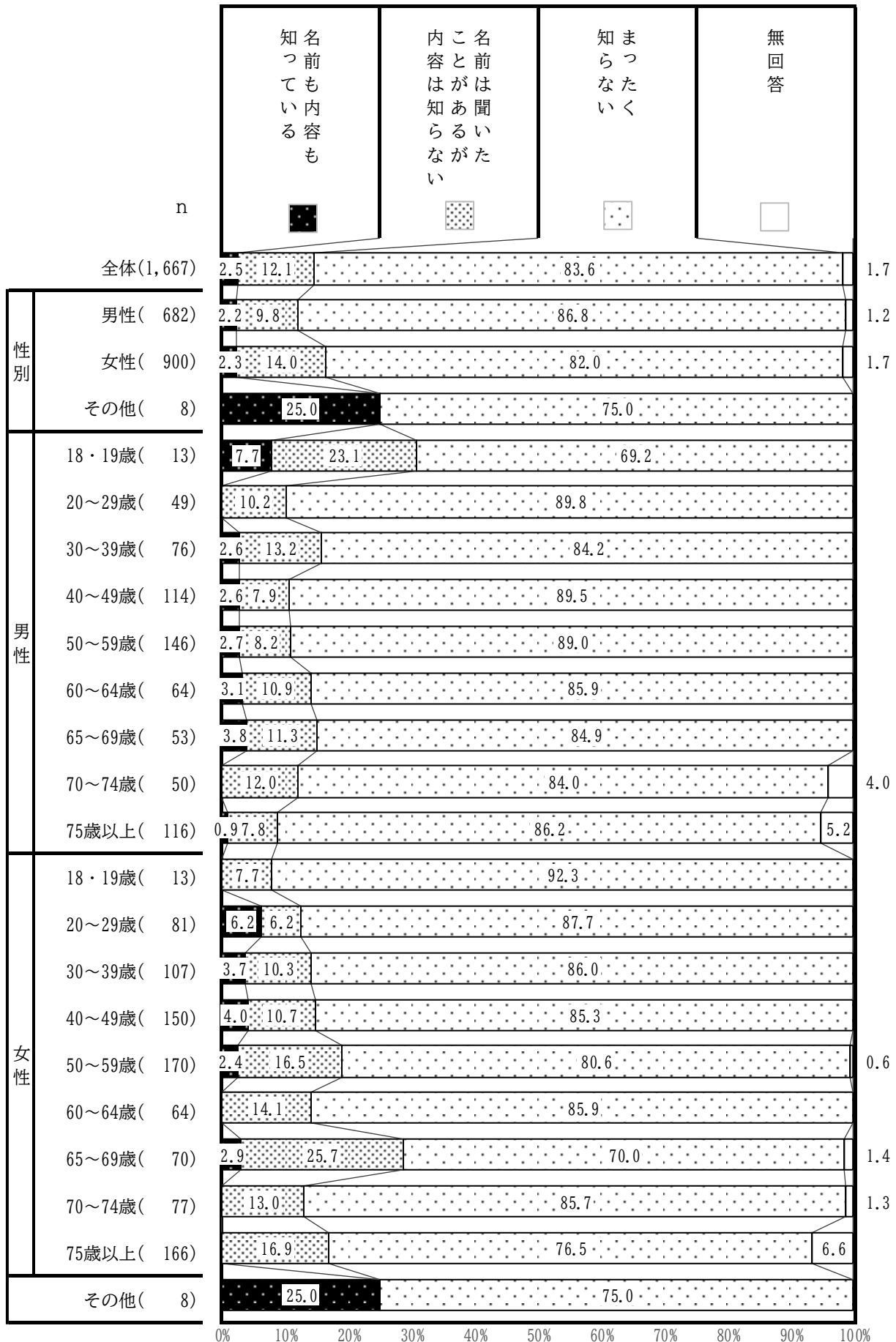
【性・年齢別】

「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は女性(14.0%)が男性(9.8%)に比べて4.2ポイント高く、「まったく知らない」は男性(86.8%)が女性(82.0%)に比べて4.8ポイント高くなっている。

男性において、「まったく知らない」は20～29歳(89.8%)が最も高く、次いで40～49歳(89.5%)、50～59歳(89.0%)となっており、全ての年齢で8割台となっている。

女性において、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は65～69歳(25.7%)が2割台半ばと高くなっている。(図表 13-2)

<図表 13-2> プレコンセプションケアの認知度／性・年齢別

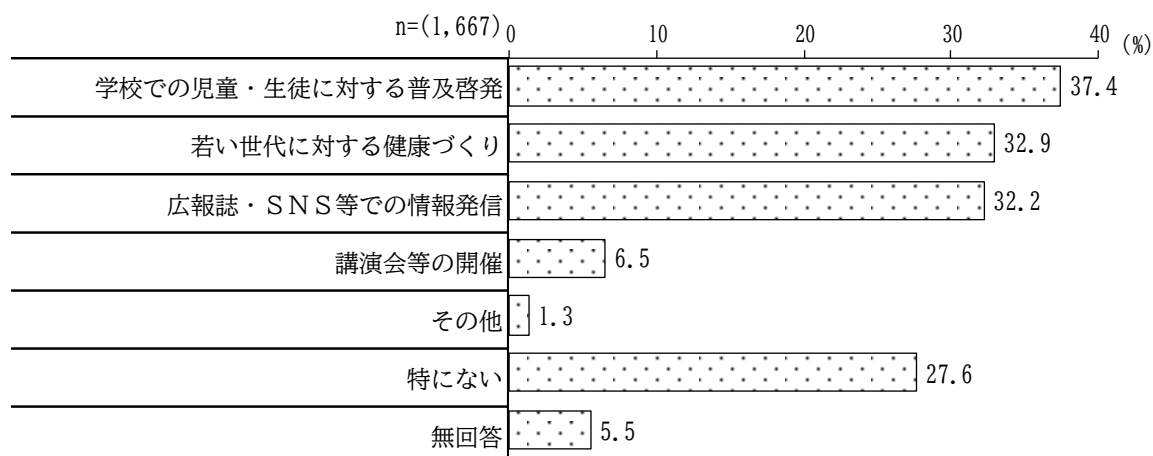


(2) 区にプレコンセプションケアについて取り組んでほしいこと

◇「学校での児童・生徒に対する普及啓発」が4割近くで最も高い。

問 17 プレコンセプションケアについて、あなたは、江戸川区にどのような取り組みをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

<図表 13-3> 区にプレコンセプションケアについて取り組んでほしいこと



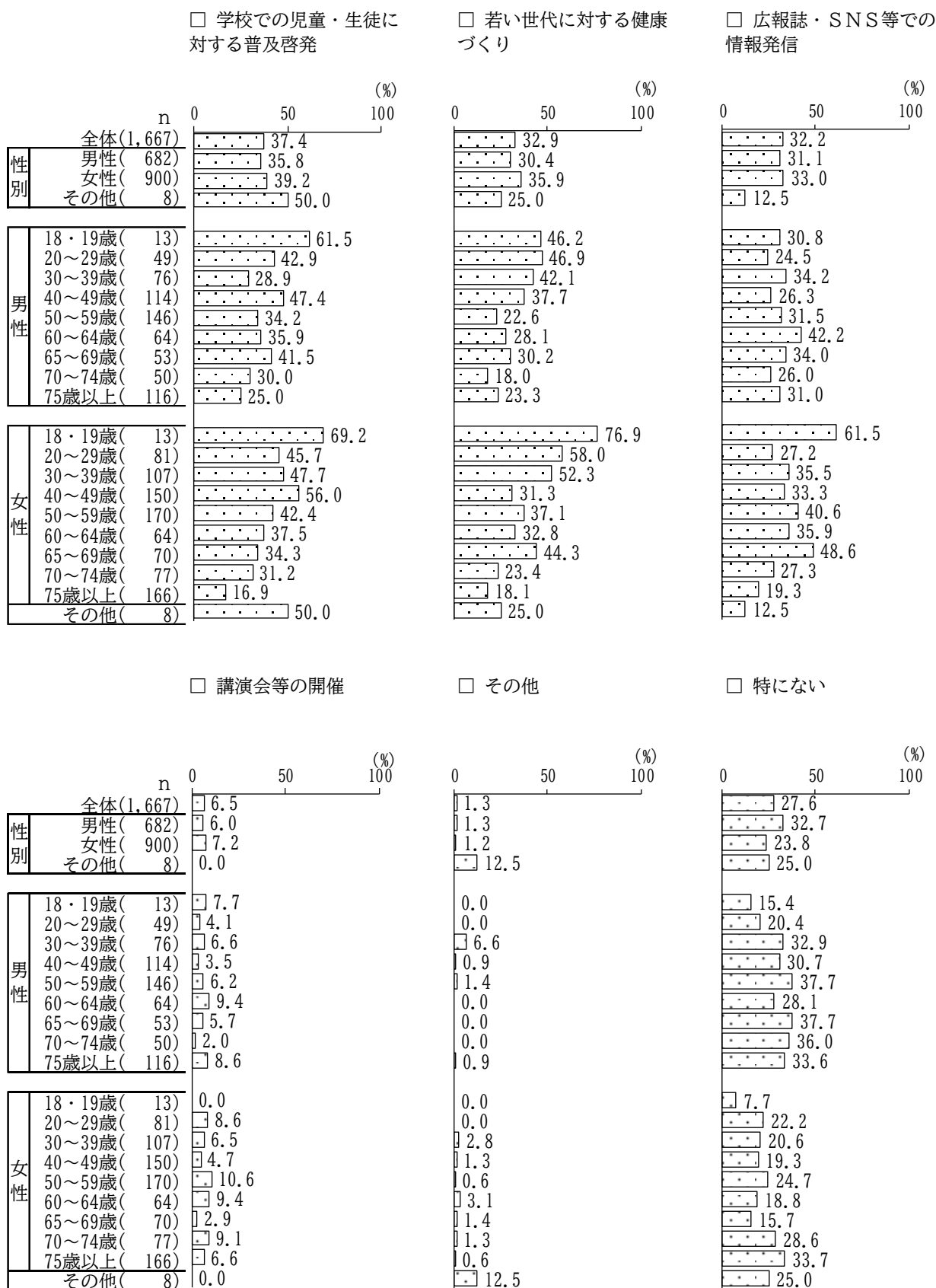
「学校での児童・生徒に対する普及啓発」(37.4%) が4割近くと最も高く、次いで「若い世代に対する健康づくり」(32.9%)、「広報誌・SNS等での情報発信」(32.2%)と続いている。一方、「特にない」(27.6%) は3割近くとなっている。(図表 13-3)

【性・年齢別】

「若い世代に対する健康づくり」は女性(35.9%)が男性(30.4%)に比べて5.5ポイント高く、「特にない」は男性(32.7%)が女性(23.8%)に比べて8.9ポイント高くなっている。

「学校での児童・生徒に対する普及啓発」は男性40歳代、女性30歳代、40歳代で高く、女性40～49歳(56.0%)が6割近くと最も高くなっている。「若い世代に対する健康づくり」は女性20～29歳(58.0%)、30～39歳(52.3%)が5割台と高くなっている。「広報誌・SNS等での情報発信」は男性60～64歳(42.2%)が4割強、女性65～69歳(48.6%)が5割近くと高くなっている。「特にない」は男性50～59歳(37.7%)、65～69歳(37.7%)が4割近くと高くなっている。(図表 13-4)

<図表 13-4> 区にプレコンセプションケアについて取り組んでほしいこと／性・年齢別



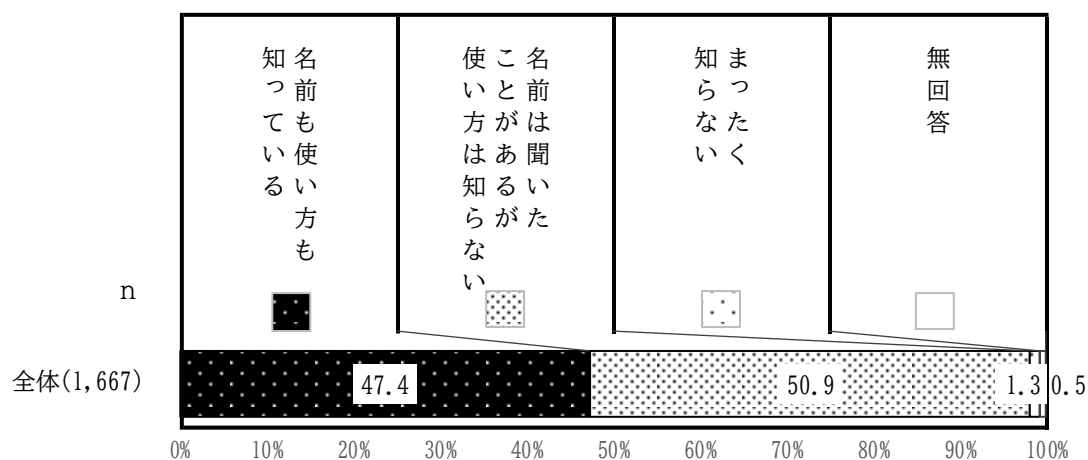
14. AEDについて

(1) AEDの認知度

◇「名前は聞いたことがあるが使い方は知らない」が約5割。

問 18 心臓が止まった人に電気ショックを加えて心臓を動かす医療機器を「AED」といいます。
あなたは、AEDを知っていますか。(○は1つ)

<図表 14-1> AEDの認知度



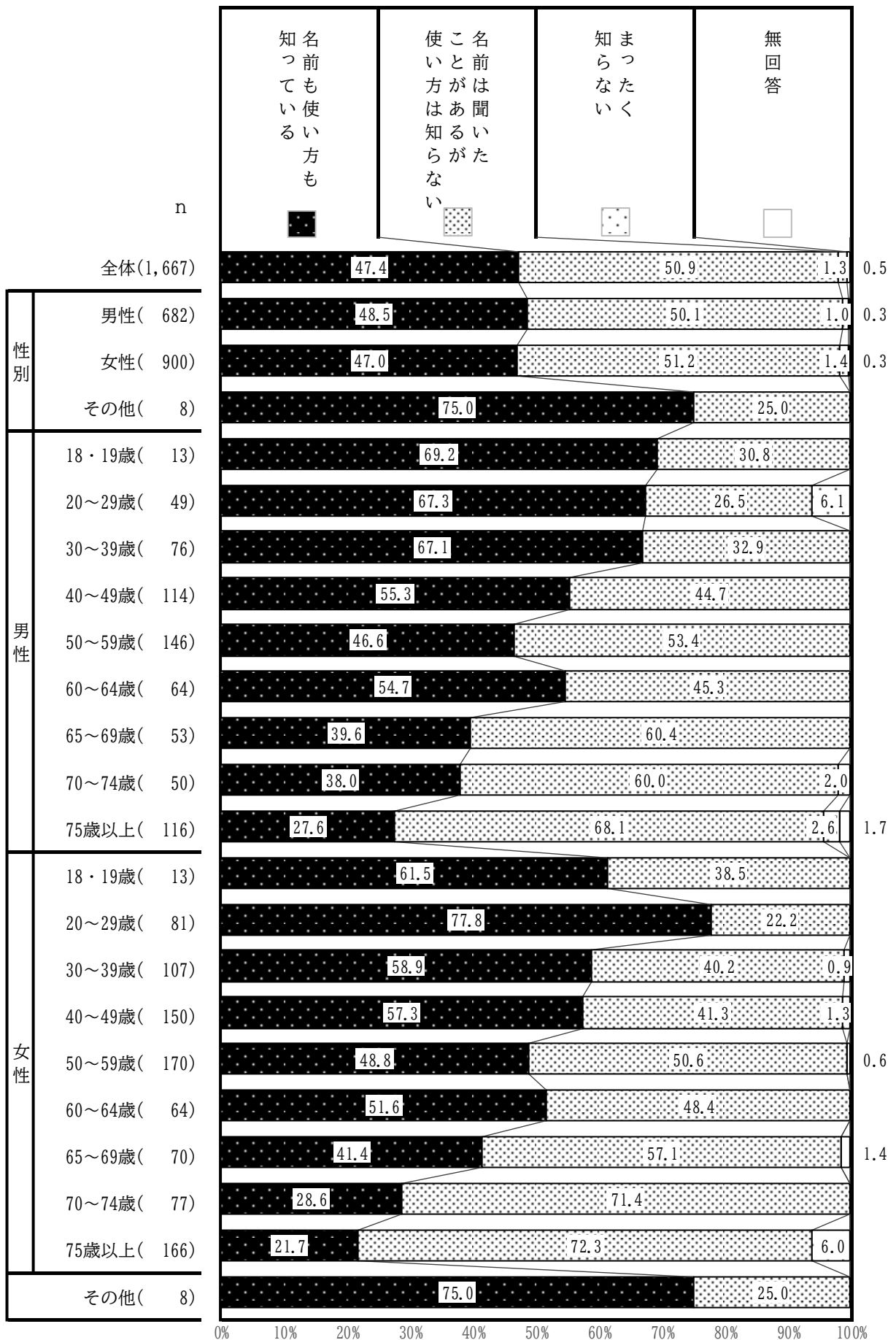
「名前は聞いたことがあるが使い方は知らない」(50.9%) が約5割と最も高く、次いで「名前も使い方も知っている」(47.4%)、「まったく知らない」(1.3%) となっている。(図表 14-1)

【性・年齢別】

男性において、「名前も使い方も知っている」は20～29歳(67.3%)、30～39歳(67.1%)が7割近くと高くなっている。「名前は聞いたことがあるが使い方は知らない」は65歳以降が6割台となっており、75歳以上(68.1%)が7割近くと最も高くなっている。

女性において、「名前も使い方も知っている」は20～29歳(77.8%)が8割近くと特に高くなっている。「名前は聞いたことがあるが使い方は知らない」は70～74歳(71.4%)、75歳以上(72.3%)が7割強と高くなっている。(図表 14-2)

<図表 14-2> AEDの認知度／性・年齢別



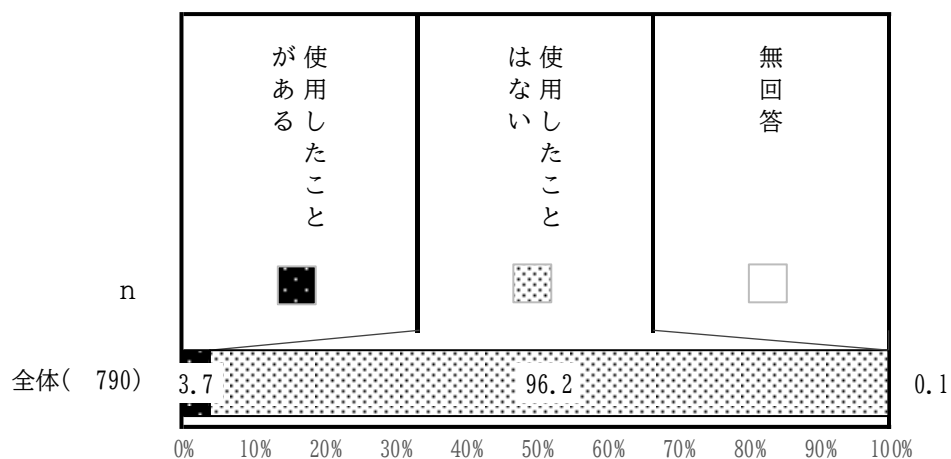
(2) AEDの使用の有無

◇「使用したことはない」が10割近く。

問18-1 問18で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、倒れている人にAEDを使用したことがありますか。(○は1つ)

<図表14-3> AEDの使用の有無



「使用したことはない」(96.2%)が10割近く、「使用したことがある」は3.7%となっている。

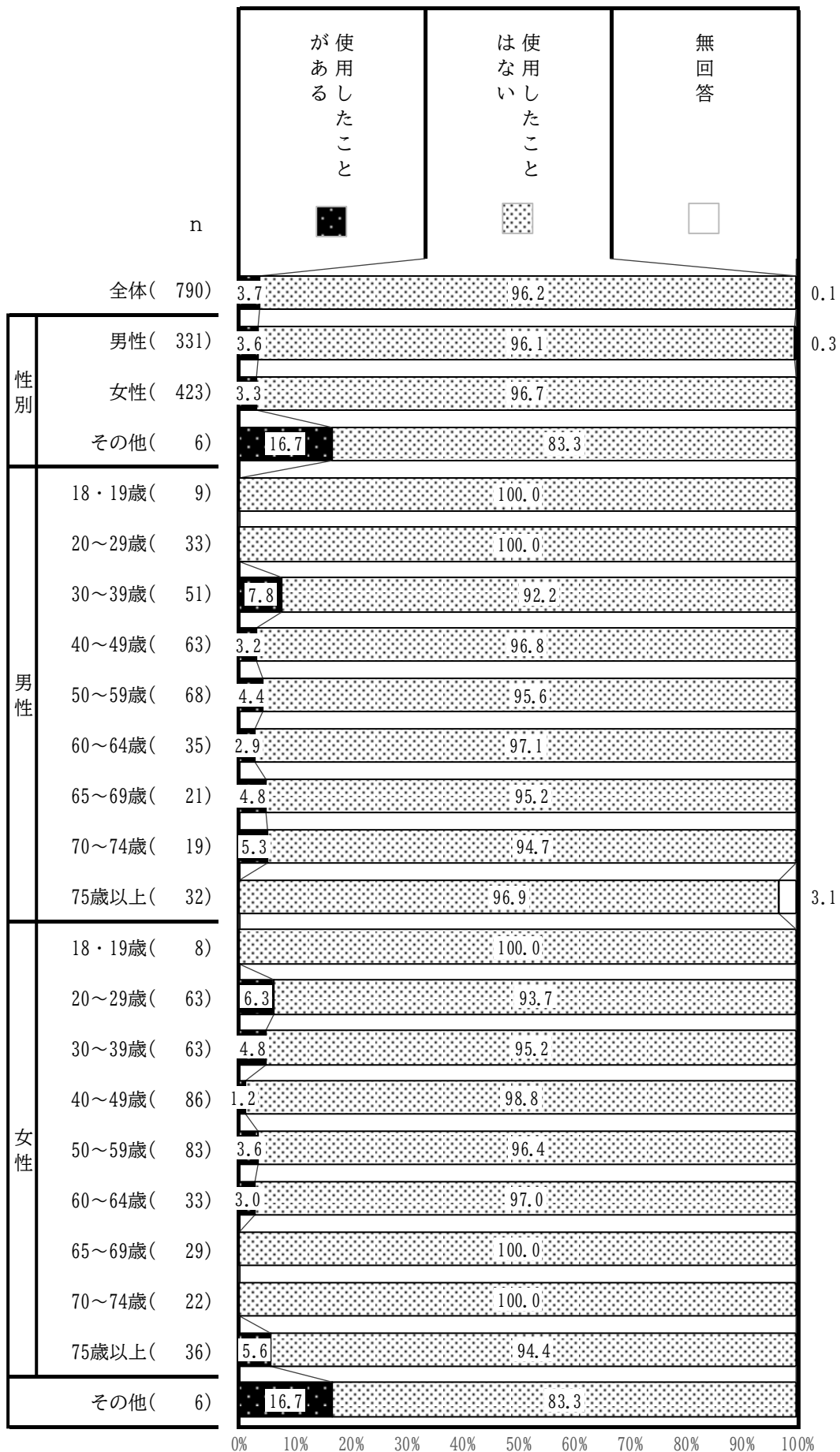
(図表14-3)

【性・年齢別】

男性、女性ともに「使用したことはない」は10割近くとなっている。

「使用したことがある」は男性30～39歳が7.8%と最も高くなっているが、いずれの性・年齢でも1割未満となっている。(図表14-4)

<図表 14-4> AEDの使用の有無／性・年齢別

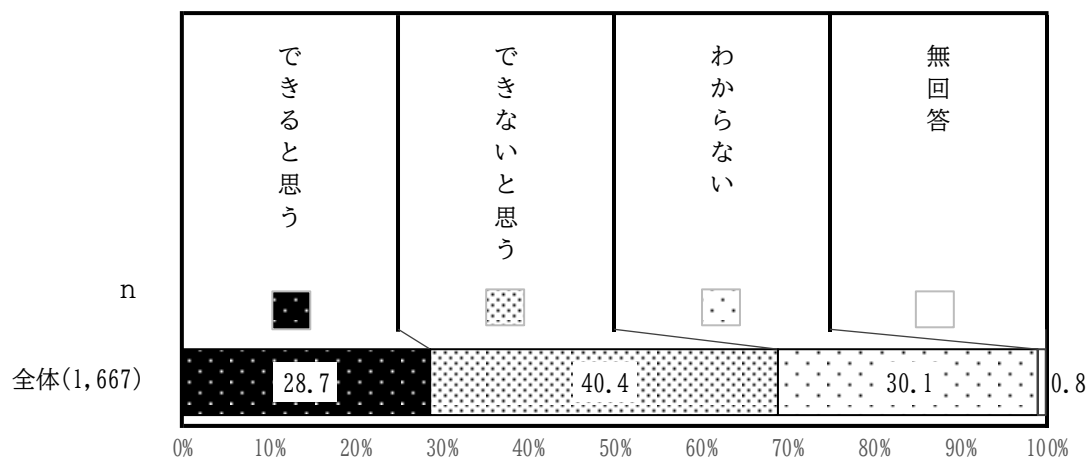


(3) AEDを使用できるか

◇「できないと思う」が約4割で最も高い。

問 19 あなたは、周囲の人が目の前で倒れた場合、近くにAEDがあれば、その人にAEDを使用することができるとおもいますか。(○は1つ)

<図表 14-5> AEDを使用できるか



「できないと思う」(40.4%) が約4割と最も高く、次いで「わからない」(30.1%)、「できると思う」(28.7%) となっている。(図表 14-5)

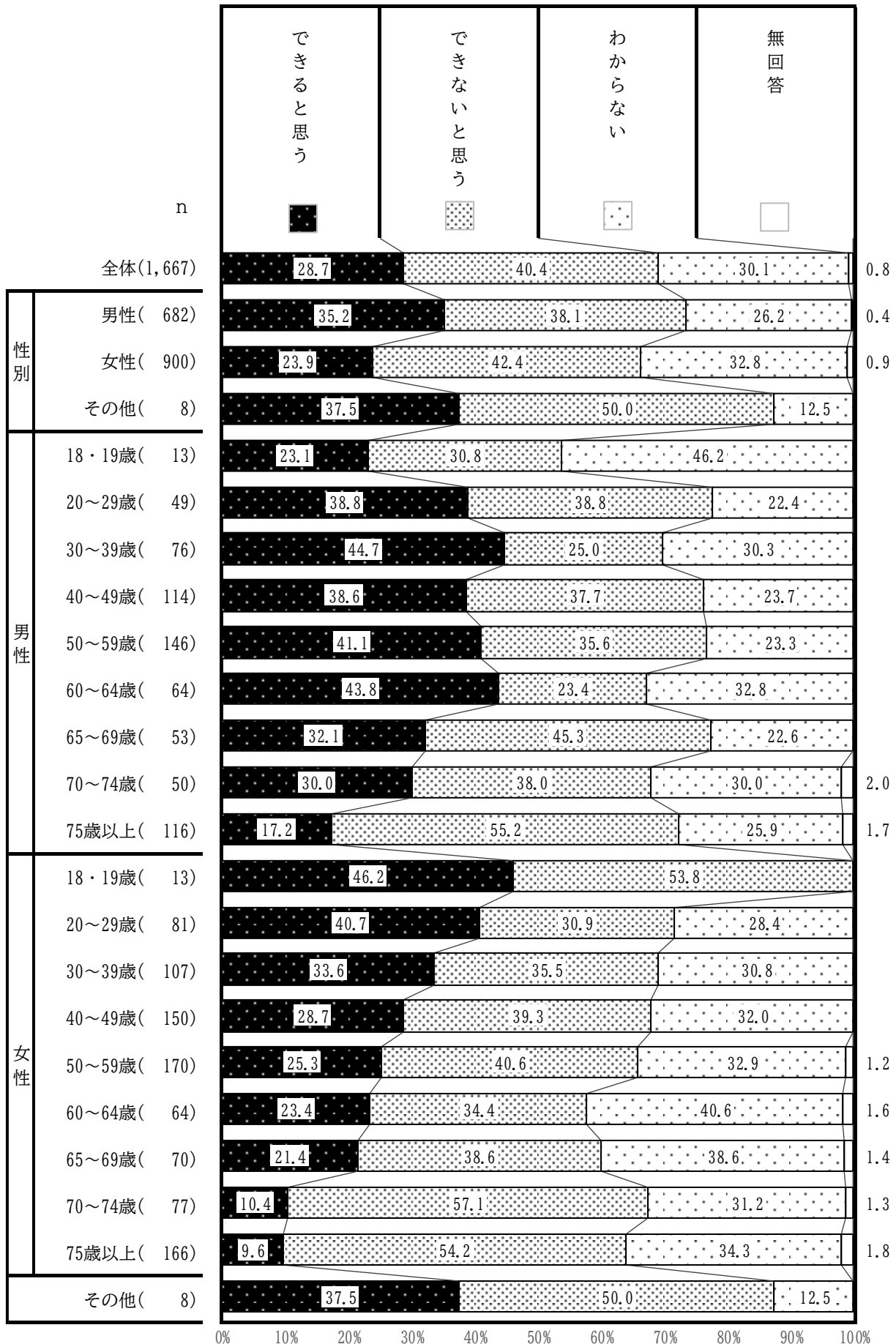
【性・年齢別】

「できると思う」は男性(35.2%)が女性(23.9%)に比べて11.3ポイント高く、「わからない」は女性(32.8%)が男性(26.2%)に比べて6.6ポイント高くなっている。

男性において、「できると思う」は30～39歳(44.7%)、50～59歳(41.1%)、60～64歳(43.8%)が4割台と高くなっている。「できないと思う」は75歳以上(55.2%)が5割台半ばと高くなっている。

女性において、「できると思う」は20～29歳(40.7%)が約4割と高くなっている。「できると思う」は年代が上がるにつれて低くなっており、70歳代以降で1割以下と低くなっている。(図表 14-6)

<図表 14-6> AEDを使用できるか／性・年齢別

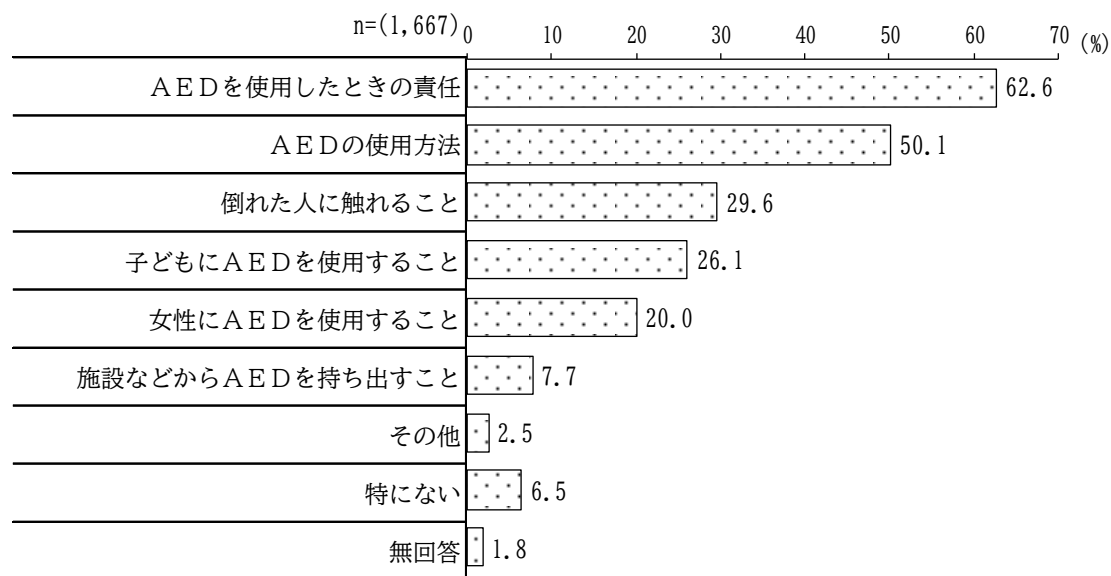


(4) AEDを使用する際の不安や心配

◇「AEDを使用したときの責任」が6割強で最も高い。

問 20 あなたは、AEDの使用について、どのようなことに不安や心配を感じますか。
(○はいくつでも)

<図表 14-7> AEDを使用する際の不安や心配

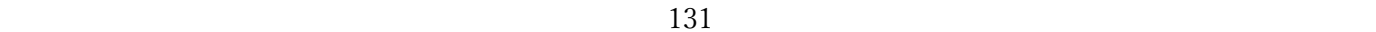


「AEDを使用したときの責任」(62.6%) が6割強と最も高く、次いで「AEDの使用方法」(50.1%) となっている。(図表 14-7)

【性・年齢別】

「AEDの使用方法」は女性(52.7%)が男性(46.8%)に比べて5.9ポイント、「倒れた人に触れること」は女性(32.7%)が男性(25.7%)に比べて7.0ポイント高く、「女性にAEDを使用すること」は男性(36.2%)が女性(8.0%)に比べて28.2ポイント高くなっている。

「AEDを使用したときの責任」は女性20歳代~50歳代、65~69歳が7割台となっており、50~59歳(75.3%)が7割台半ばと最も高くなっている。「倒れた人に触れること」は女性20~29歳(51.9%)が5割強と高くなっている。「女性にAEDを使用すること」は男性20歳代~60歳代が3割を超えて高く、20~29歳(63.3%)が6割強と最も高くなっている。(図表 14-8)



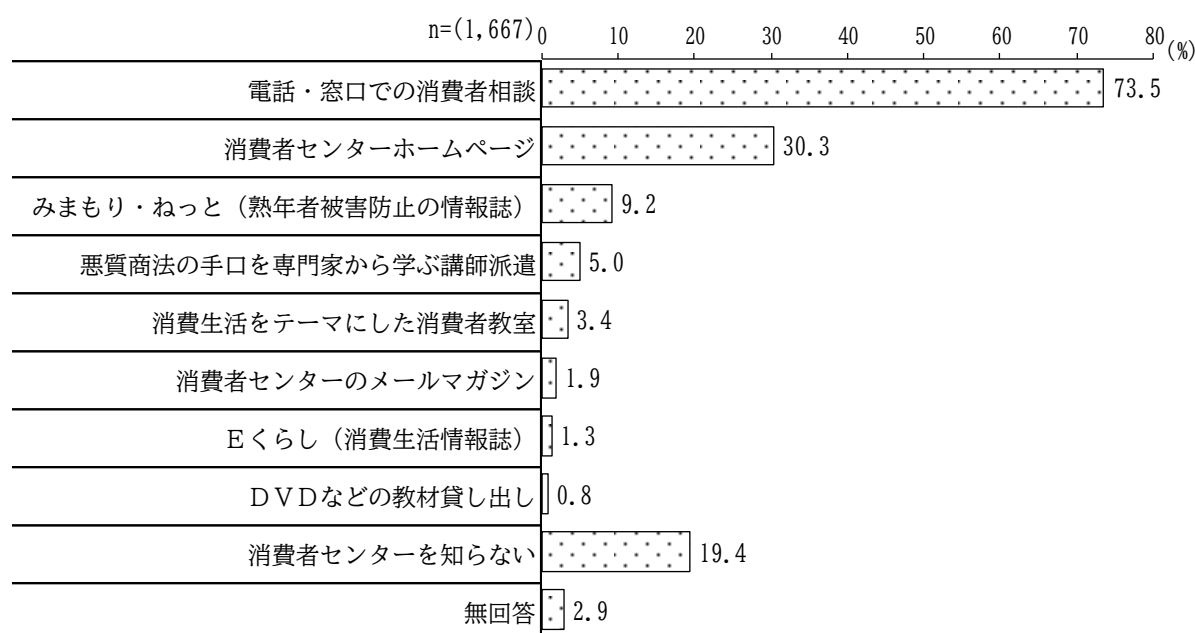
15. 消費者センターについて

(1) 知っている消費者センターが行っている事業

◇「電話・窓口での消費者相談」が7割強で最も高い。

問 21 消費者センターは、消費に伴うトラブルなどの消費生活相談、生活に密着した消費者教育、各種消費生活情報の提供などを行っています。あなたは、消費者センターが行っている事業を知っていますか。(〇はいくつでも)

<図表 15-1> 知っている消費者センターが行っている事業



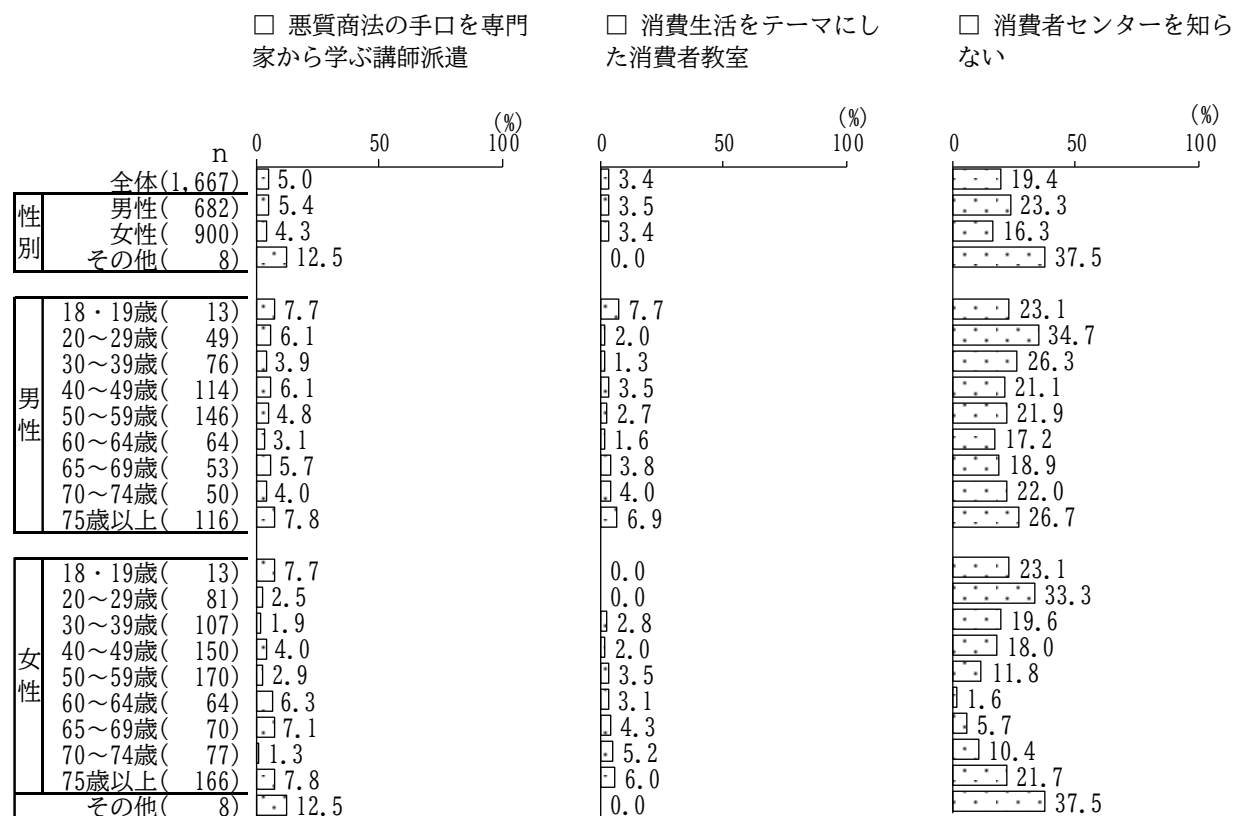
「電話・窓口での消費者相談」(73.5%)が7割強と最も高くなっている。次いで「消費者センターホームページ」(30.3%)となっている。一方、「消費者センターを知らない」(19.4%)は2割弱となっている。(図表 15-1)

【性・年齢別】

「電話・窓口での消費者相談」は女性(76.3%)が男性(70.2%)に比べて6.1ポイント高く、「消費者センターを知らない」は男性(23.3%)が女性(16.3%)に比べて7.0ポイント高くなっている。

「電話・窓口での消費者相談」は女性50～59歳(84.7%)、60～64歳(93.8%)、65～69歳(87.1%)が8割以上と高くなっている。「消費者センターホームページ」は男性、女性ともに40～49歳(43.0%、41.3%)が4割強と高くなっている。「消費者センターを知らない」は男性、女性ともに20～29歳(34.7%、33.3%)が3割台と高い。(図表 15-2)

<図表 15-2>知っている消費者センターが行っている事業（上位5項目）+「消費者センターを知らない」／性・年齢別



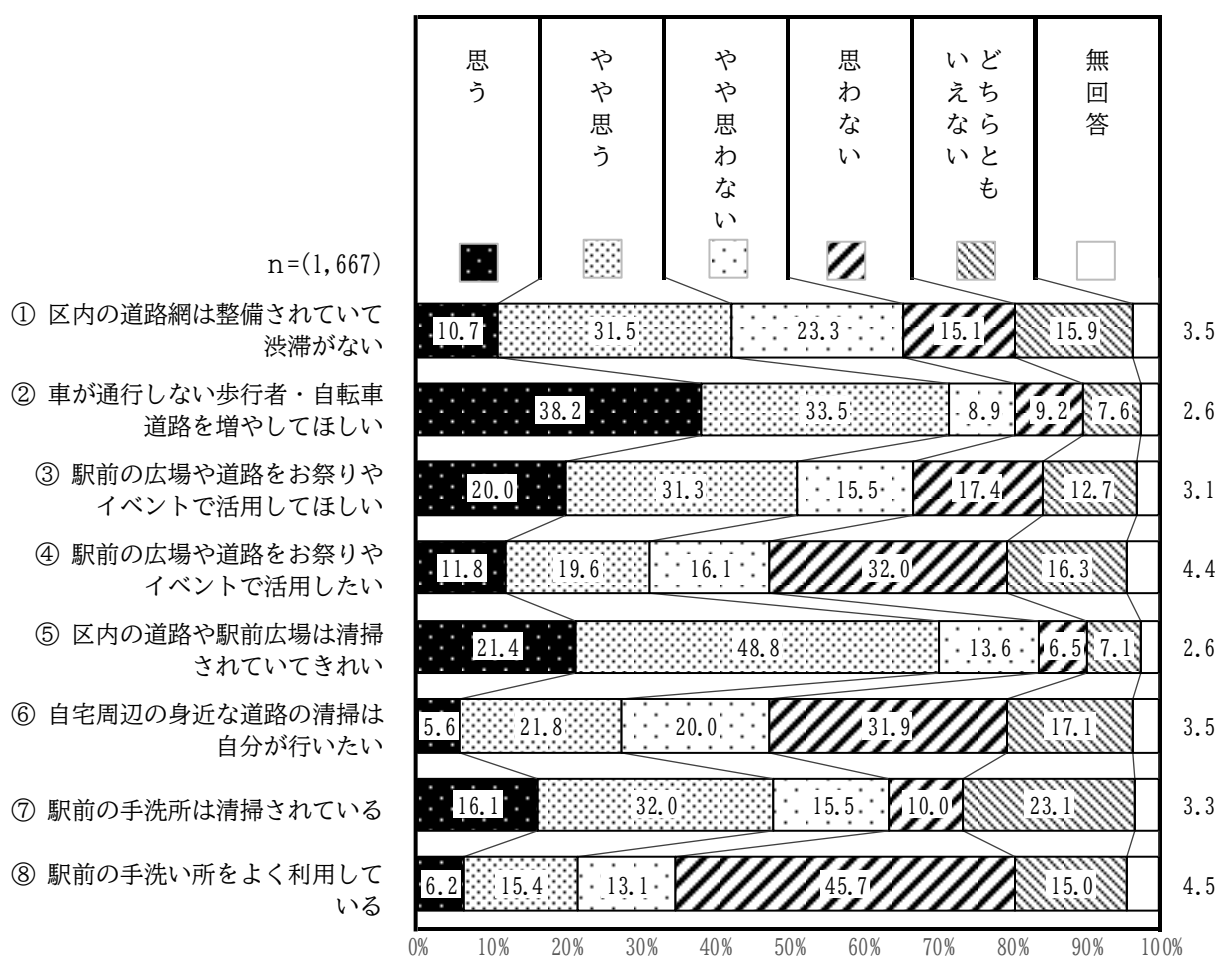
16. 道路インフラ施設について

(1) 道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理について・各項目

◇【② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい】が4割近くで最も高い。

問 22 道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理などについて、あなたはどのように思いますか。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表 16-1> 道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理について・各項目



「思う」は【② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい】(38.2%) が4割近くで最も高く、次いで【⑤ 区内の道路や駅前広場は清掃されていてきれい】(21.4%)、【③ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用してほしい】(20.0%) となっている。

一方、「思わない」は【⑧ 駅前の手洗所をよく利用している】(45.7%) が4割台半ばと最も高く、次いで【④ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用したい】(32.0%)、【⑥ 自宅周辺の身近な道路の清掃は自分が行いたい】(31.9%) となっている。(図表 16-1)

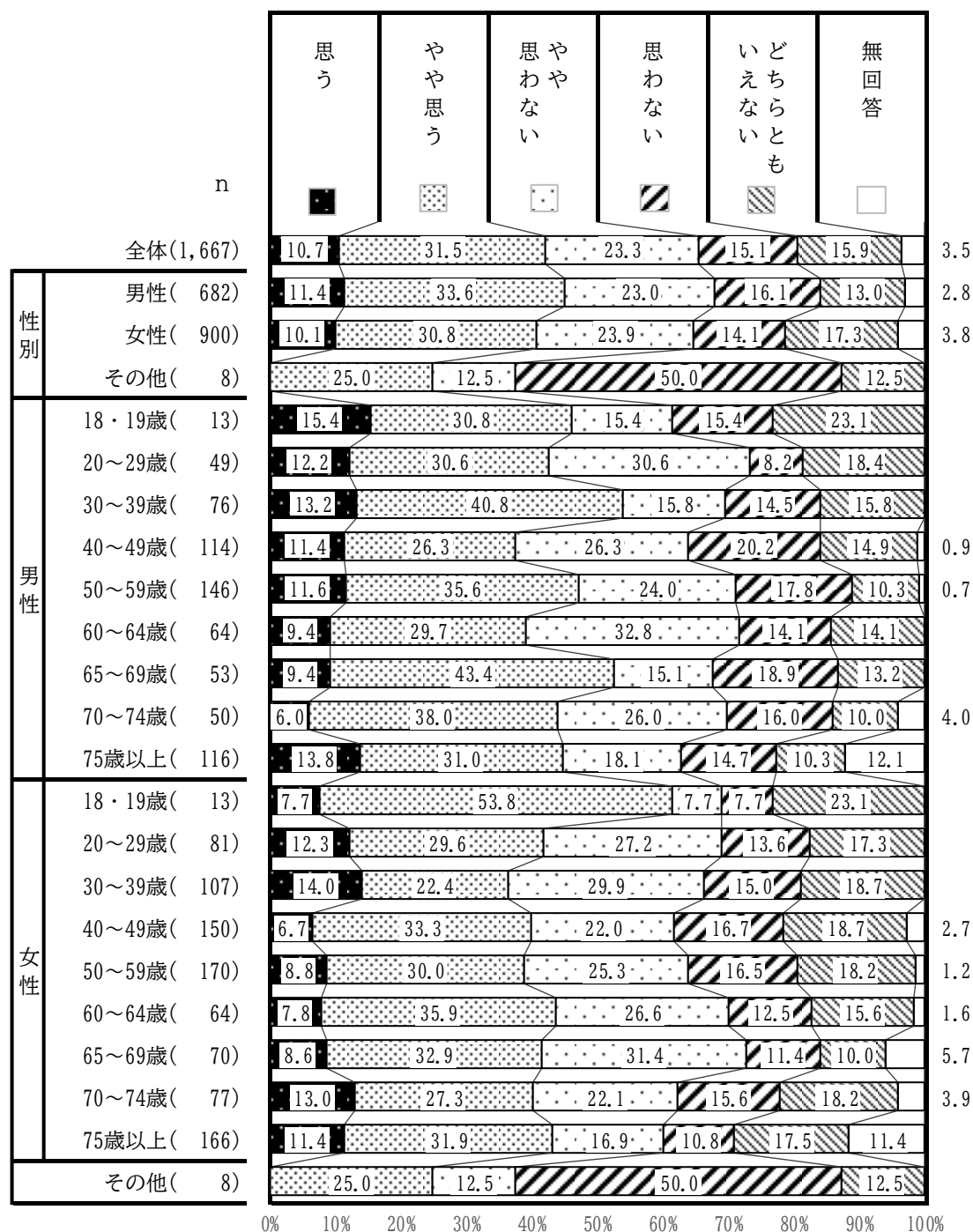
【① 区内の道路網は整備されていて渋滞がない／性・年齢別】

「思う」は男性（11.4%）が女性（10.1%）に比べて 1.3 ポイント、「やや思う」は男性（33.6%）が女性（30.8%）に比べて 2.8 ポイント高くなっている。

男性において、「やや思う」は 30～39 歳（40.8%）、65～69 歳（43.4%）が 4 割台と高くなっている。

女性において、「やや思わない」は 65～69 歳（31.4%）が 3 割を超えて高くなっている。（図表 16－2）

<図表 16－2>① 区内の道路網は整備されていて渋滞がない／性・年齢別



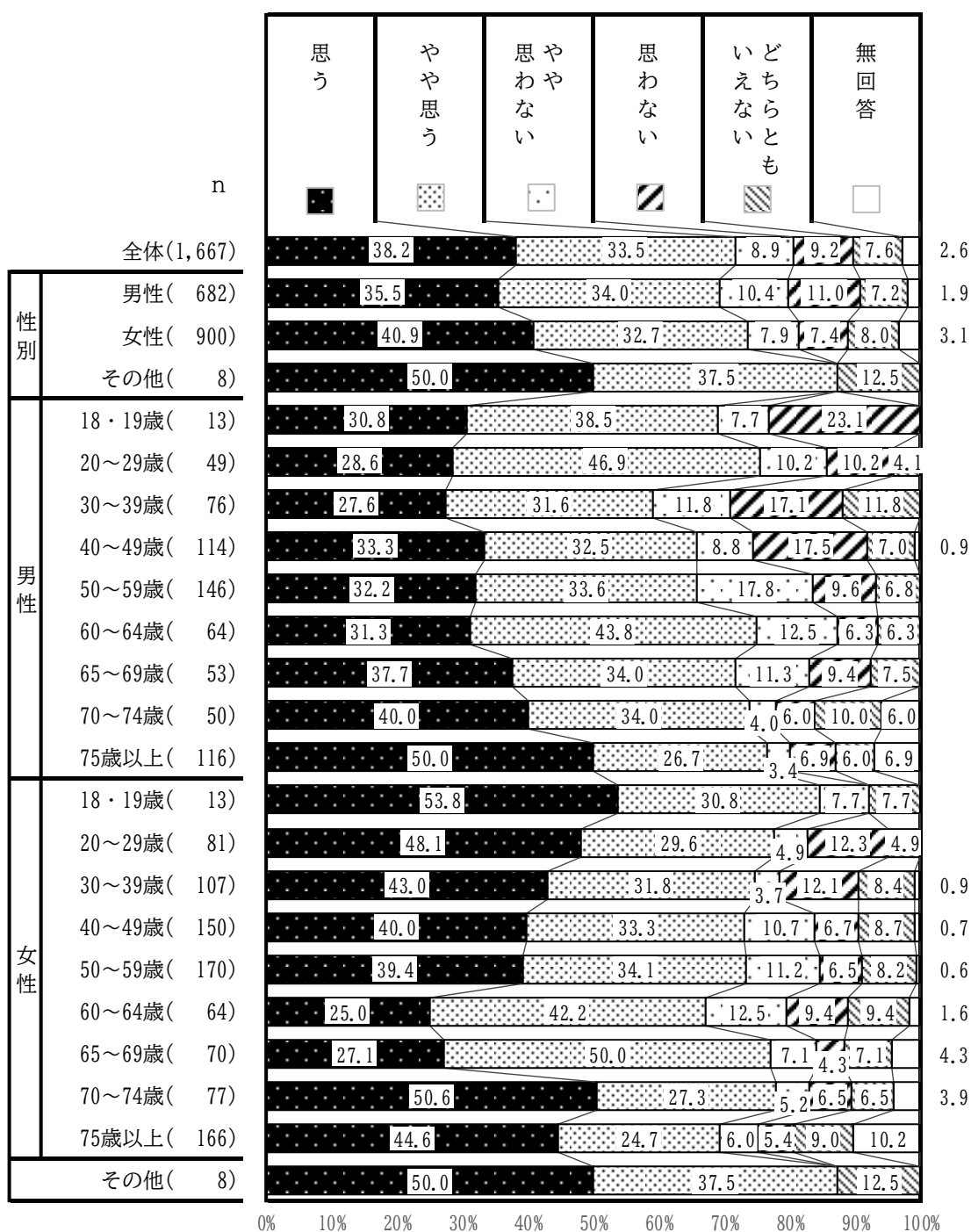
【② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい／性・年齢別】

「思う」は女性（40.9％）が男性（35.5％）に比べて 5.4 ポイント高くなっている。「思わない」は男性（11.0％）が女性（7.4％）に比べて 3.6 ポイント高くなっている。

男性において、「思う」は 75 歳以上（50.0％）が 5 割と高く、「やや思う」は 20～29 歳（46.9％）、60～64 歳（43.8％）が 4 割台と高くなっている。「思わない」と「やや思わない」の合計は 30～39 歳が 3 割近くと高くなっている。

女性において、「思う」は 70～74 歳（50.6％）が約 5 割と高く、「やや思う」は 65～69 歳（50.0％）が 5 割と高くなっている。（図表 16－3）

<図表 16－3>② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい／性・年齢別



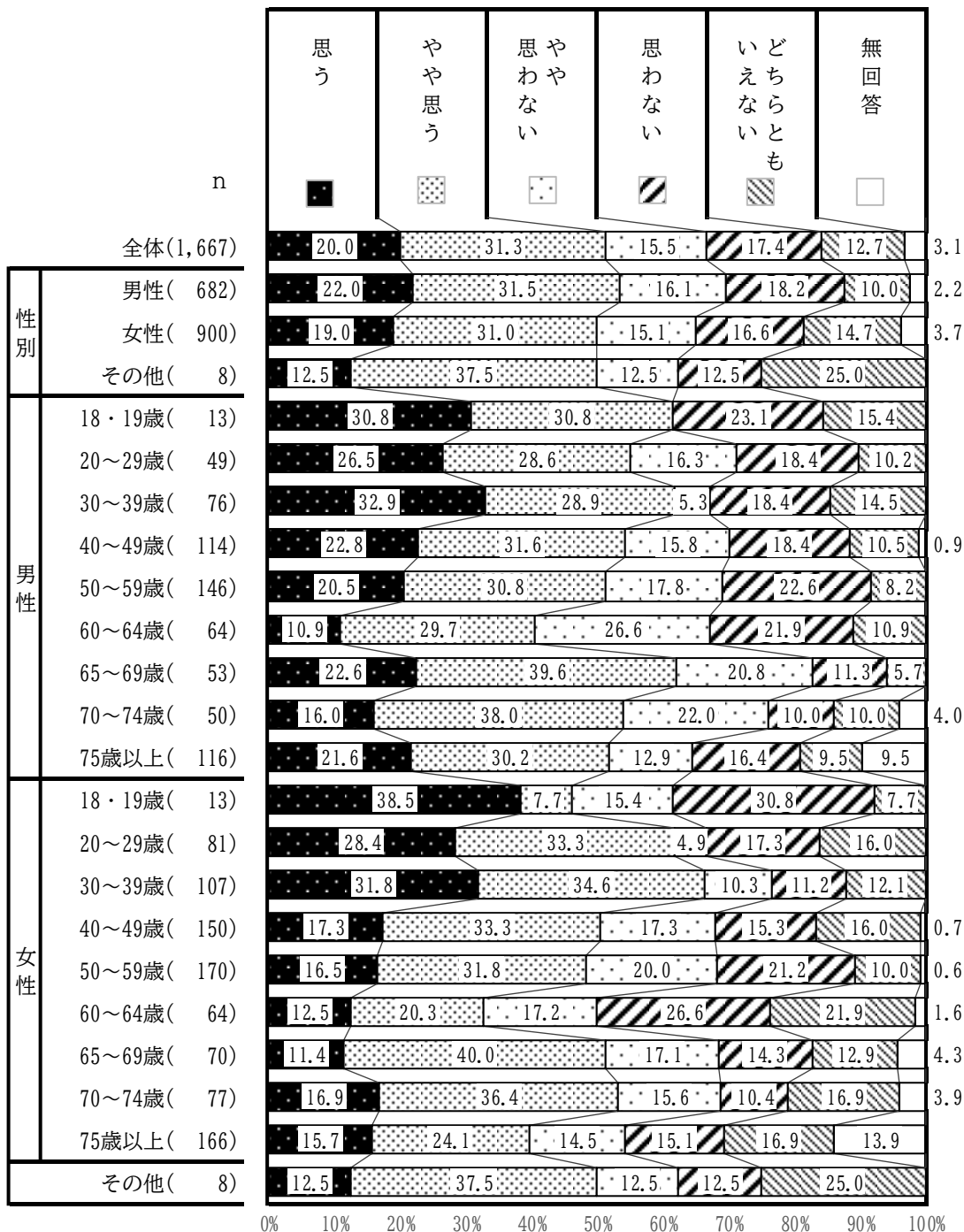
【③ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用してほしい／性・年齢別】

「思う」は男性（22.0%）が女性（19.0%）に比べて3.0ポイント高くなっている。

男性において、「思う」は30～39歳（32.9%）が3割強と高く、「思う」と「やや思う」の合計は30歳代、65～69歳が6割台と高くなっている。「思わない」と「やや思わない」の合計は60～64歳が5割近くと高くなっている。

女性において、「思う」は30～39歳（31.8%）が3割強と高く、「やや思う」と「思う」の合計は20歳代、30歳代が6割台と高くなっている。「思わない」と「やや思わない」の合計は60～64歳が4割強と高くなっている。（図表16-4）

<図表16-4>③ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用してほしい／性・年齢別



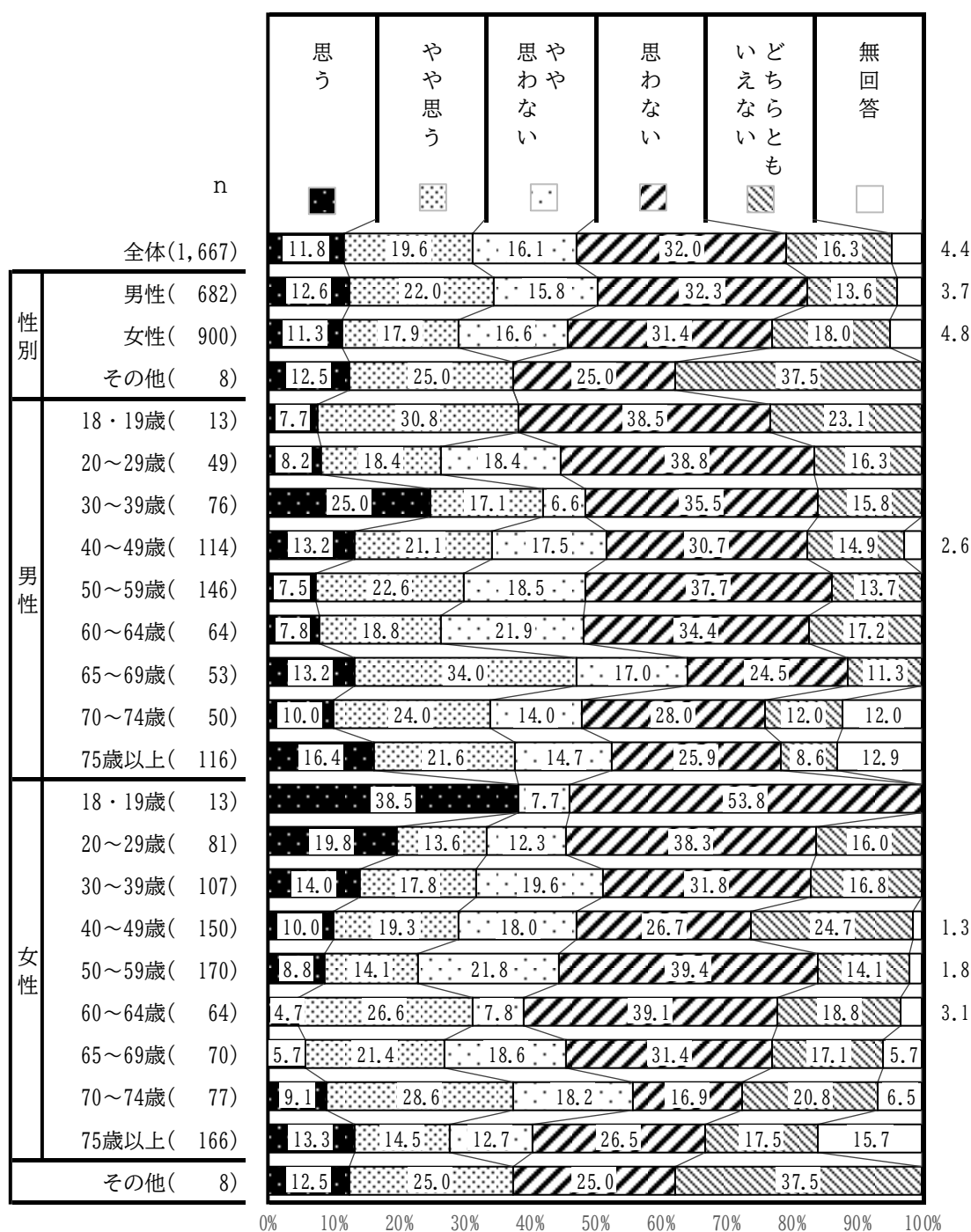
【④ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用したい／性・年齢別】

「やや思う」は男性（22.0%）が女性（17.9%）に比べて4.1ポイント高くなっている。

男性において、「思う」は30～39歳（25.0%）が2割台半ばと高く、「やや思う」は65～69歳（34.0%）が3割台半ばと高くなっている。

女性において、「思わない」は50～59歳（39.4%）、60～64歳（39.1%）が4割弱となっており、70～74歳（16.9%）が1割台半ばと低い。「思わない」と「やや思わない」の合計は50～59歳が6割強と高くなっている。（図表16-5）

<図表16-5>④ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用したい／性・年齢別



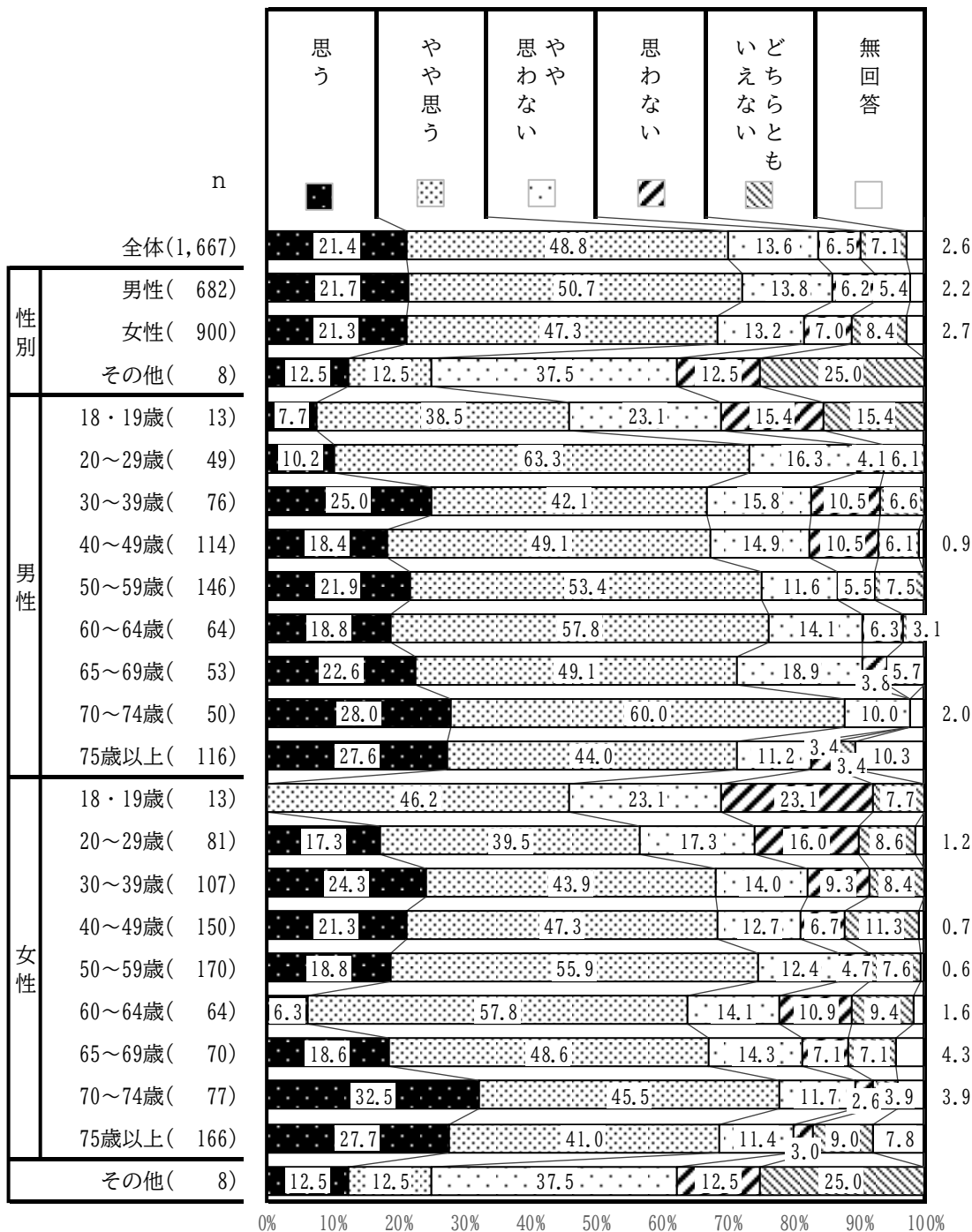
【⑤ 区内の道路や駅前広場は清掃されていてきれい／性・年齢別】

「やや思う」は男性（50.7%）が女性（47.3%）に比べて3.4ポイント高くなっている。

男性において、「やや思う」は20～29歳（63.3%）、70～74歳（60.0%）が6割台と高く、「思う」と「やや思う」の合計は70～74歳が9割近くと高くなっている。

女性において、「思う」は70～74歳（32.5%）が3割強と高くなっている。「思わない」は20～29歳（16.0%）が1割台半ばと高く、「思わない」と「やや思わない」の合計は20～29歳が3割強と高くなっている。（図表16-6）

<図表16-6>⑤ 区内の道路や駅前広場は清掃されていてきれい／性・年齢別

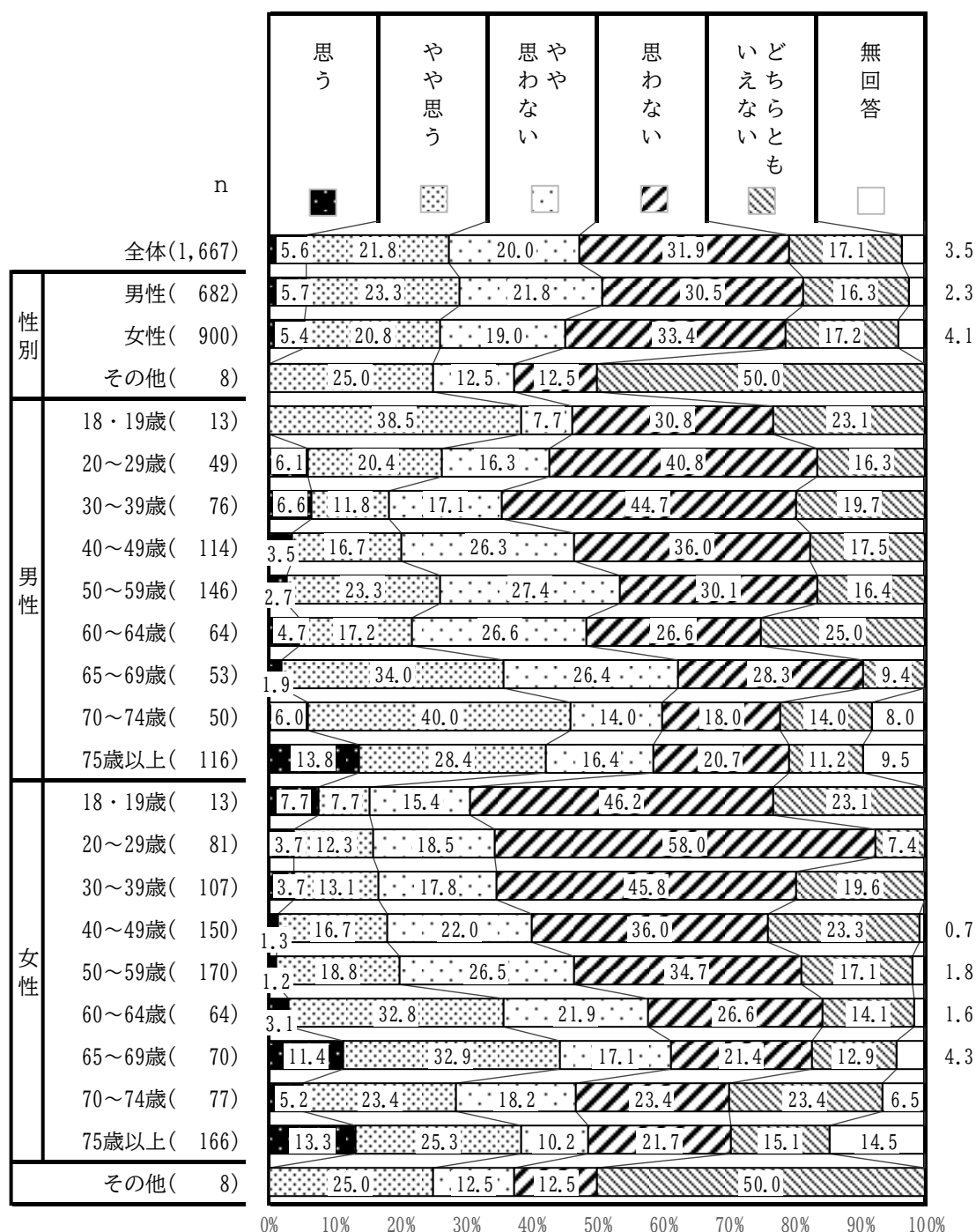


【⑥ 自宅周辺の身近な道路の清掃は自分が行いたい／性・年齢別】

男性において、「やや思う」は65～69歳(34.0%)、70～74歳(40.0%)が3割以上と高くなっている。
「思わない」は30～39歳(44.7%)が4割台半ばと高くなっている。

女性において、「やや思う」は60～64歳(32.8%)、65～69歳(32.9%)が3割強と高くなっている。
「思わない」は20～29歳(58.0%)、30～39歳(45.8%)が4割以上と高くなっている。(図表16-7)

<図表16-7>⑥ 自宅周辺の身近な道路の清掃は自分が行いたい／性・年齢別



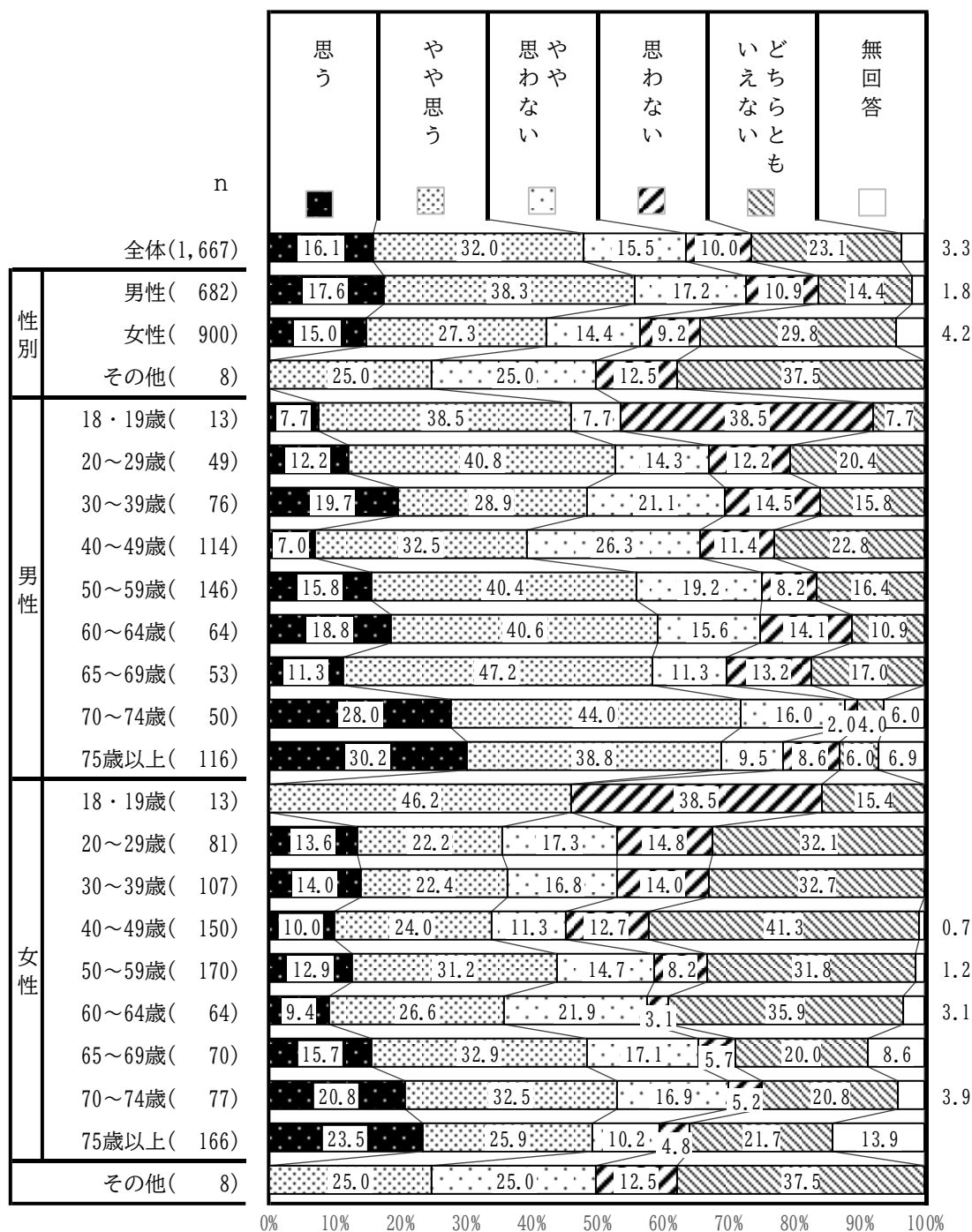
【⑦ 駅前の手洗所は清掃されている／性・年齢別】

「やや思う」は男性（38.3%）が女性（27.3%）に比べて11.0ポイント高くなっている。「どちらともいえない」は女性（29.8%）が男性（14.4%）に比べて15.4ポイント高くなっている。

男性において、「思う」は75歳以上（30.2%）、70～74歳（28.0%）が2割以上と高く、「やや思う」は65～69歳（47.2%）が5割近くと高くなっている。「思う」と「やや思う」の合計は70歳代以降が6割以上と高くなっている。「やや思わない」は40～49歳（26.3%）が2割台半ばと高くなっている。

女性において、「どちらともいえない」は20歳代～50歳代、60～64歳が3割以上となっており、40～49歳（41.3%）が4割強と最も高くなっている。「思う」と「やや思う」の合計は20歳代～40歳代、60～64歳が3割台と低い。（図表16-8）

<図表16-8>⑦ 駅前の手洗所は清掃されている／性・年齢別



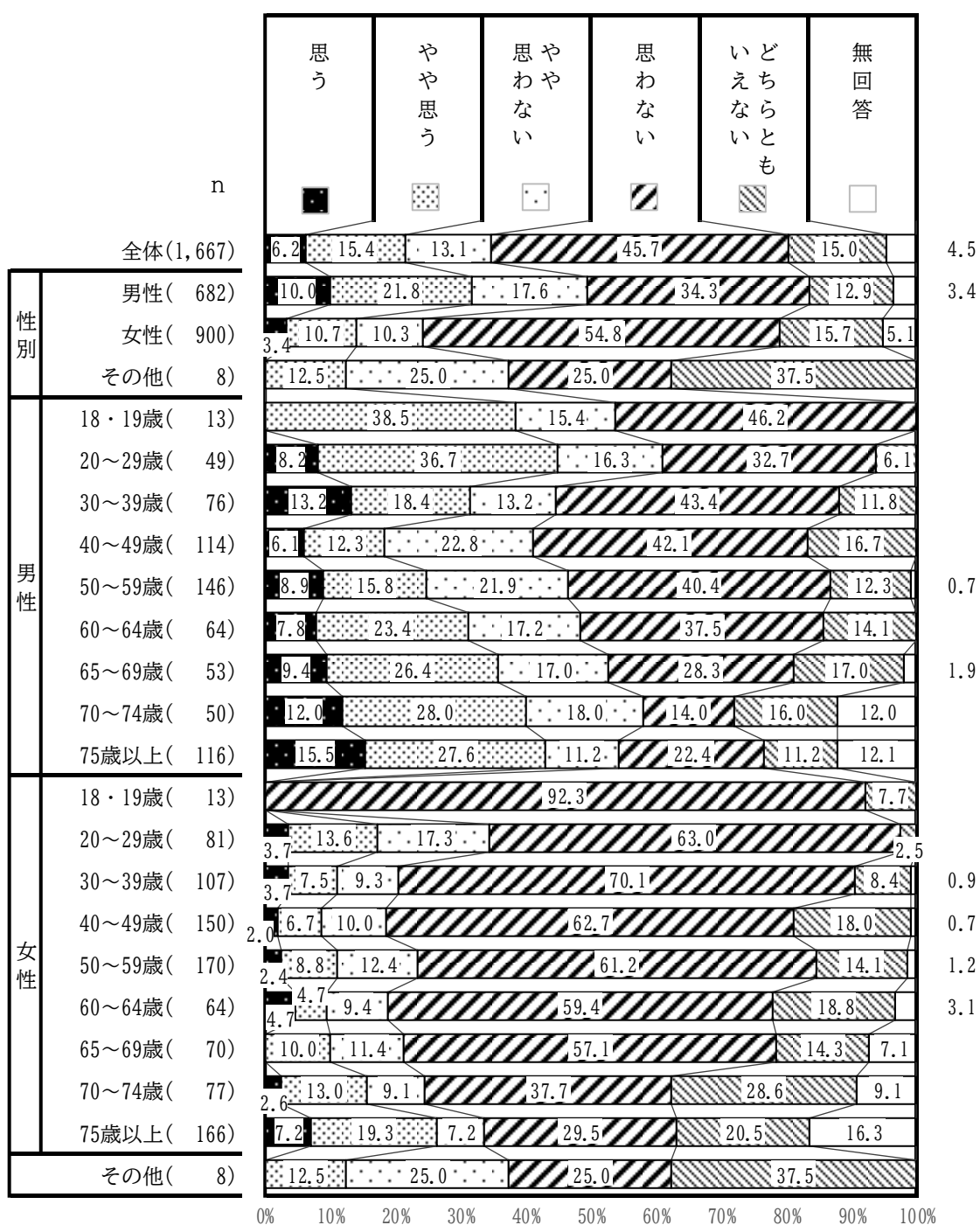
【⑧ 駅前の手洗所をよく利用している／性・年齢別】

「思う」は男性（10.0％）が女性（3.4％）に比べて6.6ポイント、「やや思う」は男性（21.8％）が女性（10.7％）に比べて11.1ポイント高くなっている。「やや思わない」は男性（17.6％）が女性（10.3％）に比べて7.3ポイント高く、「思わない」は女性（54.8％）が男性（34.3％）に比べて20.5ポイント高くなっている。

男性において、「やや思う」は65歳以降が2割台半ばを超えて高く、「思う」と「やや思う」の合計は20歳代、70歳代以降が4割台と高い。

女性において、「思わない」は20歳代～60歳代が5割以上となっており、30～39歳（70.1％）が約7割と最も高い。（図表16－9）

<図表16－9>⑧ 駅前の手洗所をよく利用している／性・年齢別



17. 災害対策について

(1) 大規模水害時の避難するタイミング

◇「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」が4割強で最も高い。

問 23 超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測されるときに、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(○は1つ)

<図表 17-1>大規模水害時の避難するタイミング



「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」(41.2%)が4割強と最も高くなっている。次いで「24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」(18.9%)となっている。「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」、「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」(16.9%)と「区外への避難はしない」(14.1%)との合計は7割強となっている。(図表 17-1)

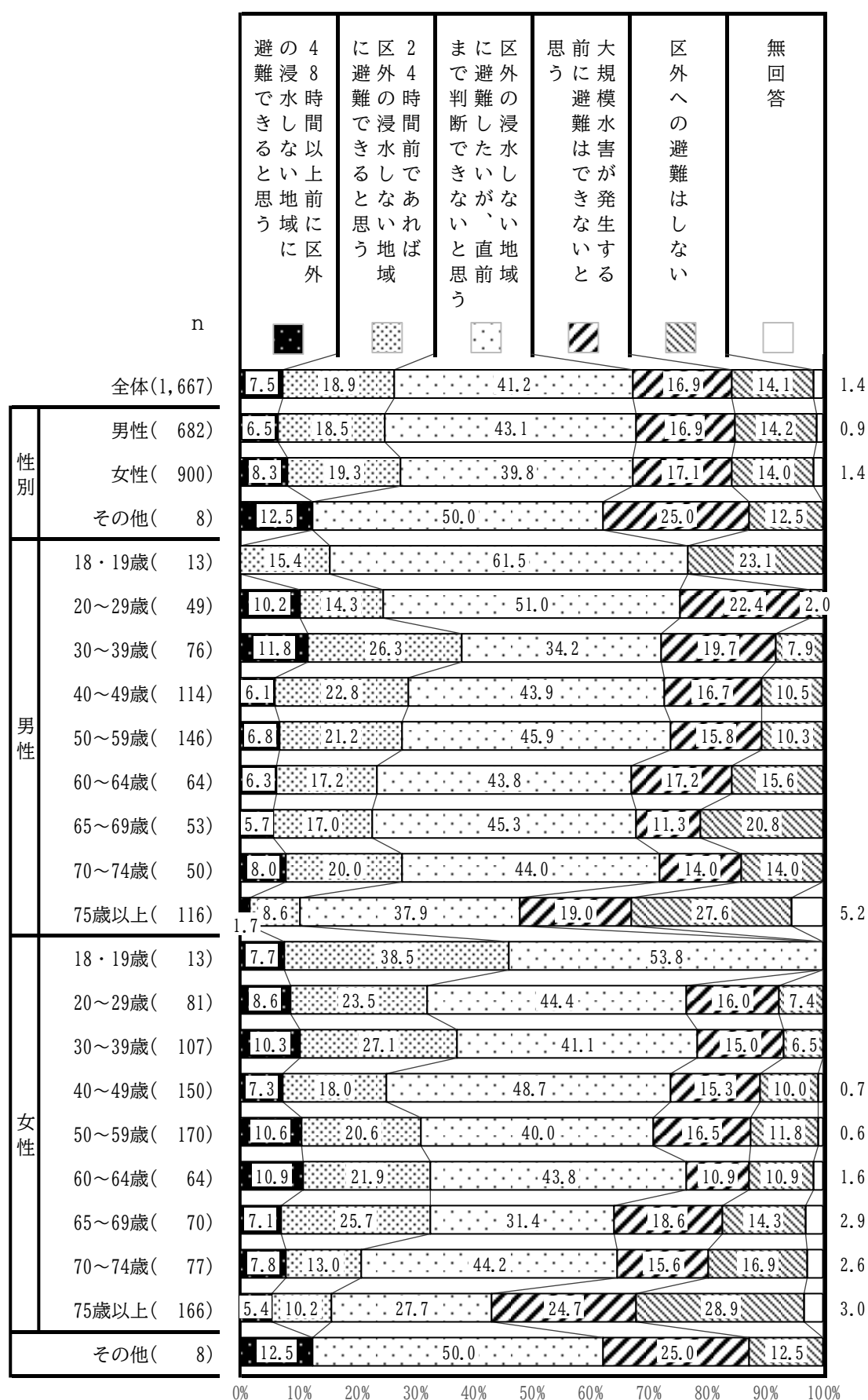
【性・年齢別】

「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は男性(43.1%)が女性(39.8%)に比べて3.3ポイント高くなっている。

男性において、「24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」は30～39歳(26.3%)が3割近くと高くなっている。「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は20～29歳(51.0%)が5割を超えている。「区外への避難はしない」は75歳以上(27.6%)が3割近くと高くなっている。

女性において、「24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」は30～39歳(27.1%)が3割近くと高く、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は40～49歳(48.7%)が5割近くと高くなっている。「区外への避難はしない」は男性同様に75歳以上(28.9%)が3割近くと高くなっている。(図表 17-2)

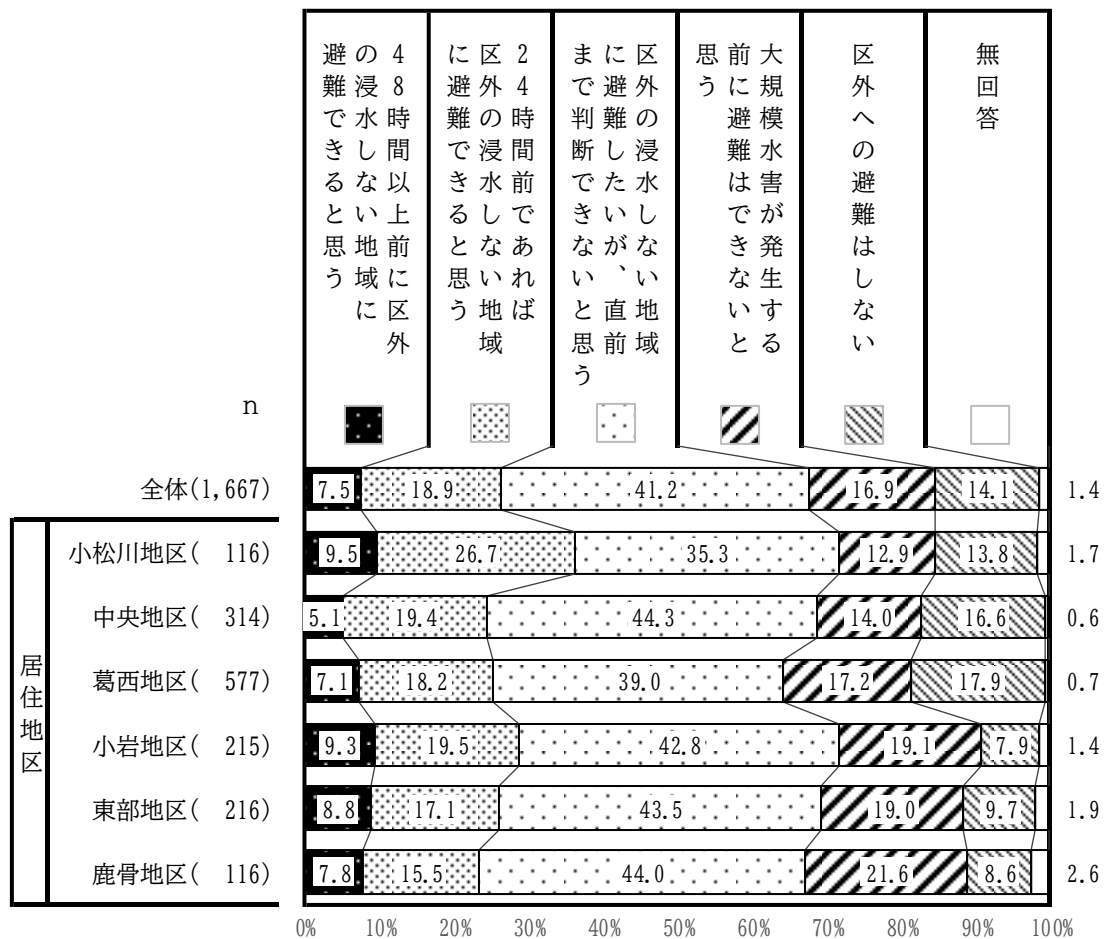
<図表 17-2>大規模水害時の避難するタイミング／性・年齢別



【居住地区別】

「24 時間前であれば区外に浸水しない地域に避難できると思う」は小松川地区（26.7%）が3割近くと高くなっている。「区外への避難はしない」は葛西地区（17.9%）が2割近くと最も高く、小岩地区が7.9%と低くなっている。（図表 17-3）

<図表 17-3>大規模水害時の避難するタイミング／居住地区別



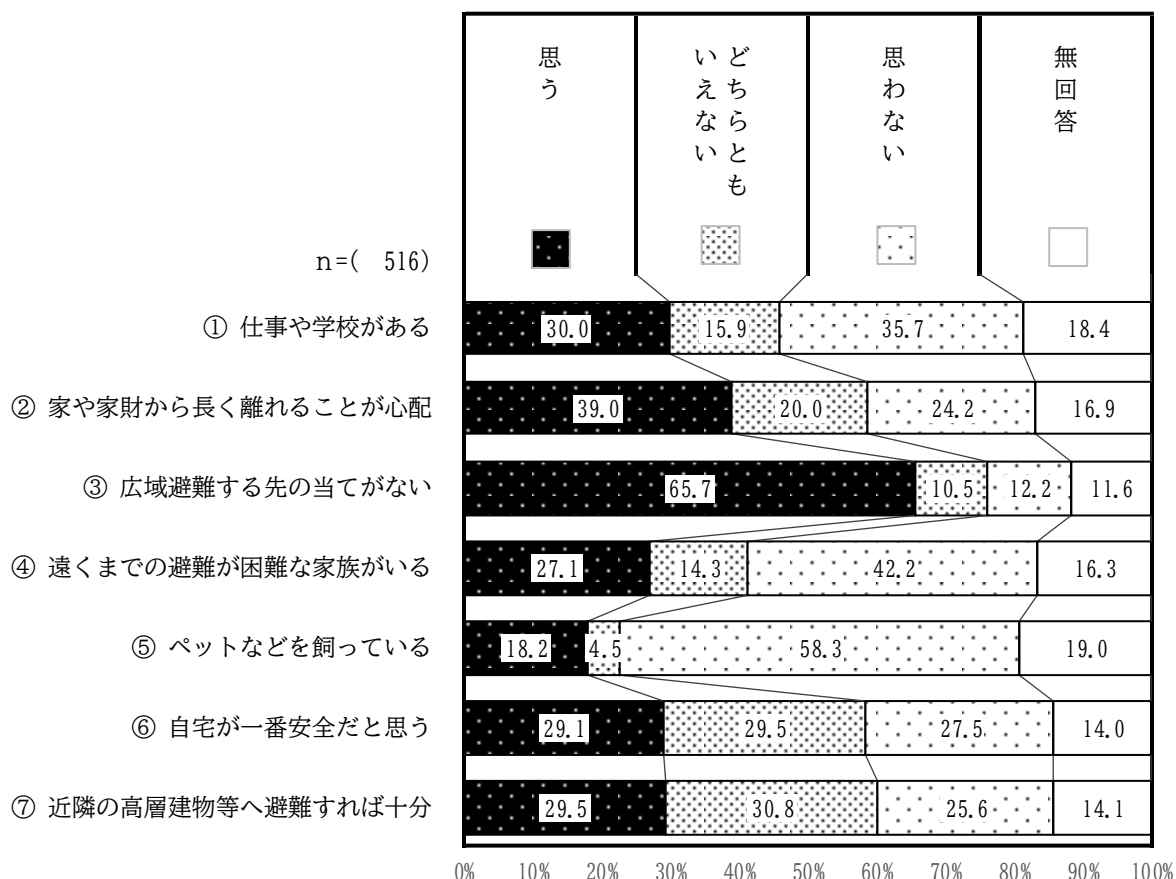
(2) 広域避難しない理由・各項目

◇「思う」は【③ 広域避難する先の当てがない】が6割台半ばで最も高い。

問 23-1 問 23 で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない（できない）理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

<図表 17-4> 広域避難しない理由・各項目

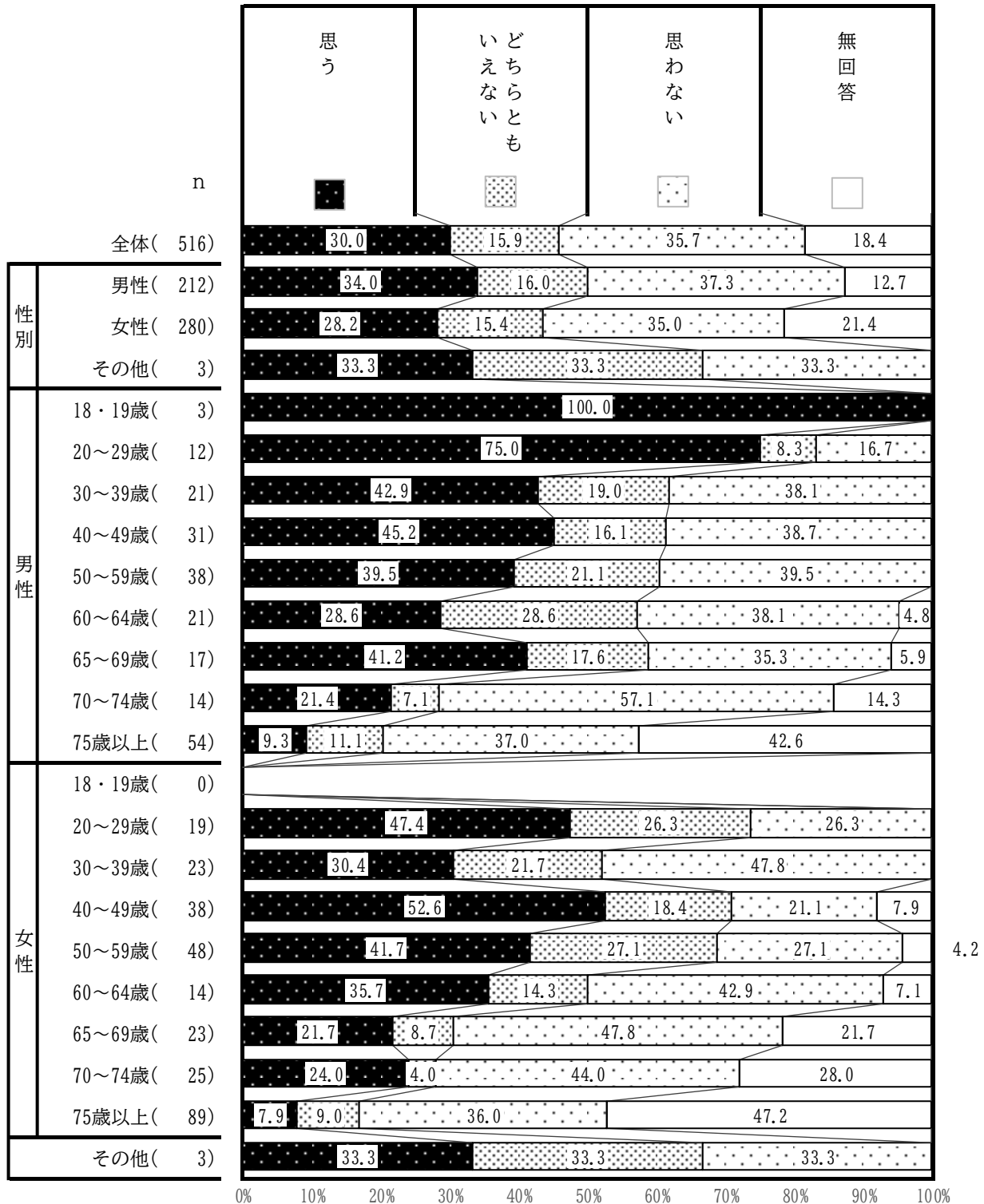


大規模災害時に広域避難しない（できない）理由について、「思う」は【③ 広域避難する先の当てがない】(65.7%) が6割台半ばで最も高くなっている。次いで【② 家や家財から長く離れることが心配】(39.0%)、【① 仕事や学校がある】(30.0%) となっている。一方、「思わない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(58.3%) が6割近くで最も高くなっている。次いで【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(42.2%)、【① 仕事や学校がある】(35.7%) となっている。(図表 17-4)

【① 仕事や学校がある／性・年齢別】

「思う」は男性（34.0％）が女性（28.2％）に比べて5.8ポイント高くなっている。（図表 17－5）

<図表 17－5>① 仕事や学校がある／性・年齢別

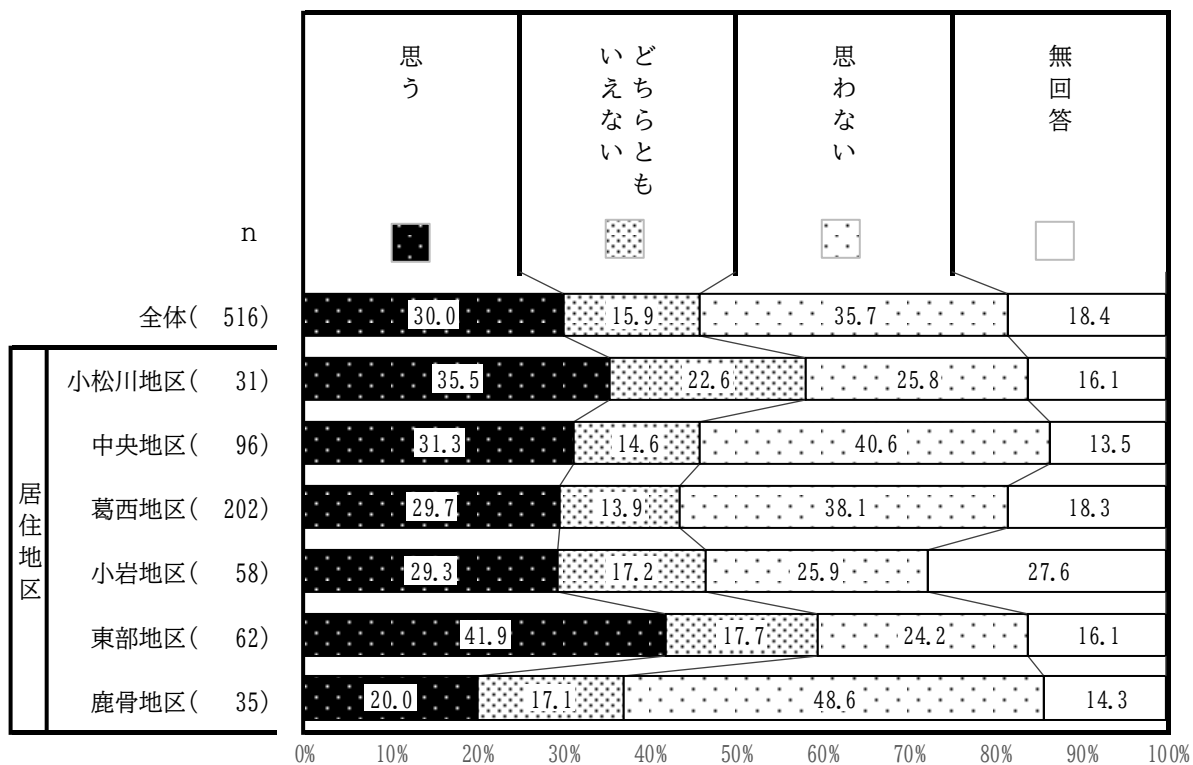


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【① 仕事や学校がある／居住地区別】

「思う」は東部地区（41.9％）が4割強と高くなっている。「思わない」は鹿骨地区（48.6％）が5割近くと高くなっている。（図表 17－6）

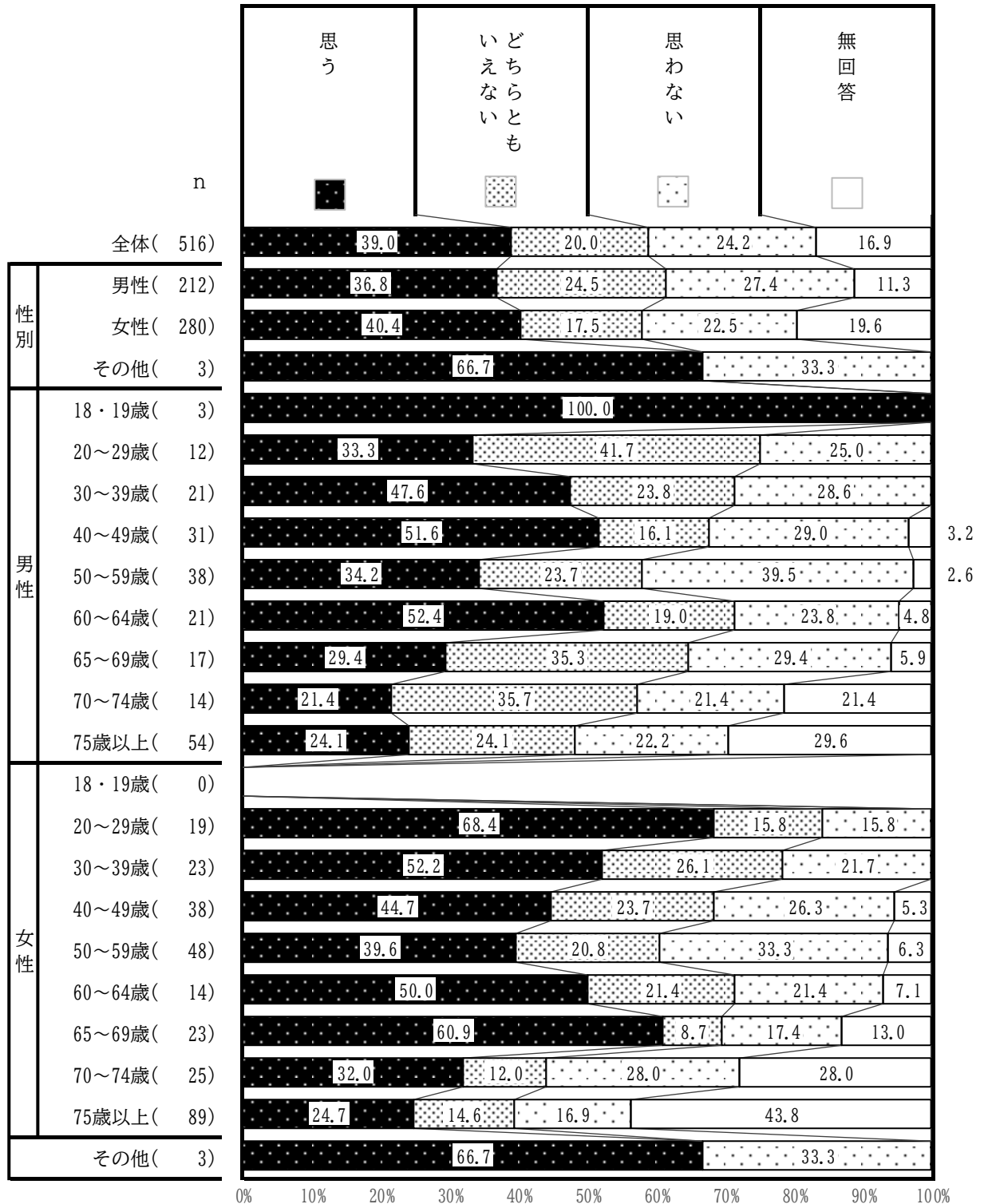
<図表 17－6>① 仕事や学校がある／居住地区別



【② 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

「思わない」は男性（27.4%）が女性（22.5%）に比べて4.9ポイント高くなっている。（図表 17－7）

<図表 17－7>② 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別

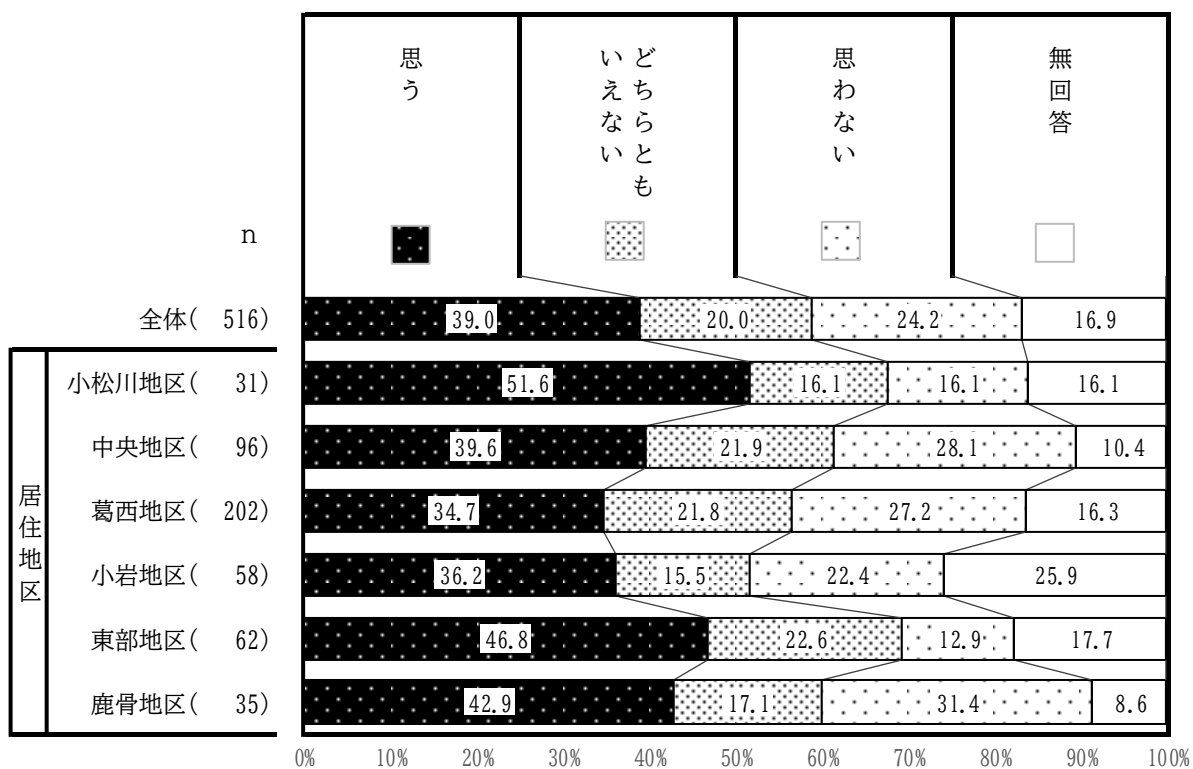


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【② 家や家財から長く離れることが心配／居住地区別】

「思う」は小松川地区（51.6%）が5割強と高くなっている。「思わない」は東部地区（12.9%）が1割強と低くなっている。（図表 17－8）

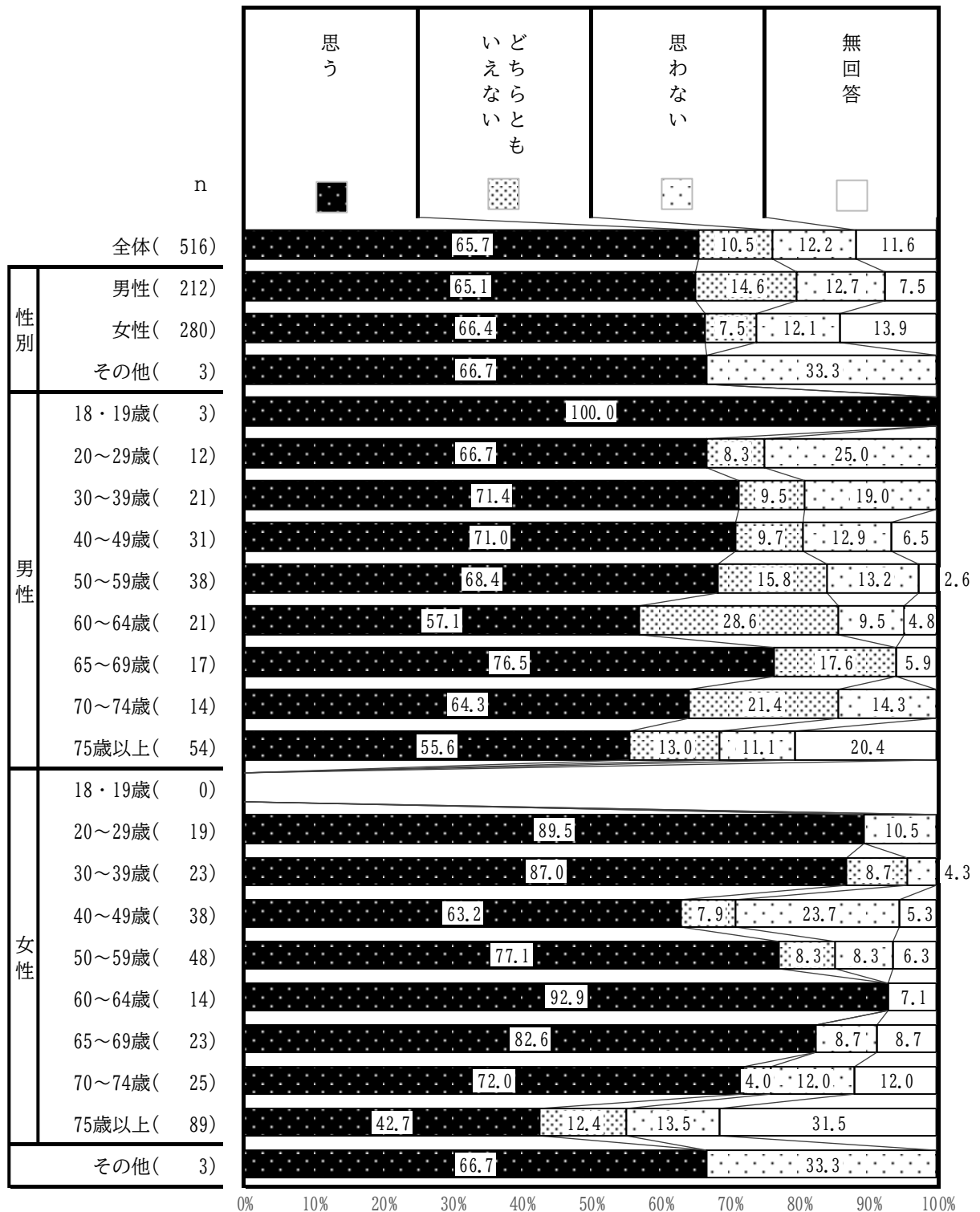
<図表 17－8>② 家や家財から長く離れることが心配／居住地区別



【③ 広域避難する先の当てがいない／性・年齢別】

「思う」は女性（66.4%）が男性（65.1%）に比べて 1.3 ポイント、「思わない」は男性（12.7%）が女性（12.1%）に比べて 0.6 ポイント高くなっているが、大きな差はみられない。（図表 17－9）

<図表 17－9>③ 広域避難する先の当てがいない／性・年齢別

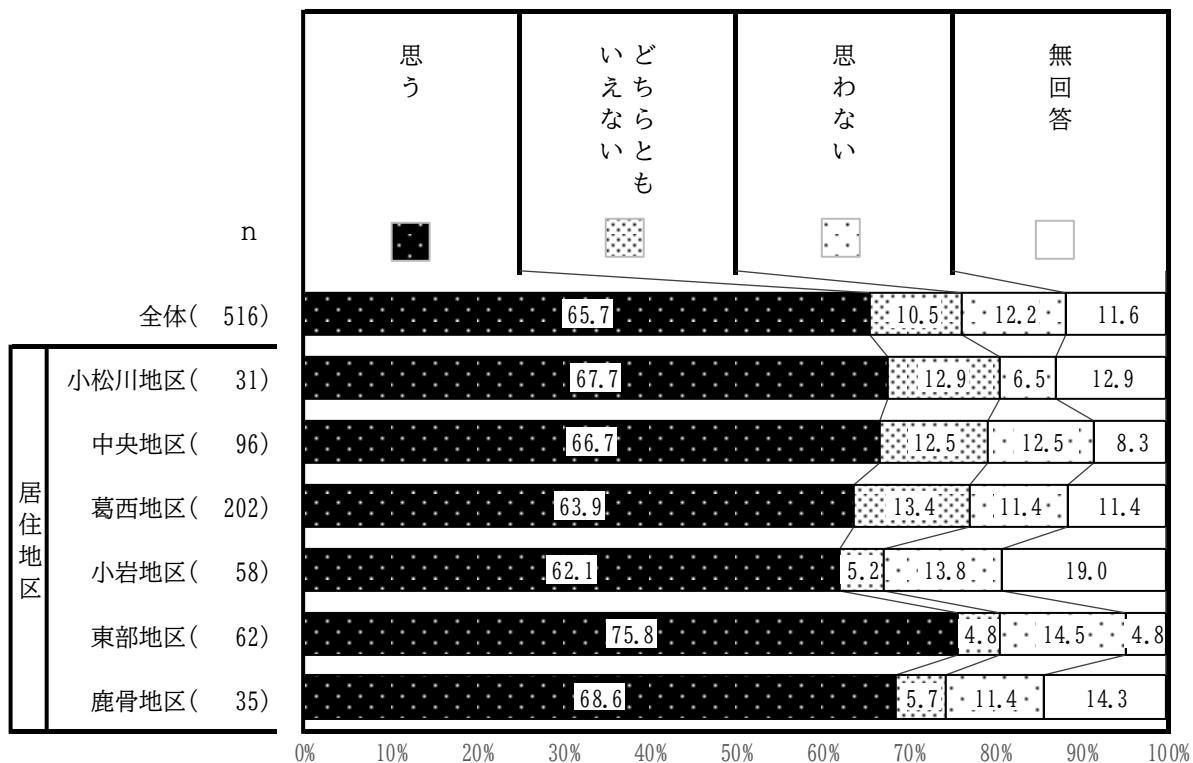


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【③ 広域避難する先の当てがない／居住地区別】

「思う」は東部地区（75.8%）が7割台半ばと高くなっている。（図表 17-10）

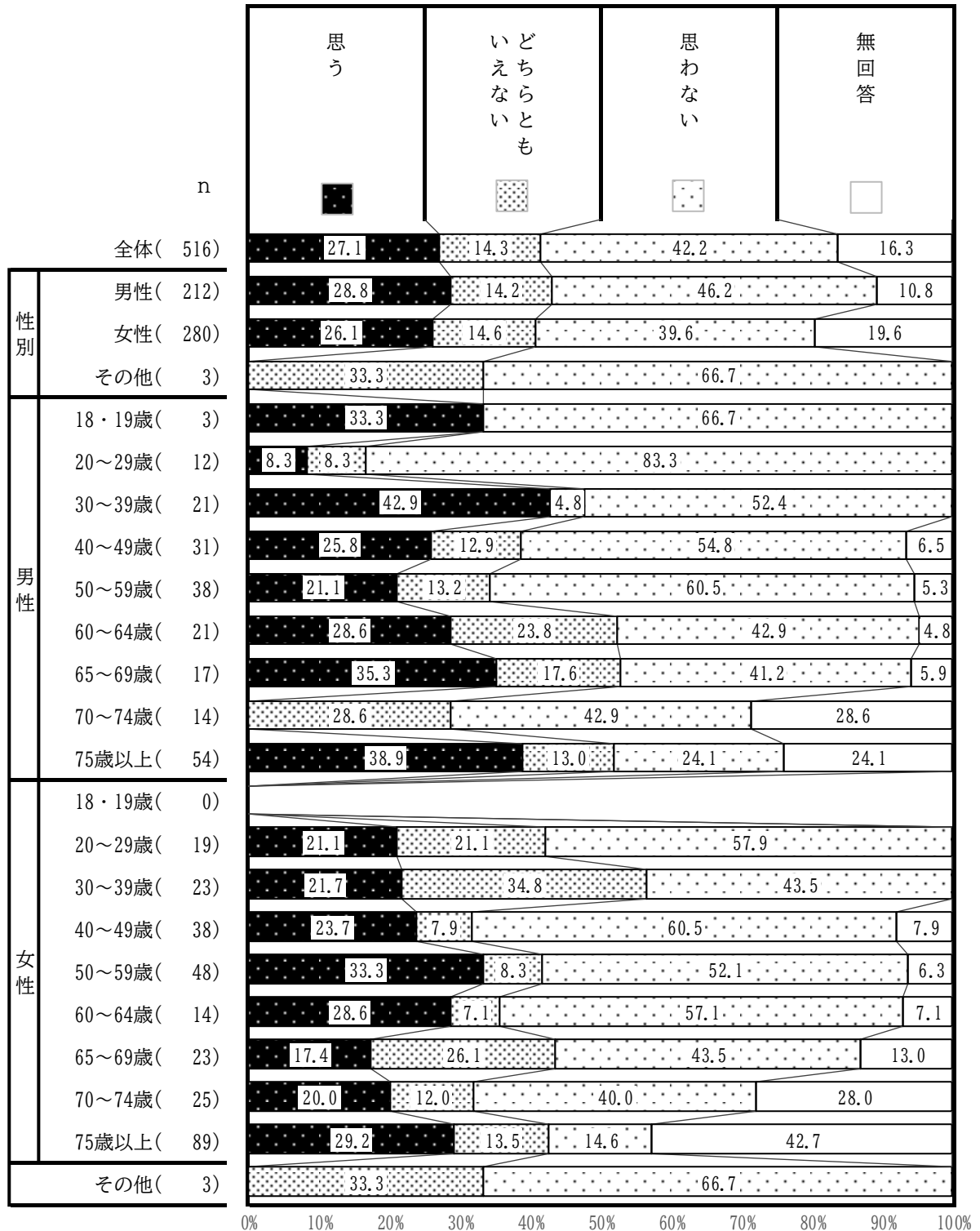
<図表 17-10>③ 広域避難する先の当てがない／居住地区別



【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

「思わない」は男性（46.2％）が女性（39.6％）に比べて6.6ポイント高くなっている。（図表 17－11）

<図表 17－11>④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別

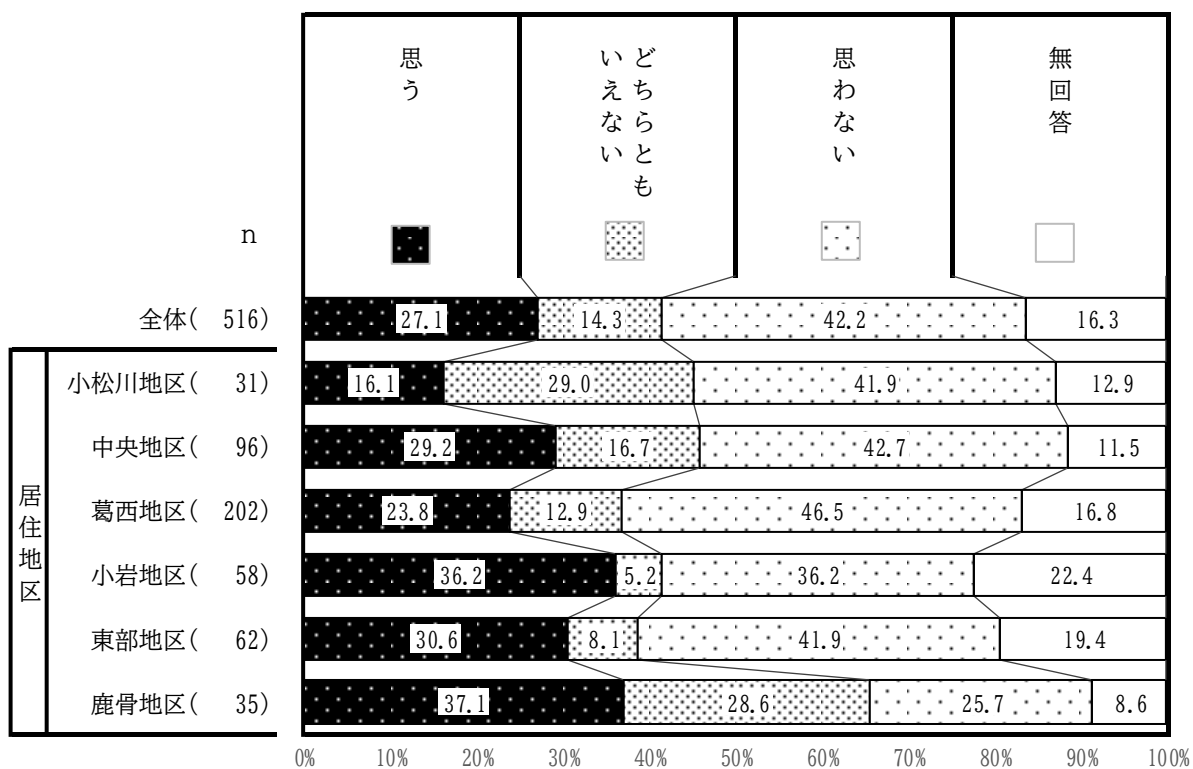


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別】

「思う」は鹿骨地区（37.1%）、小岩地区（36.2%）が4割近くと高くなっている。「思わない」は鹿骨地区（25.7%）が2割台半ばと低くなっている。（図表 17-12）

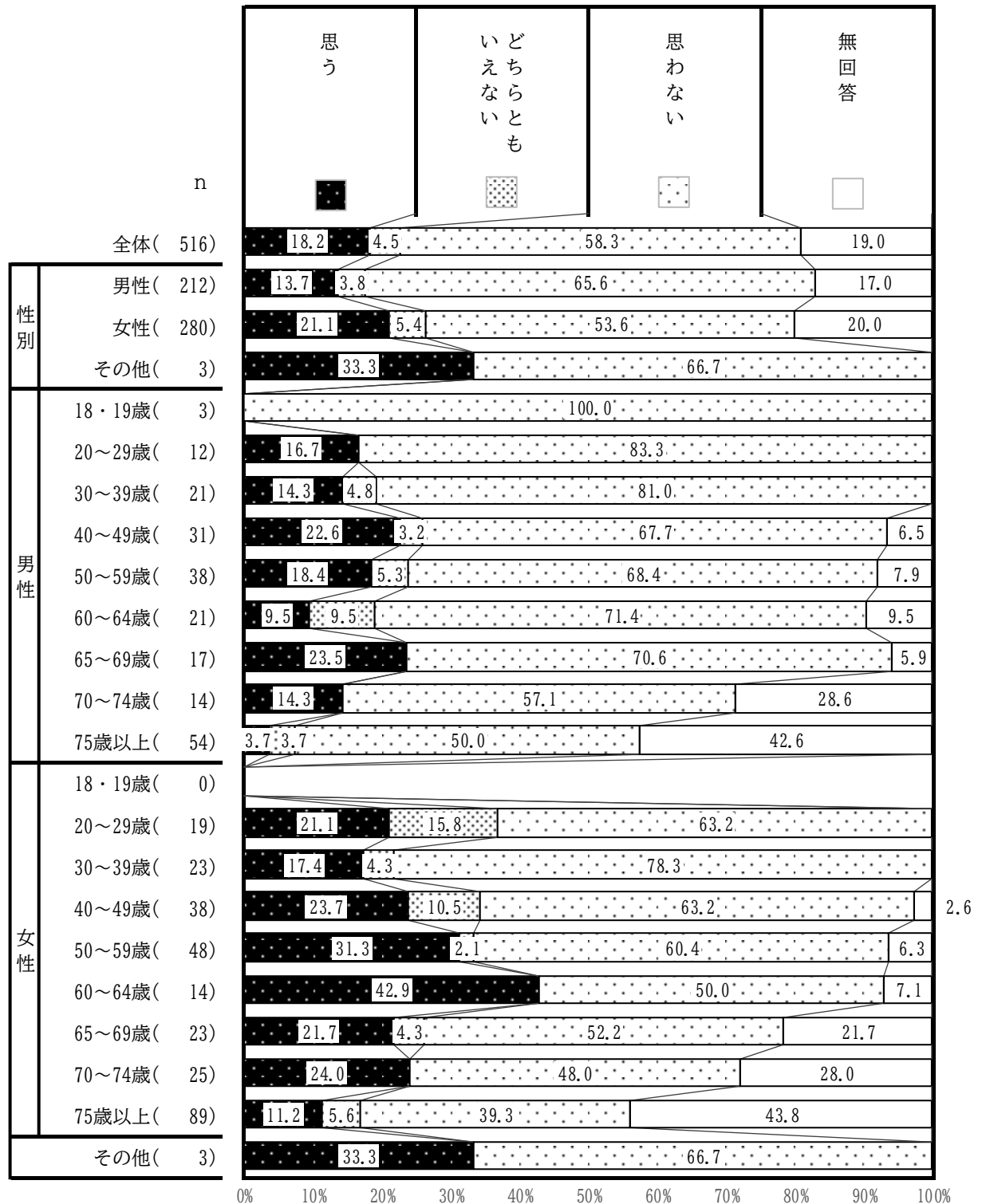
<図表 17-12>④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別



【⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別】

「思う」は女性（21.1％）が男性（13.7％）に比べて7.4ポイント高く、「思わない」は男性（65.6％）が女性（53.6％）に比べて12.0ポイント高くなっている。（図表17-13）

<図表 17-13>⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別

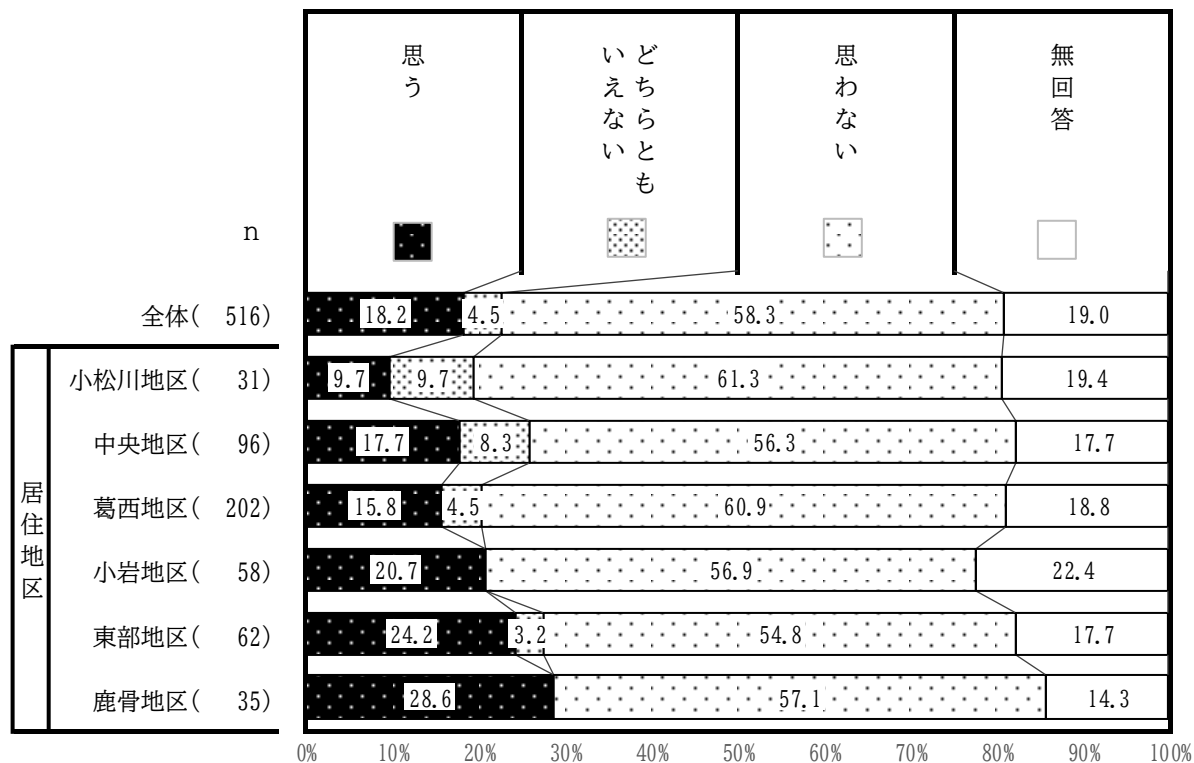


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑤ ペットなどを飼っている／居住地区別】

「思う」は鹿骨地区（28.6％）が3割近くと高くなっている。（図表 17－14）

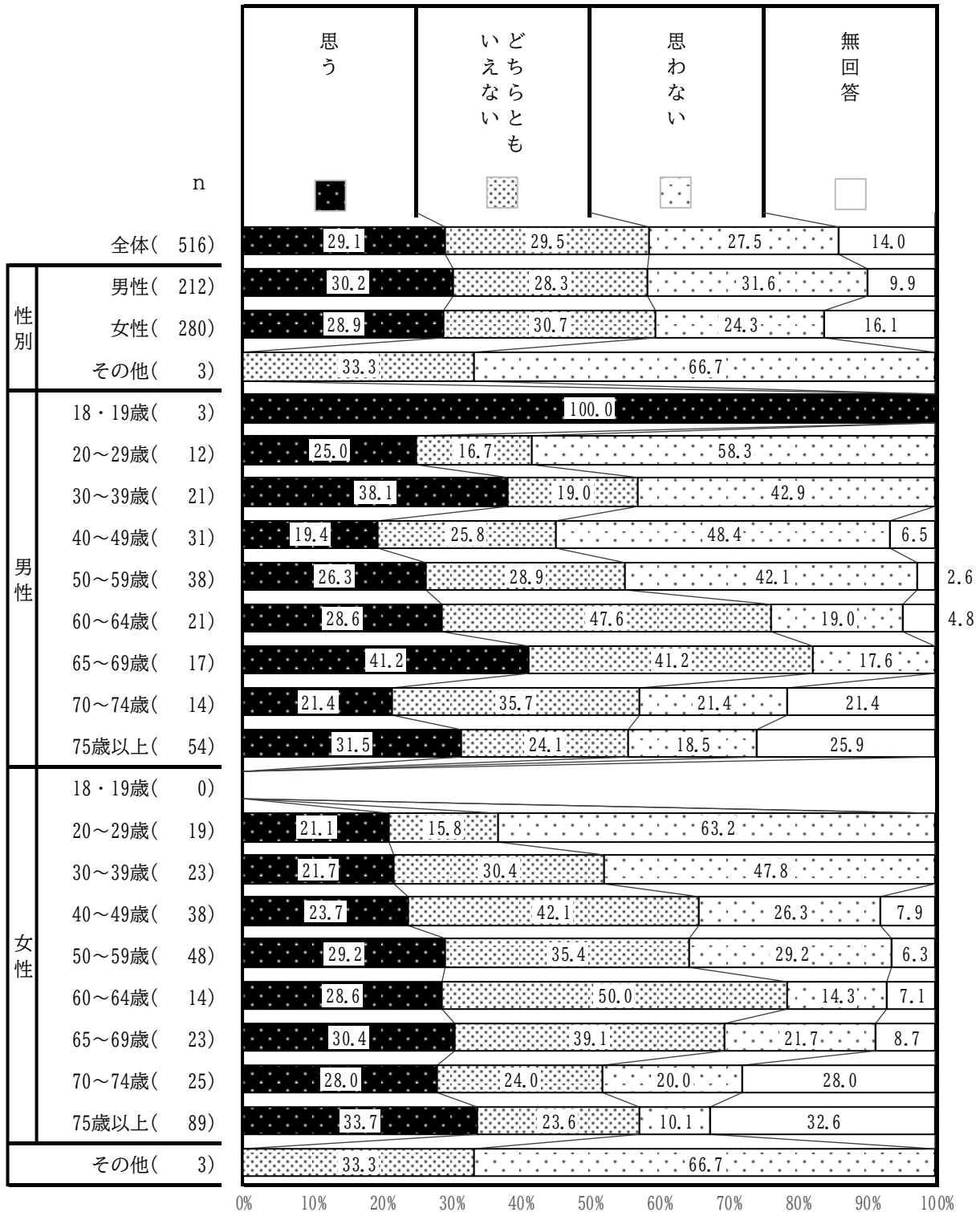
<図表 17－14>⑤ ペットなどを飼っている／居住地区別



【⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

「思わない」は男性（31.6％）が女性（24.3％）に比べて7.3ポイント高くなっている。（図表 17-15）

<図表 17-15>⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別

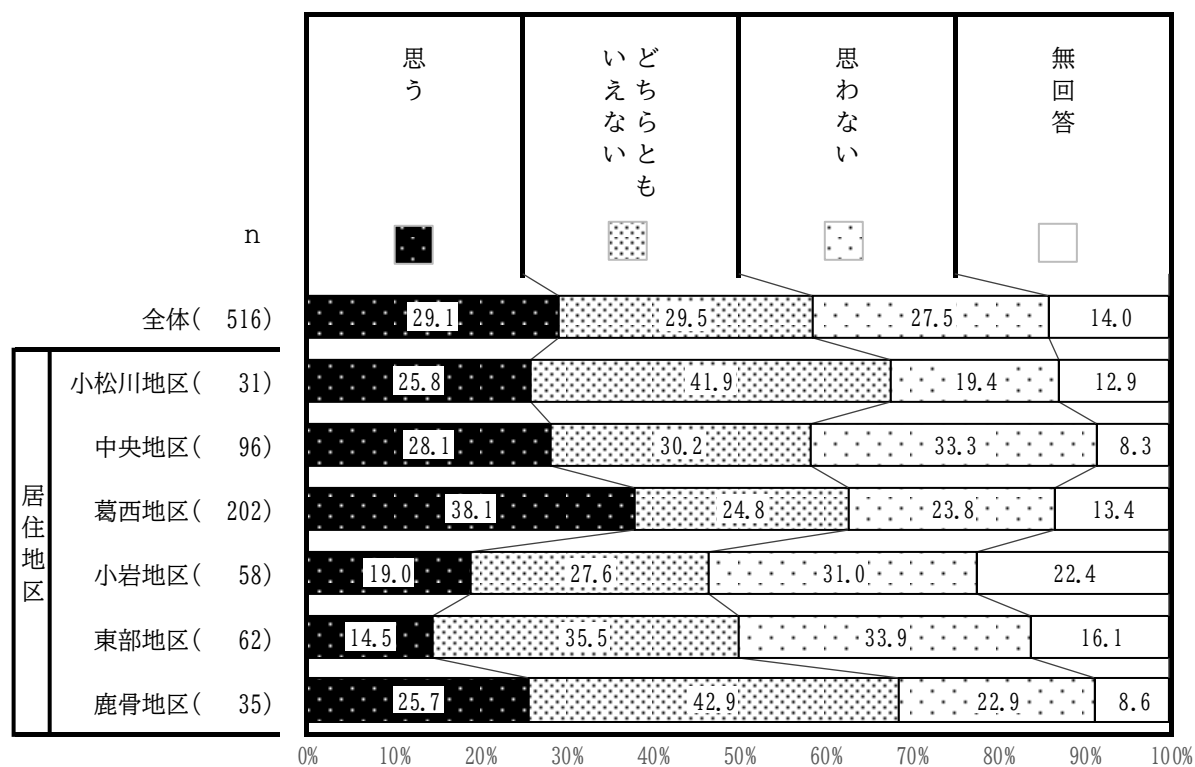


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑥ 自宅が一番安全だと思う／居住地区別】

「思う」は葛西地区（38.1%）が4割近くと高く、東部地区（14.5%）、小岩地区（19.0%）が1割台と低くなっている。（図表 17-16）

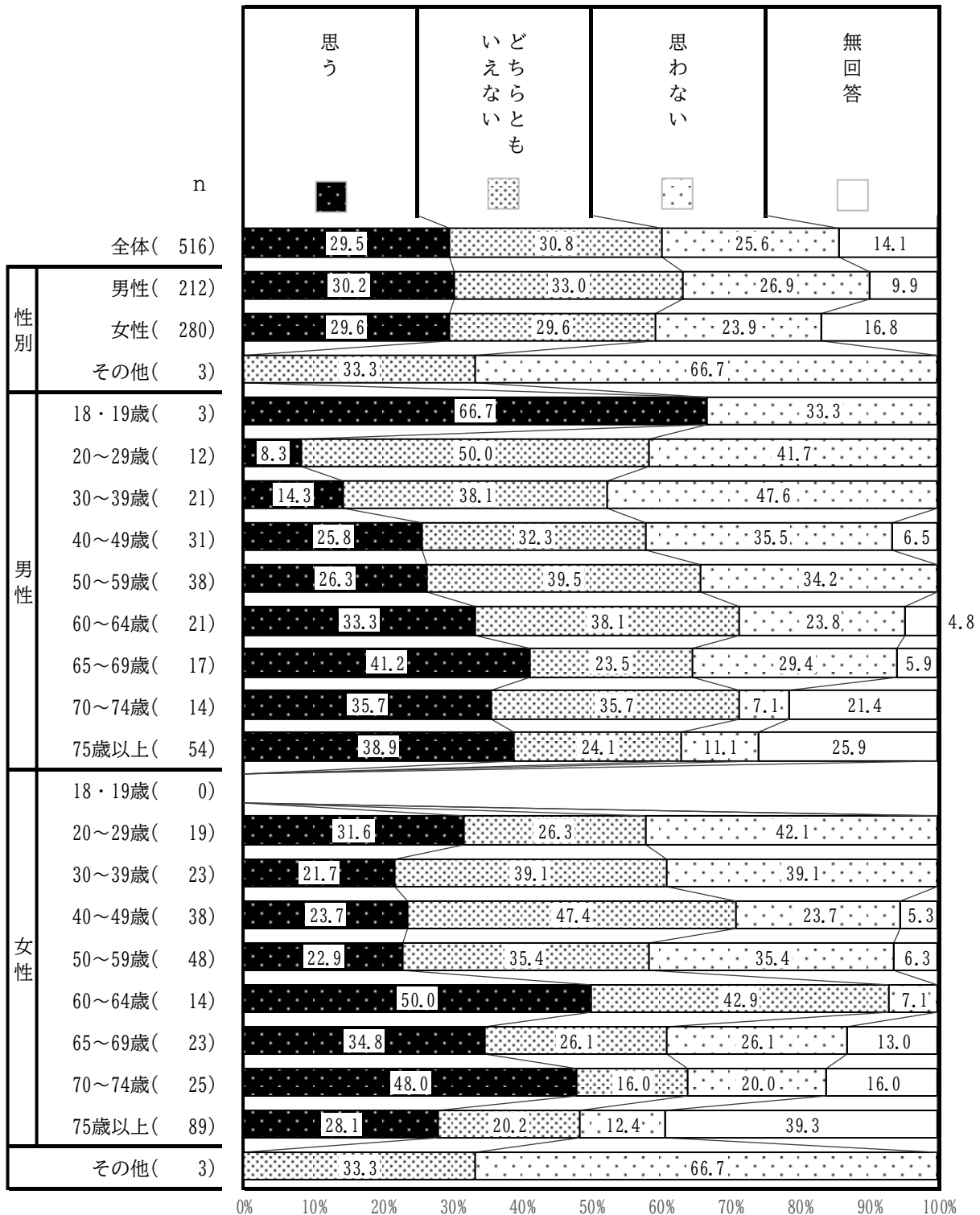
<図表 17-16>⑥ 自宅が一番安全だと思う／居住地区別



【⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別】

「思わない」は男性（26.9％）が女性（23.9％）に比べて3.0ポイント高くなっている。（図表 17-17）

<図表 17-17> ⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別

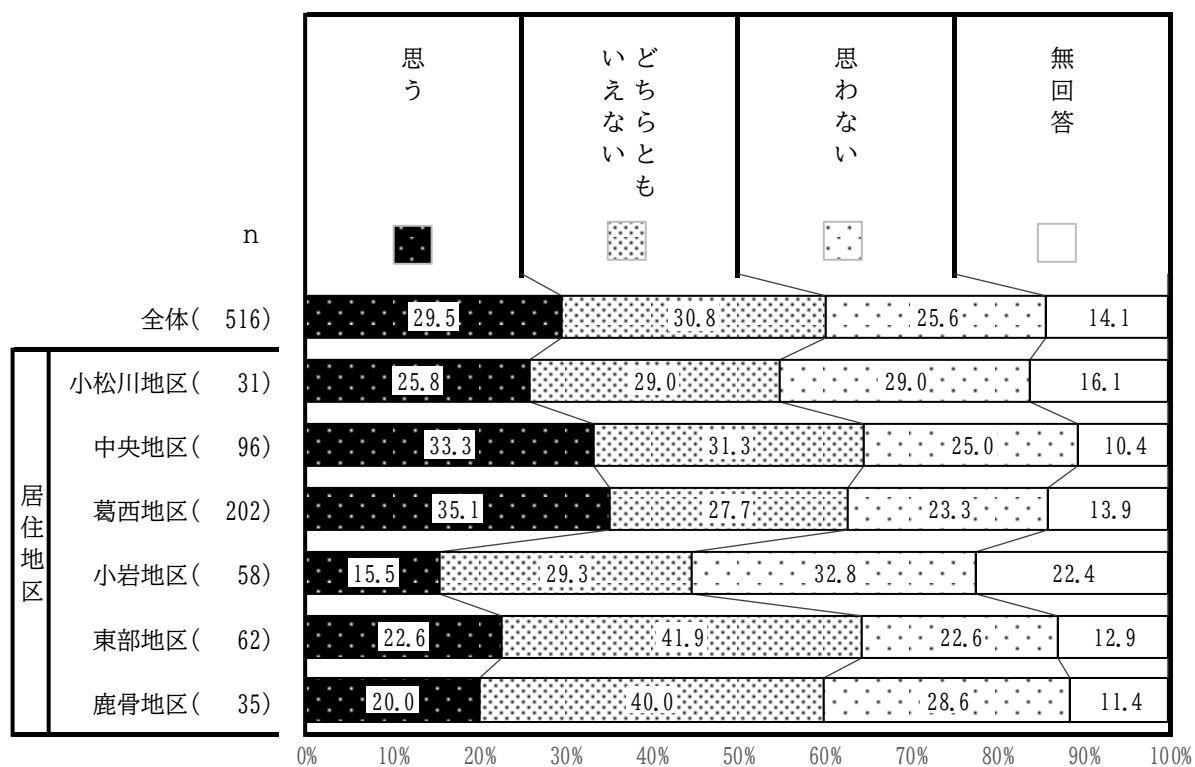


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別】

「思う」は葛西地区（35.1%）が3割台半ばと高くなっている。「思わない」は小岩地区（32.8%）が3割強と高くなっている。（図表 17-18）

<図表 17-18> ⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別

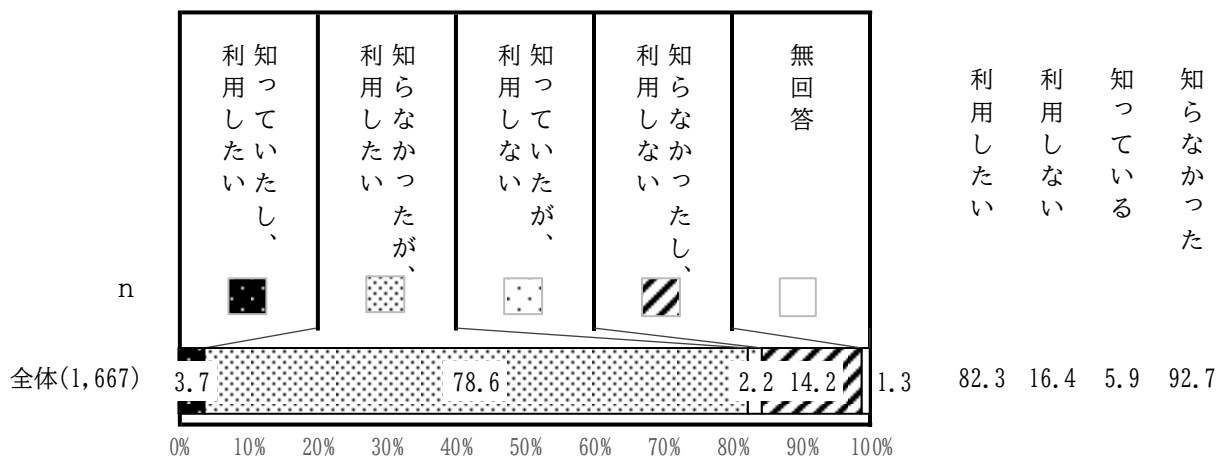


(3) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について

◇「知らなかったが、利用したい」が8割近くで最も高い。

問 24 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(○は1つ)

<図表 17-19> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について



「知らなかったが、利用したい」(78.6%)が8割近くと最も高くなっている。次いで、「知らなかったし、利用しない」(14.2%)、「知っていたし、利用したい」(3.7%)、「知っていたが、利用しない」(2.2%)となっている。

『利用したい』合計は8割強と高くなっている一方、『知らなかった』合計は9割強と高く、認知度は低いことが読み取れる。(図表 17-19)

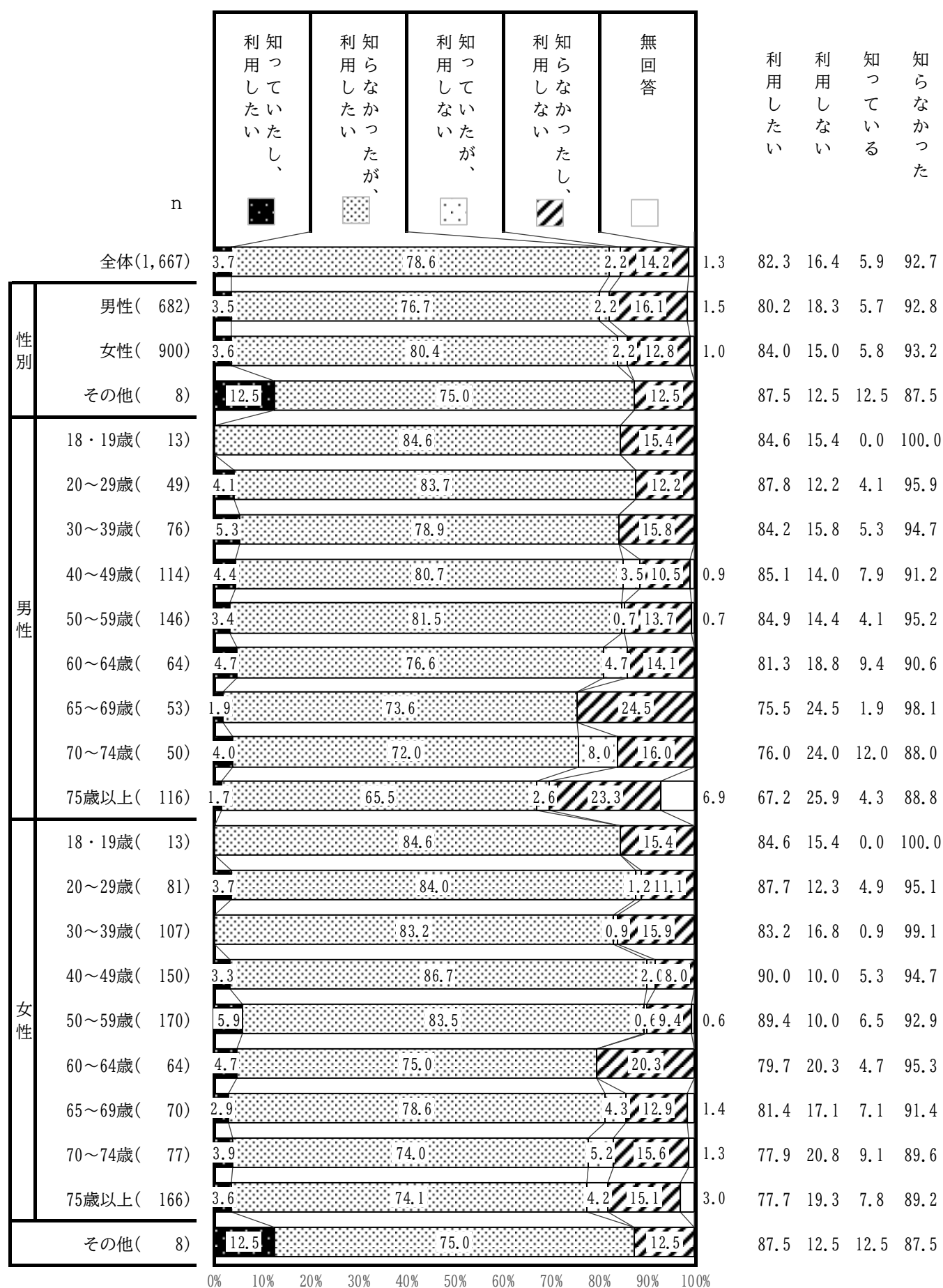
【性・年齢別】

「知らなかったが、利用したい」は女性(80.4%)が男性(76.7%)に比べて3.7ポイント高く、「知らなかったし、利用しない」は男性(16.1%)が女性(12.8%)に比べて3.3ポイント高くなっている。

男性において、「知らなかったし、利用しない」は65～69歳(24.5%)が2割台半ばと高くなっている。『利用しない』合計は65歳以降で2割台半ばと高くなっている。

女性において、「知らなかったが、利用したい」は40～49歳(86.7%)が9割近くと最も高くなっている。(図表 17-20)

<図表 17-20> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について／性・年齢別



(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

◇「自宅を離れたくない」が3割近くで最も高い。

問 24-1 問 24 で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由は何ですか。(○は1つ)

<図表 17-21> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由



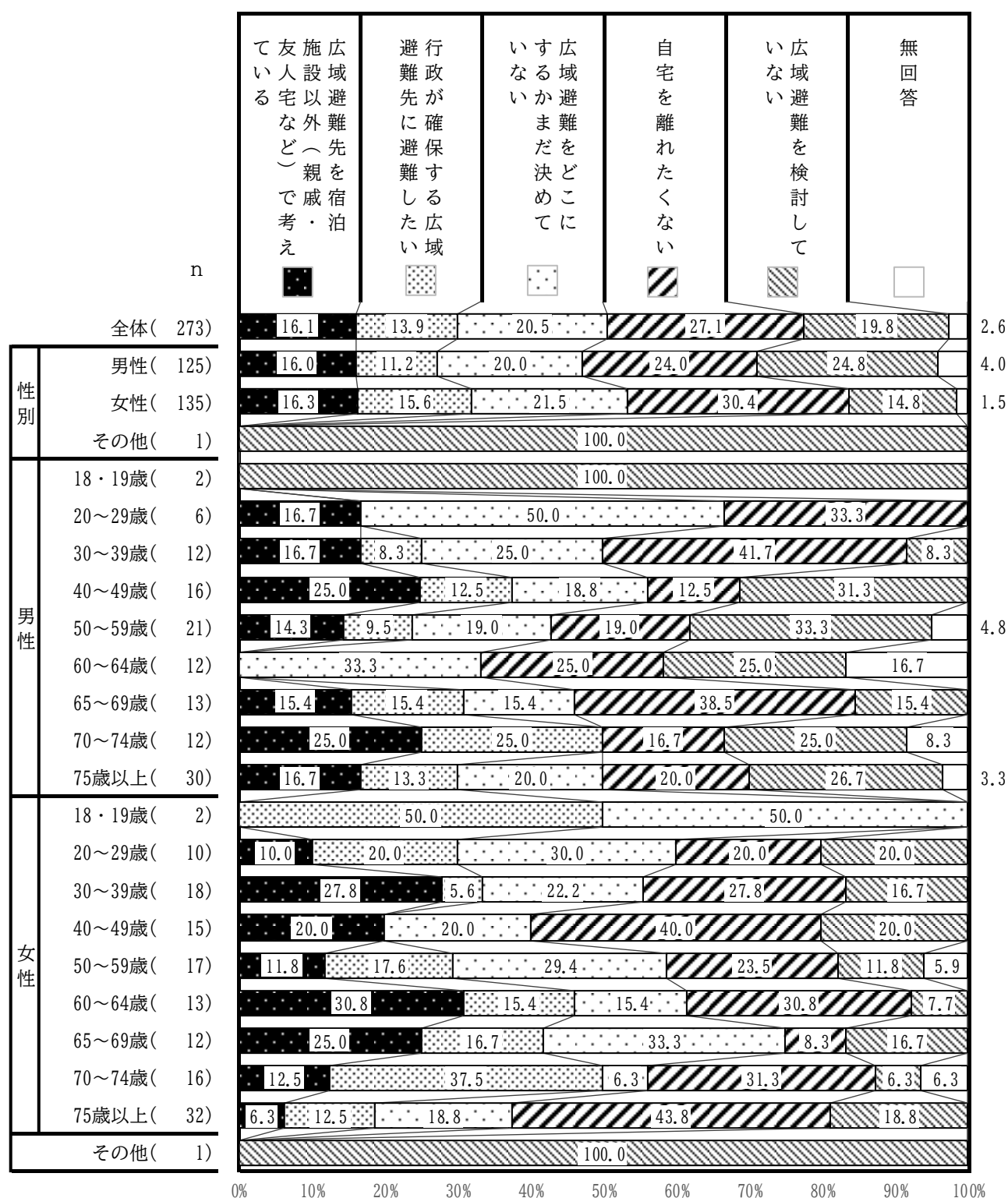
制度を利用しない理由を尋ねたところ、「自宅を離れたくない」(27.1%) が3割近くと最も高く、次いで「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(20.5%)、「広域避難を検討していない」(19.8%)、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」(16.1%)、「行政が確保する広域避難先に避難したい」(13.9%)となっている。(図表 17-21)

【性・年齢別】

「行政が確保する広域避難先に避難したい」は女性(15.6%)が男性(11.2%)に比べて4.4ポイント、「自宅を離れたくない」は女性(30.4%)が男性(24.0%)に比べて6.4ポイント高く、「広域避難を検討していない」は男性(24.8%)が女性(14.8%)に比べて10.0ポイント高くなっている。

(図表 17-22)

<図表 17-22> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由／性・年齢別



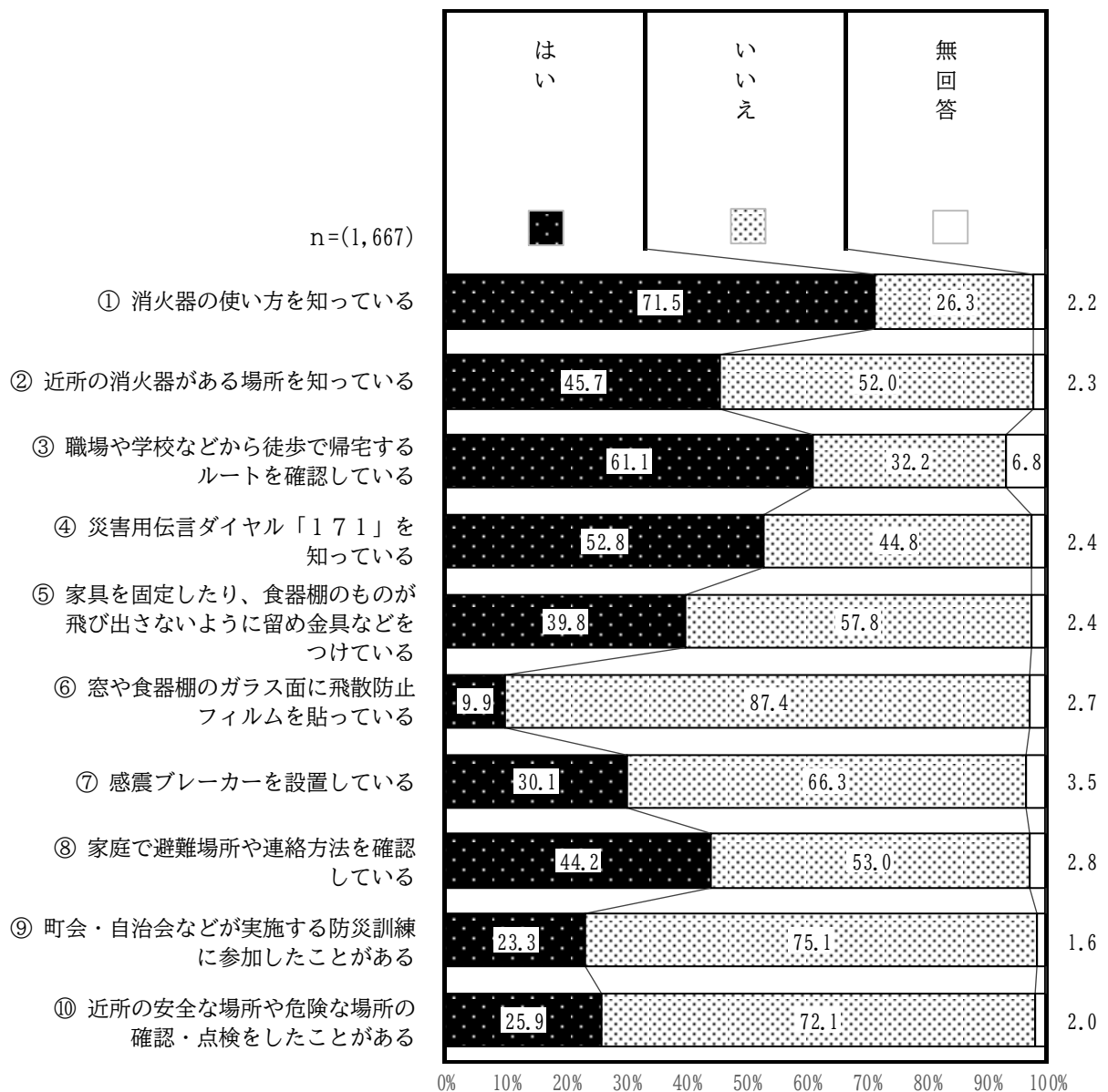
※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

(5) 地震への備え・各項目

◇【① 消火器の使い方を知っている】が7割強で最も高い。

問 25 あなたは、地震が起こったときのために、日ごろから備えをしていますか。
項目ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

<図表 17-23>地震への備え・各項目



地震への備えについて、「はい」は【① 消火器の使い方を知っている】(71.5%)が7割強と最も高く、次いで【③ 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している】(61.1%)、【④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】(52.8%)、【② 近所の消火器がある場所を知っている】(45.7%)となっている。(図表 17-23)

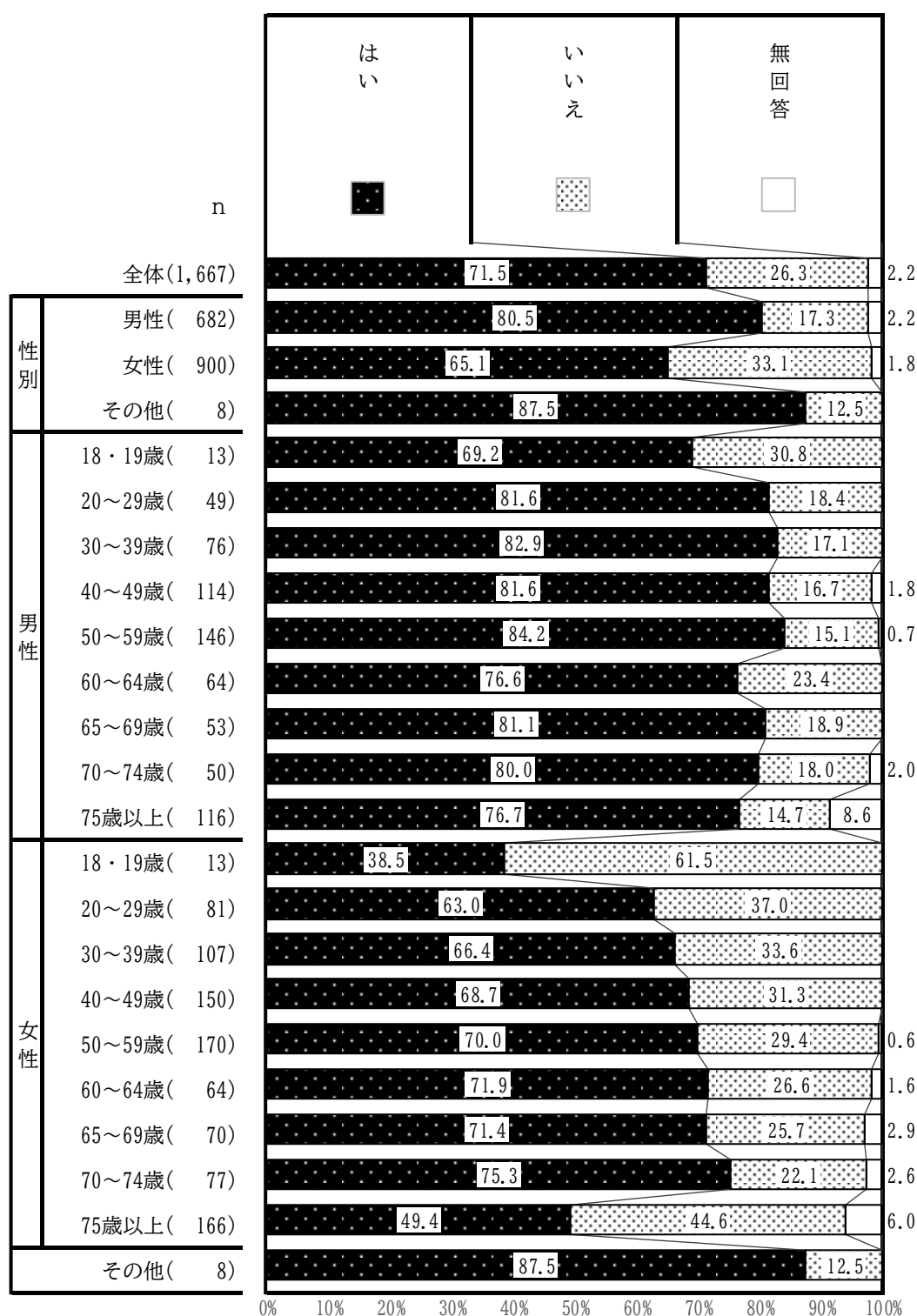
【① 消火器の使い方を知っている／性・年齢別】

「はい」は男性（80.5%）が女性（65.1%）に比べて15.4ポイント高くなっている。

男性において、「はい」は50～59歳（84.2%）が8割台半ばと最も高くなっている。

女性において、「いいえ」は20歳代～40歳代、75歳以上で3割を超えており、75歳以上（44.6%）が4割台半ばと最も高い。（図表17-24）

＜図表17-24＞① 消火器の使い方を知っている／性・年齢別

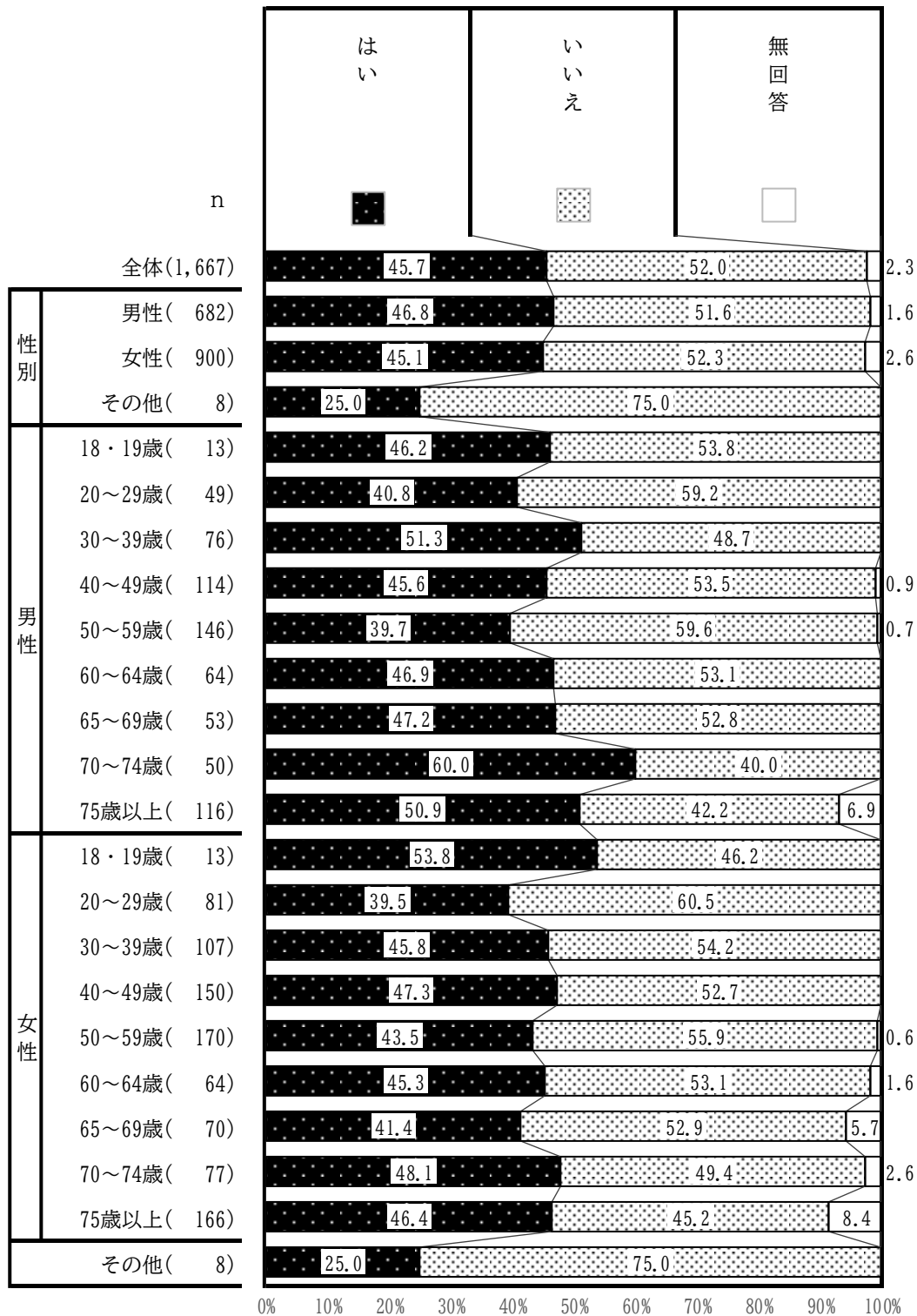


【② 近所の消火器がある場所を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は70～74歳（60.0%）が6割と高くなっている

女性において、「いいえ」は20～29歳（60.5%）が約6割と高くなっている。（図表 17-25）

<図表 17-25>② 近所の消火器がある場所を知っている／性・年齢別



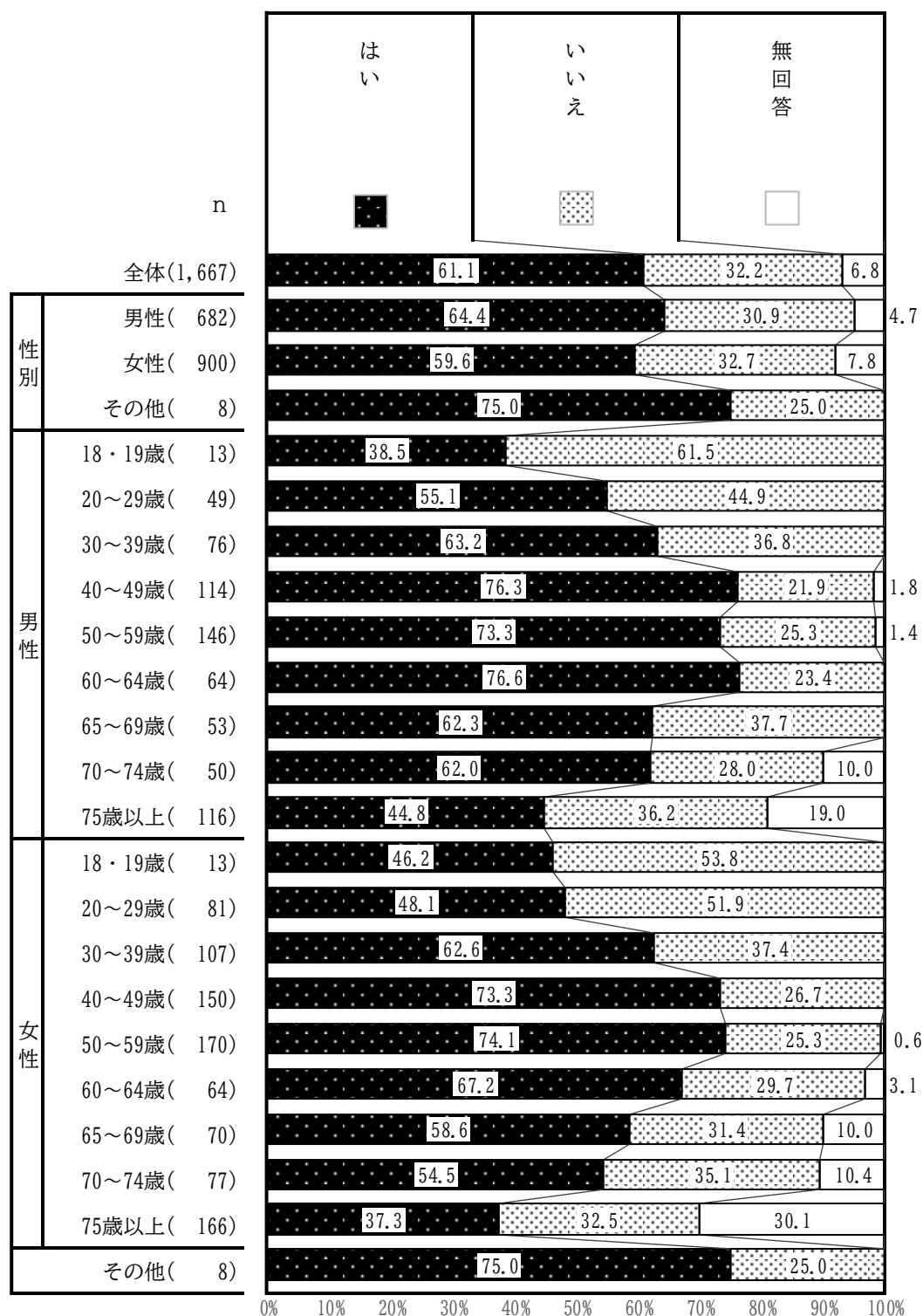
【③ 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別】

「はい」は男性（64.4%）が女性（59.6%）に比べて4.8ポイント高くなっている。

男性において、「はい」は40歳代、50歳代、60～64歳が7割台と高くなっている。「いいえ」は20～29歳（44.9%）が4割台半ばと高くなっている。

女性において、「はい」は40歳代、50歳代が7割台と高くなっている。「いいえ」は20～29歳（51.9%）が5割強と高くなっている。（図表 17-26）

<図表 17-26>③ 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別



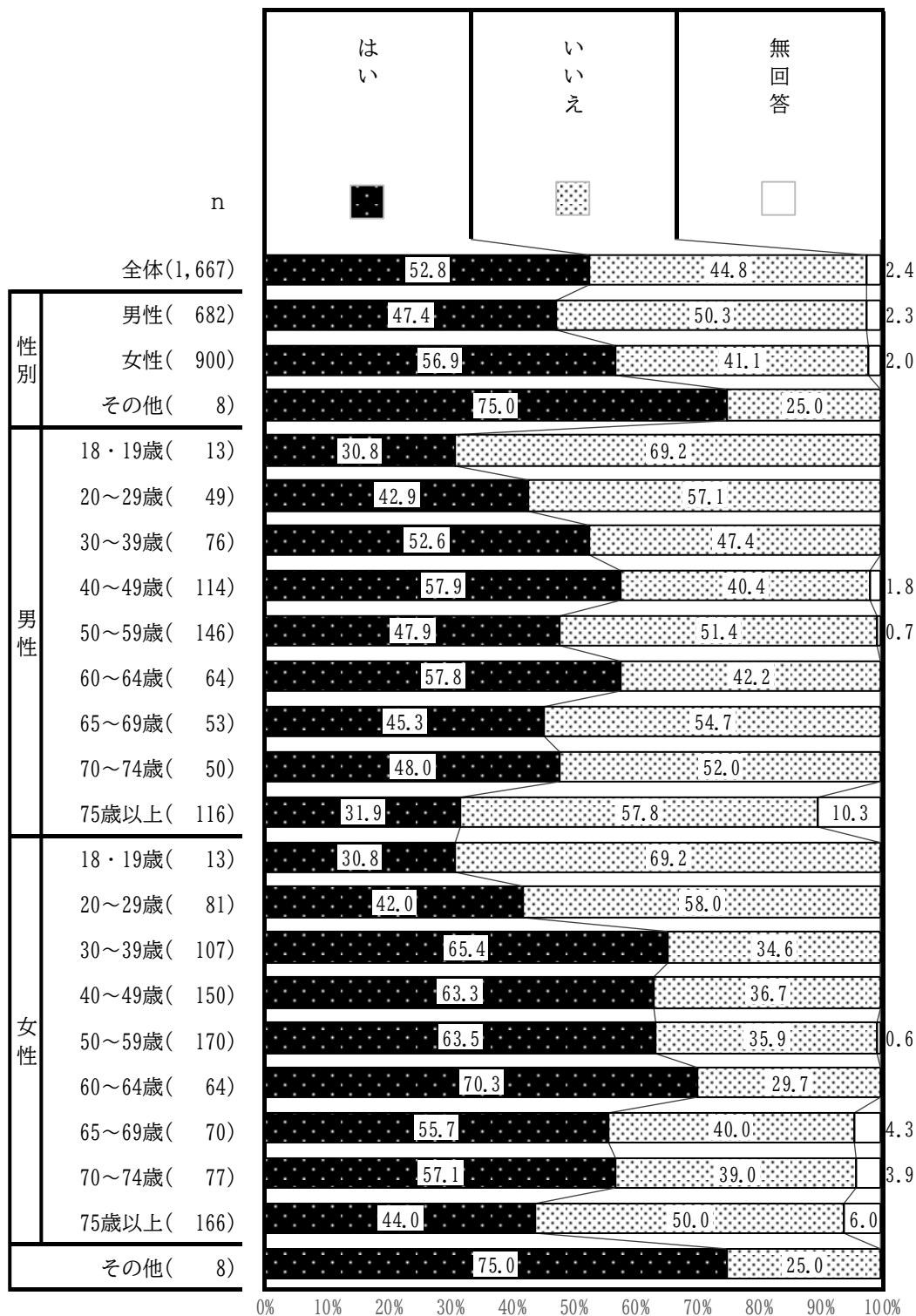
【④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別】

「はい」は女性（56.9%）が男性（47.4%）に比べて 9.5 ポイント高くなっている。

男性において、「いいえ」は 20～29 歳（57.1%）、75 歳以上（57.8%）が 6 割近くと高くなっている。

女性において、「はい」は 30 歳代～50 歳代、60～64 歳で 6 割以上となっており、60～64 歳（70.3%）が約 7 割と最も高くなっている。（図表 17-27）

<図表 17-27>④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別

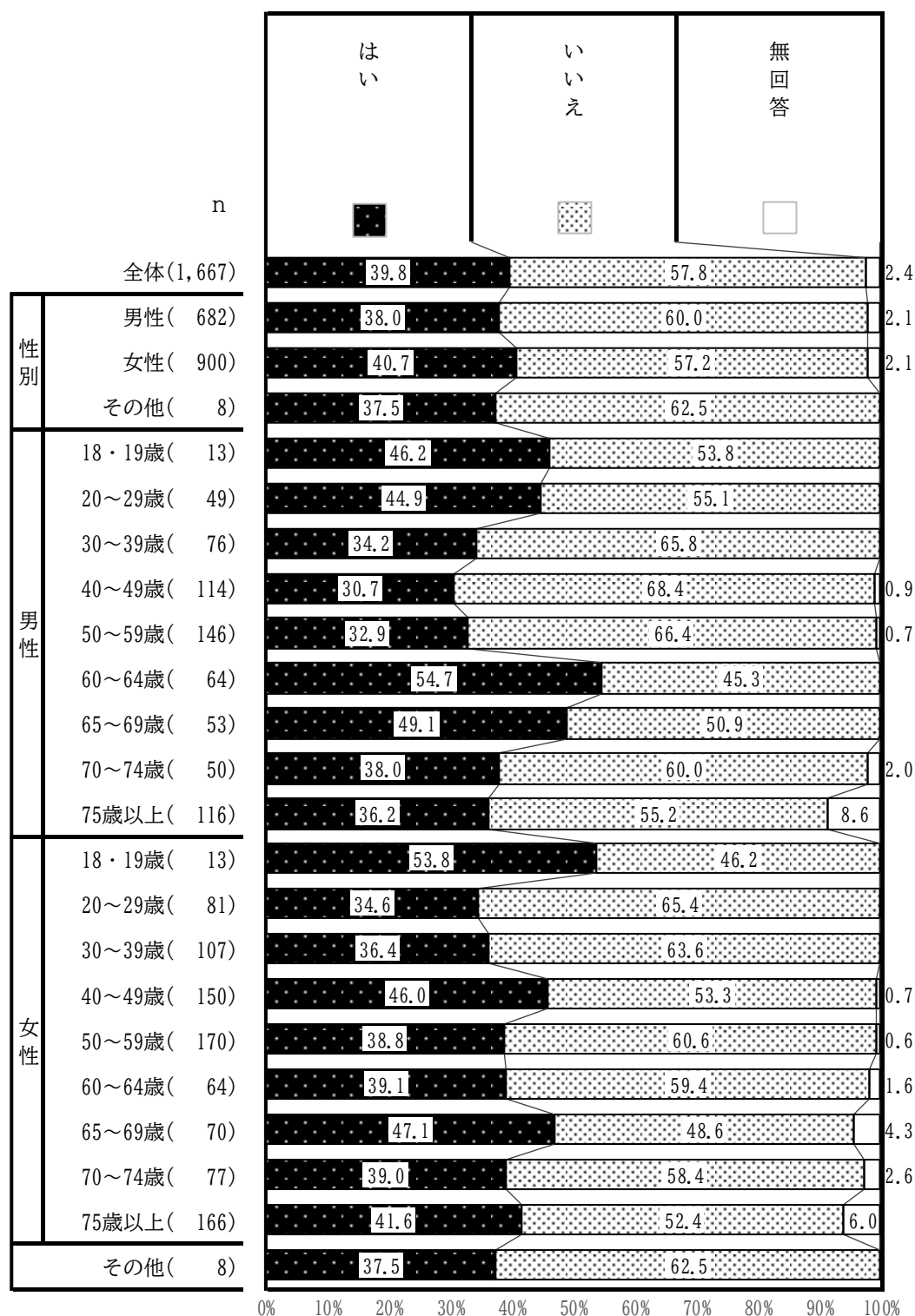


【⑤ 家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などを付けている／性・年齢別】

男性において、「はい」は60～64歳（54.7%）が5割台半ばと最も高くなっている。「いいえ」は30歳代～50歳代が6割を超えて、40～49歳（68.4%）が7割近くと最も高くなっている。

女性において、「はい」は40～49歳（46.0%）、65～69歳（47.1%）が5割近くと高くなっている。「いいえ」は20～29歳（65.4%）が6割台半ばと最も高くなっている。（図表 17-28）

<図表 17-28>⑤ 家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などを付けている／性・年齢別



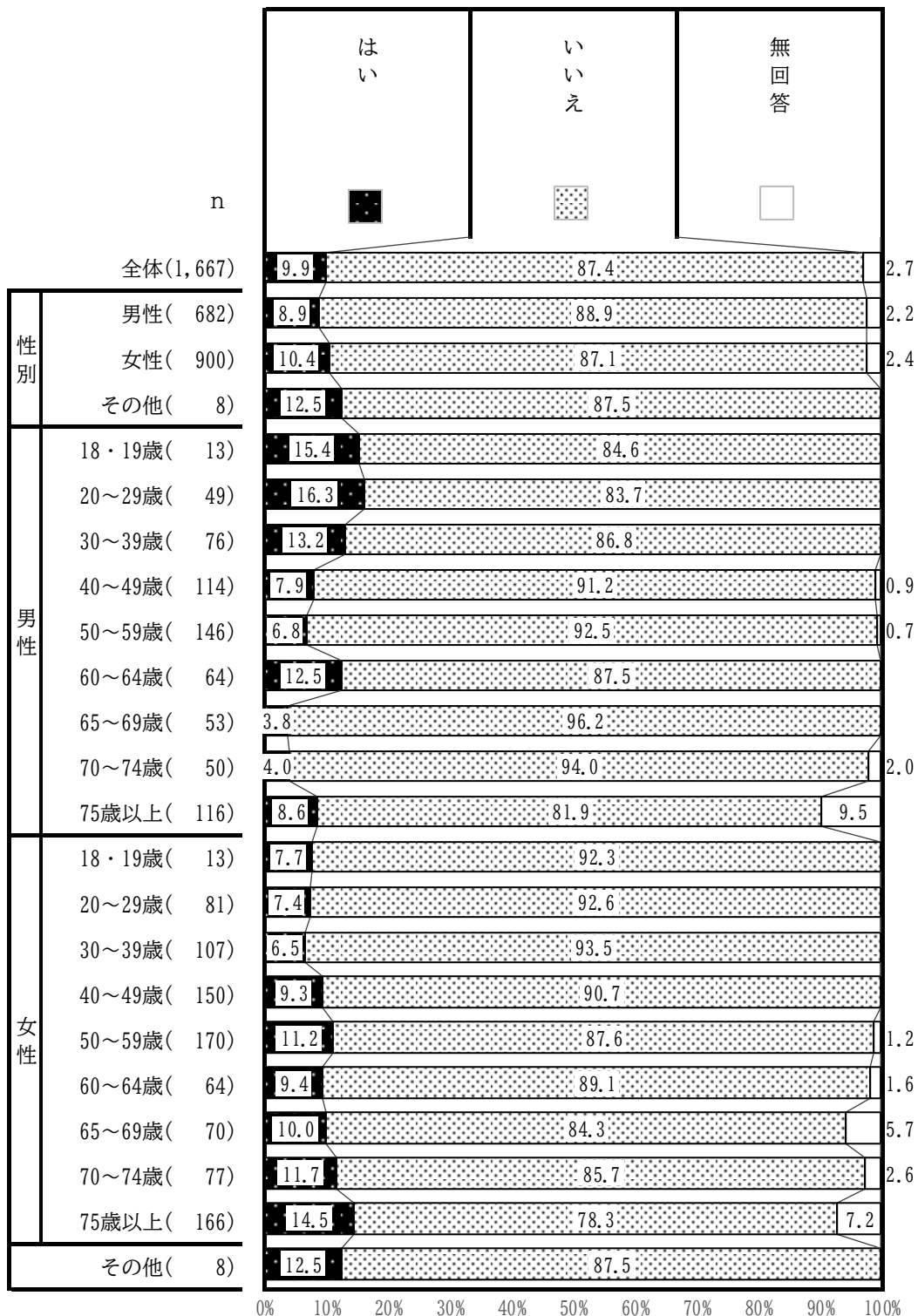
【⑥ 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は20～29歳（16.3%）が2割近くと最も高くなっている。「いいえ」は65～69歳（96.2%）が10割近くと最も高くなっている。

女性において、「いいえ」は20～29歳（92.6%）、30～39歳（93.5%）が9割強と高くなっている。

（図表 17-29）

<図表 17-29>⑥ 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別



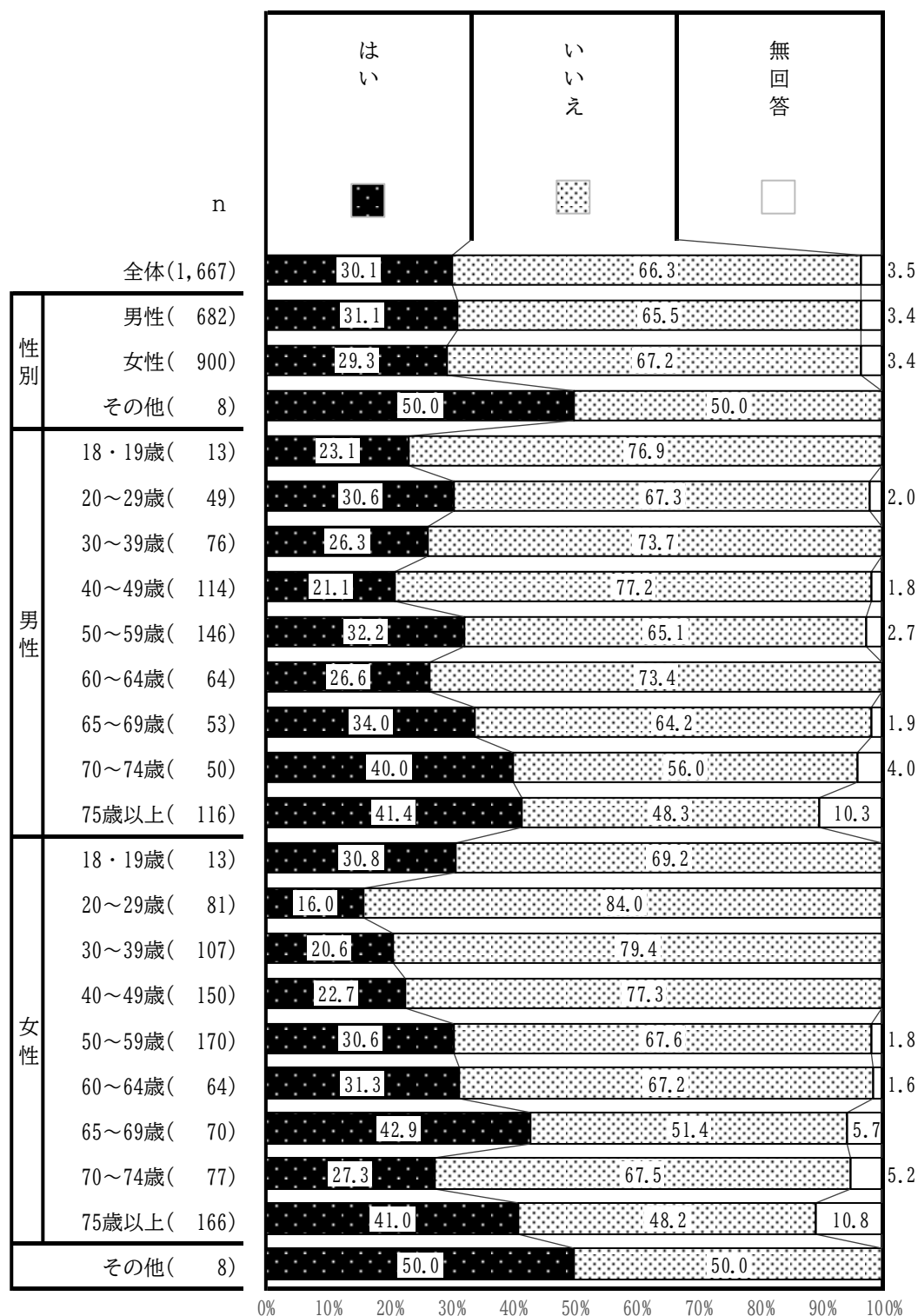
【⑦ 感震ブレーカーを設置している／性・年齢別】

男性において、「はい」は75歳以上(41.4%)が4割強と高くなっている。「いいえ」は40～49歳(77.2%)が8割近くと高くなっている。

女性において、「はい」は65～69歳(42.9%)、75歳以上(41.0%)が4割強と高くなっている。「いいえ」は20歳代～40歳代が7割以上となっており、20～29歳(84.0%)が8割台半ばと最も高い。

(図表 17-30)

<図表 17-30>⑦ 感震ブレーカーを設置している／性・年齢別



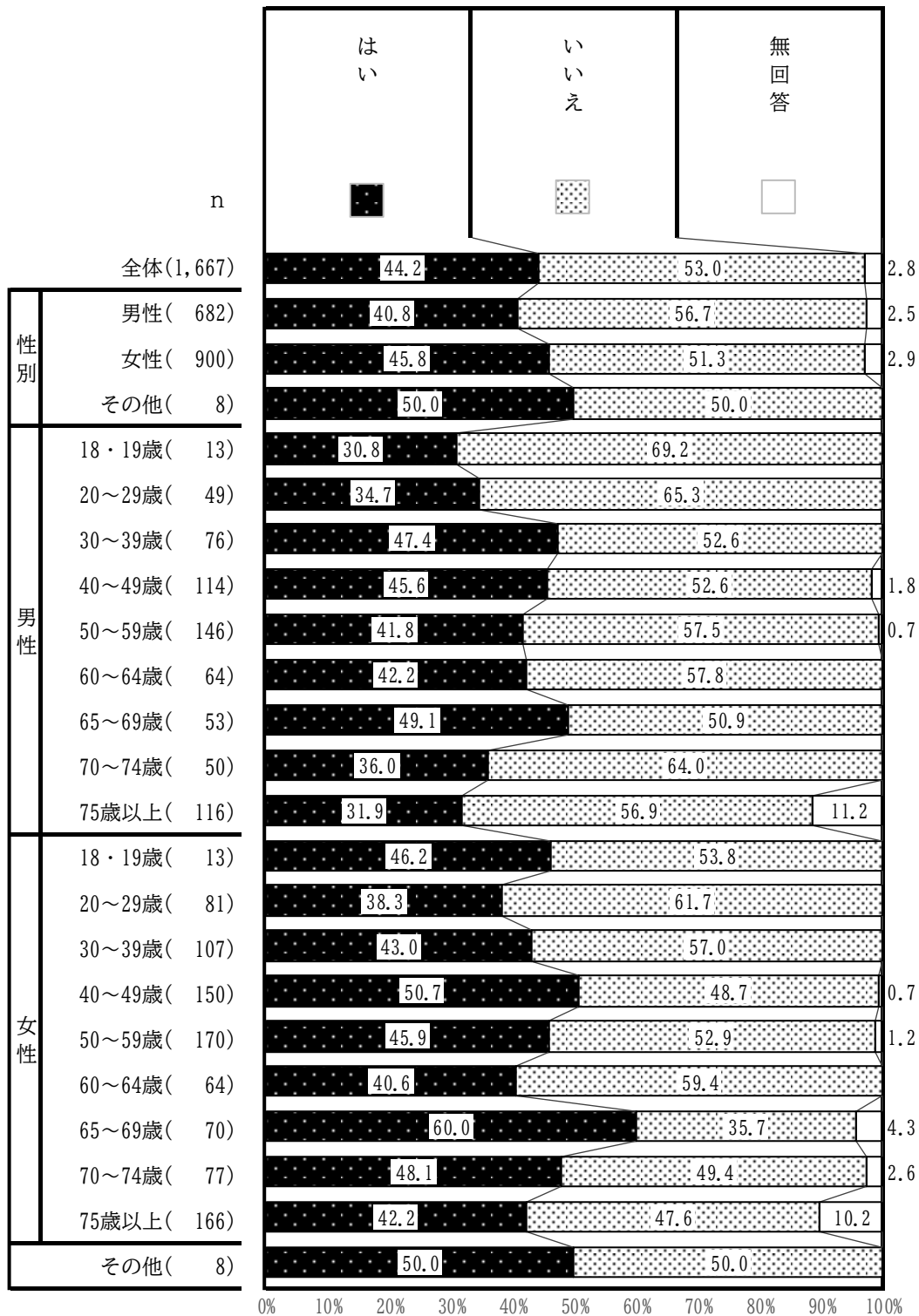
【⑧ 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別】

「いいえ」は男性（56.7%）が女性（51.3%）に比べて5.4ポイント高くなっている。

男性において、「いいえ」は20～29歳（65.3%）、70～74歳（64.0%）が6割台半ばと高くなっている。

女性において、「はい」は65～69歳（60.0%）が6割と高くなっている。（図表 17－31）

<図表 17－31>⑧ 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別



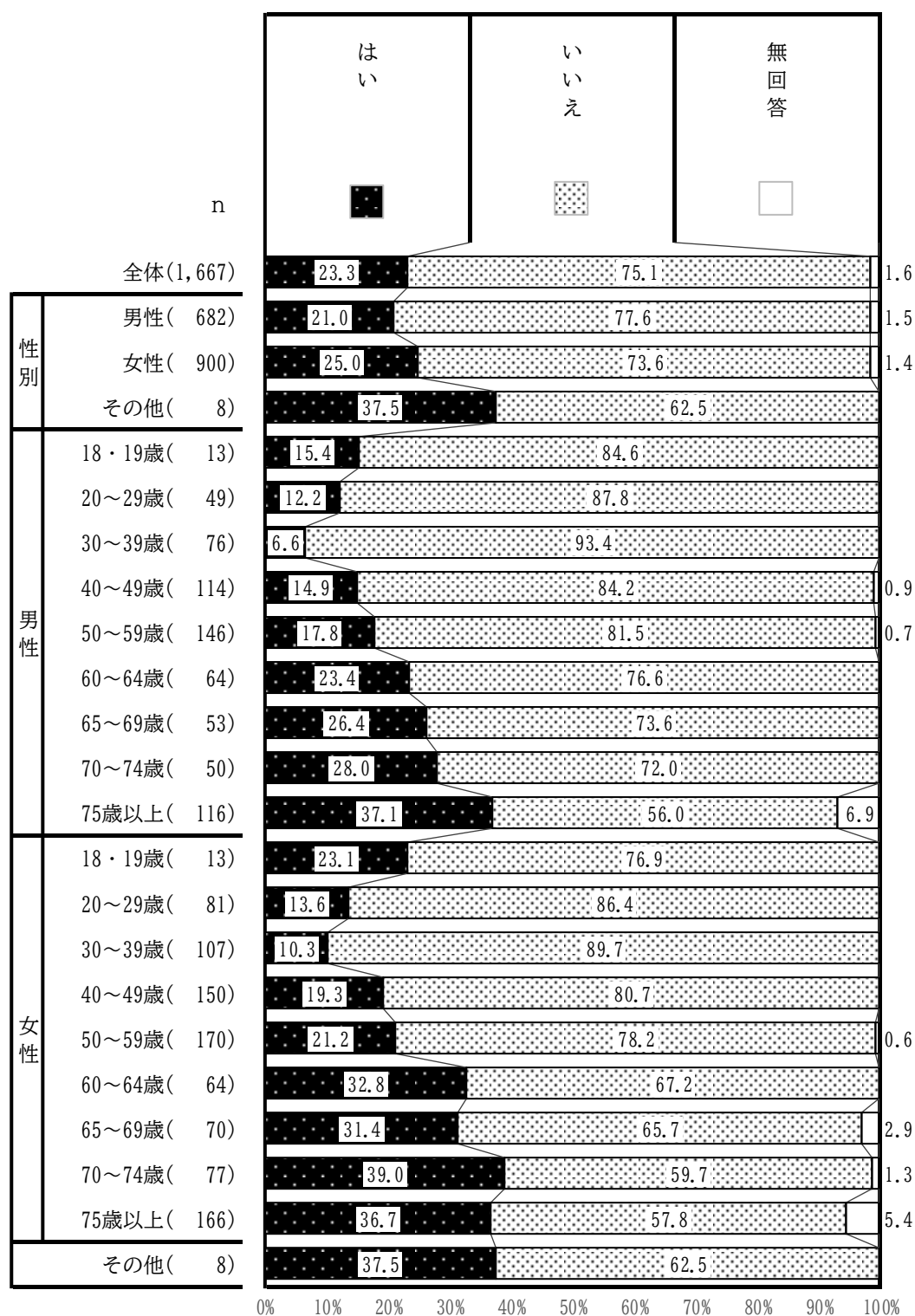
【⑨ 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別】

「はい」は女性（25.0％）が男性（21.0％）に比べて4.0ポイント高くなっている。

男性において、「はい」は30～39歳が6.6％と低くなっている。30歳代から年代が上がるにつれて高くなっており、75歳以上（37.1％）が4割近くと最も高くなっている。「いいえ」は20歳代～50歳代で8割以上となっている。

女性において、「はい」は30～39歳（10.3％）が約1割と低くなっている。60歳代以降で3割台となっており、70～74歳（39.0％）が4割弱と最も高くなっている。（図表17-32）

<図表17-32>⑨ 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別



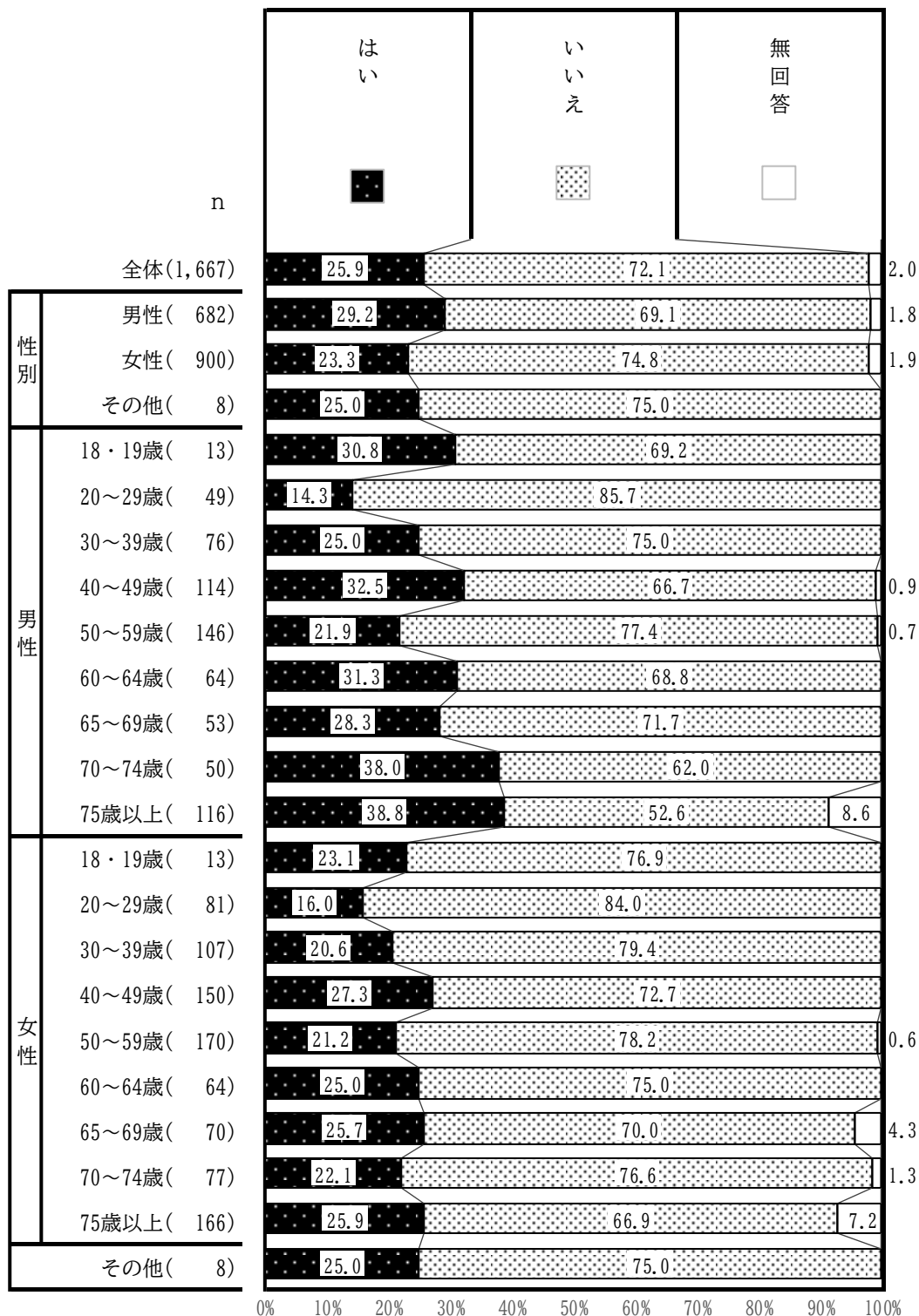
【⑩ 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別】

「はい」は男性（29.2％）が女性（23.3％）に比べて5.9ポイント高くなっている。

男性において、「はい」は70～74歳（38.0％）、75歳以上（38.8％）が4割近くと高くなっている。「いいえ」は20～29歳（85.7％）が8割台半ばと高くなっている。

女性において、「いいえ」は20～29歳（84.0％）が8割台半ばと高くなっている。（図表 17-33）

<図表 17-33>⑩ 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別



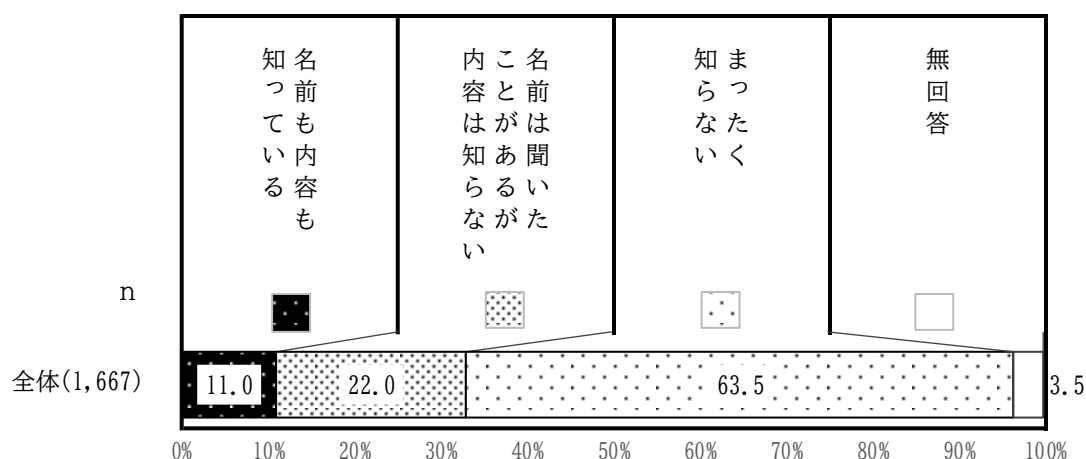
18. 意見募集（パブリック・コメント）について

（１）パブリック・コメントの認知度

◇「まったく知らない」が6割強と最も高い。

問 26 あなたは、パブリック・コメントを知っていますか。（○は1つ）

<図表 18－1>パブリック・コメントの認知度



「まったく知らない」（63.5%）が6割強と最も高くなっている。次いで「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」（22.0%）、「名前も内容も知っている」（11.0%）となっている。（図表 18－1）

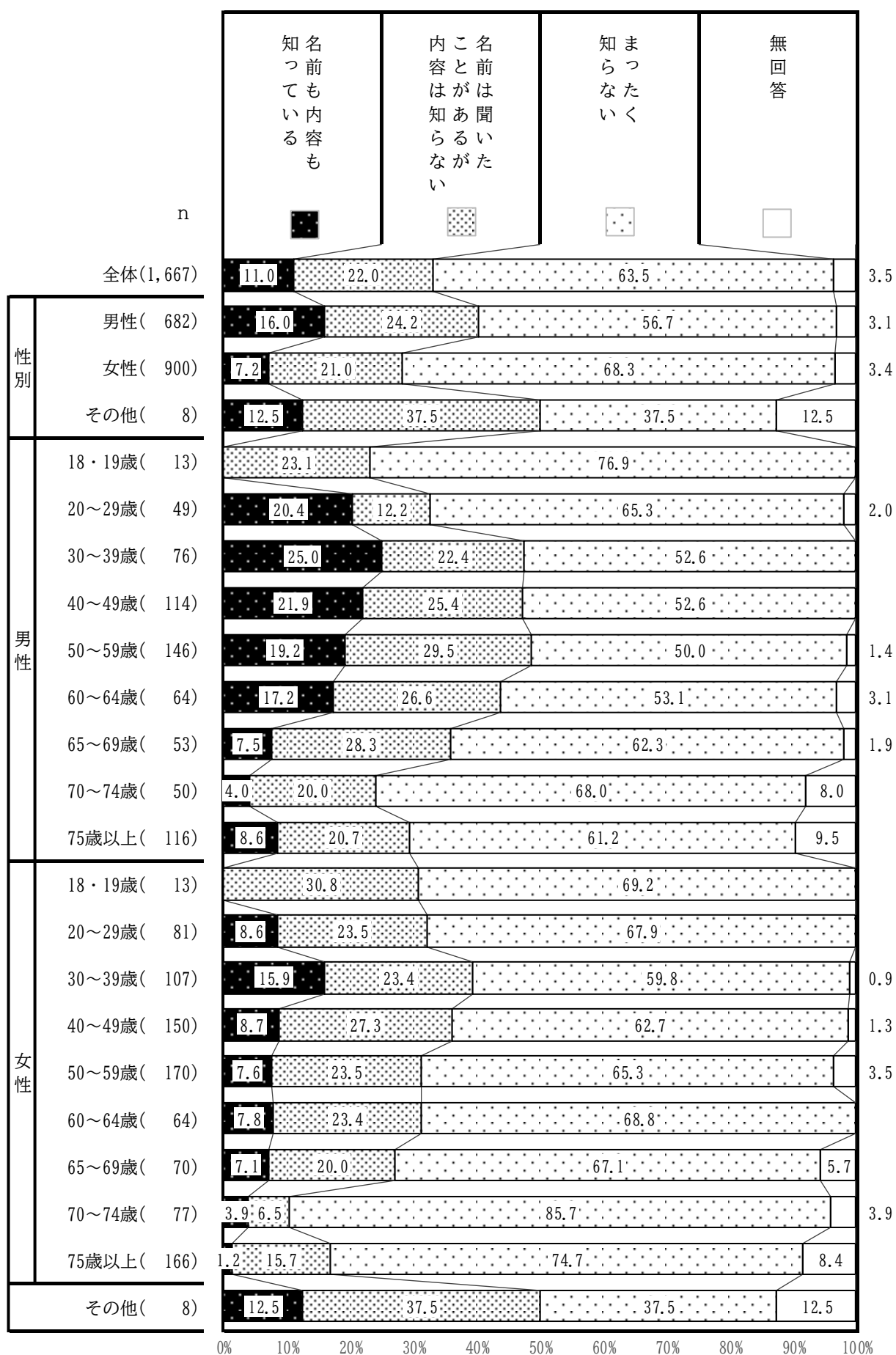
【性・年齢別】

「名前も内容も知っている」は男性（16.0%）が女性（7.2%）に比べて 8.8 ポイント、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は男性（24.2%）が女性（21.0%）に比べて 3.2 ポイント高くなっている。「まったく知らない」は女性（68.3%）が男性（56.7%）に比べて 11.6 ポイント高くなっている。

男性において、「名前も内容も知っている」は 30～39 歳（25.0%）が 2 割台半ば、40～49 歳（21.9%）が 2 割強と高くなっている。

女性において、「まったく知らない」は 70～74 歳（85.7%）、75 歳以上（74.7%）が 7 割以上と高くなっている。（図表 18－2）

<図表 18-2>パブリック・コメントの認知度／性・年齢別



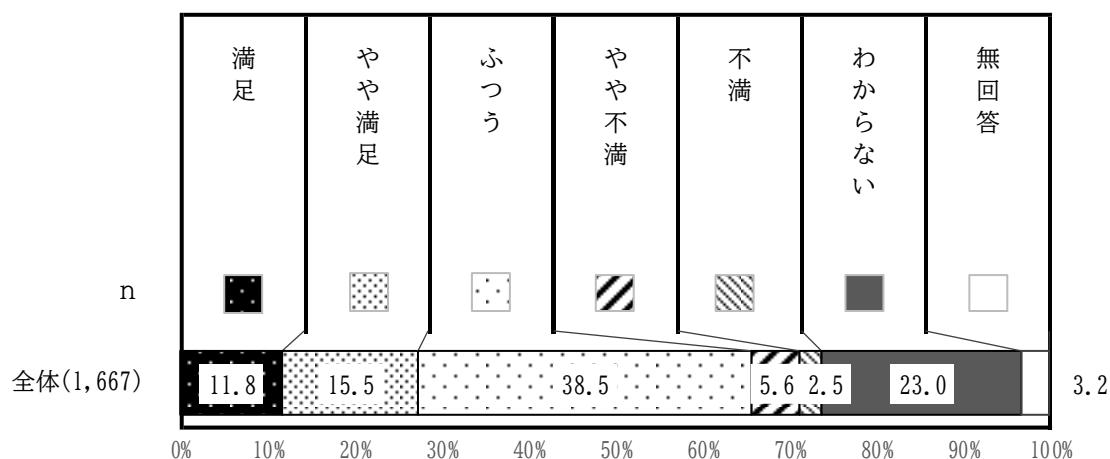
19. 江戸川区職員の接遇について

(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度

◇「ふつう」が4割近くで最も高い。

問 27 あなたは、江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(○は1つ)

<図表 19-1> 江戸川区職員の接遇に対する満足度



「ふつう」(38.5%) が4割近くで最も高く、次いで「やや満足」(15.5%)、「満足」(11.8%)、「やや不満」(5.6%)、「不満」(2.5%)となっている。「満足」と「やや満足」の合計は3割近くとなっている。「わからない」(23.0%)は2割強となっている。(図表 19-1)

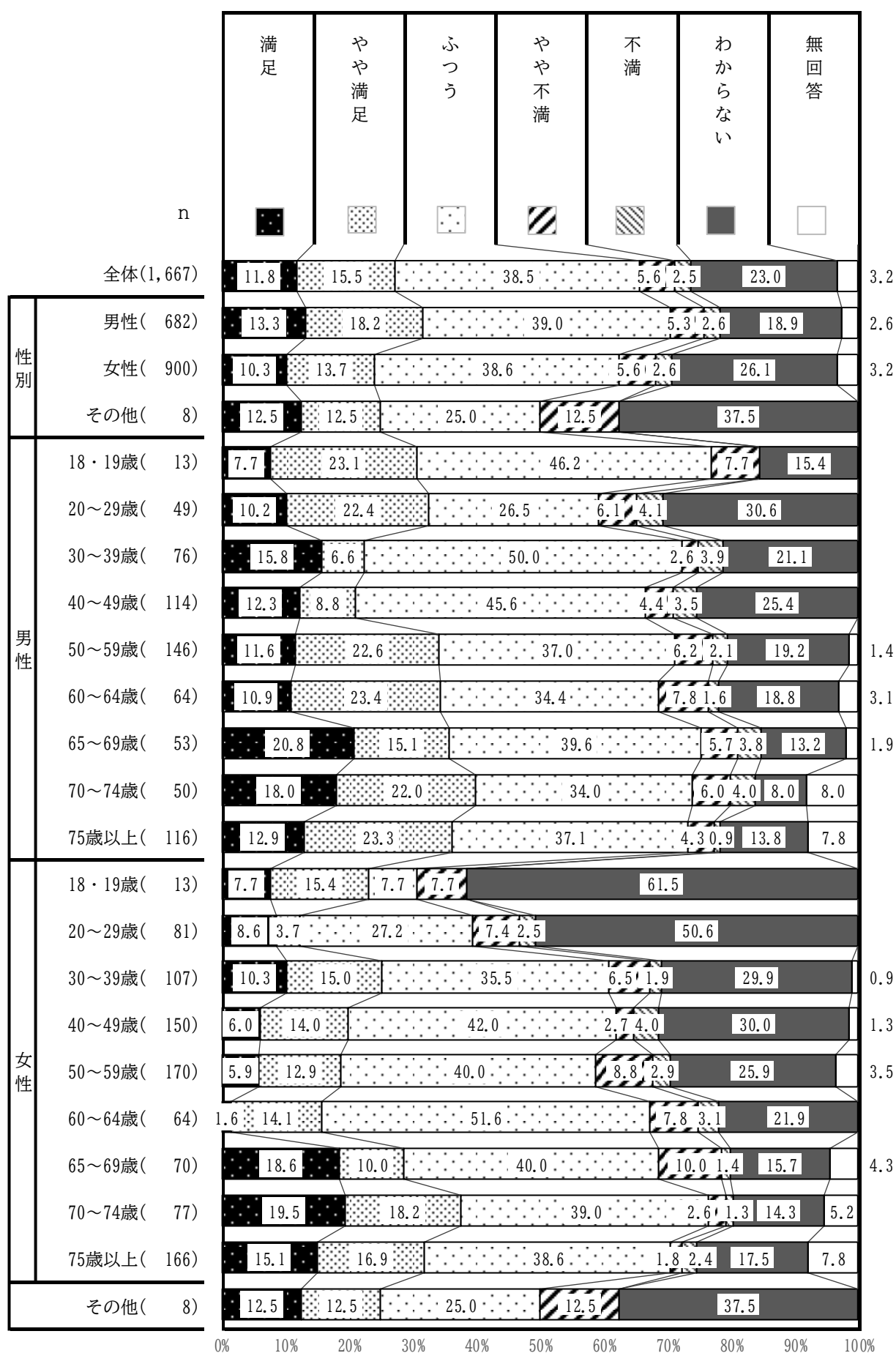
【性・年齢別】

「やや満足」は男性(18.2%)が女性(13.7%)に比べて4.5ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は70~74歳が4割と高くなっている。

女性において、「満足」は60~64歳が1.6%と低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は70~74歳が4割近くと高くなっている。「わからない」は20~29歳(50.6%)が約5割と高くなっている。(図表 19-2)

<図表 19-2>江戸川区職員の接遇に対する満足度／性・年齢別



20. 区政への要望について

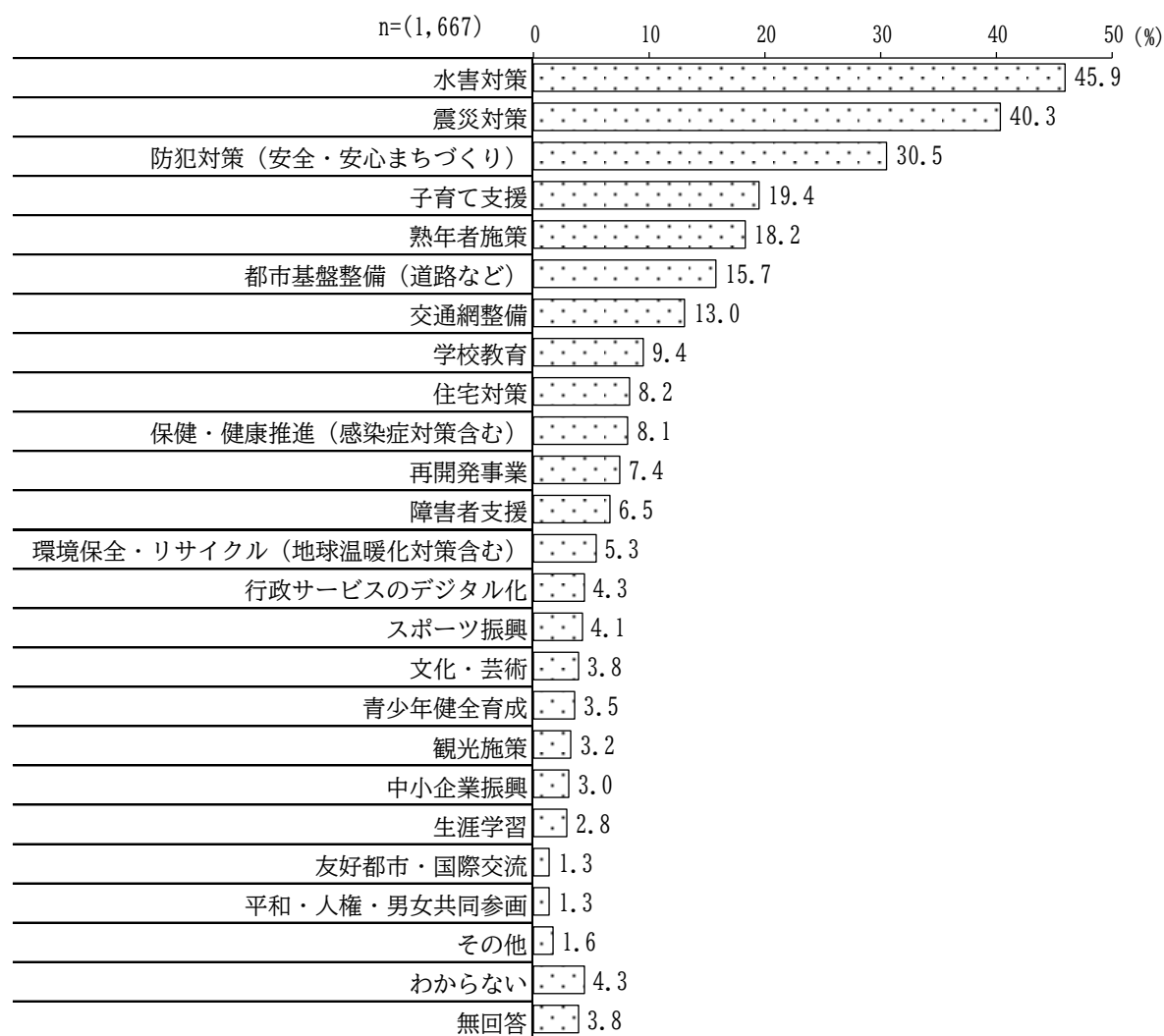
(1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策」が4割台半ばで最も高い。

問 28 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。

(○は3つまで)

<図表 20-1> 今後推進してほしい施策



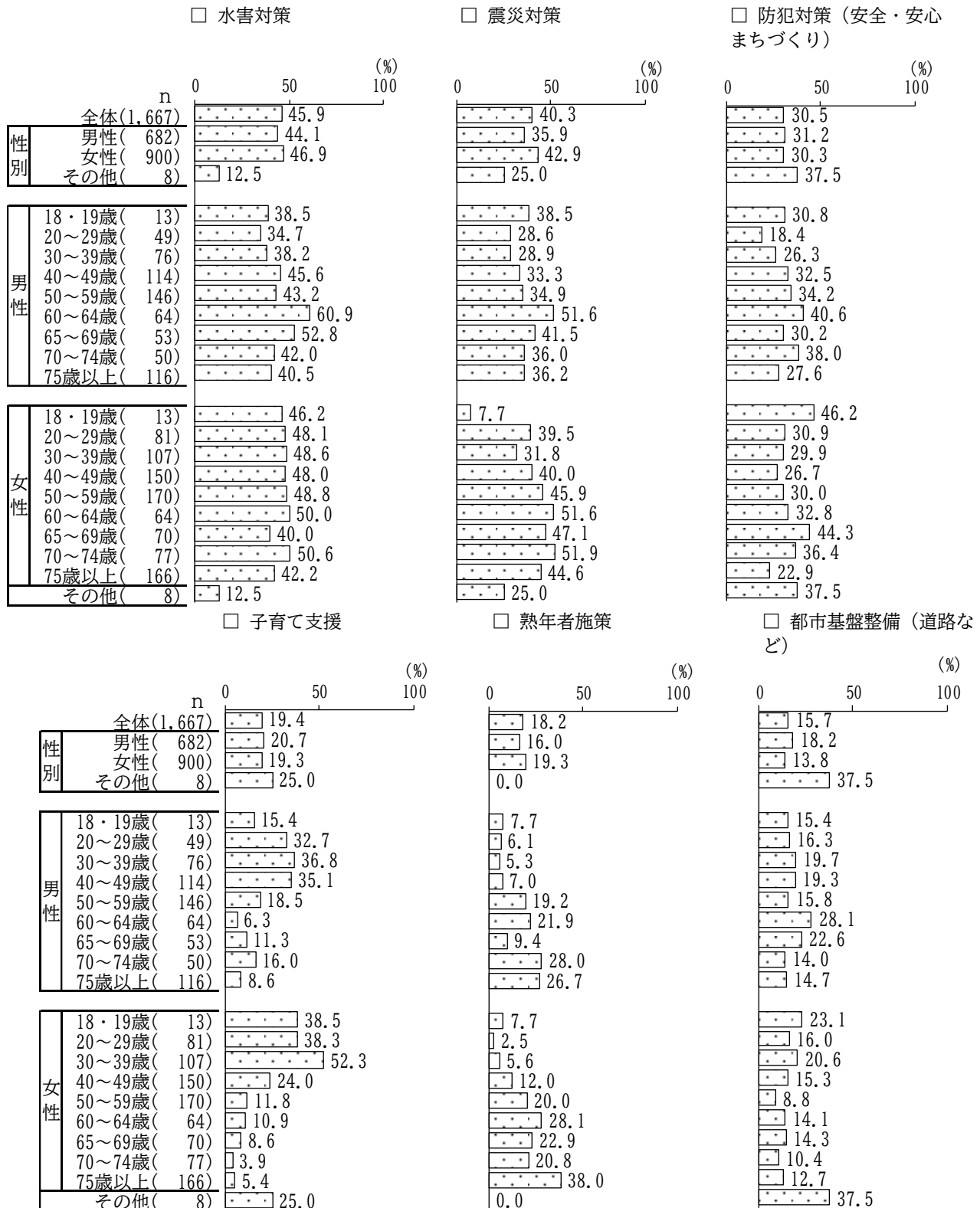
「水害対策」(45.9%)が4割台半ばと最も高く、次いで「震災対策」(40.3%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(30.5%)と続いている。(図表 20-1)

【性・年齢別】

「震災対策」は女性（42.9%）が男性（35.9%）に比べて7.0ポイント高く、「都市基盤整備（道路など）」は男性（18.2%）が女性（13.8%）に比べて4.4ポイント高くなっている。

「水害対策」は男性 60～64 歳（60.9%）が約6割と高くなっている。「震災対策」は男性 60～64 歳（51.6%）、女性 60～64 歳（51.6%）、70～74 歳（51.9%）が5割強と高くなっている。「子育て支援」は男性 20 歳代～40 歳代、女性 20 歳代、30 歳代が3割以上と高くなっている。（図表 20－2）

<図表 20－2> 今後推進してほしい施策（上位6項目）／性・年齢別



【時系列比較】

令和2年以降、1位から3位までに変化はみられない。令和5年に比べて1位の「水害対策」(45.9%)は4割台半ばと3.3ポイント減少し、2位の「震災対策」(40.3%)は約4割と7.0ポイント増加している。(図表20-3)

<図表20-3>今後推進してほしい施策(上位5項目)／時系列比較

	1位	2位	3位	4位	5位
令和6年	水害対策 45.9%	震災対策 40.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.5%	子育て支援 19.4%	熟年者施策 18.2%
令和5年	水害対策 49.2%	震災対策 33.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 28.5%	子育て支援 18.3%	都市基盤整備 (道路など) 18.0%
令和4年	水害対策 46.7%	震災対策 32.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.6%	都市基盤整備(道路など) /子育て支援 (注)18.0%	
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	交通網整備 17.0%	都市基盤整備 (道路など) 16.9%
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

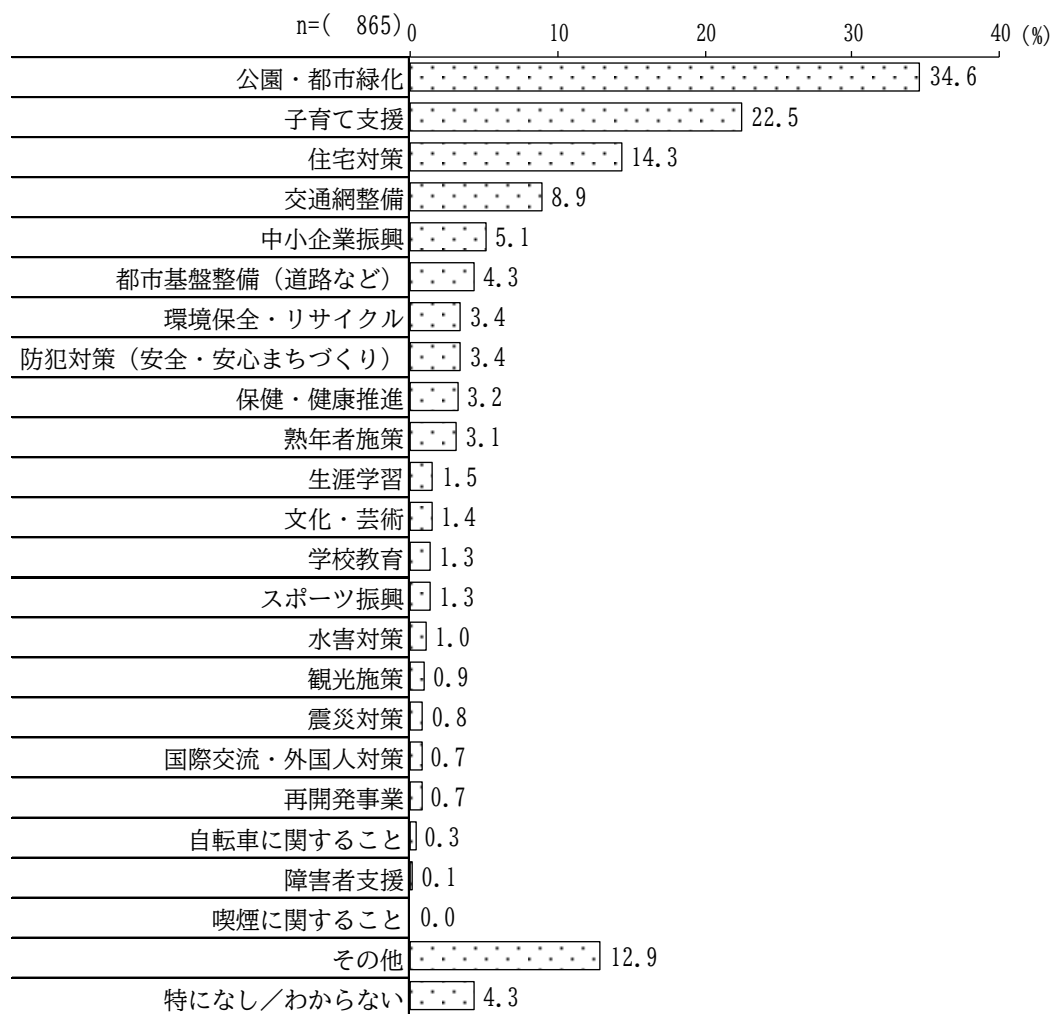
(注) 令和4年は「都市基盤整備(道路など)」「子育て支援」が同率4位となっている。
 ※平成18年「防災対策」(3位)→平成20年「災害対策」(2位)→平成22年から「震災対策」・「水害対策」に分割。
 ※平成18年～20年「子育て対策」→平成22年から「子育て支援」に変更。

21. 自由記述

(1) 江戸川区の良さ

問 29 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 21-1>江戸川区の良さ



江戸川区の良さについて、自由回答形式で求め 865 人から回答を得た。

江戸川区の良さでは、「公園・都市緑化」(34.6%) が3割台半ばと最も高く、次いで「子育て支援」(22.5%)、「住宅対策」(14.3%) となっている。(図表 21-1)

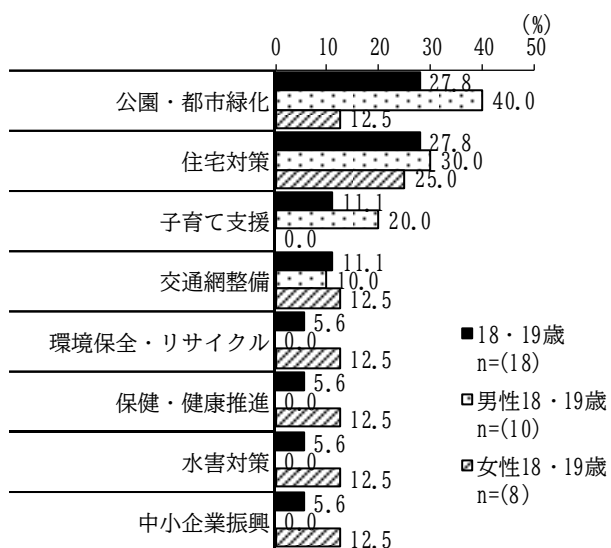
【性・年齢別】

30 歳代では「子育て支援」と「公園・都市緑化」が同率で4割近くと高く、特に女性で「子育て支援」は4割台半ばと高い。30 歳代以外の年齢では「公園・都市緑化」が最も高く、40 歳代、60 歳代前半で4割弱と特に高くなっている。

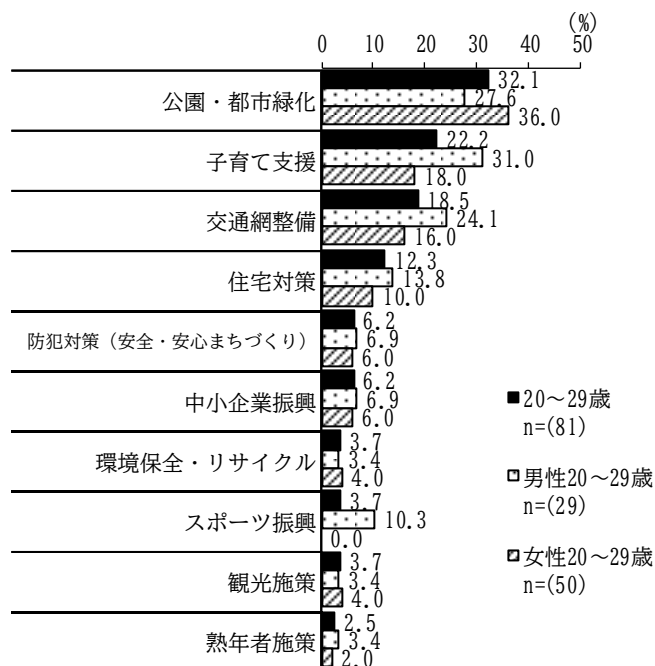
2 番目に高くなっているのは、20 歳代、40 歳代から 60 歳代前半では「子育て支援」、60 歳代後半から 70 歳代後半以降では「住宅対策」となっている。(図表 21-2～4)

<図表 21-2>江戸川区の良さ／性・年齢別（上位 10 項目）※18・19 歳は 8 項目

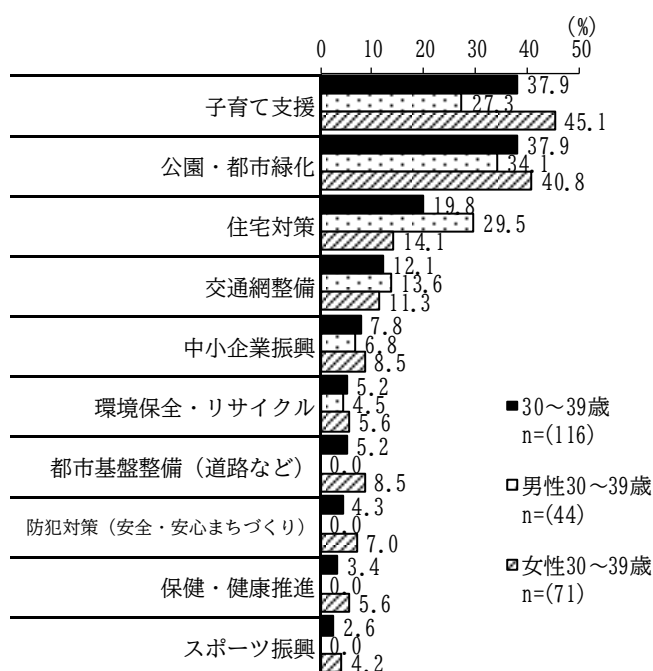
【18・19 歳】



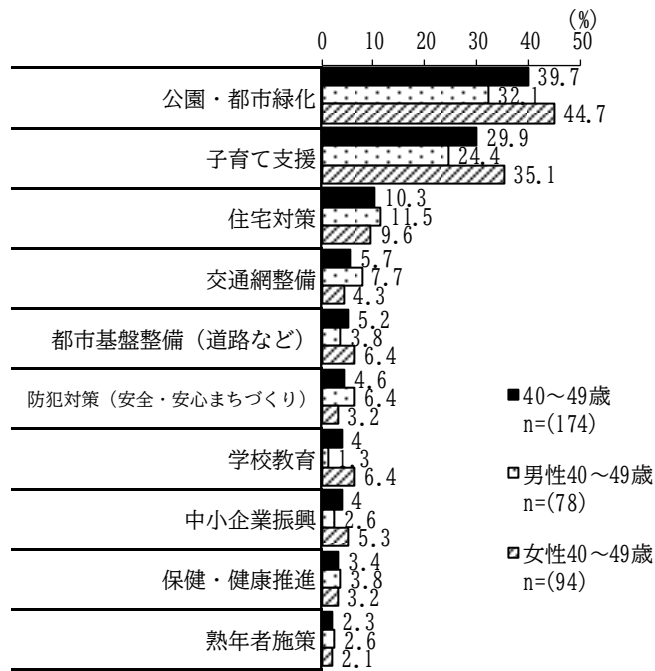
【20 歳代 (20～29 歳)】



【30 歳代 (30～39 歳)】

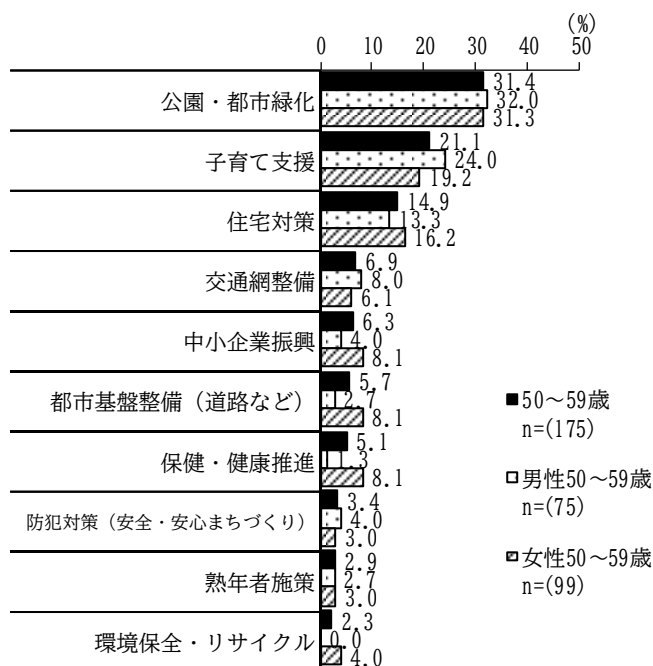


【40 歳代 (40～49 歳)】

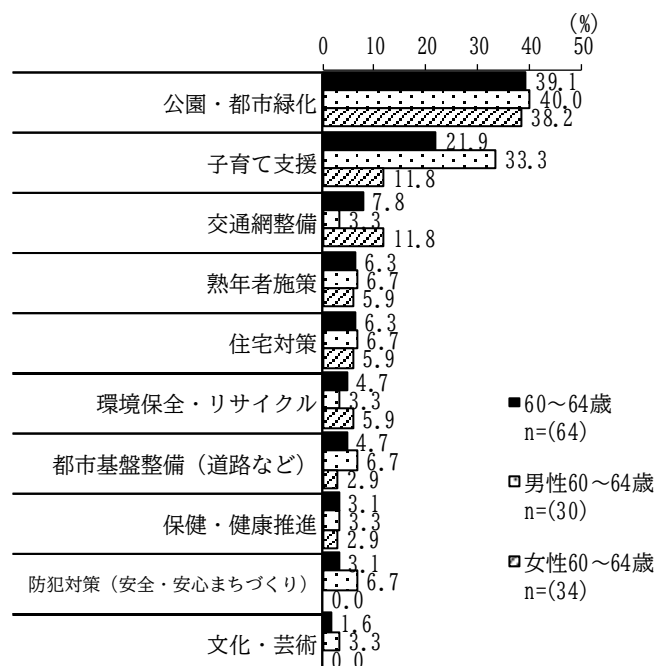


<図表 21-3>江戸川区の良さ／性・年齢別（上位 10 項目）※65～69 歳は 8 項目

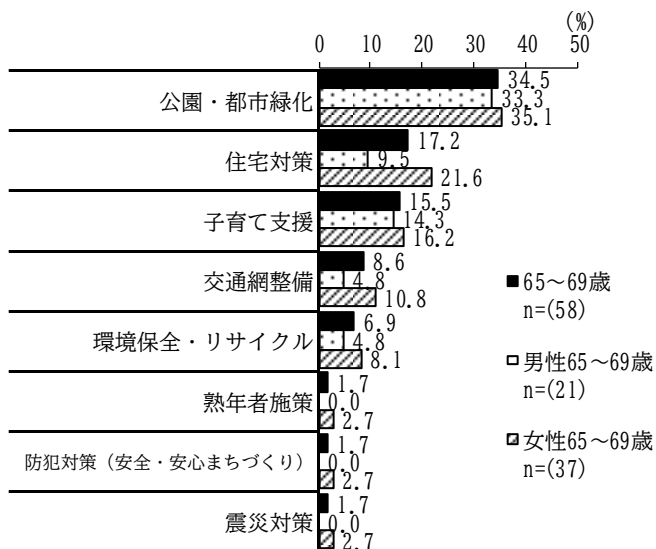
【50歳代（50～59歳）】



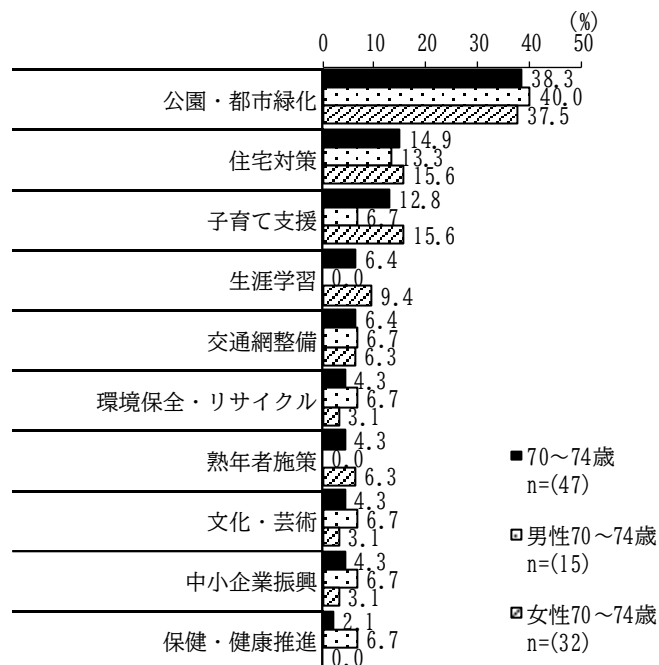
【60歳代前半（60～64歳）】



【60歳代後半（65～69歳）】

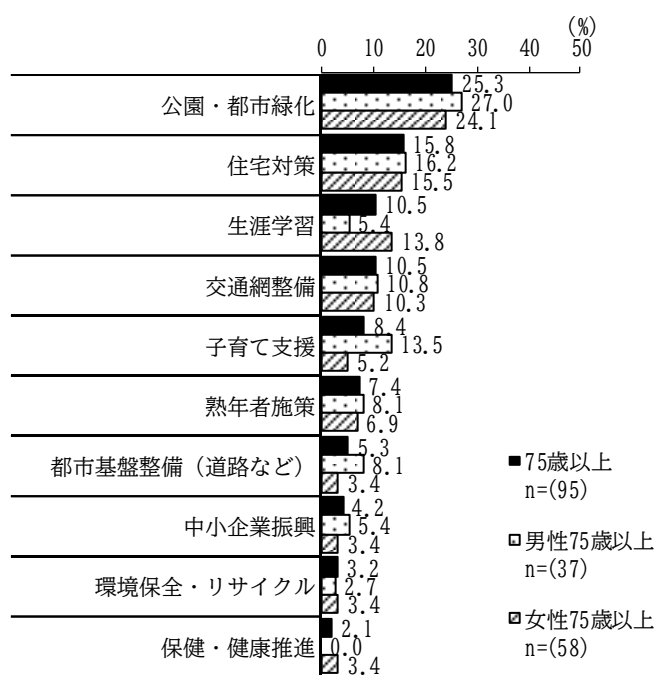


【70歳代前半（70～74歳）】



<図表 21-4>江戸川区の良さ／性・年齢別（上位 10 項目）

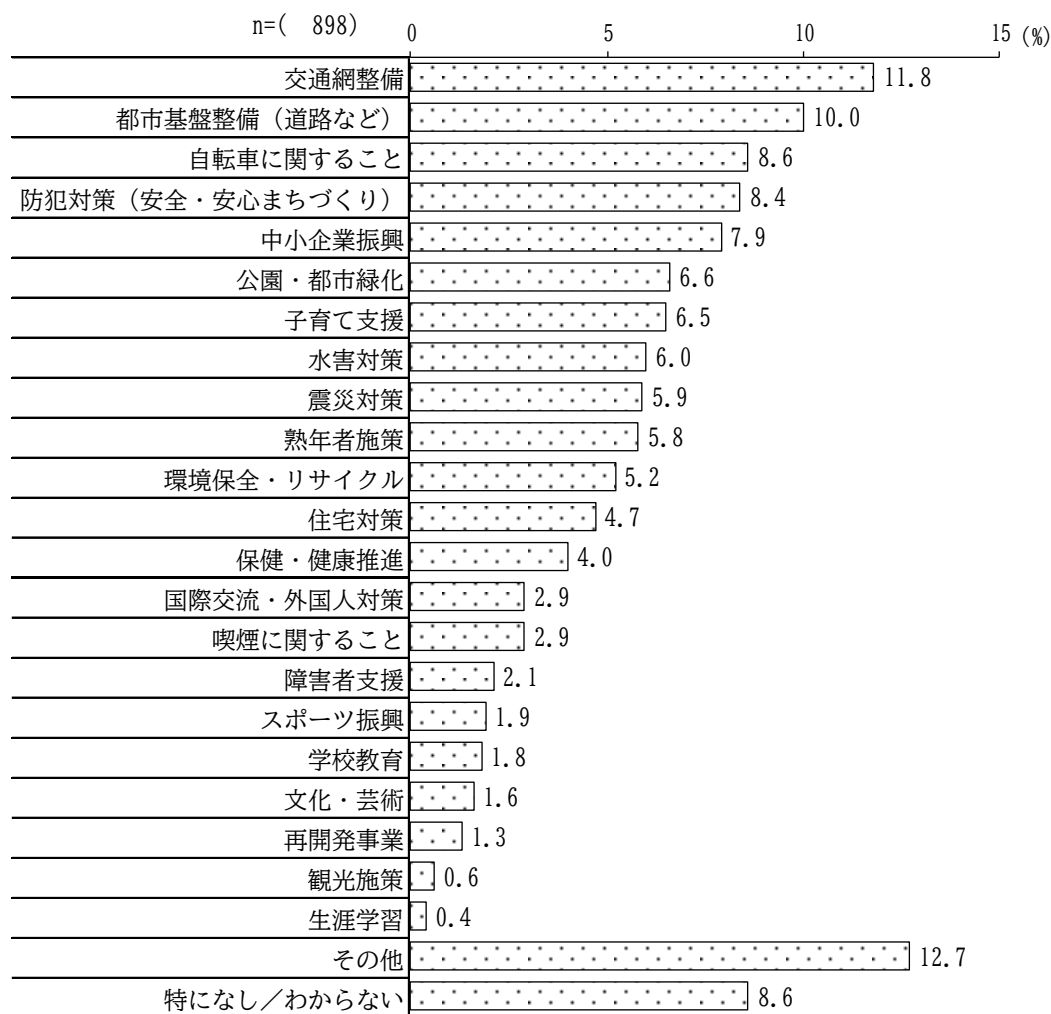
【70歳代後半以降（75歳以上）】



(2) 江戸川区に改善してほしいこと

問 29 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 21-5> 江戸川区に改善してほしいこと



江戸川区に改善してほしいことについて、自由回答形式で求め 898 人から回答を得た。

江戸川区に改善してほしいことでは、「交通網整理」(11.8%) が 1 割強と最も高く、次いで「都市基盤整備 (道路など)」(10.0%)、「自転車に関すること」(8.6%)、「防犯対策 (安全・安心まちづくり)」(8.4%) と続いている。(図表 21-5)

【性・年齢別】

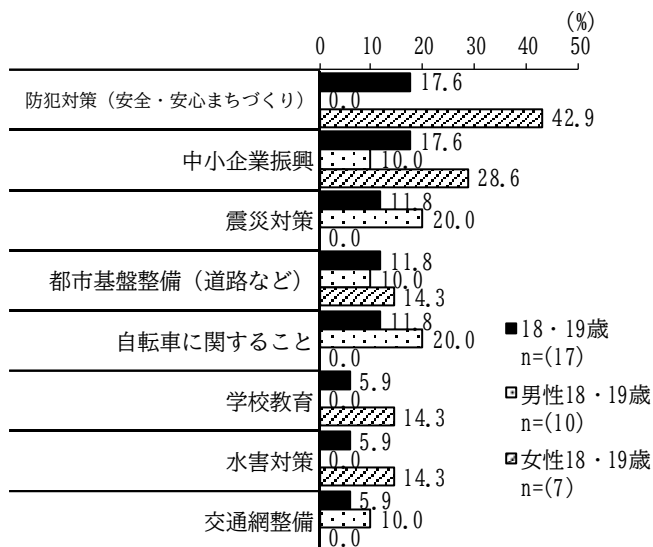
20 歳代では「交通網整備」が、30 歳代では「子育て支援」が、40 歳代、50 歳代では「防犯対策（安全・安心まちづくり）」が最も高くなっている。

60 歳代前半では「水害対策」と「交通網整備」が同率で、60 歳代後半では「自転車に関すること」が最も高くなっている。

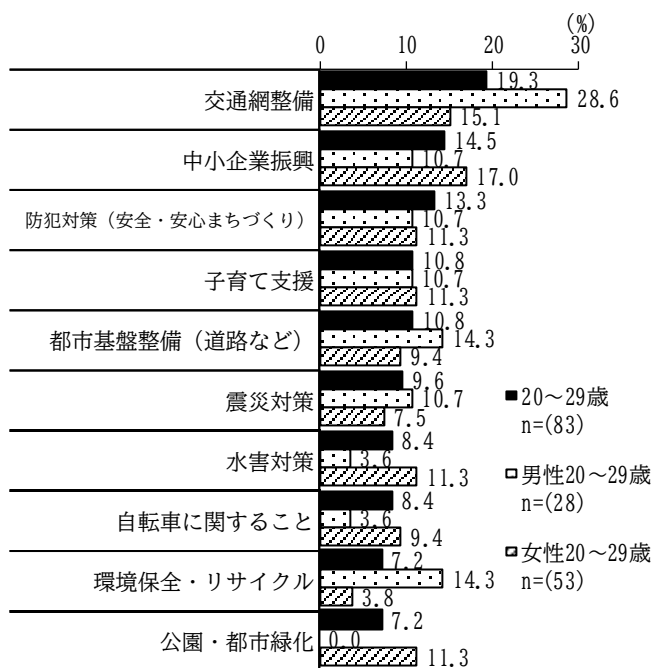
70 歳代前半では「熟年者施策」と「交通網整備」が同率で、70 歳代後半以降では「都市基盤整備（道路など）」が最も高くなっている。（図表 21-6～8）

<図表 21-6>江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別（上位 10 項目）※18・19 歳は 8 項目

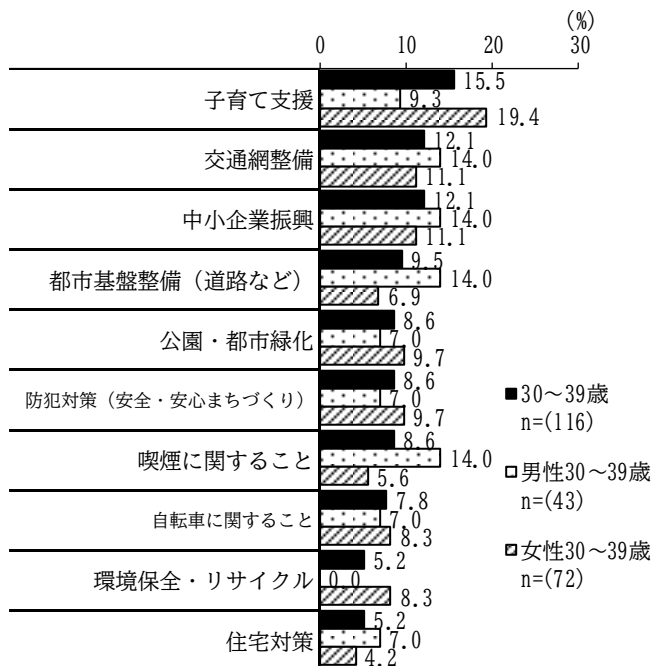
【18・19 歳】



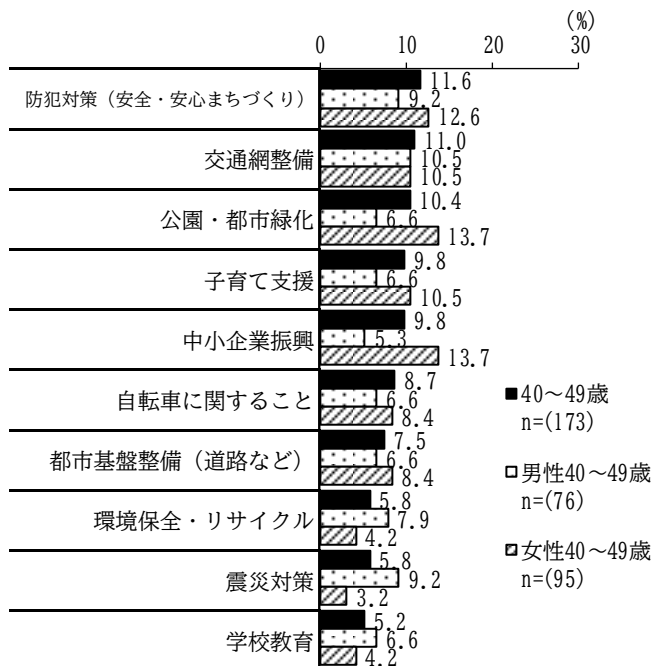
【20 歳代（20～29 歳）】



【30 歳代（30～39 歳）】

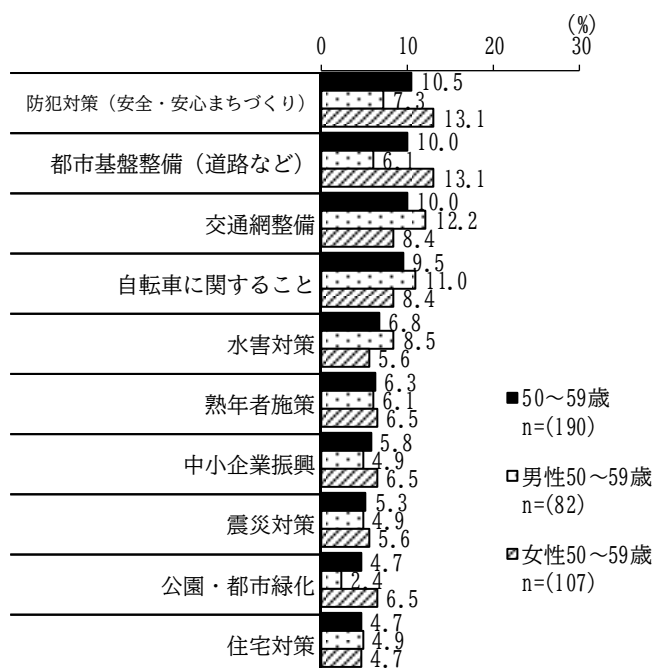


【40 歳代（40～49 歳）】

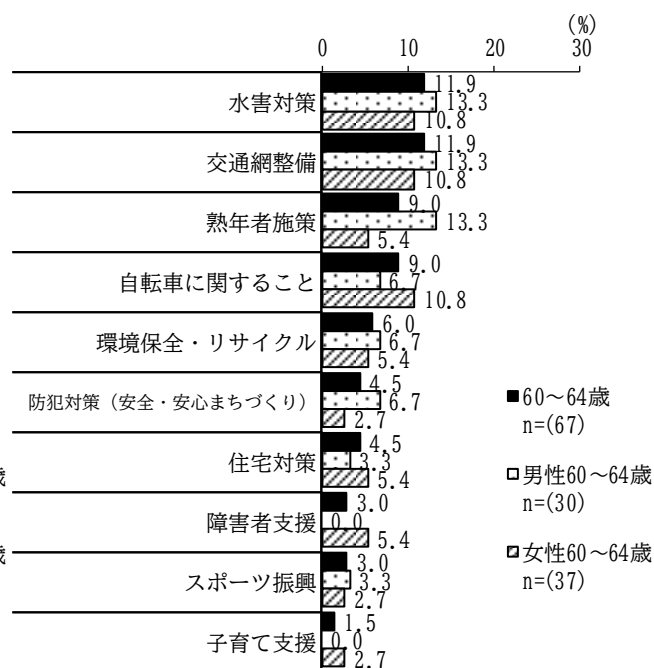


<図表 21-7>江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別（上位 10 項目）

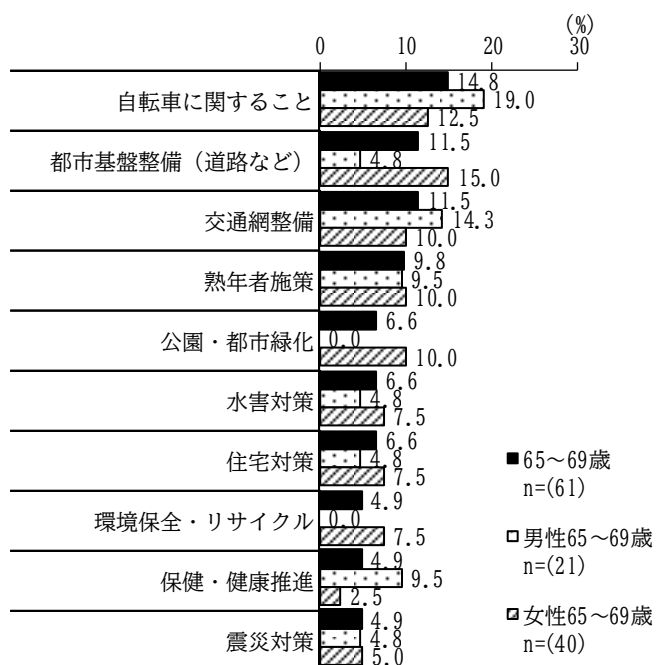
【50歳代（50～59歳）】



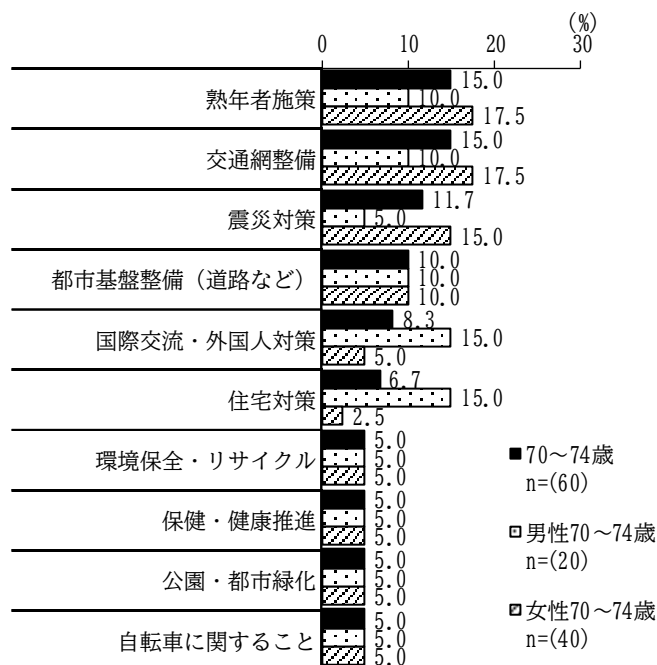
【60歳代前半（60～64歳）】



【60歳代後半（65～69歳）】

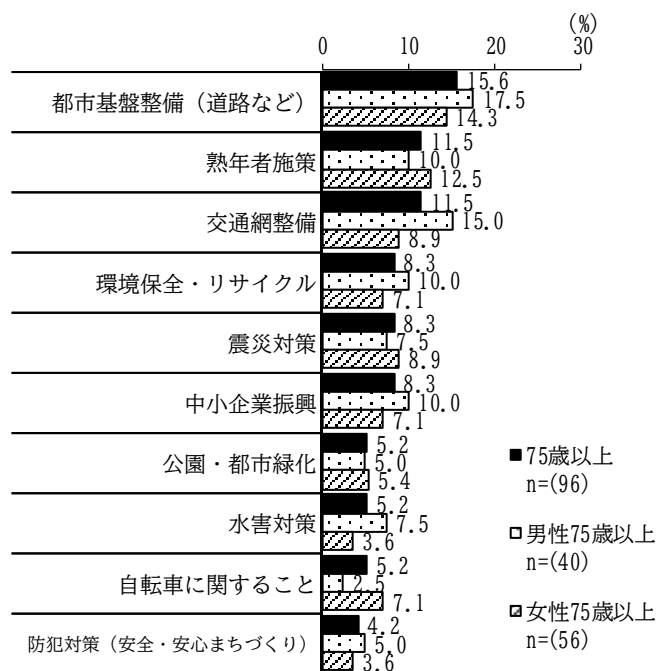


【70歳代前半（70～74歳）】



<図表 21-8>江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別（上位 10 項目）

【70歳代後半以降（75歳以上）】



(3) 自由記述抜粋

具体的な意見について、「江戸川区の良さ」の割合が高い項目順に代表的なものを「江戸川区の良さ」、「改善してほしいこと」でそれぞれ抜粋して掲載する。

公園・都市緑化

【江戸川区の良さ】

- 親水公園などがあり、環境が整っていて良いと思います。(不明)
- 公園がきれい。花の彩りがすばらしい。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 公園や遊歩道が整備されているところが多く、散歩など緑や自然を楽しみながら体を動かせる。
(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 公園が多い。どの公園もきれいに整備されている。近くの小川を鴨が泳いでいたり、魚や小さなカニがいたり、都会にも関わらず自然がある。(女性 40～49 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 幼児向けの公園はたくさんあるが、キャッチボールやサッカーができる公園も作ってほしい。
(男性 30～39 歳、不明)
- 公園にごみがたくさん落ちている。ゴミ箱を設置してほしい。(男性 40～49 歳、小松川地区)
- 公園が多くて良いが、小・中学生が遊んで楽しいと思える遊具(アスレチック度が高いなど)が増えると良いと思います。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 公園で熱中症にならないよう日陰屋根付きエリアを設置してほしい。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 街路樹の中には、交通状態の把握に邪魔な樹もあること。(女性 20～29 歳、東部地区)

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- 地域の方々との距離が近いので、子育てがしやすいと感じます。(不明)
- 保育ママや幼稚園の補助、すくすくスクールなどとても良いと感じております。(不明)
- 子育てをしている中で「区からの提供」がよくあり、区民で良かったと感じることが多い。(例：防犯ブザー、歯ブラシ、お道具箱など)(女性 30～39 歳、小松川地区)
- 子育てがとてもしやすいです。公園が家の周りにたくさんあるし、小児科も充実している。
(女性 40～49 歳 東部地区)
- 今年子どもが生まれ、子育て支援を利用する機会が増えている。無料で利用できるものも多く、とても助かっている。また、さまざまな申請がオンラインでできるものも多く、自宅に居ながら好きな時間に待たずに申請できることは本当にありがたい。今後も増やして欲しい。
(女性 30～39 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 共働き家庭の支援も充実させてほしい。学童の早朝や夜の開所、学童の時間内での教育支援など。
(女性 30～39 歳、葛西地区)

- 子どもが遊べる屋内施設ができると、活動の幅が広がり、子どもや親同士の交流もより広がり良いのではないかと思います。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 子ども関係で紙の書類が多いので、ペーパーレスを考えていただきたいです。
(女性 40～49 歳、東部地区)
- 小学校の中・高学年以降の習い事に対する補助金など、次世代を担う子どもの教育に対する補助がより充実することを期待します。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 子どもを 2 人目、3 人目と考えると、産まれる前や妊娠中～産後 2、3 ヶ月の間の支援を増やしてほしい。出産時にかかるお金が減るとうれしい。すでにあるものも、もっと情報を拡散してほしい。
(女性 30～39 歳、葛西地区)

住宅対策

【江戸川区の良さ】

- 静かできれいな街で住み良い。(男性 30～39 歳、中央地区)
- 都市計画が進んで街並みが整然として、住みやすい。(男性 75 歳以上、東部地区)
- 下町っぽく、落ち着いて生活できるうえにインフラもある程度整備されており住みやすい。田舎と都会のバランスがとても良い。(男性 18・19 歳、小岩地区)
- 庶民的でアットホームな雰囲気が良い。駅周りは大変便利。(男性 30～39 歳、小岩地区)
- 老若男女問わず過ごしやすい街並みである。(男性 18・19 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 小岩駅からはじまる昭和通りに危険な空き家がいくつかある。他にも区内に点在していると思うが、倒壊してからでは遅い。行政による積極的な介入、管理、解体を進めてほしい。
(男性 30～39 歳、小岩地区)
- 昭和レトロな街並みも残してほしい。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 平井に商業施設を増やしてほしい。買い物がやや不便。(男性 30～39 歳、小松川地区)

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- 電車の交通網が大変優れていて、主要な路線を各地で乗れるところ。また、高速道路も近くにあり、遠出しやすい。(男性 30～39 歳、中央地区)
- バスが充実している。(女性 60～64 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 交通の便が悪い。都心には行きやすいが、行きづらい場所も多い。(男性 50～59 歳、東部地区)
- 地域の循環バスを考えてほしいです。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 南北に移動する手段はバスか車になり、バスも数は多いが、時間に遅れる事も度々ある。雨の日は特に乗れない事もあるので、数を増便してほしい。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 電車が全て東西に渡っていて、南北に走る路線がないところ。自動車はいつも環七が渋滞しているので、レンタサイクルのスポットを増やす、南北への移動を割引にするなど、自転車での交通手段を推進してほしい。(男性 30～39 歳、中央地区)

中小企業振興

【江戸川区の良さ】

- 個人の商店が多く、買い物がしやすい。(女性 50～59 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 大型ショッピングセンターを作してほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 新築戸建は多く建ちますが、どんどん小売商店が閉店となり、遠くの大型スーパーに行くしかなく、年寄り結構苦労している。どうにか商店街の活性化はできないものかと思います。
(女性 70～74 歳、中央地区)
- 20 年前に比べると、近所の飲食店などがどんどん減っている。繁盛していたように思うところでも潰れているので残念。高齢者が気軽に暇を潰せるような施設が増えると良いと思う。ショッピングモールまで運行するバスが近場から出ていると楽。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 飲食店が少ないので、企業が参入しやすい取り組みがあればありがたい。
(女性 40～49 歳、鹿骨地区)

都市基盤整備（道路など）

【江戸川区の良さ】

- 道路が広くて運転しやすいし、見通しが良い。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 自分が生活するうえでは、道路の渋滞が少ない。(男性 60～64 歳、東部地区)
- 道路交通の便が良い。(男性 40～49 歳、中央地区)
- 道路やバリアフリーなどの整備が進んでいる。(女性 30～39 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- にぎやかな場所から離れたところの歩道が、街路樹の根ででこぼこになっている。
(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 車道と歩道の分離。子どもの通学路にある歩行者信号の青信号時間の延長。
(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 曲がりくねった細い道が多いため、整備してほしい。(男性 50～59 歳、東部地区)
- 道路に亀裂が入っていて危ないことがある。(男性 65～69 歳、東部地区)

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- リサイクルが身近に感じる。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 生活環境は良いと感じる。ごみ回収もきれいに行っていたり、道路清掃も定期的に行っているおかげか街全体は常にきれいな印象。また、公園が広く、さまざまな場所にある。川には野鳥も生息しており、子育てには向いていると感じる。(女性 20～29 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- 最近、カラスが多い。ごみを荒らしていて危険を感じる。また、衣類のリサイクルのため、回収方法を増やしてほしい。(男性 60～64 歳、葛西地区)

- ごみ捨てのルールを守らず、回収日と関係なく道路にごみを出す人がいるため、鳥獣によってごみが荒らされ、通学路に散乱していることがある。(男性 40～49 歳、小松川地区)
- 普段から大型ではないリサイクル品(衣類、バッテリー、食品など)の回収 BOXなどを設置してもらいたい。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- 小岩駅前の道路が汚いのできれいにしてほしい。ごみ捨てのマナーが大変悪く、悪臭がします。(女性 20～29 歳、小岩地区)

防犯対策(安全・安心まちづくり)

【江戸川区の良さ】

- 町内会やPTAが中心となり、安全安心パトロールや防犯キャンペーンなどの取り組みがあること。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 商店街や道路に街路灯があって比較的明るいので、夜でもあまり不安を感じなくてすむ。(女性 65～69 歳、小岩地区)
- 路地に防犯カメラを設置していただいているおかげで、多少ですが防犯の不安が軽減しています。(女性 30～39 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- プライバシーの問題はあるかも知れないが、防犯・安全のために監視カメラを増やしてほしい。(男性 75 歳以上、東部地区)
- 車やバイクの盗難やいたずらの被害に遭うことが多い。防犯対策に力を入れてほしい。(不明)
- 狭い道が多いため、比較的安全性が低くなる場所が多いので、街路灯を増やすなどの施策をしてほしいです。(男性 20～29 歳、中央地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- 健康診断を無料でやってもらえる事。ワクチン接種券の配布が早かった事。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 医療機関が多く、他の地区への転出はしたくない。特に、高齢の者にとっては何よりです。(男性 70～74 歳、中央地区)
- ウィッグ助成金の導入を開始したこと。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 区のがん検診が無料な事。早期に発見して対処する事ができる。(男性 50～59 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 休日、夜間受付の診療所を増やしてほしい。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 救急病院が少なく入院できない。いつも不安に思う。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 総合病院をもう少し増やしてほしいです。(男性 50～59 歳、東部地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- 福祉が充実していて熟年者にはありがたい。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 母がバスのパスポートの利用や地元の熟年者の集まりに参加させていただいたり、とてもありがたく感じています。熟年の方が参加しやすいボランティアなどが増えれば、時間の有効な使い方やコミュニケーションの場になって良いのではと考えています。(男性 50～59 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 熟年者施策ですが、低所得でも利用できる施設がもっとほしいです。年を重ねるのが怖いです。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 区立の老人ホームがあれば良いと思います。(女性 70～74 歳、小松川地区)
- 今後の行政サービスのデジタル化にあたり、熟年者に分かりやすく楽しく学べるような対策をとってもらえたらうれしいです。(男性 75 歳以上、中央地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- 私は高齢者で、江戸川区のカルチャースクールで楽しく学ばせていただいています。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- くすのきカルチャーに関わる文化活動は、他区に比べて充実していると思います。サークル活動に対する会場の提供もありがたいです。(女性 75 歳以上、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 私は高齢者ですが、家にこもりがちです。外出をしたくても、なかなかその気になりません。近くで何かのイベントでもあれば良いのかなと思っております。例えば、音楽、講演など。(男性 75 歳以上、葛西地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- 図書館は新しい本も入荷してくれているので、経済的に助かります。タワーホール船堀の展望台が無料なのは魅力的です。(女性 40～49 歳、不明)
- 行船公園の茶室に感動しました。芸術に触れ合える場所があるのはすばらしいです。図書館のサービスが進み、最寄りの小学校にサテライトができたり、返却ボックスがあり、大変便利です。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 文化交流施設があちこちに点在していること。(男性 50～59 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 科学館を作ってほしい。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 役所、図書館などをもっと使いやすい場所に設置。図書館も葛西臨海公園で受け取り戻しができるように。図書館の本を充実させてほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)

Ⅲ 結果と分析 21. 自由記述

- 小松川図書館はベビーカーや車椅子で2階、3階を利用することが難しいので、誰もが利用しやすい図書館を作ることを要望します。(女性 40～49歳、小松川地区)

学校教育

【江戸川区の良さ】

- タブレット導入やSDGs教育が展開されている。(女性 40～49歳、鹿骨地区)
- 給食費無償化になったこと。今後もぜひ続けていただきたいです。(女性 40～49歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 保育園まではなんとか時間のやりくりがつくが、小学校に入学すると急に朝のカギっ子生活が始まる。他の自治体では、始業1時間くらい前に学校を開放しています。学童と同じように別料金が発生してもいいので、朝の時間を考えてほしいです。(女性 40～49歳、中央地区)
- インクルーシブ教育を推進してほしいです。また、義務教育における費用負担の軽減を重視してほしいです。(女性 30～39歳、葛西地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- 予約なしで使えるグラウンド、野球場など屋外運動場がある。球場などが多く、スポーツ観戦のハードルが低い。(女性 30～39歳、葛西地区)
- スポーツ事業の種類が多いのでうれしいです。コミュニティ施設も増えたおかげで、使用する頻度が増えました。(女性 30～39歳、中央地区)
- スポーツ施設が整備されている点。(女性 30～39歳、不明)

【改善してほしいこと】

- 江戸川区をホームとするスポーツ団体の活性化。(不明)
- スポーツ施設、活動の場が近くにない。(女性 30～39歳、中央地区)
- スポーツをするのに学校施設をもっと使えると良い。(男性 50～59歳、葛西地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- 海抜ゼロメートル地域が多いことや、川や海に囲まれていることから、率先して水害対策を検討し、それを区民に向けて発信してくれているので、こちらも危機感をもって生活ができます。
(女性 30～39歳、中央地区)
- 堤防やハザードマップの配布など、災害対策がしっかりしていること。(女性 20～29歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 江戸川区は土地が低いため、大きな台風や地震で津波が発生した時の対処に関して不安があります。
(女性 20～29歳、葛西地区)

- 川に囲まれているため、災害の心配が常にある。万が一浸水した場合、すぐに駆け込めるような丈夫で位置が高い場所をもう少し増やしたり、すでにある場所であればもう少し住民に認知が広がるよう広報してほしい。(女性 20～29 歳、小松川地区)
- 水害が何より心配です。江戸川区以外に逃げるメッセージは分かりやすいですが、自宅を離れる不安もありますので、どの程度で避難するか迷う点を、この程度でという線引きの情報があるとありがたいです。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 水害に対しての対処が「区外に避難する」という選択肢しかないのが残念。区外に避難するのであれば、候補地や受け入れ先など提案してほしい。(女性 60～64 歳、葛西地区)

観光施策

【江戸川区の良さ】

- 葛西臨海公園や行船公園などがある。(男性 50～59 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 大きなターミナル駅を作り、飲食店や商業施設などを誘致して、土地価格を含め物価を上げていく必要がある。江戸川区に来たくなる区外向けの取り組みをして、魅力を上げてほしい。
(女性 40～49 歳、鹿骨地区)
- 他区に比べ自然や水辺といった環境に恵まれているため、キャンプ・アウトドアなど、観光資源の開発工夫を行ってほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)

震災対策

【江戸川区の良さ】

- 公園が多く、災害時の準備をしてくれている。道路を広げてくれて住みやすいし、災害時に歩きやすいと思う。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 災害対策されている学校があるので安心感がある。(女性 50～59 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 災害時にペットと一緒に避難できる専用の施設を検討してほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 防災無線が何を言っているのか聞きとりづらい。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 災害用備蓄を定期配布してほしい。(男性 20～29 歳、中央地区)
- どの公園にもかまどベンチなどを設置してほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)

国際交流・外国人対策

【江戸川区の良さ】

- 他国の人たちとうまく共存していると思います。(不明)
- インドや中国といった外国の方々が多く住んでいて、多様性に触れる機会が多い。多くの国籍の人たちが、うまく調和して暮らしている。(男性 40～49 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 近頃は外国人の方が多く、夜歩いているときに集団でいるところを見かけると、怖いと感じる事がある。お互いに知る事がないから、怖いと感じるのだと思う。(女性 70～74 歳、葛西地区)

- 日本人だけではなく、外国人の方との生活に関するルールが共有できていないように感じる。
(男性 40～49 歳、東部地区)

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- 小松川の再開発エリアは、スーパー堤防、歩車分離など安全でゆとりのある設計になっており住みやすい。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- 最近、駅前の再開発事業が活発に行われているのは、良いことだと思います。町が明るくなれば、区民も明るい気持ちになり、前向きになれると思います。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 再開発により、小岩駅周辺が以前に比べてにぎわいが創出された。(男性 20～29 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 南と北の再開発事業の違い。難しいと思いますが取り残され感が強い。(女性 65～69 歳、小岩地区)
- 船堀駅近くに区役所移転とのことで、建物などの再開発事業を早めにしてほしい。
(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 江戸川区は広く、まだ整備が整ってない地域があります。昔ながらのエリアでは、車が入れない道路もたくさんあり、区画整理が必要なところがたくさんあります。駅前など優先に行っているが、区内で街の再開発も進めてほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)

自転車に関すること

【改善してほしいこと】

- 自転車の交通違反が多数。信号無視、歩道でのスピード加速、スマホを操作しながらの走行。
(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 自転車のマナー向上や取り締まり強化を行い、歩行者の安全対策を進めてほしい。
(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 自転車を置けるスペースをもっと増やしてほしい。駅前の自転車置き場を増やしてほしい。
(女性 20～29 歳、葛西地区)

障害者支援

【改善してほしいこと】

- 子育てに比べて、高齢者・障害者に対しての支援が手薄なような気がします。子育てと同様に配慮していただければと思います。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 障害者が自宅以外で安心して過ごせる場所がたくさんあれば良いと思います。
(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 駅前の駐輪場の利用料に障害者割引を導入してほしい。(女性 60～64 歳、東部地区)

喫煙に関すること

【改善してほしいこと】

- 歩きたばこやポイ捨てが多い。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 路上で歩きながらの喫煙者が多いため、他区と同じように罰則条例をつくり取り締まってほしい。また、路上に禁止看板を設置して啓蒙してほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 喫煙所を増やしてほしい。(女性 50～59 歳、中央地区)

その他

【江戸川区の良さ】

- 住みよい社会づくり、今の時代に沿って新しく考えてくださっていると思う。
(男性 60～64 歳、小岩地区)
- 区の職員の方はがんばっていると思います。親切で、細かく対応していただいています。若いエネルギーを使って、先進的なアイデアで住みやすい江戸川区を作してほしい。
(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 良くないと強く思うところはない。どの分野も普通に暮らせるし不満がないくらいには整備されている。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 人と人の交流が和やかである。(男性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 行政のデジタル化が進んでいること。(男性 40～49 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 区がどのような政策を行っているのか、何に力を入れているのか知りません。生活をしていてそれが分かる人の方が少ないと思います。政策を目に見えて分かるようアピールしていただくのも良いと思いました。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 区役所の土曜営業や延長営業を行ってほしい。(女性 30～39 歳、小松川地区)
- 自分も犬を飼っていますが、ノーリードが多く、小さい子どもがいたりもするし、危ないと思う。
(女性 40～49 歳、東部地区)
- 各施設の駐車場が少なく感じる。(男性 40～49 歳、鹿骨地区)
- 都市機能の集約化。特に、役所関係が駅などから遠くに点在しており、車がないと不便に感じています。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 新しい感覚を積極的に取り入れ、これからの若者が興味を持つまちづくりをしてほしい。
(女性 50～59 歳、中央地区)

IV 調査票

第 37 回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆さまには、日ごろから区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび江戸川区では、「第 37 回 江戸川区民世論調査」を実施いたします。この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの満 18 歳以上の方 4,000 人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託する「株式会社タイム・エージェント」が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 6 年 4 月

江戸川区長 齊 藤 猛

あなたのインターネット回答用の ID・パスワード

インターネット回答用
二次元コード

ID :

パスワード :



※ID は半角数字/パスワードは半角英字です。

ID・パスワードは個人を特定するものではありません。

インターネット回答用 URL : <https://ever-net.post-survey.com/edogawa2024/>

－ 回答に当たってのお願い －

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 【令和6年5月8日(水)】までにご回答ください。

－ 郵送での回答 －

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

－ インターネットでの回答 －

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。
スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、表紙の ID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者様の負担となります。

【調査受託事業者・お問い合わせ先（回答方法）】	【調査主体・お問い合わせ先（調査内容）】
株式会社タイム・エージェント 〒150-0044 東京都渋谷区円山町6番8号 電話：03-5459-3795 (受付時間：平日 10：00～17：00)	江戸川区 SDGs 推進部広報課区政案内係 〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1 電話：03-5662-6168（直通） (受付時間：平日 8：30～17：00)

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<n=1,667>

1	1 年未満	2.5%	4	11 年以上 21 年未満	15.7
2	1 年以上 6 年未満	10.0	5	21 年以上 31 年未満	15.7
3	6 年以上 11 年未満	6.7	6	31 年以上	48.7

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<n=1,667>

1	ずっと住み続けたい	46.9%	3	区外に転出したい	3.4
2	当分の間は住み続けたい	38.0	4	わからない	10.7

【江戸川区の現況について】

問3 ①～⑭の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,667> (%)

項目	評価					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 買い物の便	36.2	23.5	25.3	9.7	4.5	0.2
② 交通の便	29.7	24.2	24.6	13.6	7.4	0.2
③ 道路・歩道の整備	19.7	24.7	37.3	12.7	4.6	0.4
④ 公園・水辺の整備	33.5	31.4	26.0	4.7	2.3	1.7
⑤ 緑化の推進	29.3	31.7	31.3	3.9	1.3	2.1
⑥ 街の景観	14.9	21.5	45.7	12.5	3.4	1.4
⑦ 街のバリアフリー	7.9	14.2	44.6	18.8	6.5	6.9
⑧ ごみの収集	28.1	26.3	36.2	6.4	2.0	0.8
⑨ リサイクルの推進	14.6	18.2	50.0	6.4	1.6	8.5
⑩ 地域の治安・安全性	10.1	20.8	43.9	16.2	7.0	1.7
⑪ 災害への備え	5.9	14.1	43.4	18.2	8.5	9.5
⑫ 近所づきあい	6.8	11.8	61.4	8.6	3.7	7.3
⑬ 文化施設の充実度	10.8	22.4	44.4	9.8	3.0	9.2
⑭ スポーツ施設の充実度	11.6	19.4	43.4	10.5	4.2	10.6

項目 \ 評価	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
⑮ 熟年者の生活環境	7.3	16.0	41.4	9.4	3.5	21.2
⑯ 子育て環境	13.4	26.4	32.1	3.7	2.3	19.7
⑰ 健康相談・健康診査	12.1	21.5	46.9	5.3	1.9	11.0
⑱ 病院・診療所の充実度	14.1	24.8	39.4	13.3	4.3	3.2
⑲ 総合的な満足度	12.7	39.9	38.5	5.7	1.5	

【区の推奨度について】

問4 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。(〇は1つ)

<n=1,667>

1 どちらも勧めたい	24.2%	4 どちらも勧めたくない	7.3
2 定住を勧めたい	14.4	5 わからない	34.7
3 来訪を勧めたい	18.2		

【SDGsについて】

問5 ご自身の生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。

(〇はいくつでも)

<n=1,667>

1 食品ロスを防ぐ(必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど)	69.0%
2 健康的な生活を送る(健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど)	62.4
3 家のことを家族で分担する(家事の偏りを減らす、育休や介護休暇を活用するなど)	30.4
4 電気も水も大切に使う(見ていないテレビを消す、食器や手を洗う時に水をこまめに止めるなど)	66.3
5 最新の科学や技術を活用する(キャッシュレス決済を使う、オンラインで買い物をするなど)	42.8
6 多様性への理解を深める(外国語・手話・点字などに触れる、多様性に関する記事を見るなど)	19.3
7 地域の人たちと絆を深める(地域のおまつりや清掃活動に参加するなど)	15.9
8 リサイクルをする(服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど)	58.1
9 みどりを大切にする、プラごみを減らす(家庭菜園を楽しむ、詰め替え製品を選ぶなど)	42.7
10 江戸川区のことを知る(区内の公園で自然に触れる、区の伝統工芸品を知るなど)	21.1
11 上記以外の行動をしている()	0.6
12 何もしていない	2.2

【共生社会について】

問6 江戸川区では、令和3年7月1日に「ともに生きるまちを目指す条例」を制定しました。年齢、性別、性的指向や性自認、国籍、障害や病気の有無など、人の多様性を認め合い、支え合う、共生社会を目指しています。

この条例では、みんなで目指す未来のまちの姿を分かりやすく伝えるため、5つの「ともに生きる」をキーワードに、短い文章でメッセージをまとめています。

「ともに生きるまちを目指す条例」の詳細について →



あなたは、江戸川区が全ての人とともに生きる共生社会を目指していることを知っていますか。

(○は1つ)

<n=1,667>

1 知っている	19.1%	2 知らない	78.6
---------	-------	--------	------

【人権について】

問7 日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。(○はいくつでも)

<n=1,667>

1 女性	38.9%	11 性的マイノリティ（LGBTQなど）	23.5
2 子ども	45.2	12 刑を終えて出所した人やその家族	11.0
3 高齢者	49.5	13 路上生活者（ホームレス）	15.3
4 障害者	43.6	14 インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害	42.0
5 部落差別（同和問題）	10.4	15 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族	24.2
6 アイヌの人々	8.5	16 人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引）	15.4
7 外国人	20.6	17 災害に伴う人権問題	28.6
8 HIV、新型コロナウイルス感染症などの感染者・医療従事者やその家族	18.8	18 その他（ ）	1.3
9 ハンセン病患者・元患者やその家族	7.1	19 特にない	8.5
10 犯罪被害者やその家族	16.3		

【公園について】

問8 公園は、街にやすらぎと潤いをもたらし、地域コミュニティの活性化、防災などにも寄与しています。今後もみなさんに身近な公園を「地域の庭」として愛着を持っていただけるよう、より使いやすく魅力的な公園整備を進めていきます。

あなたが、今後の公園に特に必要だと思う施設は何ですか。(○は3つまで) <n=1,667>

1	四季の草花など、植物を楽しめる施設	40.9%
2	雑木林や原っぱなどに生息している、鳥や昆虫（カブトムシ等）などの生き物と触れ合える自然地	19.7
3	日除け・ベンチなど休憩できる施設	51.5
4	ボール遊びができる場所	26.3
5	健康遊具（背のぼし・腰ひねり・ぶら下がりなど）	13.7
6	幼児向けの遊具（すべり台・ブランコ・砂場など）	13.7
7	水遊びできる施設（じゃぶじゃぶ池など）	7.7
8	防災施設（かまどベンチ・マンホールトイレ・防災井戸など）	43.6
9	カフェやキッチンカーなどの飲食施設	17.9
10	手洗所	25.9
11	その他（ ）	2.3
12	施設は必要ない	0.8

【葛西海浜公園について】

問9 平成30年10月に葛西海浜公園（葛西臨海公園の海側に隣接）が都内で初めてラムサール条約（「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）の湿地に登録されて6年になります。東京駅から15分という都心から近いこの葛西海浜公園の貴重な環境の保全と活用を江戸川区は東京都とともに進めていきます。

あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。

(○は1つ)

<n=1,667>

1	知っている	35.7%	2	知らない	63.7
---	-------	-------	---	------	------

【脱炭素化について】

問 10 地球温暖化を防ぐためには、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの活用や省エネ等の脱炭素化を進める必要があります。

あなたが、導入・検討した取り組みや関心がある取り組みをお答えください。

(〇はいくつでも)

<n=1,667>

1	太陽光発電・蓄電池の設置	33.8%
2	再生可能エネルギー由来電力への切り替え	21.3
3	電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電	13.9
4	持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用	20.8
5	LED 照明や省エネ家電への買い替え	65.2
6	高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入	21.2
7	住宅の高断熱化（ZEH など）	20.9
8	特にない	16.5

問 11 脱炭素化を進めていくために、あなたは、江戸川区にどのような取り組みをしてほしいですか。

(〇はいくつでも)

<n=1,667>

1	地球温暖化や気候変動に関する基礎情報の提供・PR	32.2%
2	学校での環境教育の充実	41.2
3	設備導入の補助制度の充実	44.8
4	脱炭素化の先進事例の紹介	17.0
5	電気自動車（EV）充電設備や水素ステーションなどのインフラ整備	25.3
6	公共施設への再エネ導入	43.1
7	特にない	13.4

【図書館について】

問 12 江戸川区は、令和4年度より、区内 10 ヲ所の小中学校に図書館サテライトを設置しました。図書館サテライトでは、予約した図書資料の貸し出しや返却などのサービスを行っています。

あなたは、図書館や図書館サテライトをどのくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)

<n=1,667>

1	1 週間に数回程度	1.9%	4	年に 1 回程度	2.4
2	1 か月に数回程度	8.3	5	過去に利用したが、	
3	年に数回程度	10.6		現在は利用していない	25.0
			6	利用したことがない	50.3

問 12-1 問 12 で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。

図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<n=1,255>

1	近くにない	15.9%
2	どこにあるかわからない	26.8
3	利用の仕方がわからない、規則が難しそう	14.2
4	利用したい本や雑誌があるかわからない	14.6
5	雰囲気が好きではない	2.3
6	図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変	31.0
7	本や雑誌は買って読んでいる	27.4
8	楽しめるイベントや催し物がない	4.0
9	その他 ()	12.0

【スポーツについて】

問 13 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

<n=1,667>

1 週に3日以上(年151日以上)	17.1%	5 3か月に1~2日(年4~11日)	4.4
2 週に2日(年101~150日)	11.9	6 年に1~3日	4.1
3 週に1日(年51~100日)	14.0	7 運動やスポーツを実施していない	34.5
4 月に1~3日(年12~50日)	11.5		

問 13-1 問 13で「1」から「6」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、この1年間に実施した運動やスポーツは何ですか。(○はいくつでも) <n=1,052>

1 ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、 一駅歩きなどを含む)	79.9%	17 アイススケート	1.3
2 体操	18.7	18 ローラースケート、スケートボード	1.0
3 エアロビクス、ヨガ、バレエ、 ピラティス	10.0	19 野球	2.8
4 キャッチボール	3.9	20 サッカー、フットサル	3.5
5 アクアエクササイズ、 水中ウォーキング	2.3	21 テニス、ソフトテニス	3.5
6 ランニング(ジョギング)	13.6	22 卓球(ラージボール含む)	4.1
7 トレーニング	15.8	23 バレーボール、ビーチバレー、 ソフトバレーボール	2.6
8 ボウリング	3.9	24 柔道、剣道、空手、相撲、合気道	1.0
9 ダンス	3.9	25 ソフトボール	1.3
10 自転車(BMX含む)、サイクリング	18.7	26 陸上競技、マラソン、駅伝	1.0
11 ゴルフ	11.2	27 水泳	6.7
12 ハイキング、ワンダーフォーゲル、 オリエンテーリング	2.4	28 弓道、アーチェリー	0.2
13 スキー、スノーボード	3.6	29 ラグビー、アメリカンフットボール	0.0
14 釣り	4.0	30 バスケットボール	1.2
15 登山、トレッキング、トレイルランニング、 ロッククライミング	4.1	31 バドミントン	4.8
16 ボート、カヌー	1.1	32 パラスポーツ(ボッチャ、 ゴールボール、車いすバスケットボール等)	0.8

問 14 あなたは、この1年間にスタジアム、体育館、沿道などで実際にスポーツを観戦したことがありますか。(○はいくつでも)

※観戦するスポーツの対象は、プロスポーツのほか、アマチュアスポーツや子どもの部活動などの試合を含みます。
<n=1,667>

1 野球	17.6%	10 スケート、フィギュアスケート	1.1
2 サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル、マラソン、駅伝	8.0	11 卓球（サウンドテーブルテニスを含む）	1.6
3 ダンス（ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーディング、ヒップホップなど）	3.7	12 ボクシング、レスリング、その他の格闘技	0.8
4 ゴルフ	1.8	13 体操	1.0
5 相撲	2.1	14 陸上競技	1.8
6 ラグビー（タグラグビー、車いすラグビーを含む）	1.9	15 水泳競技	1.3
7 バスケットボール（車いすバスケットボールを含む）	2.6	16 柔道、剣道、空手	0.8
8 テニス（車いすテニスを含む）	1.6	17 ソフトボール	0.6
9 バレーボール（シットイングバレーボールを含む）	1.9	18 アメリカンフットボール	0.4
		19 バドミントン（車いすバドミントンを含む）	0.5
		20 その他（	1.5
		21 観戦しなかった	64.5

【健康状態について】

問 15 あなたは、ご自身の健康状態を良いと感じますか。(○は1つ) <n=1,667>

1 良い	17.8%	3 どちらともいえない	21.0	5 良くない	6.1
2 まあ良い	39.5	4 あまり良くない	15.1		

【プレコンセプションケアについて】

問 16 若い男女が将来の妊娠を考えて、自身の生活や健康に向き合うことをプレコンセプションケアといいます。

あなたは、プレコンセプションケアを知っていますか。(○は1つ)

※WHO では「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」と定義しています。
<n=1,667>

1 名前も内容も知っている	2.5%
2 名前は聞いたことがあるが内容は知らない	12.1
3 まったく知らない	83.6

問 17 プレコンセプションケアについて、あなたは、江戸川区にどのような取り組みをしてほしいですか。(〇はいくつでも) <n=1,667>

1 広報誌・SNS等での情報発信	32.2%	4 学校での児童・生徒に対する普及啓発	37.4
2 若い世代に対する健康づくり	32.9	5 その他 ()	1.3
3 講演会等の開催	6.5	6 特にな	27.6

【AEDについて】

問 18 心臓が止まった人に電気ショックを加えて心臓を動かす医療機器を「AED」といいます。
あなたは、AEDを知っていますか。(〇は1つ) <n=1,667>

1 名前も使い方も知っている	47.4%	3 まったく知らない	1.3
2 名前は聞いたことがあるが使い方は知らない	50.9		

問 18-1 問 18 で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、倒れている人にAEDを使用したことがありますか。(〇は1つ) <n=790>

1 使用したことがある	3.7%	2 使用したことはない	96.2
-------------	------	-------------	------

問 19 あなたは、周囲の人が目の前で倒れた場合、近くにAEDがあれば、その人にAEDを使用することができると考えますか。(〇は1つ) <n=1,667>

1 できると思う	28.7%	2 できないと思う	40.4	3 わからない	30.1
----------	-------	-----------	------	---------	------

問 20 あなたは、AEDの使用について、どのようなことに不安や心配を感じますか。

(〇はいくつでも) <n=1,667>

1 AEDの使用方法	50.1%	5 子どもにAEDを使用すること	26.1
2 AEDを使用したときの責任	62.6	6 施設などからAEDを持ち出すこと	7.7
3 倒れた人に触れること	29.6	7 その他 ()	2.5
4 女性にAEDを使用すること	20.0	8 特にな	6.5

【消費者センターについて】

問 21 消費者センターは、消費に伴うトラブルなどの消費生活相談、生活に密着した消費者教育、各種消費生活情報の提供などを行っています。

あなたは、消費者センターが行っている事業を知っていますか。(〇はいくつでも)

<n=1,667>

1	電話・窓口での消費者相談	73.5%	6	消費生活をテーマにした消費者教室	3.4
2	消費者センターホームページ	30.3	7	悪質商法の手口を専門家から学ぶ	
3	消費者センターのメールマガジン	1.9		講師派遣	5.0
4	みまもり・ねっと		8	DVDなどの教材貸し出し	0.8
	(熟年者被害防止の情報誌)	9.2	9	消費者センターを知らない	19.4
5	Eくらし(消費生活情報誌)	1.3			

【道路インフラ施設について】

問 22 今後、人口減少や財政規模が縮小していくことが予想されるなか、私たちの暮らしを支える1,000kmを超える区道や橋梁などの道路インフラ施設は、適切に維持・更新していかなければなりません。

道路や駅前広場などのあり方、日々の維持管理などについて、あなたはどのように思いますか。(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,667> (%)

項目 \ 考え	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
① 区内の道路網は整備されていて渋滞がない	10.7	31.5	23.3	15.1	15.9
② 車が通行しない歩行者・自転車道路を増やしてほしい	38.2	33.5	8.9	9.2	7.6
③ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用してほしい	20.0	31.3	15.5	17.4	12.7
④ 駅前の広場や道路をお祭りやイベントで活用したい	11.8	19.6	16.1	32.0	16.3
⑤ 区内の道路や駅前広場は清掃されていてきれい	21.4	48.8	13.6	6.5	7.1
⑥ 自宅周辺の身近な道路の清掃は自分が行いたい	5.6	21.8	20.0	31.9	17.1
⑦ 駅前の手洗所は清掃されている	16.1	32.0	15.5	10.0	23.1
⑧ 駅前の手洗所をよく利用している	6.2	15.4	13.1	45.7	15.0

【災害対策について】

問 23 江戸川区は海に面した低地帯で、陸域の7割が満潮時海拔ゼロメートル地帯です。洪水や高潮などにより大規模水害が発生すると広範囲にわたって浸水し、水が引くまでに2週間以上かかることも考えられます。

超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測されるときに、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(〇は1つ) <n=1,667>

1	48 時間以上前に区外の浸水しない地域に避難できると思う	7.5%
2	24 時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う	18.9
3	区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う	41.2
4	大規模水害が発生する前に避難はできないと思う	16.9
5	区外への避難はしない	14.1

問 23-1 問 23 で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない（できない）理由について、あなたはどのようにお考えですか。

理由ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つつ) <n=516> (%)

広域避難しない理由	考え			
	考える	思う	どちらとも いえない	思わない
① 仕事や学校がある		30.0	15.9	35.7
② 家や家財から長く離れることが心配		39.0	20.0	24.2
③ 広域避難する先の当てがない		65.7	10.5	12.2
④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる		27.1	14.3	42.2
⑤ ペットなどを飼っている		18.2	4.5	58.3
⑥ 自宅が一番安全だと思う		29.1	29.5	27.5
⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分		29.5	30.8	25.6

問 24 江戸川区には「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度があります。この制度は、江東5区において広域避難情報を発令した際、避難場所として区外の旅館やホテルなどの宿泊施設を利用された方に、最大9,000円(1泊一律3,000円、3泊までを限度)を補助するものです。

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(〇は1つ)

<n=1,667>

1 知っていたし、利用したい	3.7%	3 知っていたが、利用しない	2.2
2 知らなかったが、利用したい	78.6	4 知らなかったし、利用しない	14.2

問 24-1 問 24 で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由は何ですか。(〇は1つ)

<n=273>

1 広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている	16.1%
2 行政が確保する広域避難先に避難したい	13.9
3 広域避難をどこにするかまだ決めていない	20.5
4 自宅を離れたくない	27.1
5 広域避難を検討していない	19.8

問 25 あなたは、地震が起こったときのために、日ごろから備えをしていますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,667> (%)

項目	該当	はい	いいえ
≪自分自身の備え≫			
① 消火器の使い方を知っている		71.5	26.3
② 近所の消火器がある場所を知っている		45.7	52.0
③ 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している		61.1	32.2
④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている		52.8	44.8
≪家庭での備え≫			
⑤ 家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などを付けている		39.8	57.8
⑥ 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている		9.9	87.4
⑦ 感震ブレーカーを設置している		30.1	66.3
⑧ 家庭で避難場所や連絡方法を確認している		44.2	53.0
≪地域の中での備え≫			
⑨ 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある		23.3	75.1
⑩ 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある		25.9	72.1

【意見募集（パブリック・コメント）について】

問 26 区が区政に関する計画等を作成するにあたって、事前に意見募集を行い、その結果を公表することをパブリック・コメントといいます。

あなたは、パブリック・コメントを知っていますか。（○は1つ）

<n=1,667>

1	名前も内容も知っている	11.0%
2	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	22.0
3	まったく知らない	63.5

【江戸川区職員の接遇について】

問 27 あなたは、江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。（○は1つ）

<n=1,667>

1	満足	11.8%	4	やや不満	5.6
2	やや満足	15.5	5	不満	2.5
3	ふつう	38.5	6	わからない	23.0

【区政への要望について】

問 28 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。

（○は3つまで）

<n=1,667>

1	都市基盤整備（道路など）	15.7%	13	青少年健全育成	3.5
2	再開発事業	7.4	14	生涯学習	2.8
3	交通網整備	13.0	15	文化・芸術	3.8
4	住宅対策	8.2	16	スポーツ振興	4.1
5	震災対策	40.3	17	保健・健康推進（感染症対策含む）	8.1
6	水害対策	45.9	18	中小企業振興	3.0
7	防犯対策（安全・安心まちづくり）	30.5	19	観光施策	3.2
8	環境保全・リサイクル （地球温暖化対策含む）	5.3	20	友好都市・国際交流	1.3
9	熟年者施策	18.2	21	平和・人権・男女共同参画	1.3
10	障害者支援	6.5	22	行政サービスのデジタル化	4.3
11	子育て支援	19.4	23	その他（ ）	1.6
12	学校教育	9.4	24	わからない	4.3

問 29 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

【良さ】

【改善してほしい点】

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(〇は1つ)

<n=1,667>

1	男性	40.9%	3	その他	0.5
2	女性	54.0			

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(〇は1つ)

<n=1,667>

1	18・19 歳	1.6%	6	60～64 歳	7.7
2	20～29 歳	8.0	7	65～69 歳	7.5
3	30～39 歳	11.0	8	70～74 歳	7.6
4	40～49 歳	16.1	9	75 歳以上	16.9
5	50～59 歳	19.0			

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(〇は1つ)

<n=1,667>

1	自営業者	8.5%	5	家事専業	9.5
2	家族従業 (家事手伝い)	1.1	6	学生	2.8
3	勤め (フルタイム)	38.8	7	無職	18.3
4	勤め (パートタイム)	14.0	8	その他 ()	2.0

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数 (ご自身を含めて) をお知らせください。(〇は1つ)

<n=1,667>

1	1 人	16.1%	5	5 人	5.2
2	2 人	29.4	6	6 人	1.9
3	3 人	24.8	7	7 人以上	0.7
4	4 人	17.3			

F 4-1 F 4で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」のいずれかと答えた方にお尋ねします。

同居者 (本人以外) をお知らせください。(〇はいくつでも)

<n=1,321>

1	小学校入学前のお子さん	10.7%	3	16～64 歳の方	74.2
2	小・中学生	18.7	4	65 歳以上の方	35.4

F 5 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つ) <n=1,667>

1	持ち家(一戸建)	38.6%	6	公営の賃貸住宅	4.8
2	持ち家(共同住宅)	22.7	7	都市再生機構・公社などの賃貸住宅	3.7
3	持ち家(長屋建・その他)	0.4	8	給与住宅(社宅・公務員住宅など)	1.9
4	民営の賃貸住宅(一戸建)	1.7	9	借間	1.4
5	民営の賃貸住宅(共同住宅)	19.7			

F 6 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町 名

丁目

(例

中 央

1

丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和6年8月発行

第37回 江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区 SDGs 推進部広報課
東京都江戸川区中央1丁目4番1号
電話 03(5662) 6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社タイム・エージェント
東京都渋谷区円山町6番8号
電話 03(3770) 6821



ともに、生きる。
江戸川区